

ブルキナファソ国  
村落給水施設管理・衛生改善  
プロジェクト・フェーズ2  
中間レビュー調査報告書

平成29年4月  
(2017年)

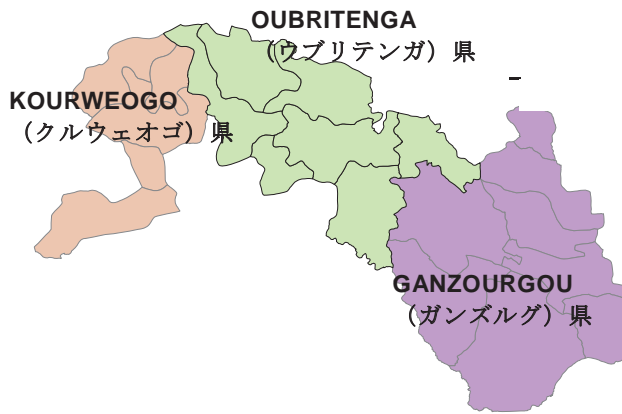
独立行政法人国際協力機構  
地球環境部

境環
J R
17-055

ブルキナファソ国  
村落給水施設管理・衛生改善  
プロジェクト・フェーズ2  
中間レビュー調査報告書

平成 29 年 4 月  
(2017 年)

独立行政法人国際協力機構  
地球環境部



中央プラトー州  
(Région du Plateau Central)



南部中央州  
(Région du Centre-Sud)



調査対象地域位置図

写 真



南部中央州水衛生州局職員ら対象のワークショップ  
(Manga 村にてプロジェクトの活動として開催)



南部中央州 Guiba コミューン Koakin 村の井戸



南部中央州 Kombissiri コミューン Toemiga 村の井戸



中央プラトー州 Laye コミューン事務所



中央プラトー州 Laye コミューン Wannoghin 村  
インタビューに集まった人々



中央プラトー州 Laye コミューン Sondre 村  
AUE の帳簿



南部中央州 Kayao コミューン Kinkirou 村  
修復予定の井戸



南部中央州バゼガ県 Kayao コミューン Kinkirou 村  
AUE に対するヒアリング



南部中央州 Kayao コミューン Kinkirou 村  
 サウジラピア基金で 1986 年建設、ドイツ製  
**Kardia** ポンプは建設時のもの。稼働している  
 が、老朽化著しく要更新、塀は崩れている。



南部中央州 Kayao コミューン Kossilci 村  
 サウジラピア基金で 1988 年建設、ドイツ製  
**Kardia** ポンプは建設当時のもの。稼働している  
 が要更新。コンクリートの付帯施設は使える。



中央プラトー州 Sourgoubila コミューン Guela 村  
 我が国の無償資金協力で 1999 年建設、ブルキ  
 ナ製の **DIAPA** ポンプは建設時のもの、揚水管 1  
 本 (3m) を修理時に抜いているが、状態よく稼  
 働している。



中央プラトー州クルヴェオゴ県  
 スルグビラ コミューン Zoundri (ズンドリ) 村  
 我が国の無償資金協力で 1999 年建設。稼働し  
 ているが水量が少ない。上部構造を中古ポンプ  
 から挿げ替えた。



南部中央州バゼガ県 Kayao 県 Kinkirou 村  
 日本の無償資金協力で 2016 年建設の井戸  
 稼働状況良好。



水・衛生省における JCC  
 ブルキナファソ側合同評価メンバーによる合同  
 評価報告書の結果及び提言の発表



JCC  
 (中央：水・衛生省次官、右：DGEF 局長)



水・衛生省次官によるミニッツ署名  
 (中央：水・衛生省次官、右：小野総括)

## 中間レビュー報告書（和文）

### 目 次

調査対象地域位置図

写 真

目 次.....	i
略語表.....	iii
評価調査結果要約表（和文・英文）.....	v
第1章 中間レビュー調査の概要.....	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的背景.....	1
1-2 調査団の構成と調査期間.....	1
1-3 プロジェクトの概要.....	2
1-3-1 プロジェクトの背景.....	2
1-3-2 プロジェクトの要約.....	3
1-4 中間レビュー・評価の手法.....	4
1-4-1 レビューの実施方法.....	4
1-4-2 評価のフレームワーク.....	4
第2章 プロジェクトの実績・調査結果.....	5
2-1 投入実績.....	5
2-2 活動実績.....	5
2-3 成果達成状況.....	6
2-4 プロジェクト目標の達成見込み.....	10
2-5 上位目標の達成見込み.....	10
2-6 プロジェクトの実施プロセス.....	11
第3章 中間レビュー結果.....	14
3-1 評価5項目による評価結果.....	14
3-1-1 妥当性.....	14
3-1-2 有効性.....	16
3-1-3 効率性.....	17
3-1-4 インパクト.....	18
3-1-5 持続性.....	19
3-2 結論.....	21
第4章 提言.....	23
4-1 提言.....	23
4-2 教訓.....	24
4-3 技術アドバイザー 所感.....	25

## 添付資料

1. 調査日程表
2. 主要面談者リスト
3. カウンターパートリスト
4. 日本人専門家派遣実績
5. 国別研修参加者リスト
6. 供与機材・携行機材リスト
7. ローカルコスト
8. セミナー・ワークショップ開催記録
9. 評価グリッド（結果入り）
10. 中間レビュー調査ミニッツ
  - 10-1. ミニッツ（仏文）（合同評価報告書、PDM 案含む）
  - 10-2. ミニッツ（和文）（合同評価報告書（和文）、PDM 案（英文）含む）
11. 中間レビュー調査時参照の PDM（Version 1、和文）
12. 中間レビュー調査時参照の PO（モニタリングシート第 2 号添付版、和文）
13. 組織図
  - 13-1. 水・衛生省 組織図
  - 13-2. 水・衛生省 飲料水総局 組織図
14. 収集資料
  - 14-1. 水・衛生省作成 PN-AEPA 2016 年報（Bilan Annuel PN-AEPA 2016）（仏文）
  - 14-2. 水・衛生省作成 PN-AEPA 2016-2030（仏文）
  - 14-3. ブルキナファソ政府作成 国家経済社会開発計画 PNDES2016-2030（英文）

※添付資料 14.収集資料については、大部であるため印刷版には載せていない。JICA 図書館の報告書データベースにて参照のこと。

## 略 語 集

略語	原語	和文
AEPS	Adduction d'Eau Potable Simplifiée	簡易給水施設
AFD	Agence Française de Développement	フランス開発庁
AMOC	Appui à la Maîtrise d'Ouvrage Communal	コミューン行政への事業実施支援
AUE	Association des Usagers de l'Eau	水利用者組合
CNP/PN-AEP	Comité National de Pilotage du PN-AEP	PN-AEP 国家管理委員会
C/P	Counterpart	カウンターパート
CS	Centre-Sud	南部中央州
DAC	Development Assistance Committee	(OECD) 開発援助委員会
DANIDA	Danish International Development Agency	デンマーク国際開発庁
DGA	Direction Générale de l'Assainissement	衛生総局
DGEP	Direction Général de l'Eau Potable	飲料水総局
DGESS	Direction Générale des Etudes et des Statistiques Sectorielles	調査・セクター統計総局
DREA	Directions Régionales de l'Eau et de l'Assainissement	水衛生州局
EU	European Union	欧州連合
FCFA	Francs CFA	セーファー・フラン (1€=655.957 FCFA の固定レート)
GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit GmbH	ドイツ国際協力公社
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
MASA	Ministère de l'Agriculture et de la Sécurité alimentaire	農業・食糧安全保障省
MEA	Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	水衛生省
MM	Man/Month	人・月
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ (協議議事録)
MOC	Maîtrise d'ouvrage communale en matière d'alimentation en eau potable, hygiène et assainissement de base	給水衛生に関するコミューンによる事業実施
NGO	Non-Governmental Organization	民間非営利団体
PCL	Plateau Central	中央プラトー州
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PN-AEP	Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable	飲料水供給国家計画 (2016-2030 の計画)
PN-AEPA	Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable et d'Assainissement	飲料水供給・衛生国家計画 (2015 年までの計画、及び 2016 年以降の年次計画)



PO	Plan of Operation	活動計画
PPP	Public-Private Partnership	官民連携
PROGEA	Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d’approvisionnement en eau potable et de promotion de l’hygiène et de l’assainissement	給水施設管理・衛生改善プロジェクト（フェーズ 1）
PROGEA II	Le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d’approvisionnement en eau potable et de promotion de l’hygiène et de l’assainissement en milieu rural	村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ 2
R/D	Record of Discussions	討議議事録
REFORME	Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques d’approvisionnement en eau potable en milieu rural et semi urbain	村落・準都市部の飲料水供給施設の管理システム改革
TOT	Training of Trainers	指導者研修
UAT	Unité d’Animation Technique	技術支援ユニット（農業省の区画）
ZAT	Zone d’Appui d’Animation Technique	技術支援ゾーン（農業省の区画）

## 評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ブルキナファソ国	案件名：村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ2
分野：水資源開発	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：地球環境部 水資源グループ	協力金額（評価時点）：約 2.03 億円
協力期間	2015 年 9 月～2018 年 9 月
	先方関係機関：水・衛生省 (MEA) 飲料水総局 (DGEP)、南部中央・中央プラトー州水衛生州局 (DREA/CS、DREA/PCL)
	日本側協力機関：株式会社アースアンドヒューマンコーポレーション、日本テクノ株式会社
	他の関連協力：無償資金協力「第二次中央プラトー及び南部中央地方飲料水供給計画」(2013-2016)
1-1 協力の背景と概要	
<p>ブルキナファソ政府は、給水施設の持続的な維持管理を実現するため、2000 年に「村落・準都市部の飲料水供給施設の管理システム改革」(Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable en milieu rural et semi urbain 以下「REFORME」)を決定し、ブルキナファソ政府、援助機関、NGO が協力して、REFORME を全国に普及する努力を推進してきた。ブルキナファソは、JICA の技術支援を受けて、2009 年 6 月から 2013 年 5 月まで「中央プラトー地方給水施設管理・衛生改善プロジェクト」(Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement 以下「PROGEO」)を実施し、中央プラトー州における同改革の実施と普及を図った。PROGEO により、中央プラトー州の全 565 の村のうち、563 において水利用者組合 (Association des Usagers de l'Eau : AUE) が設置され、AUE による給水施設維持管理活動を支えるために地方自治体 (コミューン) やポンプ修理業者への能力強化も実施されたことで、中央プラトー州全体において、REFORME の適用が図られた。他方、全国レベルでは、ブルキナファソ給水セクターの国家計画である「2015 年に向けた飲料水供給・衛生国家計画 (Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable et d'Assainissement 以下「PN-AEPA 2006-2015」)の策定以降、REFORME 適用化の普及推進の試みがなされているものの、持続的な維持管理システムの定着についてはさらなる取組みが必要であり、地方間の進捗の差も生じていた。こうした背景の下、ブルキナファソ政府は、PROGEO で採用された手法 (主要アクターに対する能力強化の手法) を活用し、将来的な REFORME の全国普及・定着を図るプロジェクトの実施を要請した。これを受け、JICA では、2015 年 1 月に詳細計画策定調査を実施し、ブルキナファソ側・日本側の合意に基づき、2015 年 9 月から 2018 年 9 月の約 3 年間の予定で、村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ 2 (Le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural 以下「PROGEO II」) を実施している。</p>	

## 1-2 協力内容

本プロジェクトは、REFORME 適用状況・教訓の整理・把握、南部中央州における REFORME の導入、中央プラトー州における REFORME のモニタリング体制・支援体制の構築、これらを踏まえた全国普及用マニュアル・ツールの改訂等を通じて、REFORME 全国展開のための基盤を整備し、全国での給水施設の維持管理の改善を図るものである。

### (1) 上位目標

給水施設の維持管理が全国で改善される。

### (2) プロジェクト目標

PROGEA 第1フェーズで構築した手法を適用した REFORME の全国展開のための基盤が整備される。

### (3) 成果

- 1) 現在の全国における REFORME 適用状況及び他ドナー・NGO の REFORME 適用方法に係る教訓が整理・把握され、第1フェーズで作成されたマニュアルが全国普及用に改訂される。
- 2) 全国普及用マニュアルにより南部中央州に REFORME が導入される。
- 3) 中央プラトー州にて既存のリソースを活用した REFORME のモニタリング体制・支援体制が構築される。
- 4) 南部中央州における試行的導入及び中央プラトー州におけるモニタリングを通じ、全国普及用マニュアル・ツールが最終化され、REFORME 適用に係る手法が公式文書に統合される。
- 5) REFORME 適用化の実施体制が改善される。
- 6) REFORME 全国普及に向けた計画が策定される。

### (4) 投入（評価時点）

日本側：総投入額 約 2.03 億円

長期専門家派遣：0名

機材供与：約 329 万円

短期専門家派遣：5名（28.79MM：2017年2月末時点）

ローカルコスト負担：約 3,200 万円（2017年1月末時点）

研修員受入：計 4名

相手国側：

カウンターパート（Counterpart：C/P）配置：延べ 63名

土地・施設提供：プロジェクト事務所の提供

ローカルコスト負担：C/P 資金として 2016年に 45 百万 FCFA を拠出。2017年に 74 百万 FCFA を計上。その他プロジェクト事務所光熱費を負担。  
（1FCFA=¥0.18：2017年3月 JICA 統制レート）

## 2. 評価調査団の概要

調査者	日本側 総括 小林丈通 案件管理 庄司いずみ	JICA ブルキナファソ事務所 所長 JICA 地球環境部水資源グループ水資源第二チーム 主任調査役/課長補佐
-----	------------------------------	---

	技術アドバイザー 村上敏雄 評価分析 田中恵理香 通訳 平松直子 ブルキナファソ側 KABORE Abel NACOULMA Alain	JICA 地球環境部インハウスコンサルタント グローバルリンクマネジメント株式会社 社会開発部シニア研究員 翻訳センターパイオニア 飲料水総局／計画立案・評価モニタリング局 水理学専門家 調査・セクター統計総局／プロジェクト・プログラム調整局 法律専門家
調査期間	2017年2月27日～3月18日	評価種類：中間レビュー
3. 評価結果の概要		
3-1 実績の確認		
(1) プロジェクト目標		
【指標】		
1 全国普及用 REFORME 適用化マニュアルが国家水委員会 (Comité National de Pilotage du PN-AEP : CNP/PN-AEP) により承認される。		
2 REFORME 適用化の全国展開に関する予算計画を含めた行動計画が策定される。		
【実績】		
中間レビュー時点では、REFORME 適用化マニュアルの承認と REFORME 適用化の行動計画の策定を、プロジェクト期間終了までに完了できる見込みである。REFORME 枠組み文書の改訂がされる場合は、プロジェクト目標達成に影響が出ることも考えられる。		
1. 各成果の活動に若干の遅れが見られるが、プロジェクト終了までには全国普及用 REFORME 適用化マニュアルを完成しようとしている。REFORME 適用化に係るマニュアルとツールは、関係機関で採択された後、適用となる。ただし、REFORME 枠組み文書とツールを再検討するプロセスが開始されており、その方向性に即したマニュアルとする必要があるため、プロジェクトでは、REFORME 再検討の動きを注視しつつ作業を進めている。		
2. 全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの完成後、それに基づいた行動計画を策定する。プロジェクト終了までに完成しようとしている。		
(2) 成果		
成果 1～3 は、活動の進捗に伴い、一部発現しつつある。成果 4～6 は、成果 1～3 の活動結果を踏まえ、プロジェクト期間の後半で本格的に着手する予定である。		
1) 成果 1		
【指標】		
1-1 REFORME 適用に係る成果・教訓が整理・把握される。		
1-2 全国普及用 REFORME 適用化マニュアル・普及用ツール改訂版が作成される。		

### 【実績】

- 1-1 ドナーやNGO関係者からのREFORME適用化に関する成果や教訓について情報収集を実施している。また、プロジェクトで実施のワークショップ等を通じて、成果・教訓を収集している。
- 1-2 REFORME適用化の進捗共有・全国普及用マニュアル検討のため、2016年1月に全国13州局とのワークショップ、2016年3月に全国関係者を集めたワークショップを開催した。これらを通じ、全国普及用REFORME適用化マニュアル・ツール改訂のための課題や提言を含んだワークショップのレポートがまとめられており、REFORME実施に係る全ての関係者の間で共有している。

## 2) 成果2

### 【指標】

- 2-1 南部中央州で選定されたパイロットコミュニティの全ての村落においてAUEが設立される。
- 2-2 南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・AUE間で給水施設維持管理協定が締結され、給水施設維持管理活動が実施される。
- 2-3 南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・ポンプ修理業者間で給水施設保守整備契約が締結され、ポンプ修理業者による保守巡回および修理活動が実施される。
- 2-4 REFORME適用化ワークショップに参加した南部中央州のコミュニティ関係者の8割以上がREFORME適用化理解度テストに合格する。

### 【実績】

- 2-1 南部中央州においては、2015年12月までに、州内全19コミュニティにおいて、他ドナー・NGOの支援により、AUEが設立されていることが確認された。プロジェクトでは、当初は、南部中央州におけるAUEに関する活動はパイロットコミュニティを選定して実施する予定だったが、他ドナー・NGOの支援により全19コミュニティでAUEが設立されたため、AUEを支援する活動は、全19コミュニティで実施することとした。
- 2-2 南部中央州においては、州内の全19コミュニティにおいて、他ドナー・NGOの支援により、AUEが設立され、AUEが負担金の徴収・管理、住民に対する啓発活動、日常の給水施設維持管理活動等を実施している。コミュニティとの間で、給水施設維持管理協定を締結したAUEは、2016年7月時点で、南部中央州19コミュニティで認証されている442のAUEのうち276である。
- 2-3 南部中央州では、中間レビュー時点では、ポンプ修理業者の契約が締結しているコミュニティは全19コミュニティ中4コミュニティである。保守巡回は定期的に行われていない。
- 2-4 南部中央州で3月初旬にコミュニティ関係者のREFORMEに関する理解度評価を実施した。その結果、合格基準（60%以上）に達した研修受講者は、バゼガ県で78.7%、ズンドウェオゴ県では70.2%となっている。ナウリ県は次回の研修で実施する。

### 3) 成果 3

#### 【指標】

- 3-1 中央プラトー州における REFORME 適用化のモニタリング・支援に関する課題が整理される。
- 3-2 中央プラトー州における既存のリソースを活用した REFORME モニタリング・支援体制のメニュー案が抽出される。

#### 【実績】

- 3-1 プロジェクトでは、フェーズ 1 で REFORME 適用化の支援を行い、プロジェクト終了後の状況を確認しつつ、REFORME 実施状況のモニタリング・支援体制を構築しようとしている。フェーズ 1 の終了時には、技術支援ゾーン（Zone d'Appui d'Animation Technique : ZAT）/技術支援ユニット（Unité d'Animation Technique : UAT）の長の協力により、ブルキナファソ関係機関でモニタリングを行う予定だったが、省庁改編により農業省と水衛生省が分かれ、ZAT/UAT の長の協力を得ることができなくなった。中間レビュー時点までに、コミューン・州対象のワークショップやポンプ修理工を対象としたワークショップを開催し、REFORME 適用化のモニタリング・支援に関する課題を抽出した。プロジェクトでは、これら課題に対するアクションの特定を検討しており、より詳細な分析を行う予定である。
- 3-2 中間レビュー時点では、モニタリング・支援体制の課題を抽出している。これまでに抽出された課題を詳細に分析した後に、REFORME モニタリング・支援体制のメニュー案を作成する予定である。

### 4) 成果 4

#### 【指標】

- 4-1 南部中央州及び中央プラトー州における REFORME 適用化に関する成果・教訓が整理される。
- 4-2 全国普及用 REFORME 適用化マニュアルが改訂・最終化される。
- 4-3 最終化されたマニュアルが給水セクター関係者に配布される。
- 4-4 PROGEA 手法を取り入れた REFORME 適用化マニュアルが給水国家計画の中の公式文書として統合される。

#### 【実績】

- 4-1 南部中央州における REFORME の導入（成果 2）と中央プラトー州におけるモニタリング・支援（成果 3）を通じ、適用化の課題を抽出した。引続きさらに詳細な分析を行う予定である。
- 4-2 プロジェクトでは、南部中央州における REFORME の導入（成果 2）と中央プラトー州におけるモニタリング（成果 3）を通じ、マニュアル・ツールの改訂のために変更すべき点を検討している。あわせて他のアクター（ドナー機関、NGO、コミューン、コンサルタント）との意見交換を通じ、REFORME の課題を抽出し、REFORME 枠組

み文書再検討の動きも踏まえつつ、全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの方向性を検討している。

4-3 本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。

4-4 本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。

## 5) 成果 5

### 【指標】

5-1 REFORME 適用化に関する関係者の役割が整理される。

5-2 REFORME 適用化を適切に普及する上で必要な規定のドラフトが策定される。

5-3 REFORME 適用化に関するトレーニングを受講した中央・州局の職員の全員が REFORME 理解度テストに合格する。

5-4 トレーニングを受けた中央・州局職員がコミューン関係者やポンプ修理業者等に対する能力強化活動を開始する。

### 【実績】

5-1 C/P 機関やドナー機関との協議や REFORME ワークショップを通じ、REFORME 適用化に関する関係者の役割について整理を進めている。

5-2 プロジェクトでは、REFORME 適用化に関してブルキナファソ側が進めている規定と関連する文書の策定に参画している。これらの文書とは、給水施設利用に係る水サービス料金と官民連携（Public-Private Partnership : PPP）の戦略・規定、給水・衛生サービスの規定・基準、コミューン行政への事業実施支援（Appui à la Maîtrise d’Ouvrage Communal : AMOC）のロードマップ（REFORME 実施のためのコミューンへの専任技術者の採用・配置）等である。これら規定は既にほぼ全てについて最終化されているが、最終的な公式化、法令としての採択と発布がなされておらず、実効に至っていないため、その進捗プロセスを支援している。

5-3 2016 年 11 月 28 日～12 月 1 日に実施した REFORME 研修の最後に実施した理解度評価では、34 名中 31 名が 60%以上の得点を獲得した。恒常的にプロジェクトで活動している人は理解度が高かった。

5-4 REFORME 適用化文書の再検討を含む給水施設維持管理システムの改良、給水施設維持管理にかかる人材育成・能力強化、モニタリング体制の検討等を実施している。水衛生州局職員らは、コミューン職員、AUE らに対するワークショップで、コミューン・AUE で実施する給水施設の維持管理等の活動に関するアクションプランの作成支援等をしている。

## 6) 成果 6

### 【指標】

6-1 REFORME の全国普及に向けた行動計画が策定される。

6-2 REFORME の全国普及・定着に必要な予算計画が策定される。

## 【実績】

- 6-1 本指標に関する活動は、成果 1～成果 5 の結果を踏まえ、プロジェクト 2017 年後半から実施する。
- 6-2 REFORME 適用化に関する州のアクションプランの最終化がされてから予算計画を策定する。

### 3-2 評価結果の要約

#### (1) 妥当性

以下のような理由により、妥当性は概ね高い。

プロジェクトは、ブルキナファソの水と衛生分野のニーズに合致している。村落部の飲料水へのアクセスは、2016 年 12 月 31 日のデータで 65.3%であり（PN-AEPA 2016 年報）、PN-AEPA の目標値の 76%を下回っている。このため、REFORME を全国に適用し、飲料水へのアクセスを向上することが求められている。水衛生省では REFORME 枠組み文書の再検討を計画しており、関係者の間でも、REFORME 再検討に関する議論がされている。

プロジェクトは、ブルキナファソ国の水と衛生分野の政策と合致している。ブルキナファソ国の水分野の国家計画である PN-AEP（2016-2030）（デンマーク国際開発庁（Danish International Development Agency : DANIDA）の支援により水衛生省が策定）の事業目標で、飲料水へのアクセスの 100%達成を目指している。この目標達成のためには、特に村落地域での AUE による給水施設の持続的管理が挙げられており、施設の管理（REFORME）は、PN-AEP（2016-2030）の中で重視されている。なお、PN-AEP（2016-2030）では、複数の村をまとめて給水する施設と各戸給水の推進に重点が置かれているが、村落部では人力ポンプ井戸が今後も使われていく予定で、水衛生省の関係者によれば、人力ポンプ井戸については、引続き AUE による維持管理を行うということである。

プロジェクトは日本の対ブルキナファソ援助政策と合致している。日本の対ブルキナファソ援助方針では、農業開発、教育の質の向上、域内経済統合の促進の 3 点が重点分野となっており、留意事項として社会の安定への支援が挙げられている。水と衛生に関する協力は、水の安定的供給を通じて農業開発に資するとともに、人々の健康状態の向上につながり社会の安定に通じるものである。

#### (2) 有効性

以下のような理由により、有効性はある程度見込める。

プロジェクトでは、プロジェクト目標の指標である REFORME 適用化マニュアルの承認と REFORME 適用化の行動計画の策定を、プロジェクト期間終了までに完了することを目指している。全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの策定はプロジェクト終了までに完了する予定であり、これが完成すれば、予算計画を含めた行動計画が策定でき、プロジェクト目標が達成される見込みである。ただし、水衛生省では、REFORME の枠組み文書自体の再検討を行う予定でいる。REFORME 枠組み文書の改訂がされる場合は、それに即した REFORME 適用化マニュアルと REFORME 適用化の行動計画の策定を行う必要があり、改訂のスケジュールによっては、プロジェクト目標達成に影響が出ることも考えられる。



成果からプロジェクト目標に至るロジックは、概ね適切である。プロジェクト目標達成に必要なコンポーネントが構成されている。

### (3) 効率性

以下のような理由により、効率性はある程度高い。

活動が遅れているものの、中間レビュー時点で想定していた成果は概ね発現している。しかしながら、REFORME に対するコミュニン等関係者の理解は、ワークショップ等により改善されているものの、まだ十分ではない。

投入、活動から成果に至るロジックは適切である。成果を達成するために十分な活動が計画されている。

ブルキナファソ側、日本側とも、投入は適切に行われている。投入は全て活用されている。ブルキナファソ側は、十分な数の C/P を配置し、2016 年 9 月に飲料水総局 (Direction Général de l'Eau Potable : DGEP) のプロジェクト専属ナショナルコーディネーターを正式に任命した。ブルキナファソ側は、C/P 予算を確保しており、プロジェクトに必要な経費を拠出している。ただし、予算はあるものの、手続きに時間がかかりタイムリーに拠出されないことがある。日本側は、現地事情に通じ専門性の高い専門家を配置している。本邦研修には、REFORME 適用化の推進に重要な役割を果たす水衛生省 (Ministère de l'Eau et de l'Assainissement : MEA) の人材が派遣された。

### (4) インパクト

プロジェクト目標がプロジェクト期間中に達成され、プロジェクト終了後にブルキナファソ側で活動を継続すれば、インパクトは見込める。

上位目標である全国における給水施設維持管理の改善は、ブルキナファソ側による活動が継続されれば達成が可能と見込まれる。給水施設維持管理体制を構築したコミュニンの割合は、MEA の 2016 年 12 月 31 日付のデータで 53.0%<sup>1</sup>である (Bilan Annuel PN-AEPA 2016 2017 年 2 月暫定版よりプロジェクトにて算出)。ただし、上位目標の達成度をはかるには、この指標だけでは不十分であるため、プロジェクトでモニタリング状況を見ながら、さらに検討することが必要である。

プロジェクト目標から上位目標に至るロジックは概ね妥当と言える。ただし、プロジェクトで策定する全国普及用 REFORME 適用化マニュアルを活用してブルキナファソ側が REFORME 推進を全国で実施していくことが不可欠である。

上位目標達成のための外部条件の影響については、中間レビュー時点では、明確に判断できない。PDM (Project Design Matrix) の外部条件以外に上位目標に影響を与える要因として、REFORME 実施のための諸方策 (AMOC ロードマップ等) の整備・実施が適切に行われることが必要である。

波及効果については、中間レビュー時点では明確には報告されていない。負のインパクトも特に報告されていない。

<sup>1</sup> 2017 年 3 月に最終版が発表され、53%から 56.8%に数値が若干上がる結果となった。

## (5) 持続性

以下のような理由により、持続性は中程度である。

政策・制度面での持続性はある程度見込める。現行の PN-AEP (2016-2030) は 2030 年までの政策なので、水と衛生に関する政策は当面変わらない。プロジェクトで策定する予定の REFORME 適用化マニュアルや行動計画は、ブルキナファソ側も公式に承認する予定である。MEA では、REFORME 枠組み文書を再検討する予定であり、その結果を踏まえた REFORME 適用化マニュアルや行動計画の策定を行うことが、政策・制度面の持続性に不可欠になると考えられる。また、PN-AEP (2016-2030) で、水量の多い井戸を活用して各戸給水の割合を増やして人力ポンプの数は増やさない政策が挙げられており、DANIDA、フランス開発庁 (Agence Française de Développement : AFD) 等の援助機関もその政策に即した支援を実施しようとしていることから、AUE に対する政策の動向にも注視する必要がある。

組織面での持続性は中程度である。プロジェクトでは、DGEP—州—コミューンのラインで REFORME の実施支援・関係者の能力強化を行えるよう、C/P の指導者研修 (Training of Trainers : TOT) 等を行っている。専門家によれば、C/P の一部は研修講師として活動する能力を習得しているが、実施体制の構築、関係者の能力とも、さらに強化が必要である。コミューン議会は、2016 年 5 月に新体制が発足したばかりであり、コミューン役所には水と衛生の担当者が着任していない。AUE との給水施設維持管理協定の締結が完了していないところが多く、修理工による巡回保守も行えていないなど、期待された役割をまだ十分に果たしていない。組織面での持続性を高めるには、事業のモニタリング体制を確立することが不可欠であるが、まだ確立されていない。前フェーズで、中央プラトー州における活動を通じてモニタリング体制の構築を図ったが、前フェーズ終了後に機能しなくなった。理由としては、省庁再編により農業省と水衛生省が分かれ、ZAT/UAT の長をモニタリングの現場で活用できなくなったこと、本フェーズ開始後政変があり、コミューン議会が解体され新体制発足までに時間がかかったこと、さらに、ZAT/UR—県—州—中央という報告のシステムも使えなくなったことなどがある。

技術面での持続性は中程度である。C/P 機関では、大幅な組織改編は起こらない見通しであるが、定期的な人事異動はある。人員が変わった際に、引継を行うしくみが確立されていない。コミューン、AUE は、プロジェクトが支援している間は活動を継続できると考えられるが、プロジェクトが終了した時に、自分たちで継続できるかは、不透明である。AUE の活動継続には、コミューンによる技術的支援やモニタリングが必要である。インタビューによれば、ワークショップの参加者は、能力が向上したと感じており、習得した知識・技術を活用しようと努力している。コミューンの職員を研修できるよう、さらに C/P 機関の能力強化を図ることが必要である。供与機材は概ね適切に維持され活用されている。訪問した AUE では、井戸の維持管理を概ね適切に行っていた。AUE の管理する村に存在する井戸のうちいくつかは、AUE が修理工を呼び何度か修理を試みたものの問題解決に至らず、結果、放置されているケースも見られた。

財政面での持続性は、現状ではあまり高くない。MEA、州は、事業を実施していくための予算がある程度配分されている。しかしながら、あまり潤沢とはいえず、また予算の承認は財務省との協議によるため、不透明な面もある。DANIDA、EU 等による財政支援は 2020 年

まで継続の予定であるが、その後は未定である。コミュニティでは、給水施設維持管理の推進をしていくための予算は限られている。AMOCの実施が遅れており、十分な予算が配分されていない。また、コミュニティが徴収すべきAUEからの賦課金を徴収する体制が構築されておらず、その賦課金が徴収されていないため、財源がさらに逼迫している。AUEでは、負担金の徴収を行っており、インタビューした大半のAUEでは、井戸の修理に必要な負担金の徴収はほぼ全ての住民から徴収できており、井戸の修理に活用されていた。

### 3-3 効果発現に貢献した要因

#### (1) 計画内容に関すること

- ・ REFORME適用化がブルキナファソ国の水・衛生分野の重要課題であり、政府やドナーが一致して取り組んでいる。
- ・ 前フェーズ終了後、今フェーズが始まるまでに時間を設けたことで、今フェーズで取り組む課題が明確になり、より適切なプロジェクトを計画することができた。

#### (2) 実施プロセスに関すること

- ・ 専門家とC/Pのコミュニケーションがよい。

### 3-4 問題点及び問題を惹起した要因

#### (1) 計画内容に関すること

- ・ REFORMEの枠組み文書の再検討の動きがあり、この動きを見つつマニュアル・ツールを策定する必要があることから、進捗が影響を受けている。

#### (2) 実施プロセスに関すること

- ・ プロジェクト開始直後に起こった社会政治的変化（2015年9月のクーデター、コミュニティ議会の解体）、2016年1月のテロ事件やそれに続く組織改編により、進捗が当初予定より若干遅れている。
- ・ 水と衛生分野に関するコミュニティ行政を促進するロードマップであるAMOCが、2015年の政変により中間レビュー時点で閣議で採択されていないため、コミュニティに人員や財源が十分に配分されていないことにより、プロジェクトで想定していたコミュニティレベルの活動が一部困難になっている。

### 3-5 結論

プロジェクトは、開始直後に、社会政治的変化や治安の悪化があり、進捗が予定よりやや遅れているものの、当初計画していた活動を順次進めている。

ブルキナファソ国のニーズと政策、日本側の政策と合致しており、妥当性は概ね高い。ただし、REFORMEの再検討が進められており、その方向性とプロジェクトが整合性あるよう配慮しつつプロジェクト活動を実施する必要がある。活動が順調に進めばプロジェクト目標は達成できる見込みである。投入は適切に実施されており、成果も中間レビュー時点で想定していたものはある程度発現していることから、効率性はある程度高い。プロジェクト目標が達成され、プロジェクト終了後にブルキナファソ側で活動を継続すれば、インパクトは見込める。ただし、REFORME枠組み文書の再検討の動向、REFORME適用化実施の予算化、AMOCロードマップ

の実施の進捗状況等の外部条件に留意する必要がある。持続性は、政策・制度面、組織面、技術面、財政面で課題があり中程度である。

上記のとおり、いくつか課題が見られるため、今後の活動で取組んでいくことが望まれる。また、REFORME の動向を注視し、再検討作業に参画しつつそれに対する対策をとることが望ましい。

### 3-6 提言

- ① プロジェクト開始直後の状況と、REFORME のキーマンであるコミューン議会の設置に時間がかかったことから、プロジェクト目標を達成するため、ブルキナファソ側は、プロジェクトの延長を提案した。そのために、ブルキナファソ政府は、REFORME 実施に必要な条件、特に REFORME 枠組み文書とツールの再検討の結果の確定と AMOC ロードマップの実効的な実施にコミットしなければならない。これらの条件が整った後、プロジェクトは PO (Plan of Operation) の見直しを行うこととする。
- ② プロジェクトは、REFORME 枠組み文書再検討の動向を注視しつつ、REFORME 再検討に関する情報を MEA とプロジェクトの間で共有し、再検討の議論に参画することが不可欠である。「飲料水供給国家計画」(PN-AEP: 2016-2030) において、新しい戦略として、水量の多い井戸を使いつつレベル 2 の管路給水の割合を増やして人力ポンプの数を徐々に減らす政策となっており、DANIDA、AFD 等の援助機関もその政策に即した支援を実施しようとしている。プロジェクトでは、こうした政策にも配慮して、REFORME の全国展開を計画することが必要である。
- ③ コミューンでは、人員や予算が不足しているが、AMOC ロードマップでは、水と衛生の担当者を配置することが計画されている。プロジェクトでは、AMOC 実施の進捗を注視しつつ活動を進めていくことが必要である。
- ④ REFORME 実施に関しては、プロジェクトで REFORME 枠組み文書に則った活動を計画している。今次中間レビューを通じ、関係者の間では、規定通りに実施されていないケースが見られた。これは、コミューンが水セクターに関する責任を果たす体制が十分に機能していないことが大きな要因と考えられる。REFORME 再検討の後、現状の REFORME 枠組み文書に大きな変更が行われない場合は、コミューンの支援体制を確立しつつ、段階的に REFORME を実施することが効果的と考えられる。
- ⑤ 前フェーズで構築しようとしていた ZAT/UAT を活用した REFORME 実施のモニタリング・支援のしくみは、2013 年の組織改編により、水と農業担当の省庁が分かれたため、プロジェクトで、モニタリング・支援のしくみを構築することが必要である。MEA がコミューンと AUE、修理工の業務をモニタリング・支援するしくみを構築することが肝要である。中央プラトー州の活動を通じて REFORME 実施のモニタリング・支援体制を早急に構築し、そのしくみが機能するかを検証し、調整したうえで、全国レベルで適用できる REFORME モニタリング・支援のしくみを可能な限り早く構築する。
- ⑥ プロジェクトでは、REFORME の各アクター (コミューン、AUE、修理工) が REFORME 実施によりイニシアティブを持つよう、ワークショップを通じ一層取組んでいく。
- ⑦ AUE の努力では修理が不可能なため放置されている井戸が散見される。これは、REFORME

枠組み文書で規定されている大規模修復の必要な井戸のリハビリの責任者が、その役割を十分に果たすのが困難になっているためと考えられる。本プロジェクトの中で給水施設（人力ポンプ井戸）のリハビリを実施することが計画されている。その過程で得られた人力ポンプ井戸の大規模修復に関する責任区分の規定の情報や、対象井戸選定のクライテリア・優先付け等の経験を、プロジェクトで策定する REFORME 適用化マニュアルの中に取り入れることが望まれる。

⑧ プロジェクトでの実際の活動に合わせ、若干の PDM の改訂を行う。

### 3-7 教訓

先方政府の特定の政策がプロジェクトの枠組みを規定しているプロジェクトの場合、同政策の見直しの動きが出てきた場合に対応する必要がある。また、同政策の妥当性が問われる事態になった場合に外部条件として静観するのではなく、プロジェクトは積極的に見直しのための材料を提供し、議論に参画するべきと考えられる。

## Summary of Mid-term Review

<b>I. Outline of the Project</b>	
<b>Country</b> : Burkina Faso	<b>Project Title</b> : Project for enhancement of water supply infrastructure management and hygiene and sanitation in rural areas Phase II (PROGEA II)
<b>Sector</b> : Water Resources Management	<b>Cooperation Scheme</b> : Technical Cooperation Project
<b>Department in Charge</b> : Global Environmental Department	<b>Cooperation Amount</b> (At the time of evaluation) : Approximately 203million yen (1US\$=¥112.2 as of March, 2017, JICA official rate)
<b>Cooperation Duration</b> : September 2015 – September 2018	<b>Counterpart Organizations</b> : DGEP (General Direction of Potable Water), MEA (Ministry of Water and Sanitation) DREA (Regional Directorate in charge of water supply of Central Plateau and Central South) *English translation from official French name
	<b>Relevant Japanese Organizations</b> : Earth and Human Corporation, Japan Techno Co., Ltd.
	<b>Relevant Assistances</b> : Project for potable water supply in Regions of Central Plateau and Central South (Phase 2: 2013-2016)
<b>1-1 Background and Outline of the Project</b>	
<p>In 2000, the Government of Burkina Faso adopted “Reform of management system of infrastructure for water and sanitation in rural and semi-rural area (REFORME)” to realize sustainable operation and management of water supply facilities and since then the government has promoted nation-wide application of REFORME in collaboration with development partners, including NGOs. The government implemented the Project for enhancement of water supply infrastructure management and hygiene and sanitation in the Regions of Central Plateau (PROGEA)” supported by JICA from June 2009 to May 2013. By the contribution of PROGEA, Water Users Associations (AUE, abbreviation from original French) have been established in 563 villages out of 565 in the Region of Central Plateau. Furthermore, capacity building for communes and manual pump repairers was implemented in order to support management and maintenance of water supply facilities by AUE. Through these activities, the application of REFORME in the Region of Central Plateau has been promoted. On the other hand, at the national level, although certain improvement has been observed after the formulation of the national programme on potable water and sanitation toward 2015 (PN-AEPA 2006–2015), further efforts will be indispensable in order to strengthen the sustainable operation and maintenance system and narrow the gap among Regions. With this backdrop, the Burkinabe government requested a project to contribute to disseminate and enhance REFORME nation-wide. Consequently, JICA implemented the Detailed Planning Survey in January 2015 and, based on the agreement between Burkinabe and Japanese sides, the Project for Enhancement of Water Supply Infrastructure Management and Hygiene and Sanitation in the Regions of Central Plateau and Central South (PROGEA II) was started in September 2015 with planned period of three years (until September 2018).</p>	
<b>1-2 Contents of Cooperation</b>	
<p>The Project is implemented to establish the basis for dissemination of REROME at nation-wide level, through reviewing the current situation of dissemination and lessons learned of REFORME, introduction of REFORME in the Region of Central South, establishment of monitoring and supporting systems for REFORME in the Region of Central Plateau, and revision of manuals and tools for nation-wide dissemination of REFORME, thus, to contribute to the improvement of management and maintenance of the water supply facilities at nation-wide level.</p>	

<p>(1) Overall Goal: To contribute to the improvement of management and maintenance of the water supply facilities at nation-wide level</p> <p>(2) Project Purpose: To establish the basis for dissemination of REFORME at nation-wide level by using the method of PROGEA I</p> <p>(3) Outputs :</p> <p>Output 1: Manuals prepared through the PROGEA I will be modified after reviewing the current situation of dissemination of the REFORME at nation-wide, as well as the lessons learned of implementation of the REFORME by the other donors and NGOs.</p> <p>Output 2: The REFORME is introduced into the Region of Central South by means of the modified manuals for nation-wide dissemination.</p> <p>Output 3: Monitoring and supporting systems for implementing the REFORME using existing resources are established in the region of Central Plateau.</p> <p>Output 4: The manuals and tools for nation-wide dissemination of the REFORME are finalized, through experimental introduction into the region of Central South and monitoring in the region of Central Plateau, and the methodology for implementation of the REFORME is integrated into the official documents.</p> <p>Output 5: Implementation structure for application of the REFORME is improved.</p> <p>Output 6: Planning on nation-wide dissemination of the REFORME is realized</p> <p>(4) Inputs</p> <p>Japanese side: Total cost approximately 203 million yen  Equipment: 3.29 million yen;  Long-term Expert: 0; Short-term Expert: 5 (28.79 MM, as of 28 February 2017)  Trainees received: 4; Local Cost: 32.0 million yen (as of 31 January 2017)</p> <p>Burkinabe side  Counterpart: 63 (cumulative total of those regularly involved in the Project);  Office space for the Project; Project office at DGEP, including utility cost  Cost for project: C/P fund of 45 million FCFA was disbursed in 2016. C/P fund of 74 million FCFA is planned in 2017.  (1 FCFA=0.18 yen, JICA official rate in March 2017)</p>		
<b>II. Evaluation Team</b>		
<b>Members of Evaluation Team</b>	Japanese side	
	1. Mr. Takemichi KOBAYASHI Resident Representative, JICA Burkina Faso 2. Ms. Izumi SHOJI Deputy Director, Water Resources Team 2, Water Resources Group, Global Environment Department, JICA 3. Mr. Toshio MURAKAMI In-house Technical Consultant, Water Resources Group, Global Environment Department, JICA 4. Ms. Erika TANAKA Senior Researcher, Global Link Management, Inc. 5. Ms. Naoko HIRAMATSU Interpreter, Translation Centre Pioneer	
	Burkinabe side	
	1. Mr. Abel KABORE Hydrologist, Direction of Programme and Follow-up/Evaluation, DGEP, MEA 2. Mr. Alain NACOULMA Jurist, Direction of Coordination of Projects and Programmes, General Direction of Sectoral Study and Statistics, MEA	
<b>Period of Evaluation</b>	27 February 2017 – 18 March 2017	<b>Type of Evaluation</b> : Mid-term review
<b>III. Evaluation</b>		
<b>3-1 Project Performance</b>		
(1) Project Purpose		

**Project Purpose: To establish the basis for dissemination of REFORME at nation-wide level by using the method of PROGEA I**

(Indicator)

- 1) The manuals for dissemination of the REFORME at nation-wide are validated by the National Steering Committee (CNP/PN-AEP).
- 2) Action Plan including budgetary allocation plan for disseminating the REFORME at nation-wide is Formulated.

(Achievement)

At the time of the Mid-term review, it is likely that the manuals for dissemination of the REFORME will be validated by the National Steering Committee and that the Action Plan for disseminating the REFORME at nation-wide will be formulated by the end of the Project. If the framework document of REFORME is revised, the achievement of the Project Purpose may be affected.

- 1) Although activities related to each Output are somewhat delayed, the Project is planning to complete the manuals for dissemination of the REFORME nation-wide by the end of the project period. The manuals and tools for dissemination of the REFORME at nation-wide will be applied after being adopted by the organizations concerned. The review process of the framework document of REFORME is taking place, consequently, the Project is carrying out works related to manuals and tools, taking the review process into consideration so that the manuals are consistent with the review orientation.
- 2) The Project is planning to formulate the Action Plan after the completion of the manuals for dissemination of the REFORME nation-wide so that the Action Plan is consistent with the manuals. This will be completed by the end of the Project.

(2) Output

Outputs 1 to 3 are being produced with the progress of the activities. Activities related to Outputs 4 to 6 will be launched in full scale in the latter half of the project period based on the results of the Outputs 1 to 3.

**Output 1: Manuals prepared through the PROGEA I will be modified after reviewing the current situation of dissemination of the REFORME at nation-wide, as well as the lessons learned of implementation of the REFORME by the other donors and NGOs.**

(Indicator)

- 1-1) The results obtained and lessons learned through implementing the REFORME are identified and analyzed.
- 1-2) Manuals and tools for disseminating the REFORME at nation-wide are modified.

(Achievement)

- 1-1) The Project is collecting information on the results and lessons learned about dissemination of REFORME through development partners including NGOs as well as through workshops provided by the Project.
- 1-2) In order to share the progress of dissemination of REFORME and as a part of the formulation process of the manuals for dissemination of the REFORME, a workshop among 13 Regions nation-wide was held in January 2016 and another workshop was organized in March 2016 for those concerned to REFORME. Through these workshops, workshop reports containing issues and recommendations on the revision of manuals and tools have been compiled and shared among all the related parties.

**Output 2: The REFORME is introduced into the Region of Central South by means of the modified manuals for nation-wide dissemination.**

(Indicator)

- 2-1) AUEs are established in all villages of selected pilot communes in the region of Central South.
- 2-2) Agreement on management and maintenance for water supply facilities is signed between all pilot communes and AUEs in the region of Central South.



2-3) The Contract on regular monitoring and maintenance for water supply facilities is signed between all pilot communes and pump Repairers in the region of Central South, and repair and maintenance services are provided by pump Repairers.

2-4) More than 80% of communes' concerned actors who participated in the introduction workshop are admitted to the comprehensive examination on the application of the REFORME.

(Achievement)

2-1) In the Region of Central South, it is confirmed that AUE was established by the end of December 2015 in all the 19 communes with the assistance of other donor agencies and NGOs. At first, the Project was planning to implement activities for AUE in the selected pilot communes in the Region of Central South. However, given the fact that AUE had been already established in all the 19 communes, the Project decided to implement activities to support AUE in all the 19 communes.

2-2) In all the 19 communes in the Region of Central South, AUE has been established by the assistance of other donor agencies and NGOs and AUEs are implementing activities such as collection and management of fee and sensitization for community people as well as daily maintenance and management of water supply facilities. Out of 442 AUEs recognized in 19 communes in the Region of Central South, 276 AUEs have signed agreement on management and maintenance for water supply facilities with the commune (as of July 2016).

2-3) In the Region of Central South, 4 communes out of 19 have signed the Contract with pump repairers. Regular repair and maintenance services are not provided.

2-4) In the Region of Central South, comprehension examination was given to commune officials in the beginning of March. The rate of participants who obtained pass mark (60% or more) is 78.7% in the Province of Bazéga and 70.2% in the Province of Zoundwéogo, respectively. The comprehension examination will be provided in the Province of Nahouri at the next workshop.

**Output 3: Monitoring and supporting systems for implementing the REFORME using existing resources are established in the region of Central Plateau.**

(Indicator)

3-1) The lessons learned on REFORME application to the region of Central Plateau are identified and analyzed.

3-2) The draft of the menu on the systems of the monitoring and support to the application of the REFORME using existing resources is formulated in the region of Central Plateau.

(Achievement)

3-1) The Project (PROGEA) supported dissemination of REFORME in the previous phase. In this phase, the Project is planning to establish monitoring and supporting systems, examining the situation after the end of the previous phase. At the completion of phase 1, it was planned that Burkinabe related organizations would conduct monitoring in collaboration with the chiefs of Technical Assistance Zone (ZAT)-Technical Assistance Unit (UAT), under the administration of agricultural sector. However, collaboration with the chiefs of ZAT/UAT became unavailable because the Ministry of Agriculture was separated from the Ministry of Water and Sanitation due to organizational reform. With this situation, the Project has been collecting issues on monitoring and support for REFORME dissemination through workshops for officials of communes and regions as well as pump repairers. The Project is currently trying to identify actions against these issues and planning to conduct more detailed analysis.

3-2) At the time of the Mid-term review, issues on monitoring and supporting systems are being collected. After detailed analysis of the issues presented, the Project is planning to formulate the draft of menu on the monitoring and supporting systems of REFORME.

**Output 4: The manuals and tools for nation-wide dissemination of the REFORME are finalized, through experimental introduction into the region of Central South and monitoring in the region of Central Plateau, and the methodology for**

**implementation of the REFORME is integrated into the official documents.**

(Indicator)

- 4-1) The results obtained and lessons learned through the implementation of the REFORME in the regions of Central South and Central Plateau are analyzed.
- 4-2) The manuals for disseminating the REFORME at nation-wide are modified and finalized.
- 4-3) The finalized manuals are distributed to all relevant stakeholders in the water supply sector.
- 4-4) The manuals using the PROGEA method for the application of the REFORME are integrated into the official document of the PN-AEP.

(Achievement)

- 4-1) Through introduction of REFORME in the Region of Central South (Output 2) and monitoring and supporting in the Region of Central Plateau (Output 3), the issues on dissemination of REFORME have been collected. The Project is planning to continuously conduct detailed analysis.
- 4-2) Through introduction of REFORME in the Region of Central South (Output 2) and monitoring and supporting in the Region of Central Plateau (Output 3), the Project is examining topics to be modified for the revised manuals and tools. At the same time, the Project is collecting issues on REFORME and examining the approach of manuals for dissemination of REFORME at nation-wide level, through exchanging opinions with other actors such as donor agencies, NGOs, communes, and consultants.
- 4-3) The activity related to this Indicator is planned to be implemented after the completion of the manual above mentioned.
- 4-4) The activity related to this Indicator is planned to be implemented after the completion of the manual above mentioned.

**Output 5: Implementation structure for application of the REFORME is improved.**

(Indicator)

- 5-1) The roles of the stakeholders of the REFORME are determined.
- 5-2) Formulation of draft on regulatory provisions for dissemination of the REFORME is started.
- 5-3) All central and regional governmental staff participated in the training are admitted to the comprehensive examination on application of the REFORME.
- 5-4) Central and regional governmental staff participated in the training start to conduct the activities for enhancing capacity of Commune staff, and pump Repairers and so on.

(Achievement)

- 5-1) The Project is examining roles of parties concerned to dissemination of REFORME through discussion with related C/P organizations and donor agencies as well as workshops on REFORME.
- 5-2) The Project participate in the formulation of regulations and related documents on dissemination of REFORME promoted by the Burkinabe side. These documents include strategies and regulations on water service charge for the use of water supply facilities and public and private partnership as well as the roadmap for Assistance for Commune Governance (AMOC) stipulating recruiting and allocation of technical personnel to commune for dissemination of REFORME. These documents are almost finalized but not officially adopted and promulgated, consequently, not effective yet. Therefore, the Project is facilitating the process.
- 5-3) In the comprehension examination conducted at the end of REFORME workshop held from 28 November to 1 December 2016, 31 participants out of 34 obtained 60% of full mark or more. Those who are constantly involved in the Project recorded relatively high marks.
- 5-4) The Project is implementing activities including improvement of the management and maintenance system of water supply facilities, capacity development of human resources involving management and maintenance of water supply facilities, and examination of monitoring and supporting systems. Officials at DREA are supporting development of action plan on activities such as management and maintenance of water supply facilities to be conducted by communes and AUEs on the occasion of workshops for commune officials and

AUE members.

### **Output 6: Planning on nation-wide dissemination of the REFORME is realized**

(Indicator)

6-1) Action Plan for disseminating the REFORME at nation-wide is formulated.

6-2) Budgetary plan necessary for the dissemination and stabilization of the REFORME at nation-wide is formulated.

(Achievement)

6-1) The activities related to this Indicator will be launched in the latter half of 2017, based on the results of the Outputs 1 to 5.

6-2) Budgetary plan is planned to be formulated after the regional action plan on dissemination of REFORME is finalized.

### **3-2 Summary of Evaluation Results**

#### **(1) Relevance**

Relevance of the Project is high in general.

The Project is consistent with the needs of water and sanitation in Burkina Faso. According to the 2016 annual report of the national plan of potable water and sanitation (PN-AEPA), the access rate to potable water in rural area is 65.3% (as of 31 December 2016), below the PN-AEPA target, 76%. It is required that REFORME be applied nation-wide to improve the access to potable water. Currently MEA is planning to review the framework document of REFORME, while discussions are going on among those concerned to REFORME.

The Project is consistent with the policy in water and sanitation in Burkina Faso. According to the national plan of potable water supply (PN-AEP 2016-2030) formulated by MEA with support by Danish International Development Agency (DANIDA), one of the operational objectives is the universal access to potable water. To achieve the objective, REFORME is mentioned important to facilitate AUE's sustainable management of water supply facilities in rural area. Although PN-AEP (2016-2030) focuses on the promotion of multi-village water supply facilities and private connection of water supply, water supply facilities with manual pump will be continuously used and manual pump water supply facilities will be managed by AUE, according to officials at MEA.

The Project is also consistent with the Japanese Official Development Assistance (ODA) policy toward Burkina Faso. In the Japanese ODA policy, priority areas are agriculture development, education quality improvement, and regional economy integration. In addition, assistance toward social stability is mentioned as special remarks. Assistance in the area of water and sanitation is to contribute to agricultural development through stable water supply as well as to improvement of human health and social stability.

#### **(2) Effectiveness**

Effectiveness is high to some extent.

In the Project, it is aimed to complete validation of manuals for nation-wide dissemination of the REFORME and formulation of Action Plan by the end of the project period. The formulation of manuals for nation-wide dissemination of REFORME may be completed by the end of the Project and, after the completion of the manual, the Action Plan including budgetary plan must be formulated, which means the achievement of the Project Purpose. It should be noted, however, that MEA is planning to review the framework document of REFORME. If the framework document of REFORME is revised, it is necessary to formulate manuals and Action Plan for nation-wide dissemination of REFORME in accordance with the revision. It is possible that the revision schedule may affect the achievement of the Project Purpose.

Logical flow from Output to the Project Purpose is appropriate in general. Necessary components to achieve the Project Purpose are incorporated in the project design.

#### **(3) Efficiency**

Efficiency is high to some extent.

Although activities are being implemented with some delay, outputs are being produced as was planned at the time of the Mid-term review. Those concerned to the Project including commune officials improved their understanding toward REFORME through workshops but not to the sufficient level yet.

The logical flow from input and activity to output is appropriate. Sufficient activities are planned to achieve outputs.

Inputs by both Burkinabe and Japanese sides are appropriately implemented and inputs are properly utilized. The Burkinabe side allocated sufficient number of C/P personnel and appointed one DGEP official as the national coordinator dedicated to the Project in September 2016. The Burkinabe side has secured necessary budget to finance the Project and has been providing the project cost. Even though the budget is allocated, it often takes a long time to implement the procedure of its disbursement and the budget is not always supplied timely. The Japanese side allocates Experts who are familiar with the local situations. C/P training in Japan was provided for MEA officials who play an important role in the promotion of REFORME.

#### (4) Impact

Impact is expected if the Project Purpose is achieved by the end of the Project and activities are continued by the Burkinabe side after the project completion.

The Overall Goal, nation-wide improvement of management and maintenance of the water supply facilities, is expected to be achieved if the activities are continuously implemented by the Burkinabe side. The rate of communes that established the management and maintenance systems for water supply facilities is 53.0% (as of 31 December 2016, data calculated by the Project based on the 2016 PN-AEPA annual report, provisional version in February 2017)<sup>2</sup>. It should be noted however, that the achievement of the Overall Goal cannot be measured only by the current Indicator. To precisely measure the achievement of the Overall Goal, it is necessary that the Project should further consider the appropriate indicator of the Overall Goal, while paying attention to the progress of the achievement based on the monitoring results.

The logical flow from the Project Purpose to the Overall Goal is generally appropriate. It is essential that the Burkinabe side should promote REFORME at nation-wide level utilizing the manuals for nation-wide dissemination of REFORME to be formulated by the Project.

At the time of the Mid-term review, it is impossible to tell the influence of the Important Assumptions to achieve the Overall Goal. In addition to the Important Assumptions described in PDM, it is necessary to appropriately consolidate and implement several measures to apply REFORME including AMOC roadmap.

There are not clear impact other than those described in PDM at the time of the Mid-term review. No negative impacts were reported so far.

#### (5) Sustainability

Sustainability is medium.

Sustainability in policy and institutional aspect can be expected to some extent. The national plan, PN-AEP (2016-2030), covers the period up to 2030, which means that the policy in water and sanitation will not change in near future. The manuals/tools and the Action Plan for dissemination of REFORME to be formulated by the Project are planned to be officially approved by the Burkinabe government. MEA is planning to review the framework document of REFORME, therefore, it is essential for policy and institutional sustainability to develop the manuals and Action Plan for dissemination of REFORME based on the results of the reviewing. The national plan, PN-AEP (2016-2030), presents a policy to increase the rate of private connection through water facilities with abundant water volume, instead of increasing manual pump water facilities, and other development partners such as DANIDA and Agence Française de Développement (AFD), are planning to implement support in accordance with the above policy. It is necessary to pay attention to the direction of policy on AUE.

<sup>2</sup> In the final version of the Report released in March 2017, the rate is 56.8%, up from the provisional rate.

Organizational sustainability is medium. The Project is providing Training of Trainers (TOT) for C/Ps so that C/P organizations will be able to implement dissemination of REFORME and capacity development of those concerned under the system with structural levels, DGEP- Regions - communes. According to the interview with Experts, a part of C/P personnel have already acquired ability as trainer but further efforts are necessary to establish the implementation system and to enhance capacity of personnel. The new administration of commune council was launched only in May 2016 and the person in charge of water and sanitation has not been allocated to commune office. At the majority of communes, the agreement on management and maintenance of water supply facilities has not been signed and repair and maintenance services have not been provided either. These facts show that communes have not been playing their expected roles. To enhance organizational sustainability, it is necessary to establish monitoring system but the monitoring system has not been functioning yet. In the previous phase, monitoring system was once established through pilot activities in the Region of Central Plateau, but the system stopped functioning after the completion of the previous phase. The major reason is that the Ministry of Agriculture was separated from the ministry of water sector due to organizational reform. Consequently, collaboration of the chiefs of ZAT/UAT became unavailable for monitoring. In addition, there occurred a political coup just after the start of the Project. As a result, commune councils were dissolved and it took a long time to get the new council started. Furthermore, the reporting system through ZAT/URT, province, and region, to national level is not functioning any more.

Sustainability in technical aspect is medium. Although it is not likely that the C/P organizations would have large scale organizational reform, regular staff turnover takes place. There are not established procedures to hand over duties when staff turnover occurs. It is considered that communes and AUEs will implement activities during the project period but it is not certain whether they can continuously implement activities on their own. In order for AUE to continuously perform activities, technical support and monitoring by commune will be necessary. According to interview with the workshop participants, they think that their capacities have been improved and are trying to utilize the acquired knowledge and skills. It is necessary to further develop capacity of C/P organizations at DGEP and DREA so that they can train commune personnel. Supplied equipment has been properly maintained in general. The AUEs interviewed during the Mid-term review perform maintenance and management of water supply facilities appropriately in general. Some of water points within the area of some AUEs have not been repaired even after repairer tried several times, and thus abandoned.

Financial sustainability is not very high at the Mid-term review. At MEA and DREA, a certain amount of budget is allocated to implement activities but the budget is not abundant. The approval of budget depends on the discussions with the Ministry of Finance and, therefore, sometimes unpredictable. The budget support by DANIDA, EU and other agencies will continue until 2020 but the plan after that is not yet clear. At commune the budget to promote maintenance and management of water supply facilities is limited. The delayed implementation of AMOC has caused insufficient allocation of budget. In addition, the system in which communes collect the fee from AUE has not been established and the fee is not collected, resulting in even fragile financial basis. AUEs are collecting fee among community people. At AUE visited during the Mid-term review, fee necessary for water point repair was collected from almost all the residents and was properly utilized.

### **3-3 Factors Promoting Better Sustainability and Impact**

#### **(1) Factors Concerning to Planning**

- The application of REFORME is the priority issue in water and sanitation in Burkina Faso and the government and development partners are making efforts in collaboration.
- The Project was started about one year and half after the completion of the previous phase. With the period after the previous phase, issues to be focused in this phase were clearly identified and appropriate project plan of this phase was formulated.

(2) Factors Concerning to Implementation Process

- Communications between Japanese Experts and Burkinabe C/Ps are good.

### **3-4 Factors Inhibiting Better Sustainability and Impact**

(1) Factors Concerning to Planning

- The framework document of REFORME is planned to be review among concerned agencies. The reviewing process may affect the project progress as it is necessary to examine the reviewing process to formulate manuals and tools.

(2) Factors Concerning to Implementation Process

- The progress of the Project is somewhat delayed due to social and political change which occurred just after the project started (the coup d'état in September 2015 and the dissolution of commune council) as well as the terrorist attack in January 2016 and the organizational reform after the incident.
- AMOC, which is the roadmap to promote commune administration in water and sanitation sector, has not been adopted by the ministerial council at the time of the Mid-term review because of the political coup in 2015. Consequently, sufficient budget and personnel has not been allocated to communes. This makes it difficult to implement a part of activities planned by the Project at commune level.

### **3-5 Conclusion**

The project progress is somewhat delayed because of the social and political change and security issues, however, the Project is implementing activities gradually.

The Project is consistent with the development needs and policy of Burkina Faso as well as the development policy of Japan and relevance is high in general. It should be noted, however, that the reviewing of the framework document of REFORME is planned to take place, therefore, it is necessary to implement project activities in accordance with the review progress. If the activities are implemented as planned, the Project Purpose is likely to be achieved. Inputs are appropriately implemented and outputs expected at the time of the Mid-term review are being produced, therefore, efficiency is high to some extent. If the Project Purpose is achieved and the activities are continuously implemented by the Burkinabe side, impact can be expected. It is necessary, however, to pay attention to several important assumptions, for example, the review progress of the REFORME framework document, budgeting of REFORME dissemination, and progress of implementation of AMOC roadmap. Sustainability is medium because there are certain issues in policy/institutional, organizational, technical and financial aspects.

It is desirable that the Project address the issues pointed out above. It is expected that the Project pay attention to the progress of REFORME and its review process and take necessary measures.

### **3-6 Recommendations**

- (1) As the Project was faced with difficult situation just after the start of the Project and it took time to establish commune council, the key actor of REFORME, the Burkinabe side presented suggestion to extend the project period to achieve the Project Purpose. As to this matter, the Burkinabe government should be committed to confirm conditions necessary to implement REFORME, especially the results of reviewing of the framework document and tools for REFORME as well as effective implementation of AMOC roadmap. Once these conditions are met, the Project should review the Plan of Operation.
- (2) The Project should participate in the discussions of reviewing REFORME framework document, with paying attention to the review progress, and sharing the information with MEA. The document of PN-AEP (2016-2030) describes the new policy to increase the rate of level 2 pipeline water supply using water points with abundant water volume while reducing the number of manual pump water supply facility. Development partners such as DANIDA and AFD are planning to implement support in line with this policy. The Project should formulate a plan to disseminate REFORME nation-wide, taking this policy into account.

- (3) The budget and personnel allocated to communes is not sufficient while AMOC stipulates that personnel in charge of water and sanitation be assigned to communes. It is necessary that the Project implement activities with attention to the progress of AMOC implementation.
- (4) As to the implementation of REFORME, the Project is planning to implement activities in accordance with the REFORME framework document. Nevertheless, it is found out during the Mid-term review, that activities are not being conducted as stipulated in the regulations. This can be mainly attributed to the ineffective function of the communes in water sector. If the current REFORME framework document is not substantially revised after reviewing, it is considered effective to implement REFORME step by step while establishing the system to support REFORME at commune level.
- (5) In the previous phase, it was supposed that monitoring and supporting system of REFORME in collaboration with the chiefs of ZAT/UAT be established. However, with the organizational reform, the Ministry of Agriculture was separated from the ministry in charge of water sector. Therefore, the Project should reconstruct the monitoring and supporting system. It is important to establish a system where MEA implements monitoring and supporting for communes, AUEs, and repairers. First, through the activities in the Region of Central Plateau, the Project should establish the monitoring and supporting system to disseminate REFORME as soon as possible, then, after testing and coordinating so that the system properly functions, the Project should establish the monitoring and supporting systems to be applied nation-wide.
- (6) Through the workshop, the Project should make further efforts so that each actor of REFORME (commune AUE, repairer) will take more initiative towards REFORME.
- (7) There are several water points that are abandoned as they cannot be repaired despite the efforts of AUE. This is partly because the party responsible for large scale repair prescribed in the REFORME framework document has difficulties in fully implementing their duty. In the Project, rehabilitation of water supply facilities (manual pump water supply facility) is planned. It is desirable that the REFORME dissemination manuals incorporate the experiences obtained through the rehabilitation process including information on regulations on responsibility of large scale rehabilitation, criteria of selection and prioritization of target water supply facilities.
- (8) PDM should be revised in accordance with the progress of actual project activities.

### **3-7 Lessons Learned**

- (1) In case project framework directly depends on a particular policy of the counterpart government, it is necessary to take appropriate measures if the policy's revision is under discussion. Furthermore, when the relevance of the policy itself is questioned, the Project should actively participate in the revision process, providing information in regard to the revision, instead of just watching the situation as external conditions.

## 第1章 中間レビュー調査の概要

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的背景

JICA はブルキナファソ政府と共に、2015年9月から2018年9月の予定で、「地方給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ2」(Le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d’approvisionnement en eau potable et de promotion de l’hygiène et de l’assainissement en milieu rural 以下「PROGEA II」または「プロジェクト」)を実施している。JICA とブルキナファソ政府はプロジェクト開始後約1年半を経過した時点で中間レビューを実施した。

中間レビューの目的は、以下の通りである。

- (1) プロジェクトのプロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix : PDM) と活動計画 (Plan of Operation : PO) に基づき、投入、活動、実施プロセスに関する実績を確認する
- (2) 成果、プロジェクト目標、上位目標の達成度の評価を行う
- (3) 評価5項目 (妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性) による本プロジェクトの全体的な効果の分析と評価を行う
- (4) 評価結果を基にしたプロジェクトに対する提言と類似のプロジェクトのための教訓を導出する

### 1-2 調査団の構成と調査期間

中間レビュー調査団は、以下の通りである。

JICA 中間レビュー調査団メンバー

名前	役職	担当
小林 丈通	JICA ブルキナファソ事務所 所長	総括
庄司 いずみ	JICA 地球環境部水資源グループ 水資源第二チーム主任調査役/課長補佐	案件管理
村上 敏雄	JICA 地球環境部 インハウスコンサルタント	技術アドバイザー
田中 恵理香	グローバルリンクマネジメント株式会社 シニア研究員	評価分析
平松 直子	翻訳センターパイオニア	通訳

中間レビューは、上記調査団員のほか、ブルキナファソ側評価委員と合同中間レビュー評価チーム (以下、「チーム」という) を構成し、日本側とブルキナファソ側の合同評価として実施された。ブルキナファソ側のチームメンバーは以下の通りである。



ブルキナファソ側中間レビュー評価チームメンバー

名前	役職	担当
Mr. KABORE Abel	飲料水総局／計画立案・評価モニタリング局 水理学専門家 Hydrologue, Direction de la Programmation et du Suivi-évaluation (DPSE/DGEP)	評価委員
Mr. NACOULMA Alain	調査・セクター統計総局／プロジェクト・プ ログラム調整局 法律専門家 Juriste, Direction de Coordination des Projets et Programmes (DCPP/DGESS)	評価委員

本中間レビューの現地調査は、2017年2月28日（月）～3月16日（木）の日程で実施された。詳細は添付資料1「調査日程表」を参照されたい。調査期間中の面談者リストは、添付資料2「主要面談者リスト」を参照。

### 1-3 プロジェクトの概要

#### 1-3-1 プロジェクトの背景

ブルキナファソ国は、国土の多くが乾燥帯に属しているため、水の確保が大きな課題となっている。給水施設の持続的な管理を通し、飲料水サービスの永続性を確保するため、ブルキナファソ政府は2000年に「村落・準都市部の飲料水供給施設の管理システム改革」(Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques d’approvisionnement en eau potable en milieu rural et semi urbain 以下「REFORME」)<sup>3</sup>を制定し、ブルキナファソ政府、援助機関、NGOが協力して、REFORMEを全国に普及する努力を推進してきた。ブルキナファソは、JICAの技術支援を受けて、2009年6月から2013年5月まで「中央プラトー地方給水施設管理・衛生改善プロジェクト」(Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d’approvisionnement en eau potable et de promotion de l’hygiène et de l’assainissement 以下「PROGEO」)を実施し、中央プラトー州における同改革の実施と普及に対する貢献を図った。

PROGEOにより、中央プラトー州の全565の村のうち、563において水利用者組合(Association des Usagers de l’Eau : AUE)が設置され、AUEによる給水施設維持管理活動を支えるために地方自治体(コミューン)やポンプ修理業者への能力強化も実施されたことで、中央プラトー州全体において、REFORMEの適用が図られた。他方、全国レベルでは、ブルキナファソ給水セクターの国家計画である「2015年に向けた給水と衛生に関する国家計画(Programme National d’Approvisionnement en Eau Potable et d’Assainissement 「PN-AEPA 2006-2015」)」の策定以降、REFORME適用化の普及推進の試みがなされているものの、持続的な維持管理システムの定着についてはさらなる取組みが必要であり、地方間の進捗の差も生じていた。

<sup>3</sup> REFORMEは、村落及び都市周辺部における人力ポンプ型給水施設と、管路型簡易給水施設の維持管理の手法を定めたもので、2000年10月に枠組み文書が採択された(JICA「ブルキナファソ国村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ2詳細計画策定調査報告書」2015)。

こうした背景の下、ブルキナファソ政府は、PROGEA で採用された手法（主要アクターに対する能力強化の手法）を活用し、将来的な REFORME の全国普及・定着を図るプロジェクトの実施を要請した。これを受け、JICA では、2015 年 1 月に詳細計画策定調査を実施し、ブルキナファソ側・日本側の合意に基づき、2015 年 9 月から 2018 年 9 月の約 3 年間の予定で、PROGEA II を実施している。

### 1-3-2 プロジェクトの要約

#### (1) プロジェクトのデザイン

プロジェクトのデザインは、PDM としてまとめられている。本プロジェクトは、討議議事録（Record of Discussions : R/D）署名時に合意した第 1 版（Version 1.0）に基づき実施されている。本中間レビューは、PDM Version 1.0 に基づいて行う。PDM と PO は、それぞれ添付資料 11「中間レビュー時参照の PDM」、12「中間レビュー時参照の PO」を参照されたい。

PDM の概要は、以下の通りである。

上位目標	給水施設の維持管理が全国で改善される。
プロジェクト目標	PROGEA 第 1 フェーズで構築した手法を適用した REFORME の全国展開のための基盤が整備される。
成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の全国における REFORME 適用状況及び他ドナー・NGO の REFORME 適用方法に係る教訓が整理・把握され、第 1 フェーズで作成されたマニュアルが全国普及用に改訂される。</li> <li>2. 全国普及用マニュアルにより南部中央州に REFORME が導入される。</li> <li>3. 中央プラトー州にて既存のリソースを活用した REFORME のモニタリング体制・支援体制が構築される。</li> <li>4. 南部中央州における試行的導入及び中央プラトー州におけるモニタリングを通じ、全国普及用マニュアル・ツールが最終化され、REFORME 適用に係る手法が公式文書に統合される。</li> <li>5. REFORME 適用化の実施体制が改善される。</li> <li>6. REFORME 全国普及に向けた計画が策定される。</li> </ol>

#### (2) プロジェクトの期間

2015 年 9 月～2018 年 9 月（3 年間）

#### (3) プロジェクトの実施機関

水・衛生省（Ministère de l'Eau et de l'Assainissement : MEA）

飲料水総局（Direction Général de l'Eau Potable : DGEP）

南部中央・中央プラトー州水衛生州局（Directions Régionales de l'Eau et de l'Assainissement : DREA/CS、DREA/PCL）

(4) プロジェクト対象地域

ワガドゥク、南部中央州、中央プラトー州

1-4 中間レビュー・評価の手法

1-4-1 レビューの実施方法

プロジェクトの評価は合同評価チームが行う。チームは5人の日本側メンバーと2人のブルキナファソ側メンバーで構成される。チームは、ワガドゥク、南部中央州、中央プラトー州のプロジェクト実施機関、プロジェクトを実施しているコミューン<sup>4</sup>、援助機関での聞き取りや協議を行った。本評価は、PDMやPOに基づき以下の実施手順で行う。

- 1) PDMの指標を基にしたプロジェクトの達成度の確認
- 2) プロジェクトの実施プロセスの検証
- 3) DAC評価5項目による評価

1-4-2 評価のフレームワーク

上記の手順を踏まえた評価のフレームワークは、評価グリッドに整理される。評価グリッドは添付資料9「評価グリッド」を参照<sup>5</sup>。DAC評価5項目の定義は以下の通りである。

妥当性	プロジェクト目標・上位目標の妥当性、ブルキナファソ政府の政策・日本政府の援助方針との整合性、受益者のニーズとの整合性及びプロジェクトデザインの妥当性などを評価する。
有効性	プロジェクト目標の達成度やプロジェクト目標と成果の間のロジックによって評価する。
効率性	プロジェクトの期間、投入の質・量などを基にした成果と投入の関係に焦点を当て、評価する。
インパクト	プロジェクトによって創出された直接または間接、ポジティブまたはネガティブ、予期したまたは予期していなかった影響を基に評価する。
持続性	プロジェクトの終了後にどのようにプロジェクトの達成度が維持されるのかについて、政策・制度、組織、財政、技術の側面から評価する。

<sup>4</sup> ブルキナファソの行政単位は、州-県-コミューンとなっており、その下に村（村落）、村の下にカルティエと呼ばれる集落がある。地方分権化による新しい行政組織では、州の下にコミューンがくる地方自治の行政構造となるが、県の廃止は行われていない（JICA前掲書）。

<sup>5</sup> 添付資料の評価グリッドは、結果を記載している。

## 第2章 プロジェクトの実績・調査結果

### 2-1 投入実績

#### (1) ブルキナファソ側からの投入

##### 1) カウンターパート (C/P) の配置

MEA の DGEP、同衛生総局 (Direction Générale de l'Assainissement : DGA)、南部中央州・中央プラトール州 DREA から、十分な数のスタッフがプロジェクトに関与している。詳細は添付資料 3「カウンターパートリスト」を参照されたい。

##### 2) 施設・建物

MEA-DGEP 内にプロジェクト事務所を提供している。光熱費は MEA-DGEP が負担している。

##### 3) 運営経費

2016-2018 年に総額で 185 百万 FCFA のローカルコスト拠出をカウンターパート資金として予定している。2016 年予算に計上された 45 百万セーファーフラン (FCFA) は全額拠出済みであり、2017 年予算については、74 百万 FCFA が計上されている。詳細は添付資料 7「ローカルコスト」を参照。

#### (2) 日本側からの投入

##### 1) 日本人専門家の派遣

5 名の専門家を派遣している。2017 年 2 月末までの派遣実績は延べ 28.79 人月 (MM)。詳細は添付資料 4「日本人専門家派遣実績」を参照。

##### 2) 本邦研修

2016 年に C/P4 名を派遣した。詳細は添付資料 5「国別研修参加者リスト」を参照。

##### 3) 機材供与

コンピューター、フィッシングツール等を供与した。予定していた機材供与は、中間レビュー時点で全て完了し、総額 17,373,750FCFA (3,292,031 円相当：各月の JICA 統制レートによる)。詳細は添付資料 6「供与機材・携行機材リスト」を参照。

##### 4) 運営経費

2017 年 1 月末までに合計 31,878 千円を拠出した。詳細は添付資料 7「ローカルコスト」を参照。

### 2-2 活動実績

各成果に関する活動の実施状況は以下の通りである。なお、セミナー・ワークショップの実施状況については、添付資料 8「セミナー・ワークショップ開催記録」を参照されたい。

成果 1 に係る活動	REFORME 適用状況の把握と全国普及用マニュアルの検討を進めている。活動 1-3 の前フェーズで策定した全国普及用のマニュアルの改訂は、プロジェクト期間の後半に行う。
成果 2 に係る活動	成果 2 に係る活動は全て実施している。引続き活動を行う。
成果 3 に係る活動	成果 3 に係る活動は全て実施している。引続き活動を行う。
成果 4 に係る活動	成果 2、3 に係る活動を通じ、全国普及用マニュアル・ツールの検討を進めている。これらを受け、プロジェクト期間の後半で全国普及用マニュアル・ツールの最終化を行う。
成果 5 に係る活動	成果 5 に係る活動は全て実施している。引続き活動を行う。
成果 6 に係る活動	成果 6 に係る活動は、成果 1～5 の結果を受け、プロジェクト期間の後半に行う予定である。

### 2-3 成果達成状況

各成果の達成度は以下の通りである。

**成果 1:** 現在の全国における REFORME 適用状況及び他ドナー・NGO の REFORME 適用方法に係る教訓が整理・把握され、第 1 フェーズで作成されたマニュアルが全国普及用に改訂される。

#### 指標 1-1: REFORME 適用に係る成果・教訓が整理・把握される。

ドナーや NGO 関係者からの REFORME 適用化に関する成果や教訓について情報収集を実施している。また、プロジェクトで実施のワークショップ等を通じて、成果・教訓を収集している。

#### 指標 1-2: 全国普及用 REFORME 適用化マニュアル・普及用ツール改訂版が作成される。

プロジェクト開始時より、C/P と専門家で作業を進めている。REFORME 適用化の進捗共有・全国普及用マニュアル検討のため、2016 年 1 月に全国 13 州局とのワークショップ、2016 年 3 月に全国関係者を集めたワークショップを開催した。これらを通じ、全国普及用 REFORME 適用化マニュアル・ツール改訂のための課題や提言を含んだワークショップのレポートがまとめられており、REFORME 実施に係る全ての関係者の間で共有している。

**成果 2:** 全国普及用マニュアルにより南部中央州に REFORME が導入される。

#### 指標 2-1: 南部中央州で選定されたパイロットコミュニティの全ての村落において AUE が設立される。

南部中央州においては、2015 年 12 月までに、州内全 19 コミュニティにおいて、他ドナー・NGO の支援により、AUE が設立されていることが確認された<sup>6</sup>。プロジェクトでは、当初は、南部中央州における AUE に関する活動はパイロットコミュニティを選定して実施する予定だったが、他ドナー・NGO の支援により全 19 コミュニティで AUE が設立されたため、AUE を支援する活動は、全 19 コミュニティで実施することとした。ただし、衛生活動については、パイロットコミュニティで行うこととしている。

<sup>6</sup> REFORME 導入前は、井戸ごとに水場委員会が設置されていた。REFORME の基本原則では、村ごとに AUE を設立し、村内の井戸を管理することになっている。

**指標 2-2: 南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・AUE 間で給水施設維持管理協定が締結され、給水施設維持管理活動が実施される。**

南部中央州においては、州内の全 19 コミュニティにおいて、他ドナー・NGO の支援により、AUE が設立され、AUE が利用者からの負担金の徴収・管理、住民に対する啓発活動、日常の給水施設維持管理活動等を実施している。コミュニティとの間で、給水施設維持管理協定を締結した AUE は、2016 年 7 月時点で、南部中央州 19 コミュニティで認証されている 422 の AUE のうち 276 である。

2016 年 6 月から 7 月にかけて、南部中央州のコミュニティ関係者（コミュニティ担当者、AUE、ポンプ修理工）を対象とした給水施設維持管理活動促進のためのワークショップを 16 コミュニティ対象に計 17 回開催した（Kombissiri コミュニティは村落数が多いため 2 回に分けて開催した）。

**指標 2-3: 南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・ポンプ修理業者間で給水施設保守整備契約が締結され、ポンプ修理業者による保守巡回および修理活動が実施される。**

2015 年 12 月～2016 年 3 月にベースライン調査を実施し、現状の調査と課題の整理を行った。

南部中央州のポンプ修理工を対象としたワークショップを 3 回開催し、AUE、ポンプ修理業者による給水施設維持管理に係る現状を分析している。南部中央州では、中間レビュー時点では、ポンプ修理業者の契約が締結しているコミュニティは全 19 コミュニティ中 4 コミュニティである。多くのコミュニティで保守巡回は定期的に行われていない<sup>7</sup>。

**指標 2-4: REFORME 適用化ワークショップに参加した南部中央州のコミュニティ関係者の 8 割以上が REFORME 適用化理解度テストに合格する。**

南部中央州で 3 月初旬にコミュニティ関係者の REFORME に関する理解度評価を実施した。評価は研修で導入されたモジュールの理解度をはかるものであった。その結果、合格基準（60% 以上）に達した研修受講者は、バゼガ県からの参加者は 78.7%、ズンドウェオゴ県の参加者では 70.2%となっている。ナウリ県は次回の研修で実施する。プロジェクトでは、引続き能力強化を図り、プロジェクト終了までに 80%以上の関係者が REFORME に対して理解をより深めることを目指す。

**成果 3: 中央プラトー州にて既存のリソースを活用した REFORME のモニタリング体制・支援体制が構築される。**

**指標 3-1: 中央プラトー州における REFORME 適用化のモニタリング・支援に関する課題が整理される。**

プロジェクトでは、フェーズ 1 で REFORME 適用化の支援を行い、プロジェクト終了後の状況を確認しつつ、REFORME 実施状況のモニタリング・支援体制を構築しようとしている。フェーズ 1 の終了時には、技術支援ゾーン（Zone d'Appui d'Animation Technique : ZAT）/技術支援ユニット（Unité d'Animation Technique : UAT）の長<sup>8</sup>の協力により、ブルキナファソ関係機関

<sup>7</sup> AUE は、住民から集めた負担金の一部を賦課金としてコミュニティに納め、コミュニティは賦課金を利用し、ポンプ修理業者による井戸の定期保守巡回を年に 1～2 回行う。これを行うため、コミュニティとポンプ修理業者は保守管理契約を締結する。

<sup>8</sup> 農業普及員としての役割を担っており、省庁改編後は農業省の所属となった。

でモニタリングを行う予定でいたが、省庁改編により農業省と水衛生省が分かれ<sup>9</sup>、ZAT/UATの長の協力を得ることができなくなったため、REFORME適用化のモニタリングの新たなしくみを構築することは重要である。中間レビュー時点までに、コミューン・州対象のワークショップやポンプ修理工を対象としたワークショップを開催し、REFORME適用化のモニタリング・支援に関する課題を抽出した。プロジェクトでは、これら課題に対する対応の特定を検討しており、より詳細な分析を行う予定である。

ポンプ修理業者の活動に関しては、まだ課題が多いことが判明している。中央プラトー州では、修理工組合が正式に発足している。しかし、修理工とまだ契約を締結していないコミューンがある。コミューンと修理業者との間の契約が締結されたのは20コミューン中16コミューンである。中間レビューで訪問したコミューンでは、定期的な保守巡回が行われていなかった。また、AUEが払う賦課金は、まずコミューンの口座（国庫）に入るが、それを引き出すには、行政手続きが複雑であるため長い時間を要する。そのため、修理工は、支払いまでに2年程待つことがある。

**指標 3-2:** 中央プラトー州における既存のリソースを活用した REORME モニタリング・支援体制のメニュー案が抽出される。

中間レビュー時点では、モニタリング・支援体制の課題を抽出している。これまでに抽出された課題を詳細に分析した後に、REFORME モニタリング・支援体制のメニュー案を作成する予定である。

**成果 4:** 南部中央州における試行的導入及び中央プラトー州におけるモニタリングを通じ、全国普及用マニュアル・ツールが最終化され、REFORME適用に係る手法が公式文書に統合される。

**指標 4-1:** 南部中央州及び中央プラトー州における REFORME 適用化に関する成果・教訓が整理される。

南部中央州における REFORME の導入（成果 2）と中央プラトー州におけるモニタリング・支援体制（成果 3）を通じ、適用化の課題を抽出した。引続きさらに詳細な分析を行う予定である。

**指標 4-2:** 全国普及用 REFORME 適用化マニュアルが改訂・最終化される。

プロジェクトでは、南部中央州における REFORME の導入（成果 2）と中央プラトー州におけるモニタリング（成果 3）を通じ、マニュアル・ツールの改訂のために変更すべき点を検討している。あわせて他のアクター（ドナー機関、NGO、コミューン、コンサルタント）との意

<sup>9</sup> ブルキナファソの農業部門と水部門を管轄する政府機関は何度か組織改編を行っている。2002年以降、農業と水は同じ省が管轄していたが、全フェーズ終了直前の2013年1月に、農業・食糧安全保障省（MASA）と水・水利整備・衛生省に分割された。この分割により（ZAT/UAT）の長がMASAに移ったことで、PROGEAフェーズ1で構築してきたREFORME適用化のフォローアップが十分に実施されなくなった大きな要因となった（JICA前掲書）。その後、2014年10月の政変による暫定政権の発足に伴い、再び農業部門と水部門が統合された時期があったが、中間レビュー時点では、水衛生省（MEA）と農業部門は別の組織になっている。

見交換を通じ、REFORME の課題を抽出し、REFORME 枠組み文書再検討<sup>10</sup>の動きも踏まえつつ、全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの方向性を検討している。

**指標 4-3: 最終化されたマニュアルが給水セクター関係者に配布される。**

本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。

**指標 4-4: PROGEA 手法を取り入れた REFORME 適用化マニュアルが給水国家計画の中の公式文書として統合される。**

本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。

**成果 5: REFORME 適用化の実施体制が改善される。**

**指標 5-1: REFORME 適用化に関する関係者の役割が整理される。**

C/P 機関やドナー機関との協議や REFORME ワークショップを通じ、REFORME 適用化に関する関係者の役割について整理を進めている。

**指標 5-2: REFORME 適用化を適切に普及する上で必要な規定のドラフトが策定される。**

プロジェクトでは、REFORME 適用化に関してブルキナファソ側が進めている規定と関連する文書の策定に参画している。これらの文書とは、給水施設利用に係る水サービス料金と官民連携 (Public-Private Partnership : PPP) の戦略・規定 (簡易給水施設 (Adduction d'Eau Potable Simplifiée : AEPS)) 運営委託契約書改訂ひな形)、コミューン予算の執行手続き (予算の適用費目設定含む)、給水・衛生サービスの規定・基準・指標、民間管理業者及び修理工の認可制定文書の改訂 (従前の州局認可から州知事認可)、コミューン行政への事業実施支援 (Appui à la Maîtrise d'Ouvrage Communal : AMOC) のロードマップ (REFORME 実施のためのコミューンへの専任技術者の採用・配置)<sup>11</sup>等である。これら規定は既にほぼ全てについて最終化されているが、最終的な公式化、法令としての採択と発布がなされておらず、実効に至っていないため、その進捗プロセスを支援している。

**指標 5-3: REFORME 適用化に関するトレーニングを受講した中央・州局の職員の全員が REFORME 理解度テストに合格する。**

2016年11月28日～12月1日に実施した REFORME 研修の最後に実施した理解度評価では、34名中31名が60%以上の得点を獲得した。恒常的にプロジェクトで活動している人は理解度が高かった。全体として、実務的な内容を問う設問の得点が低い。引続き研修・ワークショップ、スタディ・ツアーで、さらに能力強化を図っていく予定である。

**指標 5-4: トレーニングを受けた中央・州局職員がコミューン関係者やポンプ修理業者等に対する能力強化活動を開始する。**

REFORME 適用化文書の再検討を含む給水施設維持管理システムの改良、給水施設維持管理にかかる人材育成・能力強化、モニタリング体制の検討等を実施している。州局職員らは、コ

<sup>10</sup> 水衛生省との面談では、「読直し (relire/re-read)」という表現をしていた。

<sup>11</sup> 水と衛生分野におけるコミューン行政の実施支援を規定した文書で、適切な資源や組織、メカニズム、ツールの整備を行い、コミューン主導による実施体制を構築することを、目標のひとつとしている (JICA 前掲書)。



ミューン職員、AUE らに対するワークショップで、コミュニティ・AUE で実施する給水施設の維持管理等の活動に関するアクションプランの作成支援等をしている。

**成果 6: REFORME 全国普及に向けた計画が策定される。**

**指標 6-1: REFORME の全国普及に向けた行動計画が策定される。**

本指標に関する活動は、成果 1～成果 5 の結果を踏まえ、プロジェクト 2017 年後半から実施する。行動計画を策定するため、REFORME 適用化にかかる支援を行う可能性がある他ドナーの支援状況に関する情報収集を行っている。

**指標 6-2: REFORME の全国普及・定着に必要な予算計画が策定される。**

REFORME 適用化に関する州のアクションプランの最終化がされてから予算計画を策定する。

その他、関係機関でのインタビューから、PDM の指標以外の成果として、ワークショップ等により、コミュニティ職員や AUE 役員会メンバーの REFORME の理解が進んだことが報告されている。また、修理工は、プロジェクトのワークショップで、修理技術や維持管理について能力が向上したとコメントしている。

## 2-4 プロジェクト目標の達成見込み

プロジェクト目標の達成見込みは以下の通りである。

**プロジェクト目標: PROGEA 第 1 フェーズで構築した手法を適用した REFORME の全国展開のための基盤が整備される。**

**指標 1: 全国普及用 REFORME 適用化マニュアルが国家水委員会 (CNP/PN-AEP) により承認される。**

各成果の活動に若干の遅れが見られるが、プロジェクト終了までには全国普及用 REFORME 適用化マニュアルを完成しようとしている。REFORME 適用化に係るマニュアルとツールは、関係機関で採択された後、適用となる。プロジェクト期間中に省内での承認までを行う予定である。

ただし、REFORME 枠組み文書とツールを再検討するプロセスが開始されており、その方向性に即したマニュアルとする必要があるため、プロジェクトでは、REFORME 再検討の動きを注視しつつ作業を進めている。

**指標 2: REFORME 適用化の全国展開に関する予算計画を含めた行動計画が策定される。**

全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの完成後、それに基づいた行動計画を策定する。プロジェクト終了までに完成させる予定である。

## 2-5 上位目標の達成見込み

上位目標達成の見込みは以下の通りである。

**上位目標 : 給水施設の維持管理が全国で改善される。**

**指標: 2021 年までに REFORME 適用化に基づく給水施設維持管理体制を構築したコミュニティ数が現在の 47.36%から 70.0%に達する。**

給水施設維持管理状況については、MEA で所定の項目のデータを収集している。所定の項目につき、それぞれ重みづけをして、その合計をパーセント（ポイント）で示し、維持管理状況の達成度としている。詳細計画策定調査時のベースライン値と中間レビュー時点での最新のデータは、以下の通りである。

#### 2014 年（詳細計画策定調査時）

	認可された AUE	コミュニティと維持管理協定を締結した AUE	井戸管理人との協力協定を締結した AUE	口座を開設した AUE	コミュニティへの賦課金を支払っている AUE	認可された修理業者	コミュニティと保守契約を締結した修理業者	合計
全国での割合 (%)	78.5	64.99	0	0	0	57.8	7.92	
重みづけ	40	10	10	10	5	15	10	100
ポイント	31.4	6.5	0	0	0	8.67	0.79	47.36

（出所：プロジェクト提供資料による）

#### 2016 年最新データ

	認可された AUE	コミュニティと維持管理協定を締結した AUE	井戸管理人との協力協定を締結した AUE	口座を開設した AUE	コミュニティへの賦課金を支払っている AUE	認可された修理業者	コミュニティと保守契約を締結した修理業者	合計
全国での割合 (%)	93.7	51.8	0	0	0	64.6	6.5	
重みづけ	40	10	10	10	5	15	10	100
ポイント	37.48	5.18	0	0	0	9.69	0.65	53.00

表中の 0 はデータ未入手を示す。

（出所：プロジェクト提供資料による。Bilan Annuel PN-AEPA 2016, 2017 年 2 月暫定版より算出。）

MEA によれば、上記の通り、2017 年 2 月の暫定値で 53.0%<sup>12</sup>となっている。

## 2-6 プロジェクトの実施プロセス

### (1) プロジェクト全体の進捗

プロジェクトの進捗は、社会政治的变化（2015 年 9 月のクーデター、コミュニティ議会の解体）、2016 年 1 月のテロ事件やそれに続く省庁の組織改編により当初予定より若干遅れている。社会政治的变化やテロ等は不可抗力であったが、進捗の遅れを取り戻すべく、活動を進めている。また、プロジェクトで支援する REFORME の今後の方向性について、C/P 機関関係者やドナー機関等から情報を収集している。

プロジェクト進捗の促進要因は、専門家と C/P のコミュニケーションがよいことである。DGEP の職員がプロジェクト専属のナショナルコーディネーターとして配置されていることは、プロジェクトの円滑な進捗に貢献している。プロジェクト進捗の阻害要因は、前述した社会政治的变化、組織改編、テロなどがあったことである。社会政治的变化により、コミュニティには、臨時行政部が置かれた。その後、2016 年 5 月に選挙があり同年 7 月に新コミュニティ議会が発足したが、いくつかのコミュニティでは、各種業務の引継ぎが十分に行われて

<sup>12</sup> 2017 年 3 月に最終版が発表され、53%から 56.8%に数値が若干上がる結果となった。

いないことがあった。プロジェクトでは、コミューンの長が<sup>13</sup>不在の間は状況に応じワークショップを実施していた。コミューン議会発足後は、REFORME 実施体制の強化を推進するため、研修による情報普及やコミューンレベルの関係者がオーナーシップを高めるための啓発活動を行って、遅れを回復しようと努めている。

## (2) プロジェクト運営体制

ブルキナファソ関係機関の組織体制が安定してからは、プロジェクト運営体制は円滑に機能している。MEA のコーディネーターが中心となり、ブルキナファソ側の調整を行い、日本人専門家と協力をして、プロジェクト関係者の合意の下、プロジェクトが実施されている。

合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee : JCC) 設立に係る省令の発布手続きが遅れたが、これまでに、2016年8月と2016年12月の2回のJCCが開催された。JCCでは、プロジェクトを円滑に実施するための提言・提案が挙げられた。

プロジェクト全体の進捗のモニタリングについては、JCCで全体の進捗を確認するほか、JICA本部に対しては、モニタリングシートを活用したモニタリングを実施し、報告書作成のためのデータ収集を行っている。モニタリングシートにモニタリング結果を記入する時には専門家とC/Pで、PDMを参照している。本プロジェクトは、ブルキナファソ政府のプロジェクト(カテゴリーA)<sup>14</sup>とされており、ブルキナファソ側に対し、MEAでプロジェクトのモニタリングを担当しているいくつかの部署に定期的な進捗報告や年間活動予算計画書が提出されている。

DGEPでは毎週月曜日に省内定例会議が開かれており、プロジェクト専門家(総括)・DGEPナショナルコーディネーターも毎回定例会議に出席している。また、PN-AEPAの枠組みで6カ月に1回、各州および全国中央レベルでのPN-AEPAの進捗を共有・モニタリングする枠組み(PN-AEPA州委員会または全国委員会: Comité Régional ou Comité National de Pilotage du PN-AEPA)がある。プロジェクトでは、州の会議については、これまで日程的な事情から参加していないが、全国会議に出席している。

プロジェクトでは、中央-州-コミューンの事業実施体制を確立しようとしている。MEAのDGEPとDREAのC/Pが中心となってコミューン職員の能力強化を図り、コミューンの担当者が核となってAUEやポンプ修理業者を支援していく体制を目指している。

## (3) 関係者のコミュニケーション

プロジェクト関係者のコミュニケーションはほぼ良好である。

C/P機関であるMEAのDGEP、DREAと日本人専門家のコミュニケーションは概ね良好である。コミュニケーションが円滑でない場合があるが、協議を綿密に行い対応している。専門家は、MEA-DGEPを通じ、政策と国家戦略を含む情報を逐次入手し、JICAとも共有し

<sup>13</sup> 市長 (Maire/Mayor) と呼ばれる。

<sup>14</sup> インタビューによれば、カテゴリーAは、ブルキナファソ政府のプロジェクト、カテゴリーBは、ブルキナファソ行政機関の傘下にあるが、別の実施機関(ドナー機関等)が実質的に実施しているプロジェクト、カテゴリーCは、完全に行政機関の外部で実施されるプロジェクト、と分類されている。

ている。専門家と C/P は、行動を共にし、C/P がワークショップで講師・ファシリテーターを務めることで、C/P の能力強化を行っている。

プロジェクトとコミューン関係者（コミューン役所、AUE 等）とのコミュニケーションも概ねよい。コミューンに対しては、DGEP のナショナルコーディネーターはじめ、MEA の DGEP と DREA の C/P が中心になって、各種情報提供や案内等の対応をしている。AUE の支援に対しては、専門家は直接介入せず、コミューンを通じて支援活動を行っている。

他援助機関とのコミュニケーションも良好である。プロジェクトではドナー会合等に積極的に参画しており、情報交換が活発に行われている。また、日本の無償資金協力（「第二次中央プラトー及び南部中央地方飲料水供給計画」）の関係者とも情報交換し、衛生活動については、ソフトコンポーネントのアプローチと整合性のある活動を行った。

#### (4) プロジェクトに対する認識

プロジェクトに対する関係者の認識はある程度高いと言える。

プロジェクトは、ブルキナファソ政府の直接管理下で実施するプロジェクト（カテゴリーA）として分類されている。MEA のプロジェクト関係者は、中央・州レベルとも、プロジェクトを通じ REFORME を推進していくことの重要性を理解している。

コミューンにおいても、REFORME に関するコミューンの役割に対する認識は高まりつつある。コミューン役所の関係者（市長、次官を含む）は、ワークショップ等を通じ REFORME 参画の意欲を高めている。

AUE、ポンプ修理工は、プロジェクトの支援で開催するワークショップ等に積極的に参加している。コミューンの AUE、修理工らは、割り当てられた役割を遂行しようと努力しているが、資金不足や手続き上の問題等から十分な活動ができていないことがあり、また、REFORME の枠組みでの活動についてさらに理解を深めていく必要がある。

給水施設の巡回を行うフォーカルポイントは、概ね高いモチベーションを持ち活動に取り組んでいる。フォーカルポイントは、給水施設や衛生施設に関する情報収集のほか、給水施設の維持管理や衛生につき、住民の指導を行うこともある。情報収集のための車両燃料費が支給されるほか若干の謝金が払われ所定の期間のみ業務を行っており、その活動には限界もある。

なお、AUE では、6 名いる役員会のメンバーのうち衛生担当の少なくとも 1 名は女性とする規定があり、女性の参加を奨励している。中間レビュー中に訪問した AUE では全て、女性が少なくとも 1 名は AUE の役員会に入っていた。衛生担当以外の役職につく女性もあり、女性も AUE に積極的に参加している。

援助機関の間で、プロジェクトは広く認知されている。

## 第3章 中間レビュー結果

### 3-1 評価5項目による評価結果

#### 3-1-1 妥当性

以下のような理由により、妥当性は概ね高い。

##### (1) ニーズとの整合性

プロジェクトは、ブルキナファソの水と衛生分野のニーズに合致している。

村落部の飲料水へのアクセスは、2016年12月31日のデータで65.3%であり（PN-AEPA 2016年報）、PN-AEPAの目標値の76%を下回っている。このため、REFORMEを全国に適用し、飲料水へのアクセスを向上することが求められている。REFORME枠組み文書は2000年に制定されているが、施設の維持管理やサービスのモニタリングのシステムが十分機能しておらず、REFORME適用化の一層の努力が求められている。REFORMEに関しては、これまでの実施の経験により、さまざまな課題が指摘されており、水衛生省ではREFORME枠組み文書の再検討を計画しており、関係者の間でも、REFORME再検討に関する議論がされている。プロジェクトでは、REFORMEの再検討の状況を常に考慮する必要がある。

##### (2) ブルキナファソ側政策との整合性

プロジェクトは、ブルキナファソ国の水と衛生分野の政策と合致している。

ブルキナファソ国の水分野の国家計画であるPN-AEP（2016-2030）（デンマーク国際開発庁（DANIDA）の支援により水衛生省が策定）の事業目標（Objectifs operationnels）で、2030年までの飲料水へのアクセスの100%達成を目指している。この目標達成のためには、特に村落地域でのAUEによる給水施設の持続的管理が挙げられており、施設の管理（REFORME）は、PN-AEP（2016-2030）の中で重視されている。これは、水衛生省で、REFORMEの推進を重視しているということを示している。

なお、PN-AEP（2016-2030）では、流量の多い井戸を活用した、複数の村をまとめて給水する施設と各戸給水の推進に重点が置かれている（2015年の9%から2030年に80%を目指す）。村落部では、今後も人力ポンプ井戸が使われていく見込みである。水衛生省の関係者とのインタビューによれば、人力ポンプ井戸については、引続きAUEによる維持管理を行うということである。

##### (3) 日本の政策との整合性

プロジェクトは日本の対ブルキナファソ援助政策と合致している。日本の対ブルキナファソ援助方針では、農業開発、教育の質の向上、域内経済統合の促進の3点が重点分野となっており、留意事項として社会の安定への支援が挙げられている。水と衛生に関する協力は、水の安定的供給を通じて農業開発に資するとともに、人々の健康状態の向上につながり社会の安定に通じるものである。

#### (4) ターゲットの適切性

プロジェクトの対象地域やターゲットグループは概ね適切に選定されている。

ブルキナファソ国では、援助機関による地理的重点地域の大きな分担ができていると関係者の間で理解されており、飲料水供給に関しては、日本は、中央プラトー州と南部中央州の担当となっている。プロジェクトでは、REFORME に関与するコミューン関係者がターゲットグループとなっている。

南部中央州では、プロジェクト計画時においては同州内で 3 コミューンを選定し、REFORME 導入を行う予定であった。しかし、プロジェクト開始時に、同州の全 19 コミューンで既に他援助機関等の支援により AUE が設立されていることが判明したため、プロジェクトは計画の見直しを行った。その結果、水衛生省と協議の上で、全 19 コミューンをターゲットとすることが 2016 年 3 月にプロジェクト関係者で合意された。その結果、プロジェクト全体で、南部中央州におけるプロジェクト C/P によるコミューン、AUE 等を対象としたセミナー・ワークショップ等の活動の比重が大きくなった。C/P の研修講師としての能力強化機会の増加というメリットがあった一方で、課題分析結果から解決策を提案するという活動がやや遅れることになった。

衛生活動については、南部中央州で各県から 1 コミューン、3 カ所のパイロットコミューン（イペルセ、ポー、ギバ）を設定した。衛生活動のパイロットコミューンは、ドナーの有無、雨季のアクセス、REFORME の進捗状況等のクライテリアを設定し、C/P との合意の下、選定された。

プロジェクトでは、追加的活動として、井戸の改修をする予定である。プロジェクトで改修を行う井戸の候補地は、ベースライン調査と修理工からの情報に基づき、州の C/P も井戸を訪問して選定された。

#### (5) プロジェクトデザインの適切性

プロジェクトのデザインは概ね適切である。

プロジェクトは、前のフェーズの経験や教訓を踏まえ計画された。前フェーズ終了後、今フェーズが始まるまでに時間を設けたことで、今フェーズで取組む課題が明確になり、より適切なプロジェクトを計画することができた。フェーズ 1 で AUE とコミューンの能力強化を図った経験は、今フェーズでの南部中央州の活動や REFORME 関連文書の策定に役立っている。プロジェクトは、南部中央州と中央プラトー州での活動を踏まえ、全国での REFORME 適用化のための政策関連文書を策定するデザインになっている。

給水施設の維持管理は利用者にとっても重要なテーマであり、プロジェクトの PDM は、水衛生省・州局の強化に加え、コミューン関係者やポンプ修理業者を巻き込み、利用者まで裨益効果が届くようなプロジェクトデザインになっている。利用者の間でも維持管理の向上に対する意欲は高い。

ただし、プロジェクトで支援している REFORME のしくみ自体に課題も指摘されている。例えば、水サービスの管理と REFORME 適用化の実施とを支援するための AMOC が実施さ

れていないことが課題になっている。AUE の活動は役員会のメンバーや利用者の自主性に委ねられており謝金等が払われるわけでないため、インタビューでは、役員会改選の時期がきてもメンバーのなり手がいないという声が聞かれるなど、実際の活動における AUE へのモチベーションを向上させるのが課題である。また、コミュニケーションから修理工への巡回保守の支払いがなされないため、修理工による巡回保守が行われず、そのため AUE からコミュニケーションへの賦課金が支払われなくなる、という例も報告されている。

### 3-1-2 有効性

以下のような理由により、有効性はある程度見込める。

#### (1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクトでは、プロジェクト目標の指標である REFORME 適用化マニュアルの承認と REFORME 適用化の行動計画の策定を、プロジェクト期間終了までに完了することを目指している。全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの策定はプロジェクト終了までに完了する予定であり、これが完成すれば、予算計画を含めた行動計画が策定できる。プロジェクトでは、全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの策定が完了し、水衛生省で承認を得るまでをプロジェクト期間中の活動と予定しており、承認後、ブルキナファソ側で国家計画に基づき発布することが必要である。ただし、水衛生省では、REFORME の枠組み文書自体の再検討を行う予定である。REFORME 枠組み文書の改訂がされる場合は、それに即した REFORME 適用化マニュアルと REFORME 適用化の行動計画の策定を行う必要があり、改訂のスケジュールによっては、プロジェクト目標達成に影響が出ることも考えられる。

プロジェクト目標達成の促進要因は、REFORME 適用化がブルキナファソ国の水・衛生分野の重要課題であり、政府やドナーが一致して取り組んでいることである。REFORME の枠組み文書の再検討については、MEA でのインタビューによれば、プロジェクトも REFORME の再検討作業に関与することになる見込みであり、プロジェクトで再検討作業に積極的に関与し十分状況を把握したうえで、関係者間で協議し全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの方向性の合意をとることが必要である。

#### (2) プロジェクト目標に至るロジック

成果からプロジェクト目標に至るロジックは、概ね適切である。プロジェクト目標達成に必要なコンポーネントが構成されている<sup>15</sup>。

プロジェクト目標達成のための外部条件の影響が若干見られる。外部条件のうち、「給水担当省の体制が大きく変更されない」については、省庁改編後、DGEP のこれまでの幹部職員の多くが州局長に異動し、若手中心になり、若干の混乱があった。プロジェクトでは、プロジェクトに関する理解を醸成しつつ活動を進めた。「技術を習得した職員が勤務を継続する」については、何人かの人事異動があったが、大きな影響はない。その他の外部条件になりうる材料として、REFORME 枠組み文書の見直し作業の進捗によっては、プロジェクトで

<sup>15</sup> PDM の記載として、成果 6 とプロジェクト目標の指標の表現には重複している部分があるが、成果 6 に対する活動がプロジェクト目標達成に必要なことから、成果 6 とプロジェクト目標は論理的につながっていると判断される。

予定している全国普及用 REFORME 適用化マニュアル策定の作業スケジュールやその内容が影響を受ける。

### 3-1-3 効率性

以下のような理由により、効率性はある程度高い。

#### (1) 成果の達成度

活動が遅れているものの、中間レビュー時点で想定していた成果は概ね発現している。成果発現の促進要因としては、ワークショップが参加者の関与を促進しつつ活発に行われていることが挙げられる。しかしながら、ワークショップ等により改善されているものの、REFORME に対するコミューン等関係者の理解はまだ十分ではない。また、成果達成に影響を与えている要因として、水と衛生分野に関するコミューン行政を促進するロードマップである AMOC が、2015 年の政変により中間レビュー時点で閣議で採択されていないため、コミューンに人員や財源が十分に配分されていないことにより、プロジェクトで想定していたコミューンレベルの活動が一部困難になっていることがある。例えば、トレーニングを受けた中央・州の人材がコミューンを研修することになっていたが、コミューンに対象となる人員が配置されていない、コミューンから AUE に対する適切な支援が行えていない、などである。

#### (2) 成果達成に至るロジック

投入、活動から成果に至るロジックは適切である<sup>16</sup>。成果を達成するために十分な活動が計画されている。南部中央州と中央プラトー州での活動を踏まえ、REFORME 適用化に係るマニュアルを策定していくというプロジェクトデザインになっている。南部中央州のパイロットコミューンにおける衛生活動、中央プラトー州におけるポンプ修理工に対する活動は、パイロットコミューンの住民やポンプ修理工に資するのみならず、全国普及用 REFORME 適用化マニュアル策定に必要なグッドプラクティスや教訓を抽出するためにも有用である。また、活動を行うために十分な投入が計画されている。

#### (3) 投入・活動の適切性

ブルキナファソ側、日本側とも、投入は適切に行われている。

#### ブルキナファソ側

MEA-DGEP と南部中央州と中央プラトー州の DREA に十分な数の C/P が配置されている。DGEP のプロジェクト専属ナショナルコーディネーターが正式に任命されたのは、2016 年 9 月と遅れたが、このナショナルコーディネーターは、2015 年 9 月から C/P としてプロジェクトに関わっており、大きな支障はなかった。MEA/DGEP 内にプロジェクト事務所が提供されており、光熱費は MEA が負担している。ブルキナファソ側は、C/P 予算を確保しており、プロジェクトに必要な経費を拠出している。ただし、予算はあるものの、手続きに時間がかかりタイムリーに拠出されないことがある。

<sup>16</sup> PDM では、成果を達成するための外部条件が設定されていないが、プロジェクト目標達成の外部条件である「技術を習得した職員が勤務を継続する」は、成果達成の外部条件でもあると考えられる。



## 日本側

専門家は、現地事情に通じ専門性の高い人材が配置されている。機材供与は、適切な機材が選定された。免税手続きに時間を要したが大きな支障にはならなかった。本邦研修には、REFORME 適用化の推進に重要な役割を果たす MEA の人材が派遣された。研修参加者は、日本の水道事業の経験や地方分権化に関する知識を習得し、業務の中で他の職員にも伝えている。なお、PROGEAII の C/P 研修のほか、課題別研修にも、MEA の DGEP と DREA から、毎年 1、2 名を派遣し、C/P 機関の一層の能力強化を図っている。ローカルコストは、予定通り拠出された。

また、無償資金協力による井戸建設のソフトコンポーネントで取組んだ井戸周辺の衛生環境改善活動の手法が効果的であったと関係者から評価されたため、プロジェクトでも同じノウハウを活用し効率的に活動を行うことができた。

活動は、政変により遅れているが、必要な活動を順次実施している。投入は全て活用されており、中間レビュー時点では予定されていた成果が全てある程度発現している。

### 3-1-4 インパクト

プロジェクト目標がプロジェクト期間中に達成され、プロジェクト終了後にブルキナファソ側で活動を継続すれば、インパクトは見込める。

#### (1) 上位目標達成の見込み

上位目標である全国における給水施設維持管理の改善は、ブルキナファソ側による活動が継続されれば達成が可能と見込まれる。給水施設維持管理体制を構築したコミュニティの割合は、MEA の 2016 年 12 月 31 日付のデータで 53.0<sup>17</sup>%である (Bilan Annuel PN-AEPA 2016 2017 年 2 月暫定版より算出)。ただし、上位目標の達成度をはかるには、この指標だけでは不十分であるため、プロジェクトでモニタリング状況を見ながら、さらに検討することが必要である<sup>18</sup>。

上位目標達成のために貢献要因となるのは、プロジェクトで策定した REFORME 適用化マニュアルを活用してブルキナファソ政府が REFORME の適用を効果的に実施していくことである。他援助機関もマニュアルに準拠した活動を行うことが必要である。阻害要因となるのは、ブルキナファソ側の人員・予算の不足である。また、コミュニティレベルの活動の実施をコミュニティ役所と DREA でモニタリングする仕組みが確立されていないことは上位目標達成の阻害要因となりうる。

#### (2) 上位目標達成に至るロジック

プロジェクト目標から上位目標に至るロジックは概ね妥当と言える。ただし、プロジェクトで策定する全国普及用 REFORME 適用化マニュアルを活用してブルキナファソ側が

<sup>17</sup> 2017 年 3 月に最終版が発表され、53%から 56.8%に数値が若干上がる結果となった。

<sup>18</sup> 例えば、この指標では、各項目の重みづけをして総合的なポイントを計算しているが、その重みづけが適切かどうかは議論の余地がある。また、各項目は AUE の設置状況や修理業者の稼働状況を見るものであり、これらの項目が充足されたからといって実際に井戸が適切に維持管理されているかは、必ずしも判断できない。

REFORME 推進を全国で実施していくことが不可欠である。また、指標の数値目標については、現状の推移を見つつ妥当性をさらに検討することが望ましい。

上位目標達成のための外部条件の影響については、中間レビュー時点では、明確に判断できない。外部条件のひとつである「給水施設維持管理に関する政策」は、大筋は変更ない見込みであるが、REFORME 枠組み文書の再検討が行われる予定であることから、プロジェクトで策定する全国普及用 REFORME 適用化マニュアルとの整合性は継続的に注視していく必要がある。「他ドナー・NGO による REFORME 適用化マニュアルの活用」については、MEA で推進していくことが重要である<sup>19</sup>。「REFORME 適用化全国展開の行動計画の予算化」については、予算策定自体は MEA で行うことであるが、実際の予算の配分は MEA と財務省との協議によるので、不透明な要素がある。ほかに上位目標達成に影響を与える要因として、REFORME 実施のための諸方策（AMOC ロードマップ等）の整備・実施が適切に行われることが必要である。

### (3) 波及効果

波及効果については、中間レビュー時点では明確には報告されていないが、いくつか発現が期待できる。給水施設の維持管理がなされ、水場周辺の衛生環境が改善されれば、住民が安全な水にアクセスできる。これにより、健康な生活、水因性疾患の減少につながる。また、AUE が強化されれば、コミュニティによる農村開発活動等の他の関連する活動にも好影響が出るのが期待される。例えば、AUE と農村開発組織の両方のメンバーになっている住民がいる。さらに、水と衛生に係る事業実施を通じコミュニンの能力が強化されれば、地方分権化が促進されることも考えられる。

負のインパクトは特に報告されていない。

## 3-1-5 持続性

以下のような理由により、持続性は中程度である。

### (1) 政策・制度面

政策・制度面での持続性はある程度見込める。

現行の PN-AEP は 2030 年までの政策なので、水と衛生に関する政策は当面変わらない。プロジェクトで策定する予定の REFORME 適用化マニュアルや行動計画は、ブルキナファソ側も公式に承認する予定である。MEA では、REFORME 枠組み文書を再検討する予定であり、その結果を踏まえた REFORME 適用化マニュアルや行動計画の策定を行うことが、政策・制度面の持続性に不可欠になると考えられる。このため、REFORME 再検討の今後の動きを注視し、再検討プロセスに参画しつつ、REFORME 適用化マニュアルや行動計画の策定を進めていく必要がある。また、PN-AEP（2016-2030）で、水量の多い井戸を活用して各戸給水の割合を増やして人力ポンプの数は増やさない政策が挙げられており、DANIDA、フランス開発庁（AFD）等の援助機関もその政策に即した支援を実施しようとしていることから、AUE に対する政策の動向にも注視する必要がある。

<sup>19</sup> このため外部条件とは言えないかもしれないが、後述する PDM 改訂版では、特に修正をしなかった。

## (2) 組織面

組織面での持続性は中程度である。

プロジェクトでは、DGEP—州—コミュニケーションのラインで REFORME の実施支援・関係者の能力強化を行えるよう、C/P の指導者研修（Training of Trainers : TOT）等を行っている。MEA、州局は、REFORME 推進の活動を継続する見込みである。プロジェクトでは、日々の活動やワークショップを通じ MEA と DGEA の C/P 各機関の能力向上を目指している。C/P 機関でのインタビューでは、REFORME に関する関係者の認識や実施能力が向上したというコメントがあった。専門家によれば、C/P の一部は研修講師として活動する能力を習得しているが、実施体制の構築、関係者の能力とも、さらに強化が必要である。

コミュニケーションは、2016 年 5 月に新体制が発足したばかりであり、水と衛生の担当者が着任していない。AUE との給水施設維持管理協定の締結が完了していないところが多く、修理工による巡回保守も行えていないなど、期待された役割をまだ十分に果たしていない。インタビューによれば、コミュニケーション役所は、プロジェクトのワークショップ等を通じ、組織能力が向上しつつあるということであるが、REFORME 実施に係る組織体制の一層の強化が必要である。

組織面での持続性を高めるには、事業のモニタリング体制を確立することが不可欠であるが、まだ確立されていない。前フェーズで、中央プラト—州—における活動を通じてモニタリング体制の構築を図ったが、前フェーズ終了後に機能しなくなった。理由としては、省庁再編により農業省と水衛生省が分かれ、ZAT/UAT の長をモニタリングの現場で活用できなくなったこと、本フェーズ開始後に政変があり、コミュニケーション議会が解体され新体制発足までに時間がかかったこと、さらに、ZAT/URT—県—州—中央という報告のシステムも使えなくなったことなどがある。MEA では、6 カ月ごとに事業進捗状況等をモニタリングするしくみはあるが、このモニタリングの対象はインフラ中心で、REFORME の実施に関する具体的なモニタリングのしくみはまだない。

プロジェクト開始後、政変の影響もあり、大幅な組織改編があったが、中間レビュー時点では、これまでで組織改編は一段落したと見られる。

## (3) 技術面

技術面での持続性は中程度である。

C/P 機関では、大幅な組織改編は起こらない見通しであるが、定期的な人事異動はある。人員が変わった際に、引継を行うしくみが確立されていない。

コミュニケーション、AUE は、プロジェクトが支援している間は活動を継続できると考えられるが、プロジェクトが終了した時に、自分たちで継続できるかは、不透明である。AUE の活動継続には、コミュニケーションによる技術的支援やモニタリングが必要である。

インタビューによれば、ワークショップの参加者は、能力が向上したと感じており、習得した知識・技術を活用しようと努力している。コミュニケーションの職員を研修できるよう、さらに C/P 機関の能力強化を図ることが必要である。

供与機材は概ね適切に維持され活用されている。供与機材のうち、南部中央州のポンプ修理工組合に供与する予定のフィッシングツールについては、同州におけるポンプ修理工組合がまだ設立プロセスの途中であるため、設立手続きが完了するまで、南部中央州局で保管している。訪問した AUE では、井戸の維持管理を概ね適切に行っていた。AUE の管理する村に存在する井戸のうちいくつかは、AUE が修理工を呼び何度か修理を試みたものの問題解決に至らず、結果、放置されているケースも見られた。

#### (4) 財政面

財政面での持続性は、現状ではあまり高くない。

MEA、州は、事業を実施していくための予算がある程度配分されている。しかしながら、あまり潤沢とはいえず、また予算の承認は財務省との協議によるため、不透明な面もある。DANIDA、EU 等による財政支援は 2020 年まで継続の予定であるが、その後は未定である。

PN-AEPA の年次報告書（2016 年 12 月作成）においても、REFORME 実施のための予算配分が不十分であると指摘されている。

コミューンでは、給水施設維持管理の推進をしていくための予算は限られている。AMOC の実施が遅れており、十分な予算が配分されていない。また、コミューンが徴収すべき AUE からの賦課金を徴収する体制が構築されておらず、その賦課金が徴収されていないため、財源がさらに逼迫している。さらに、予算が配分されていても、手続き上の問題からタイムリーに支出されないことが多いのが問題である。例えば、修理工の巡回保守のためのコミューンからの支払いが手続き上の問題により大幅に遅れているケースもある。

AUE では、負担金の徴収を行っており、インタビューした大半の AUE では、井戸の修理に必要な負担金の徴収はほぼ全ての住民から徴収できており、井戸の修理に活用されていた。

#### (5) 持続性に係る要因

持続性については、REFORME が政策として重視されていることは促進要因として挙げられる。さらに持続性を高めていくには MEA-州-コミューンの各レベルで、オーナーシップが必要である。また、AUE で料金の徴収・管理を適切に行い住民に対する説明責任を果たすことも必要である。持続性を阻害する要因としては、C/P 機関及びコミューンに必要な人員・予算が配分されないことやコミューン、AUE の認識不足が挙げられる。また、例えば修理工の巡回保守の支払いなどに見られるように、REFORME に関連する諸手続きが複雑であることも阻害要因となりうる。

### 3-2 結論

プロジェクトは、開始直後に、社会政治的変化や治安の悪化があり、進捗が予定よりやや遅れているものの、当初計画していた活動を順次進めている。

ブルキナファソ国のニーズと政策、日本側の政策と合致しており、妥当性は概ね高い。ただし、REFORME の再検討が進められており、その方向性とプロジェクトが整合性あるよう配慮しつつプロジェクト活動を実施する必要がある。

活動が順調に進めばプロジェクト目標は達成できる見込みである。

投入は適切に実施されており、成果も中間レビュー時点で想定していたものはある程度発現していることから、効率性はある程度高い。

プロジェクト目標が達成され、プロジェクト終了後にブルキナファソ側で活動を継続すれば、インパクトは見込める。ただし、REFORME 枠組み文書の再検討の動向、REFORME 適用化実施の予算化、AMOC ロードマップの実施の進捗状況等の外部条件に留意する必要がある。

持続性は、政策・制度面、組織面、技術面、財政面で課題があり中程度である。

上記のとおり、いくつか課題が見られるため、今後の活動で取組んでいくことが望まれる。また、REFORME の動向を注視し、再検討作業に参画しつつそれに対する対策をとることが望ましい。

## 第4章 提言

### 4-1 提言

評価チームは、プロジェクトの残り期間での対応に関し、以下の通り提言を挙げる。

- (1) プロジェクト開始直後の状況と、REFORME のキーマンであるコミューン議会の設置に時間がかかったことから、プロジェクト目標を達成するため、ブルキナファソ側は、プロジェクトの延長を提案した。そのために、ブルキナファソ政府は、REFORME 実施に必要な条件、特に REFORME 枠組み文書とツールの再検討の結果の確定と AMOC ロードマップの実効的な実施にコミットしなければならない。これらの条件が整った後、プロジェクトは PO の見直しを行うこととする。
- (2) プロジェクトは、REFORME 枠組み文書再検討の動向を注視しつつ、REFORME 再検討に関する情報を MEA とプロジェクトの間で共有し、再検討の議論に参画することが不可欠である。PN-AEP (2016-2030) において、新しい戦略として、水量の多い井戸を使いつつレベル 2 の管路給水の割合を増やして人力ポンプ井戸の数を徐々に減らす政策となっており、DANIDA、AFD 等の援助機関もその政策に即した支援を実施しようとしている。プロジェクトでは、こうした政策にも配慮して、REFORME の全国展開を計画することが必要である。REFORME のなかで、AEPS による給水については他ドナーの支援が先行しているため、本プロジェクトでは重複を避ける配慮からも、当面は人力ポンプ井戸の維持管理に注力することが適切と考えられる。
- (3) コミューンでは、人員や予算が不足しているが、AMOC ロードマップでは、水と衛生の担当者を配置することが計画されている。プロジェクトでは、AMOC 実施の進捗を注視しつつ活動を進めていくことが必要である。
- (4) REFORME 実施に関しては、プロジェクトで REFORME 枠組み文書に則った活動を計画している。今次中間レビューを通じ、関係者の間では、規定通りに実施されていないケースが見られた。これは、コミューンが水セクターに関する責任を果たす体制が十分に機能していないことが大きな要因と考えられる。REFORME 再検討の後、現状の REFORME 枠組み文書に大きな変更が行われない場合は、コミューンの支援体制を確立しつつ、段階的に REFORME を実施することが効果的と考えられる。具体的には、プロジェクトで、①AUE が給水施設の維持管理を適切に行う、②コミューンに AUE を支援する人材が配置され巡回指導が可能な体制を整える、③コミューンと AUE の維持管理契約を締結する、④AUE がコミューンに賦課金を納め、コミューンにより AUE に対する巡回保守が担保される、というステップを順に実現していくことが必要である。
- (5) 前フェーズで構築しようとしていた ZAT/UAT を活用した REFORME 実施のモニタリング・支援のしくみは、2013 年の組織改編により、水と農業担当の省庁が分かれたため、プロジェクトで、モニタリング・支援のしくみを構築することが必要である。MEA がコミューンと AUE、修理工の業務をモニタリング・支援するしくみを構築することが肝要である。中央プラトー州の活動を通じて REFORME 実施のモニタリング・支援体

制を早急に構築し、そのしくみが機能するかを検証し、調整したうえで、全国レベルで適用できる REFORME モニタリング・支援のしくみを可能な限り早く構築する。

- (6) プロジェクトでは、REFORME の各アクター（コミュニン、AUE、修理工）が REFORME 実施によりイニシアティブを持つよう、ワークショップを通じ一層取組んでいく。
- (7) AUE の努力では修理が不可能なため放置されている井戸が散見される。これは、REFORME 枠組み文書で規定されている大規模修復の必要な井戸のリハビリの責任者が、その役割を十分に果たすのが困難になっているためと考えられる。本プロジェクトの中で給水施設（人力ポンプ井戸）のリハビリを実施することが計画されている。その過程で得られた人力ポンプ井戸の大規模修復に関する責任区分の規定の情報や、対象井戸選定のクライテリア・優先付け等の経験を、プロジェクトで策定する REFORME 適用化マニュアルの中に取り入れることが望まれる。
- (8) プロジェクトでの実際の活動に合わせ、若干の PDM の改訂を行う。改訂版 PDM は、ブルキナファソ側・日本側で必要な検討・手続きを経たうえ、中間レビュー終了後の最初の JCC で合意することとする。主な改訂点は以下の通り。

修正箇所	修正内容
成果 2 の指標	「パイロットコミュニン」を「全 19 コミュン」とする。全てのコミュニンでプロジェクト開始時に AUE が設立されていたことから、パイロットコミュニンを選定して AUE 設立支援を行う必要がなくなった。その状況を受けて、プロジェクトでは、全 19 コミュンで AUE 設立後の REFORME 実施の活動を行っているため。
活動 2-3	上記に伴い、「パイロットコミュニン」を「全 19 コミュン」とする。 (なお、活動 2-4 の衛生啓発活動はパイロットコミュニンで行い、その結果は、成果 4 の全国普及用マニュアル・ツール等に取り入れることとする。)
上位目標の指標	「数」を「割合」に修正。表現をより適切なものとするため。

## 4-2 教訓

評価チームは、他の類似プロジェクトにも適用できる教訓として以下の点を導出した。

先方政府の政策に密接にアラインしたプロジェクトの扱い：

先方政府の特定の政策がプロジェクトの枠組みを規定しているプロジェクトの場合、同政策の見直しの動きが出てきた場合に対応する必要がある。また、同政策の妥当性が問われる事態になった場合に外部条件として静観するのではなく、プロジェクトは積極的に見直しのための材料を提供し、議論に参画するべきと考えられる。

### 4-3 技術アドバイザー 所感

#### (1) 本プロジェクトの阻害要因

本プロジェクトの大きな阻害要因として、リフォームの法制度的な問題とリフォームの実施体制の問題と、大きく2つの問題が存在していることを本中間レビュー調査において確認した。

リフォームの適用化は、下表のリフォームの進捗状況表に示す様に、AUEの設立やAUEとコミューン間の協定締結など形式的には全国レベルでかなり進捗しているが、AUEからコミューンへの賦課金支払いやコミューンによる修理工を使った巡回保守点検など協定で決められたリフォームの管理システムによる実際の活動はあまり行われていないことが明確になってきている。リフォームの関連法制度が整備されておらず、リフォームの仕組み自体に問題があるのではないかと疑われており、リフォームの枠組みドキュメントとリフォーム適用化のツール集の見直しが行われようとしている。人力ポンプに関しては、現在幾つかのNGOが活動しているが最も注力しているドナーはJICAであるため、リフォームの改善に対する本プロジェクトの貢献が期待されているのではなかろうか。

リフォームの実施体制については、AUEによる現場での人力ポンプの運営・維持管理は機能しているが、地方分権化により村落給水の権限と責務があり給水施設の所有者でもあるコミューンが役割を殆ど果たしていない。リフォームにおけるコミューンが関わる部分がなくとも稼働率がそれほど悪いわけではなく、そもそもコミューンによる巡回保守点検が住民にも行政にも余計な負担ではないか疑われる。ただし、政変によりコミューン行政が崩壊・再構築の段階にあることは斟酌する必要がある。コミューンに水・衛生の担当者を置く水・衛生省によるAMOCロードマップの実施が近々予定されており、その進捗を待ってコミューンがリフォームの役割を果たせるのか、また巡回保守点検が故障の低減や稼働率の向上に効果があるのか検証する必要がある。

リフォームの進捗状況表 (2015年12月末)

州	コミューンの数	村の数	セクターの数	AUEの数	承認されたAUEの数	銀行口座を持っているAUEの数	コミューンと協定締結したAUE数	コミューンに賦課金を支払ったAUE数	コミューンと修理工の契約数	巡回保守点検を実施した修理工数
Boucle du Mouhoun	47	992	31	984	764	862	984	0	0	0
Cascades	17	283	12	295	209	184	28	0	0	0
Centre	7	171	0	159	159	158	159	0	0	0
Centre-Est	30	756	17	762	762	757	455	0	0	0
Centre-Nord	28	964	66	937	886	894	928	-	48	-
Centre-Ouest	38	590	27	489	391	213	0	0	0	0
Centre-Sud	19	534	16	542	373	373	124	0	13	0
Est	27	795	32	796	796	796	796	68	0	0
Hauts-Bassins	33	480	13	493	477	454	493	55	7	7
Nord	31	887	20	903	895	799	880	166	12	12
Plateau Central	20	556	16	566	559	566	566	0	35	0
Sahel	26	680	32	712	712	-	712	-	28	28
Sud-Ouest	28	1,076	32	1076	1076	207	709	-	12	12
全国	351	8,764	314	8,714	8,059	6,263	6,834	289	155	59

出典：村落・準都市部における飲料水供給施設管理システム改革実施収支報告書（2016年1月）から編集



リフォームの進捗状況表（2016年12月末）

州	コミュニ ョンの数	村の数	セクタ ーの数	AUEの 数	承認された AUEの数	コミュニと協 定を締結し たAUE数	コミュニと修 理工の契約 数 2015年末	コミュニと修 理工の契約 数 2016年末
Boucle du Mouhoun	47	966	31	966	957	708	8	8
Cascades	17	282	13	295	207	50	1	1
Centre	7	171	0	159	100	159	3	3
Centre-Est	30	756	17	759	727	460	8	0
Centre-Nord	28	961	61	881	826	768	48	0
Centre-Ouest	38	590	35	508	400	49	0	0
Centre-Sud	19	547	18	543	526	137	12	0
Est	27	839	23	813	813	586	25	25
Hauts-Bassins	33	484	45	493	475	493	2	1
Nord	31	899	21	920	920	902	12	0
Plateau Central	20	581	16	569	568	568	36	0
Sahel	26	680	44	712	652	680	32	0
Sud-Ouest	28	1076	32	1076	1076	709	0	0
<b>全国</b>	<b>351</b>	<b>8832</b>	<b>356</b>	<b>8694</b>	<b>8247</b>	<b>6269</b>	<b>187</b>	<b>38</b>

出典：Bilan Annuel PN-AEPA 2016（2017年2月暫定版）から編集・修正

(2) リフォームの法制度の変遷

リフォームが必ずしもうまく行っておらず見直しの必要があるとの指摘が、PN-AEPA や PAR などの事後評価において2016年以降なされているが、リフォームの法制度については、枠組みドキュメント以外は明確になっていない。現在のリフォームのやり方がどのように形成されたか詳しくは知られていないようなので過去の経緯を整理してみた。

2000年第514号政令により採択された村落・準都市部の飲料水供給施設管理システム改革枠組みドキュメントによる基本原則は以下の3点であり、AUEとコミュニンの協定、AUEからコミュニンへの賦課金支払い、コミュニンが契約する修理工による巡回保守点検など、AUEとコミュニン間のことについては示されていない。

- ① 村ごとの水利用者組合（AUE）が利用者を代表する。
- ② 民間オペレーターは報酬を受けて、施設の運営・管理サービスをAUEに提供する。
- ③ 関係省庁などの公権力は、地方分権化による分割組織（未だコミュニンは存在しないが地方分権は決まっていた）を通して村落給水サービスを促進する。

枠組ドキュメントに基づいたリフォームの最初の試みとして、AFD（フランス開発庁）が村落・準都市部の飲料水供給施設の管理システム改革適用プログラム（PAR）を実施した。

（2002年9月16日に政府間の協定締結、2002年12月にプログラム開始、2004年9月にコンサル選定、2004年12月にフランスのANTEA社が業務開始し2009年9月に終了）。ブルキナファソ政府やJICAを含むドナーが現在実施しているリフォーム（管理システム改革）とは、法・制度的には枠組みドキュメントになるが、具体的な運営・維持管理手法はPARで策定されたものである。PARでは、「飲料水供給施設の権利を国から移譲されるコミュニンに責任感を持たせる」という方針の下、レベルI給水施設はコミュニンが修理人と人カンプの巡回保守点検契約を結ぶことになり、レベルII給水施設はコミュニンが民間オペレー

ターと運営・管理の委託協定を結ぶことになった。この PAR によって、枠組みドキュメントで示されたリフォームを適用するための具体的な管理システムとそのツールが作成され、リフォーム適用ツール集として 2008 年 12 月 21 日に PN-AEPA 国家管理委員会 (CNP/PN-AEPA) に採択され、これが具体的なリフォームの政策ととらえられている。

リフォーム適用ツール集においては、人力ポンプと簡易給水施設の各当事者（国、コミュニティ、AUE、管理人、修理工、利用者、民間業者）の役割と、リフォーム適用化におけるワークショップの種類や内容を示したリフォームの実施手法が示されている。また、ツールとして AUE の規約と内規、AUE と修理工間の協定、AUE とコミュニティ間の人力ポンプの管理委託協定、AUE と各人力ポンプの管理人間の協定、コミュニティと修理工間の人力ポンプの巡回保守点検の契約書が提示されている。

一方、2004 年 12 月 21 日付けの 2004 年第 055 号法の国土公共団体一般法において、コミュニティに浅井戸・深井戸・公共水栓の建設と管理および飲料水の生産と配水の権限が与えられている。公共の給水施設の所有権については、地方分権化以前は国にあり、建設後住民に譲渡されることが多かったようであるが、現在は国からコミュニティに完全に移譲されている。2006 年 4 月 23 日に 1 回目のコミュニティ議会議員選挙が行われ、2007 年 1 月からコミュニティに予算が配布された。コミュニティの設立と同時進行していた PAR では、コミュニティが実際にできる前の 2005～2006 年頃にコミュニティを中心としたリフォームによる新管理システムの具体的なやり方を決めており、PAR により各関係者の研修が一通り行われてリフォームによる新管理システムが実際に始動したのは 2007 年末か 2008 年初め頃である。PAR はリフォーム適用のパイロットということで当初計画より対象地域を絞り込んだが、パイロット的な試行錯誤は行われていない。AFD は PAR の後継プロジェクトとして北部中央州にて PAEPA-CN を 2015 年 6 月まで実施しているが、リフォームの手法は PAR 初期のものが最終版であり修正されていない。その後政変を挟むが、実証されていないリフォーム適用の初期モデルが、なぜか現在までそのまま全ドナーにより続けられている。近年ほとんどの関係者がリフォームには問題が多く改良すべきと考えるようになってきているのは、当然の成り行きと思われる。

ちなみに JICA は PAR 実施期間中の 2007 年 7 月に PROGEA の事前評価調査（第一次）を実施しているが、その時点でリフォーム適用ツール集に示されている基本的な事項は PAR において固まっていた。2008 年 12 月に事前評価調査（第二次）を実施し、リフォーム適用ツール集が採択された 2008 年 12 月から半年後の 2009 年 6 月から PROGEA（フェーズ 1）を 4 年間実施している。

### (3) 給水分野の国家計画について

ブルキナファソ国の給水分野の国家開発計画は、AfDB の支援で 2006 年に策定された目標年 2015 年の飲料水供給・衛生国家計画 (PN-AEPA) であった。PN-AEPA では、ミレニアム開発目標に従って、村落部における給水率を 2005 年の 52% から 2015 年に 76% に、村落部における衛生施設へのアクセス率を 2005 年の 10% から 2015 年に 54% にすることを目標にしていた。後継の給水国家計画の策定の遅れにより PN-AEPA は 1 年延長され 2016 年 12 月末に終了した。給水率については、2015 年 65.0%、2016 年 65.3% と未達成に終わった。

衛生のアクセス率については、2010年の家庭衛生施設アクセス全国アンケート調査によりアクセス率が0.8%であることが判明したため2015年の目標値が12%に下方修正され、2015年12%、2016年13.7%と一応達成はしている。いづれにしても、村落部においては水・衛生ともPN-AEPAの10年間で大きくは改善していない。

PN-AEPAの後継となる給水分野の国家開発計画は、水と衛生が分離し2016-2030年飲料水供給国家計画(PN-AEP(2016-2030))となり、2016年6月9日に採択、2017年からの実施となっている。PN-AEP(2016-2030)は、国連のSDGsのゴール6の「すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」とそのターゲットの「2030年までに安全で入手可能な価格の飲料水に対する全ての人々の公平なアクセスを達成する」に従っていると思われ、「飲料水のユニバーサルアクセス」を掲げて村落給水と都市給水の区別を徐々になくして、村落部でも2030年に給水率100%と各戸給水の主流化を目指している。このように野心的なPN-AEPの村落給水のターゲットは以下の4点となっている。

- 給水率を2015年の65%から2030年に100%に進展させる。
- 公共水栓による給水を受ける村落部の人口割合を2015年の8.7%から2030年に24%に増加する。
- 各戸接続による給水を受ける村落部の人口割合を2015年の0.3%から2030年に56%に増加する。
- 近代的点水源(人力ポンプ付き深井戸と近代的浅井戸)による給水を受ける村落部の人口割合を2015年の91%から2030年に20%に減少させる。

これらを達成するための新しいアプローチとして、揚水量の多い井戸を活用した水生産センター(Centre de Production d'Eau : CPE)から公共水栓と各戸接続によって給水するCPEタイプの給水が考案された。標準的な1カ所のCPEが1日600 m<sup>3</sup>(または1日16時間運転として37.5 m<sup>3</sup>/時)の生産量で3万人に給水するモデルとなっている。人力ポンプについては、2015年末現在で42,911カ所の人力ポンプ設置深井戸により6,337,678人に給水されており、2030年には約350万人が人力ポンプによる給水をするとしている(近代的点水源だと約416万人)。具体的には、上記のターゲットを達成するために、471カ所のCPEの建設、11,428kmの配水管網、8,577カ所の公共水栓、994,548カ所の各戸接続、397カ所の簡易給水施設(レベル2)のリハビリ、人力ポンプ設置井戸9,358カ所の新規建設と9,427カ所のリハビリが計画されており、2030年までの総費用は8,240億Fcfa(年間約100億円に相当)となっている。

リフォームに関しては、PN-AEPの戦略としてリフォームの実施を続行するとしているが、この戦略はサービス水準の変遷やPPPの推進の政策をより反映するよう改定されて当然であると記されている。

ちなみに、PN-AEP(2016-2030)はDANIDAと世銀の水衛生プログラムの資金でデンマークのコンサルタント会社(COWI)に委託して原案が作成されており、AMOCロードマップ策定に関する調査にもDANIDAの資金が入っている。また、DANIDAからの聞き取りで得たDANIDAのブルキナファソ国の給水分野への今後の援助方針とPN-AEPにおける新アプ

ローチの内容は完全に一致していた。なお、中間レビュー報告書原案の合同修正作業中に水・衛生省の C/P に PN-AEP の野心的な計画について正直どう思うか聞いたところ、現実的ではないと思っているとのことであった。察するに、給水分野の中心ドナーによる構想なので大きくは反対できないのではないかと思われた。ブルキナファソ側の C/P および水・衛生省は、意識は高いが未だ全体的にドナー頼みのところが強いように思われる。

#### (4) 人力ポンプ設置深井戸のリハビリについて

現地踏査において中央プラトー州 2 カ所、南部中央州 2 カ所の村を訪問し、AUE を含む住民へのヒアリングとハンドポンプ設置深井戸の視察を行ったところ、既に建設から 20～30 年が経過して老朽化しているにもかかわらず、住民（AUE）により修理しながら使われ続けている井戸が大変多いことが確認できた。

人力ポンプの耐用年数は、一般的には水中ポンプや発電機などの揚水機材と同様に 15 年程度と考えられている。深井戸については、ブルキナファソの給水施設のインベントリー調査において決められた給水率の算定基準では、井戸の寿命が 30 年とされ、30 年以上経過した井戸は給水率の算定に含めないことになっている。1998 年～2000 年に実施された我が国の無償資金協力によるギニアウォーム撲滅対策飲料水供給計画は、10 県で 307 本（中央プラトー州 3 県の計画数は 56 本）の人力ポンプ付き深井戸を建設しているが、これらの人力ポンプは既に耐用年数を過ぎており更新時期にきている。また、1986 年～1988 年頃にサウジアラビア基金でドイツの GIZ が実施した人力ポンプ付き深井戸が 30 年近く経過しているが、南部中央州には特に多く、南部中央と中央プラトーの両州に合計 500 本以上存在しているものと思われる。

リフォームによる管理システムでは、給水施設のリハビリや更新についての具体的なやり方が示されておらず、特に AUE・コミューン・国の 3 者間の責務の分担が明確でないように思われる。リフォーム適用ツール集によると、コミューンは給水施設を所有しており、コミューン開発計画（人力ポンプ付き井戸の新規建設やリハビリを含む）を策定して実施する役割があり、AUE は人力ポンプのメンテナンスおよび更新と水源井戸の保全の役割を負っている。人力ポンプの更新は制度上 AUE の責任になっているが、中古のポンプや放棄された他の井戸のポンプと交換している場合が多く、住民負担での新品による更新は難しい。実際には、AUE の手におえない大規模修理・改修やポンプの更新や井戸洗浄などの人力ポンプ設置井戸のリハビリは、国家計画の PN-AEPA やコミューンの開発計画に含まれており、国（水・衛生省と地方出先機関の州局）やコミューンの行政が実施している場合や、ドナーのプロジェクトが実施している場合、NGO が直接コミュニティに対して実施している場合など色々なやり方で行われている。法・制度的には、施設の所有者であるコミューンに井戸のリハビリの責務があつて、コミューンの能力が不十分な間は国が支援するというのが、適切なやり方ではないかと思われる。リハビリが必要な井戸は確実に増加していくので、現実的なリハビリの実施体制を検討して、リフォームの管理システムにおける住民負担の修理と行政負担のリハビリの区分の明確化と、関係者間の責任の明確化が必要と思われる。また、故障放置された井戸をリハビリするという単純なやり方では、苦勞して修理しながら使い続

けている老朽化した井戸との公平性やモラルの問題があるので、リハビリ対象井戸の選定方法や優先順位付けについても検討が必要である。

(5) プロジェクトの実施体制（専門家やC/Pとの関係）

ブルキナ側の C/P のリフォームや本プロジェクトに対する認識は非常に高く、特に C/P のプロジェクト調整員は本プロジェクトについて完全に理解しており意欲も高い。ただし、人事異動が多いためか、JCC において的外れな質問が多く、本プロジェクトについてあまり理解していない JCC メンバーが増えているのではないかと思われた。また、C/P 間および日本人専門家間の情報共有や意思の統一には、課題があるように思われた。ブルキナ側のプロジェクト調整員と日本側の総括の 2 名がしっかりとしており状況をよく把握している点は素晴らしいが、これからリフォームの改善や井戸のリハビリという当初の計画にない新しいことに挑戦するにあたり、関係者の知恵や力が結集できるかは注視する必要がある。プロジェクト当事者間の情報や意見の交換の場を定期的を持つことが望まれる。

以上

## 添 付 資 料

1. 調査日程表
  2. 主要面談者リスト
  3. カウンターパートリスト
  4. 日本人専門家派遣実績
  5. 国別研修参加者リスト
  6. 供与機材・携行機材リスト
  7. ローカルコスト
  8. セミナー・ワークショップ開催記録
  9. 評価グリッド
  10. 中間レビュー調査ミニッツ
    - 10-1. ミニッツ（仏文）（合同評価報告書、PDM 案含む）
    - 10-2. ミニッツ（和文）（合同評価報告書（和文）、PDM 案（英文）含む）
- ※添付資料は割愛
11. 中間レビュー調査時参照の PDM（Version1、和文）
  12. 中間レビュー調査時参照の PO（モニタリングシート第 2 号添付版、和文）
  13. 組織図
    - 13-1. 水・衛生省 組織図
    - 13-2. 水・衛生省 飲料水総局 組織図
  14. 収集資料
    - 14-1. 水衛生省作成「PN-AEPA2016 年報」（Bilan Annuel PN-AEPA 2016）（仏文）
    - 14-2. 水衛生省作成「PN-AEP 2016-2030」（仏文）
    - 14-3. ブルキナファソ政府作成 国家経済社会開発計画 PNDES2016-2030（英文）

※添付資料 「14.収集資料」については、大部であるため印刷版には掲載していない。  
JICA 図書館の報告書データベースにて参照のこと。

添付資料1 調査日程表  
(敬称略)

	日	曜	田中 (評価)	平松 (通訳)	村上・庄司 (JICA)	宿泊
1	2/27	月	0:35 羽田(AF293)→5:30 パリ 15:15 パリ(AF530)→19:55 ワガドゥグ			ワガドゥグ
2	2/28	火	8:30 JICA 事務所打合せ 10:00 水衛生省飲料水総局 面談 11:00 EU 面談 14:00 ブルキナファソ側評価メンバー 面談 15:30 プロジェクト専門家 面談 17:30-18:30 AFD 面談			ワガドゥグ
3	3/1	水	9:30 水衛生省衛生総局 面談 11:00 水衛生省調査・セクター統計総局 面談 13:00 IGIP (コンサルタント会社) 面談			ワガドゥグ
4	3/2	木	9:00 IRC(NGO)面談 15:30 Water Aid(NGO) 面談			ワガドゥグ
5	3/3	金	南部中央州ズンドウェオゴ県マンガコミュ ンへ 10:00 水衛生省 南部中央州局 面談 12:00 コミュン長・代理 面談 13:00 フォーカルポイント 面談 14:00 コミュン次官 面談 15:00 OCADES(NGO) 面談			マンガ (南部中央州)
6	3/4	土	南部中央州 11:00 ズンドウェオゴ県 Guiba (ギバ) コミュ ン Koakin AUE 関係者面談 13:00 バゼガ県 Kombissiri (コンビシリ) コミ ュン Toemiga AUE 関係者、フォーカルポ イント 面談			ワガドゥグ
7	3/5	日	資料作成・翻訳			ワガドゥグ
8	3/6	月	中央プラトー州ウブリテンガ県 ジニアレコミュン 10:00 ポンプ修理工 面談 11:00 LIMFAO (NGO) 面談  14:00 GIZ 面談			ワガドゥグ
9	3/7	火	中央プラトー州クルウェオゴ県 8:00 ブッセコミュン役所 面談 10:00 Laye コミュン役所 面談 13:00 Sondre AUE 関係者 面談 15:00 Wannoghin AUE 関係者 面談			ワガドゥグ
10	3/8	水	資料整理 (ブルキナファソ休日：国際女性デー)		0:35 羽田 (AF293)→5:30 パリ 15:15 パリ (AF524)→19:55 ワガドゥグ	ワガドゥグ

11	3/9	木	8:30 JICA 事務所 打合せ 9:00 ANTEA 面談 11:00 DANIDA 面談 13:30 水衛生省次官 表敬 14:30 ブルキナファソ側評価メンバー 打合せ 16:00 団内打合せ	ワガドゥグ
12	3/10	金	南部中央州バゼガ県 Kayao (カヤオ) コミュニ 10:00 Kinkirou (キンキル) AUE 関係者 面談 12:00 Kossilci (コシルシ) AUE 関係者、フォーカルポイント面 談 18:30 合同評価報告書案 (和文) 作成 (平松通訳はワガドゥグにて仏語訳作業)	ワガドゥグ
13	3/11	土	中央プラトー州クルウェオゴ県 Sourgoubila (スルグビラ) コミュ ニ 9:00 Guela (グエラ) AUE 関係者 面談 12:00 Zoundri (ズンドリ) AUE 関係者 面談 16:00 団内打合せ: 合同評価報告書案 (和文) 作成 (平松通訳はワガドゥグにて仏語訳作業)	ワガドゥグ
14	3/12	日	9:00 団内打合せ: 合同評価報告書案 (和文) 修正、追加情報収集	ワガドゥグ
15	3/13	月	9:00 合同評価メンバーチーム内打合せ: 報告書案 (仏語) 内容確 認	ワガドゥグ
16	3/14	火	8:30 合同評価メンバーチーム内打合せ: 報告書案 (仏語) 内容確 認 15:30 DGEP 局長、職員 (C/P) との打合せ	ワガドゥグ
17	3/15	水	7:30 合同評価メンバーチーム内打合せ: 報告書案 (仏語) 内容確 認 9:00 JCC 15:00 ミニッツ署名	ワガドゥグ
18	3/16	木	11:00 日本大使館 報告 14:00 JICA 事務所 報告 ワガドゥグ発 (SN256 22:35)→	ワガドゥグ
19	3/17	金	→5:15 ブリュッセル 6:50 ブリュッセル (SN3631)→7:45 パリ 13:50 パリ (AF276)→	機内泊
20	3/18	土	→9:45 成田	



添付資料 2 : 主要面談者リスト

水・灌漑省 (MEA)

Mr. SORI Alassoun                      Secrétaire Général

MEA-DGEP

Mr. YE Dofihouyan                      Directeur Général de l'Eau Potable  
Mr. BAZIE Jean                          Sociologue, Coordinnateur du PROGEA 2  
Mr. GANAME Yasseyd                    Ingénieur Génie Rural  
Mr. GOUBGOU T. Harouna                Energie Solaire/Agent  
Mr. TRAORE Alassane                    Géologue/Agent, DAEP  
Mr. ZOMBRE Adama                      Géologue/Agent, DAEP  
Mme CARABIRI Hadja                    Ingénieur Génie Rural/Agent, DAEP  
Mme COULIBALY Karatoumou          Sociologue/Agent, DAEP

MEA-DGA

Mr. TRAORE Sirima D. Amunata        Chef de Service  
Mme SAWADOGO Ouedeaogo Anissatou    Agent  
Mr. CISSE Soumayla                      Agent  
Mme LANKOANDE Ouedaogo Aminata      Agent

MEA-DGESS

Mr. COMPAORE Julien    Directeur de la Coordination des Projets et Programmes

水・灌漑省 南部中央州 (Centre-Sud)

DREA-CSD

Mr. OUERDAOGO Salif                    Comptable  
Mr. SANE Didier                         Sociologue  
Mr. OUTTARA Baba                        Ingénieur

Commune

Mr. CONOMBO Firmen                    Maire, Bindé  
Mr. KOUSA Mahamoudou                Secrétaire Général, Bindé  
Mr. MARE K. Mohamed                  Maire, Gom-Boussougou  
Mr. MAMA Hawuna                        Secrétaire Général, Gom-Boussougou  
Mr. COMPAORE Barré                    Maire, Guiba

Mr. SANOU S. Théodore	Sécretaire Général, Guiba
Mr. BOUITA T-Bernard	Maire, Gogo
Mr. ZOUNGRANA H. Joseph	Maire, Nobéré
Mr. TIEMTORE K. Henri	1 <sup>er</sup> Adjoint au Maire, Béré
Mme BOUDA Georgette	2eme Adjointe au Maire

Focal Point

Mr. TAPSOBA Teloï	Bindé
Mr. KAFANDO Hamacho	Gogo
Mr. ILBOURDO Boureima	Nobéré

水・灌漑省 中央プラトー州 (Plateau Central)

Commune

Mr. SAWADOGO Felix	SG, Mairie Boussé
Mr. KINDA Philippe	1er Adjoint au Maire, Boussé
Mr. KABORE Yelbi Adama	Régisseur Maire, Boussé
Mr. OUEDRAOGO Jean-Bruno	Personne Ressource Village Sao, Boussé
Mr. KOAMA R. Richard	Point Focal, Mairie Boussé
Mr. ZANGO Boniface	Maire, Laye
Mr. Paul WEDOGA	SG, Laye
Mme ZANGO Brigit	Comptable, Laye

Maintenanciers

Mr. KOANDA Saychou	Maintenancier/ Président AKMO/ Président FAMPCL
Mr. COMPAORE P. Rasmane	Maintenancier/ Président de l'Association Maintenanciers Ganzourgou
Mr. KABORE R Alain	Maintenancier/Vice Président de Fédération
Mr. TAPSOBAa Nokidod Iarassi	Maintenancier de Commune de Toéghin
Mr. OURDRUOGO Noufan	Maintenancier/ Secrétaire Général de Fédération
Mr. PACERE No Hamada	Maintenancier/ Secrétaire, Akamo

ドナー、NGO、現地コンサルタント (Development Partners)

EU

Mr. Briac DEFFOBIS      Chef d'équipe Secteur Socio-économie

Mr. Mathieu BADOLO      Chargé de programmes "Eau & Assainissement",  
Section Infrastructures

AFD

Mr. Denis VASSEUR                      Chargé de mission

GIZ

Mr. Willi KOHLMUS                      Conseiller Technique Principal

DANIDA

Mr. Aboubacar ZOUGOURI              Chargé de Programme,  
Secteur Eau et Assainissement

IRC

Mr. Hilaire Firmin DONGOBADA Responsable des Opérations (Chief Operation Officer)

Mr. Richard BASSONO      Chargé de Recherche-Action (Action-Research Officer)

WaterAid

Dr. Halidou KOANDA                      Country representative (Représentant Pays)

Mr. Ousmane Yaya BOCOUM              In charge of fundraising (Chargé de collecte de fonds)

OCADES

Mr. G. J. Thierry ZONGO                      Responsable Suivi-Evaluation

LIMFASO

Mr. GOORE Fidele

IGIP Afrique

Mr WANDAOGO Adama                      Ingénieur Hydrogéologue

Mme GO Louise                              Sociologue

**ANTEA**

Mr. CONZIBAZY Soukalo	Contrôleur
Mr. ZERBO Saidou	Contrôleur, Secteur Civil
Mr. AHYEE Genu	Ingenieur d'affaires
Mr. ZERBO Elie	Sociologue

**在ブルキナファソ日本国大使館**

二石 昌人	特命全権大使
倉富 健治	参事官
出口 彩央里	開発協力・政務担当・三等書記官

**PROGEA2 プロジェクト専門家**

小野 健	総括
------	----

**JICA ブルキナファソ事務所**

小林 丈通	所長
徳田 進平	所員
内藤 伸吾	所員
占部 未来	企画調査員
Mr. GANSORE Cheick	ナショナルスタッフ

添付資料3 カウンターパートリスト

プロジェクト・ナショナルコーディネーター

氏名	役職	プロジェクトでの活動期間
BAZIE Jean	プロジェクトマネージャー／水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 社会学担当職員 Coordonnateur du Projet / Sociologue, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在

プロジェクト・マネージャー

氏名	役職	プロジェクトでの活動期間
SOMDA Romaric	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局長 Directeur de l'Approvisionnement en Eau Potable (DAEP), Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
SORI Alassoun	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局長(前任) Directeur de l'Approvisionnement en Eau Potable (DAEP), Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～2016年4月 (前任)

MEA

氏名	役職	プロジェクトでの活動期間
SORI Alassoun	水・衛生省事務次官 Secrétaire Général du Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (SG)	2015年9月～現在

DGEP

氏名	役職	プロジェクトでの活動期間
YE Dofihouyan	水・衛生省 飲料水総局長 Directeur Général de l'Eau Potable (DG), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年4月～現在
SAVADOGO Amidou	水・衛生省 水資源総局長(前任) Directeur Général des Ressources en Eau (DGRE), Ministère de l'Eau et de l' Assainissement	2016年4月～2016年4月 現在はMEA大臣技術顧問
SOMDA Maria	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 計画立案・官民連携推進課長 Chef de Service, Planification et Promotion du Partenariat Public Privé, Direction de l' Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l' Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
GOUBGOU Harouna	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 計画立案・官民連携推進課員 Agent de Service, Planification et Promotion du Partenariat Public Privé, Direction de l' Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l' Eau et de l'Assainissement	2016年4月～現在
TRAORE Alassane	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 インフラ開発課長 Chef de Service, Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l' Assainissement	2015年9月～現在
TOE Ruth	水・衛生省 水資源総局 飲料水供給局 コミュニケーション事業実施推進課長(前任) Chef de Service, SPAMO, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction G énéral des Ressources en Eau, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～2016年6月 現在は北部州局長
OUEDRAOGO / TAPSOBA Christine	水・衛生省 水資源総局 飲料水供給局 インフラ開発課長(前任) Chef de Service, Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général des Ressources en Eau, Ministère de l'Eau et de l' Assainissement	2015年9月～2016年6月 現在は東部州局長
SAWADOGO / KANZIE Céline	水・衛生省 水資源総局 飲料水供給局 インフラ開発課(前任) Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général des Ressources en Eau, Ministère de l'Eau et de l' Assainissement	2015年9月～2016年6月 現在はカスカード州局長
BAMOGO Idrissa	水・衛生省 水資源総局 飲料水供給局 局長付顧問 AT, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～2016年6月 現在は南部中央州局長
GANAME Yasseya	水・衛生省 飲料水総局 技術アシスタント(顧問) Assistant Technique, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l' Assainissement	2015年9月～現在
BONKOUNGO Stanislas	水・衛生省 飲料水総局 技術アシスタント(顧問) Assistant Technique, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l' Assainissement	2015年9月～現在
BADOLO/IVO Mariam	水・衛生省 飲料水総局 計画立案・評価モニタリング局 評価モニタリング課員 Agent de Service, Suivi-Evaluation de Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
SANOU Omer	水・衛生省 飲料水総局 コミュニケーション事業実施支援課 Service de l'Assistance à la Maitrise d'Ouvrage Communale, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年4月～現在
ZOMBRE Adama	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 インフラ開発課 Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
COULIBARY Korotoumou	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 計画立案・官民連携推進課 (S5P) Service Planification et Promotion du Partenariat Public Privé, Direction de l' Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l' Assainissement	2015年9月～現在
ROUAMBA Faizatou	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 インフラ開発課 Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年4月～現在
OUEDRAOGO Diane	水・衛生省 飲料水総局 計画立案・評価モニタリング局 評価モニタリング課員 Agent de Service, Suivi-Evaluation de Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年4月～現在

BORO Toro	水・衛生省 飲料水総局 計画立案・評価モニタリング局長 Directeur de la Programmation et du Suivi Evaluation (DPSE), Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
TAPSOBA Adama	水・衛生省 飲料水総局 計画立案・評価モニタリング局 評価モニタリング課員 Agent de Service, Suivi-Evaluation de Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
AKIALA Baguiawan	水・衛生省 飲料水総局 コミュニ事業実施支援課長 Chef de Service, Assistance à la Maitrise d'Ouvrage Communale, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
KONE Seydou	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 インフラ開発課 Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
BALIMA Amadou	水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 インフラ開発課 Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
KABORE/KARA Aminata	水・衛生省 飲料水総局 コミュニ事業実施支援課 Service de l'Assistance à la Maitrise d'Ouvrage Communale, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年9月～現在
BAGORO Désiré	水・衛生省 飲料水総局 総務・財務課長 Chef de Service, Service Administratif et Financier (SAF), Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年12月～現在
BAYALA Julien	水・衛生省 飲料水総局 総務・財務課長(前任) Chef de Service, Service Administratif et Financier (SAF), Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～2016年12月
SANDWIDI Zida David	水・衛生省 飲料水総局 総務・財務課 Service Administratif et Financier (SAF), Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
KABORE / YAMEOGO Julie	水・衛生省 飲料水総局 計画立案・評価モニタリング局 評価モニタリング課員 Agent de Service, Suivi-Evaluation de Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
KOAMA / ZERBO Regine	水・衛生省 コミュニケーションユニット Cellule de communication, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在

#### DGA

氏名	役職	プロジェクトでの活動期間
NONGUIERMA André Patindé	水・衛生省 衛生総局長 Directeur Général de l'Assainissement (DG), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年6月～現在
OUEDRAOGO Josephine	水・衛生省 衛生・汚水・廃棄物総局長(前任) Directrice Générale de l'Assainissement, des Eaux Usées et Excretas (DGA), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～2016年6月(前任) 現在はMEA大臣顧問
PALENFO Fouseini	水・衛生省 衛生局 戦略的計画立案・評価モニタリング局長 Directeur de la planification Stratégique et du Suivi Evaluation (DPSSE), Direction Général de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
N'TSOUKPOE/LOMPO Joanna Marie Delphine	水・衛生省 衛生総局 衛生に関する研究・助言指導・推進局長 Directrice de la Recherche, de l'Appui-conseil et de la Promotion de l'Assainissement (DRACPA), Direction Général de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年9月～現在
CISSE Soumayla	水・衛生省 衛生総局 Direction Général de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年6月～現在
SAWADOGO Gradice	水・衛生省 衛生総局 Direction Général de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
SOURABIE Oussemame	水・衛生省 衛生総局 Direction Général de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年6月～現在
TRAORE/SIRIMA Dioko Amunata	水・衛生省 衛生総局 Direction Général de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年11月～現在
SAWADOGO / OUEDRAOGO	水・衛生省 衛生総局 Direction Général de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年11月～現在

#### DREA/CSD

氏名	役職	プロジェクトでの活動期間
BAMOGO Idrissa	水・衛生省 水衛生州局長 Directeur Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
OUEDRAOGO Clarisse	水・衛生省 水衛生州局長(前任) Directeur Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～2016年6月 現在は中北部州局長
OUATTARA Baba	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年3月～現在
SANE Didier A. K.	水・衛生省 水衛生州局 社会学担当職員 Sociologue, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
TRAORE Issa	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
SOME Lucien	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在

DJIBO Ibrahima	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年9月～現在
YANOGO W. Jonathan	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年9月～現在
SOU K. Félix	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年9月～現在
ZOUNDI Ousmane	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年9月～現在

#### DREA/PCL

氏名	役職	プロジェクトでの活動期間
KABORE Zourata	水・衛生省 水衛生州局長 Directrice Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年6月～現在
OUEDRAOGO Idrissa	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
OUEDRAOGO Souleymane	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～2016年9月 現在2iE就学中
SAWADOGO Mady	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	
KOALA Leticia	水・衛生省 水衛生州局員(ウブリテンガ県担当) Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	
COMPAORE Issiaka	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
SOMTORE François	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	
SOURABIE Braman	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年3月～現在
SAVADOGO Lassana	水・衛生省 水衛生州局員 Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2016年3月～現在
OUATTARA Moctar	水・衛生省 水衛生州局 社会学担当職員 Sociologue, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
LAMIEN Banou	水・衛生省 水衛生州局員(クルウェオゴ県担当) Agent, Point Focal dans la province du Kourwéogo, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在
OUEDRAOGO Alaye	水・衛生省 水衛生州局員(ガンズルグ県担当) Agent, Point Focal dans la province du Ganzourgou, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	2015年9月～現在

## 添付資料4 日本人専門家派遣実績

	担当	氏名	派遣期間	派遣日数(日)	M/M
第1年次 (2015/9/5 /2016/1/6 /2016/8/8)	チーフアドバイザー／地方 給水施設運営維持管理計 画	小野 健	2015年9月13日～2015年10月26日	44	1.47
			2016年1月10日～2016年4月25日	107	3.57
			2016年5月17日～2016年8月7日	83	2.77
	副総括／組織能力強化／ 衛生啓発・教育1	西山 範之	2016年3月29日～2016年5月13日	46	1.53
			2016年6月6日～2016年7月13日	38	1.27
	給水施設保守整備1	高見沢 清子	2016年7月2日～2016年7月13日	23	0.77
	給水施設保守整備2	山崎 一美	2015年11月12日～2015年12月26日	45	1.50
			2016年4月23日～2016年5月14日	22	0.73
	衛生啓発・教育2／業務調 整	古野 順平	2015年9月13日～2015年12月5日	84	2.80
			2016年2月19日～2016年6月19日	96	3.20
派遣日数計(MM)				588	19.60

	担当	氏名	派遣期間(予定含む)	派遣日数(日)	M/M
第2年次 (2016/1/6 /2016/9/5 /2017/1/7 /2018/8/8)	チーフアドバイザー／地方 給水施設運営維持管理計 画	小野 健	2016年10月30日～2017年1月13日	76	2.53
			2017年2月1日～2016年5月11日	100	3.33
			2017年7月8日～2017年8月21日	45	1.50
			2017年9月16日～2017年11月3日	49	1.63
			2018年1月7日～2018年3月7日	60	2.00
			2018年4月9日～2018年7月22日	105	3.50
	副総括／組織能力強化／ 衛生啓発・教育1	西山 範之	2016年10月15日～2016年12月13日	60	2.00
			2017年4月13日～2017年5月27日	45	1.50
			2017年8月3日～2017年10月16日	75	2.50
			2018年1月18日～2018年4月2日	75	2.50
	給水施設保守整備1	高見沢 清子	2018年5月10日～2018年7月8日	60	2.00
			2016年11月7日～2016年11月28日	22	0.73
			2017年3月1日～2017年4月14日	45	1.50
			2017年11月1日～2017年11月28日	28	0.93
	給水施設保守整備2	山崎 一美	2018年5月9日～2018年5月31日	23	0.77
			2017年6月1日～2017年7月30日	60	2.00
			2017年11月1日～2017年11月28日	28	0.93
	衛生啓発・教育2／業務調 整	古野 順平	2016年10月14日～2016年11月28日	46	1.53
			2017年1月9日～2017年2月21日	44	1.47
			2017年5月1日～2017年7月14日	75	2.50
2017年10月21日～2017年12月9日			60	2.00	
2017年3月15日～2017年5月13日			60	2.00	
派遣日数計(MM)				1213	40.43



添付資料5 国別研修参加者リスト

研修コース名: 村落給水施設維持管理(ブルキナファソ)/Gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable en milieu rural (Burkina Faso)

期間: 2016年7月8日—24日(往復渡航含む)

研修場所: 北海道、関東

参加者

氏名	所属・役職
Mr. SORI Alassoun	水・衛生省事務次官 Secrétaire Général du Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (SG)
Mr. YE Dofinouyan	水・衛生省 飲料水総局総局長 Directeur Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (DG)
Mr. BONKOUNGOU Stanislas	水・衛生省 飲料水総局 技術アシスタント(顧問) Assistant Technique, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement
Mr. BAZIE Jean	プロジェクトコーディネーター／水・衛生省 飲料水総局 飲料水供給局 社会学担当職員 Coordonnateur du Projet / Sociologue, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement

主な研修内容

- 小規模水道の管理(北海道庁環境生活部環境局、講義)
- 定山溪ダム、藻岩浄水場(北海道開発局豊平川統合ダム管理事務所、札幌市水道局、視察)
- サニテーション(北海道大学大学院工学研究院 船水教授、講義)
- 小規模水道存続の課題(北海学園大学工学部社会環境工学科 余湖教授、講義)
- 東川町各戸給水(地下水)視察(東川町役場、視察)
- 日本の水道の発展経緯(公益財団法人北海道環境財団 小林理事長)
- 日本における水道施設維持管理業務の民間委託(水道運営管理協会)
- 東京水道歴史館(視察)
- 神奈川県相模原市の簡易水道施設および水道組合の視察(相模原市道路局津久井土木事務所藤野班)
- アフリカ他国の給水施設維持管理事情(EHC、日本テクノ)
- 研修成果発表(JICA地球環境部)

添付資料6 供与機材・携行機材リスト

No.	機材名	仕様・メーカー	単価	数量	合計価格	納入日	設置場所
1	PC(デスクトップ)	HP(TPC-F074-MT)	550,000 FCFA	1	550,000 FCFA	2015/10/22	PROGEA2
			113,300 円		113,300 円		
	PC(デスクトップ)	LENOVO(H50-50 MT)	770,000 FCFA	2	1,540,000 FCFA	2016/6/9	DGEP、DREA/CSD
			144,452 円		288,904 円		
2	PC(ラップトップ)	LENOVO(Idea Pad 300)	625,000 FCFA	5	3,125,000 FCFA	2016/6/9	DGEP×2、DREA/CSD×1、 DREA/PLC×1、PROGEA2×1
			117,250 円		586,250 円		
3	コピー機	CANON(IR2520)	1,400,000 FCFA	1	1,400,000 FCFA	2015/10/22	PROGEA2
			288,400 円		288,400 円		
4	プリンタ	HP(LaserJet Pro 200)	300,000 FCFA	1	300,000 FCFA	2015/10/22	DGEP
			61,800 円		61,800 円		
	プリンタ	CANON(MF8540Cdn)	395,750 FCFA	1	395,750 FCFA	2016/6/13	PROGEA2
			74,243 円		74,243 円		
5	カラーレーザープリンタ	HP(LaserJet Couleur M750 dn)	2,100,000 FCFA	1	2,100,000 FCFA	2015/11/4	PROGEA2
			422,100 円		422,100 円		
6	GPS*	GARMIN(MAP 64S)	270,000 FCFA	3	810,000 FCFA	2015/11/18	PROGEA2×3
			54,270 円		162,810 円		
7	ビデオプロジェクター	EPSON(EB-S18)	350,000 FCFA	1	350,000 FCFA	2015/10/22	PROGEA2
			72,100 円		72,100 円		
8	無停電電源装置	MERCURY(Elite 1500 Pro)	200,000 FCFA	4	800,000 FCFA	2015/10/22	PROGEA2×4
			41,200 円		164,800 円		
	無停電電源装置	MERCURY(2000VA)	175,000 FCFA	3	525,000 FCFA	2016/7/19	DGEP×2、DREA/CSD×1
			30,153 円		90,458 円		
9	フィッシングツール	滑車、揚水管、シリンダー、ロッドフィッシング、三脚付属品、パイプフィルター、パイプカッター、ステンレス管用万力、万力用三脚、万力、ステンレス管用スパナ、チェーンブロック用スパナ	1,826,000 FCFA	3	5,478,000 FCFA	2016/8/1	DREA/CSD×3
			322,289 円		966,867 円		
合計			17,373,750FCFA(=3,292,031円:各月のJICA統制レートによる)				

\*GPS(No. 6)のみ日本で調達。残りはブルキナファソで調達。

## 添付資料7 ローカルコスト

日本側

年	費目	金額
2015	一般傭人費	71 千円
	車両関連費	571 千円
	賃料借料	6 千円
	消耗品費	72 千円
	旅費・交通費	545 千円
	通信・運搬費	73 千円
	雑費	82 千円
	2015年計	1,420 千円
2016	一般傭人費	807 千円
	特殊傭人費	1,480 千円
	車両関連費	4,665 千円
	賃料借料	770 千円
	施設・機材保守管理費	2 千円
	消耗品費	1,064 千円
	旅費・交通費	11,116 千円
	通信・運搬費	202 千円
	資料等作成費	1,361 千円
	雑費	3,355 千円
	2016年計	24,822 千円
2017	一般傭人費	72 千円
	特殊傭人費	11 千円
	車両関連費	436 千円
	賃料借料	51 千円
	施設・機材保守管理費	48 千円
	消耗品費	20 千円
	旅費・交通費	3,625 千円
	通信・運搬費	2 千円
	資料等作成費	227 千円
	雑費	1,144 千円
2017年計	5,636 千円	
合計		31,878 千円

2017年1月末までの実績

ブルキナファソ側

年	金額(百万FCFA)
2016	45
2017	74
2018	66
合計	185

2016年は、全額拠出済み。2017、2018年は予定。  
このほかプロジェクト事務所の光熱費を負担

添付資料8 セミナー・ワークショップ開催記録

2017年2月19日現在

No.	分類	コース名	期間	開催地 (場所)	参加者属性	参加者数 (プロジェクトメンバー除)	研修内容
成果1							
	REFORME	REFORME適用化の進捗共有・全国普及用マニュアル検討ワークショップ	2016年1月12日～15日	クドゥグゥ市 (Chicホテル会議室)	-水資源総局(DGRE)のC/P -全国州局の担当者各1名 -プロジェクトチーム	20	-全国におけるREFORME進捗状況の整理とその報告書の作成 -REFORME実施における課題・問題点の洗い出しとその要因分析 -REFORME全国普及に向けた改善策の検討 -REFORME適用化文書の改訂、マニュアル・ツール類の改善、全国普及計画策定のポイントに関する協議
	REFORME	REFORME適用化検討全国ワークショップ	2016年3月23日～24日	ワガドゥグ市 (ロイヤルビーチホテル会議室)	-水・衛生省(MEA)および州局代表 -水資源総局(DGRE)および衛生総局(DGAEUE)C/P -関連行政機関(経済・財務・開発省、国土行政・地方分権化・国内治安省、保健省、国民教育省、ONEA) -ドナー(GIZ、KfW、USAID WA-WASH、UNICEF、SIDA、JICA) -地方自治体(給水衛生サービスが設置されている8コミューン、AMBF、州自治体協会代表) -NGO(IRC、réseau Projection、Eau Vive、ACF、SPONG、SOS Sahel、OCADES、Plan Burkina) -民間業者(給水施設運営管理委託業者、REFORME適用化業務コンサルタント) -プロジェクトチーム	98	1日目 -開会挨拶(MEA事務次官、JICAブルキナファソ事務所長) -2016年1月に取りまとめたREFORME全国進捗報告書の発表と質疑応答 -PROGEA2の概要発表 -グループ討議(PMH維持管理、AEPS維持管理、モニタリングシステムの3分科会に分かれてREFORMEの課題、解決策について検討)2日目(3月24日) 2日目 -グループ討議(継続) -各分科会の討議結果の発表、質疑応答
成果2							
	REFORME	南部中央州 コミューン関係者対象REFORMEワークショップ	2016年6月29日～7月22日	16コミューン (各コミューン庁舎会議室)	-コミューン代表3名(SG、フォーカルポイント、会計担当) -郡長(PDS)1名 -各AUE代表2名(AUE事務局メンバー) -コミューン在住ポンプ修理工 -MEA州局代表1名 -州局の県在住フォーカルポイント(中央ブラトー州のみ) -経済・財務省市場・融資監督州局および県局(DRCMEF/DPCMEF) -DGEP/MEA -プロジェクトチーム	962	1日目 -ワークショップの目的および実施手法の説明 -REFORMEに基づく給水施設維持管理システムの復習(背景、目的、原則、関係者とその役割、REFORME実施に係る手順や活動など) -各コミューンにおける給水施設維持管理活動の現状についての協議 -コミューン・村落におけるREFORME実施における成果、課題、問題点に関する協議 2日目 -給水施設維持管理における問題点に対する課題の検討 -コミューンの実情に適合した水サービスへの支払い方法・金額 -REFORMEの実施に関するアクションプランの作成 -ワークショップ結果の取りまとめ
	REFORME	南部中央州 州関係者対象REFORMEワークショップ	2016年12月8日～9日	マンガ市 (Pouloumdeホテル会議室)	-州知事、州事務次官、州議会議長、県知事 -コミューン市長、コミューン事務次官、郡長 -AEPS維持管理業者(SAWES) -NGO・プロジェクト代表(OCADES、Eau Vive、MORIJA) -ローカルコンサルタント会社(本プロジェクトにかかるベースライン調査とコミューンワークショップ開催の現地再委託先:IGIP Afrique社) -州関連行政機関(経済財務省州・県局、州・県教育局、保健州局・保健管区事務所、農業水利省州・県局、環境省州局、女性・ジェンダー推進州局) -メディア(SIDWAYA紙) -DGEP、DREA/PCL、DGA -JICAブルキナファソ事務所(占部企画調査員) -ナショナルコーディネーター -プロジェクトチーム	105	-REFORMEの背景(地方分権化、コミューンによる事業主管(MOC)、従前の維持管理システムの問題点とREFORMEの必要性) -REFORMEの目的・原則、維持管理システム、維持管理に係る資金の流れ、関連アクターの責務・役割 -全国及び州のREFORME実施状況の報告 -コミューンワークショップ(2016年6月～7月実施)の結果共有 -各コミューンでの適切な給水施設維持管理体制の確立のための課題・教訓、対策の検討

添付資料8 セミナー・ワークショップ開催記録

2017年2月19日現在

No.	分類	コース名	期間	開催地 (場所)	参加者属性	参加者数 (プロジェクトメンバー除)	研修内容
	REFORME	南部中央州 コミュニティ関係者対象REFORME 研修 (ナウリ県)	2017年2月13日～16日	ボ市 (市役所会議室)	-5コミュニティ(各コミュニティから8名:市長、事務次官、第1・第2副市長、環境・ 地域開発委員長、会計担当、フォーカルポイント) -関連行政機関(DGEP、DREA/CS、DGA、県庁、経済財務省州・県局 (DRCMEF/DPCMEF)、郡長) -AEPS維持管理委託企業(SAWES) -対象コミュニティで活動している給水セクターパートナー(OCADES、Eau Vive、Self Help for Africa、MORIJA) -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	57	1日目 -導入:研修目的、手法、プログラムの説明 -給水施設維持管理に係る背景(地方分権化、給水・衛生セクターにおける地方自治体 (コミュニティ)への権限移譲、コミュニティによる事業主管(MOC)、公共水サービス -REFORMEの概要説明(REFORMEの目的・原則、維持管理システム、維持管理に係 る資金の流れ、関連アクターの責務・役割、実施手順)、参加者との質疑応答・協議 2日目 -REFORME実施ツール(1):ポンプ修理業者の認可 -REFORME実施ツール(2):AUEの認証 -REFORME実施ツール(3):PMH維持管理(コミュニティ・AUE間の給水施設維持管理 委託協定、コミュニティ・ポンプ修理業者間の保守整備契約) 3日目 -REFORME実施ツール(4):AEPS維持管理(民間委託契約) -各コミュニティにおけるREFORMEの適切な実施(REFORME実施手順、DREAによるコ ミュニティへのフォローアップ、コミュニティによる関係者(AUE、ポンプ修理業者)への指 導・フォローアップ -給水・衛生に関するコミュニティ向けガイドの説明・配布(DGEP/DGA) -グループワーク(各コミュニティにおけるREFORME適用化への取り組み協議、コミュニ ティアクションプランの策定) 4日目 -グループワーク(コミュニティアクションプランの策定) -コミュニティアクションプランの発表、討議
	REFORME	南部中央州 コミュニティ関係者対象REFORME 研修 (バゼガ県)	2017年2月20日～23日	コンビシリ市 (市役所会議室)	-7コミュニティ(各コミュニティから8名:市長、事務次官、第1・第2副市長、環境・ 地域開発委員長、会計担当、フォーカルポイント) -関連行政機関(DGEP、DREA/CS、DGA、県庁、経済財務省州・県局 (DRCMEF/DPCMEF)、郡長) -AEPS維持管理委託企業(SAWES) -対象コミュニティで活動している給水セクターパートナー(OCADES、Eau Vive、Self Help for Africa、MORIJA) -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	69	同上
	REFORME	南部中央州 コミュニティ関係者対象REFORME 研修 (ズンドウェオゴ県)	2017年2月27日～3月2 日	マンガ市 (OCADES会議室)	-7コミュニティ(各コミュニティから8名:市長、事務次官、第1・第2副市長、環境・ 地域開発委員長、会計担当、フォーカルポイント) -関連行政機関(DGEP、DREA/CS、DGA、県庁、経済財務省州・県局 (DRCMEF/DPCMEF)、郡長) -AEPS維持管理委託企業(SAWES) -対象コミュニティで活動している給水セクターパートナー(OCADES、Eau Vive、Self Help for Africa、MORIJA) -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	69	同上
	衛生啓発	衛生普及のための講師養成研修	2016年11月22日～23日	マンガ市 (DREA会議室)	-DGEP(2名)、DGA(3名)、DREA/CS(7名)、衛生パイロットコミュニティFP(3 名) -研修講師(2名) -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	18	-PHAST手法研修(水因性疾患の感染経路、感染経路の遮断、衛生に関する住民行 動、現在の衛生状況の同定) -衛生行動を改善するための取り組み -グループワーク(水場周りの衛生環境の現状と解決策、解決策実践への取り組み、衛 生環境改善のための活動計画立案)
	衛生啓発	水場周辺の衛生改善に係るコ ミュニティワークショップ (イベルセコミュニティ、バゼガ県)	2016年12月29日	イベルセコミュニティ (コミュニティ庁舎会議 室)	-Ipélceコミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計33名) (3名/AUE、13AUE中12AUE参加、BANGHINGO村は参加せず) -DREA/CS(6名)、DGEP(1名)、DGA(3名) -Ipélceコミュニティ事務次官およびFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	47	-水場周りの衛生状況や施設の使用法、水の運搬・保管方法に関する写真を見せな がら各村落の現状についての確認 -AUE衛生担当者の役割説明 -各村落の水場周りの衛生環境の現状・課題の確認(各AUE毎に発表) -水場周辺の衛生環境および住民衛生行動を改善するための取り組みの検討 -各AUEの衛生環境改善への取り組み意思の確認と今後の活動について説明 (衛生啓発研修と村落での住民啓発集会、具体的水場周りの改善行動の実施など)

添付資料8 セミナー・ワークショップ開催記録

2017年2月19日現在

No.	分類	コース名	期間	開催地 (場所)	参加者属性	参加者数 (プロジェクトメン バー除)	研修内容
	衛生啓発	水場周辺の衛生改善に係るコ ミュンワークショップ (ポコミュン、ナウリ県)	2017年1月17日	ポコミュン (コミュニティ庁舎会議 室)	-P6コミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計71名) (3名/AUE、25AUE中25AUE参加) -DREA/CS(7名)、DGEP(2名) -P6コミュニティ市長、事務次官およびFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	84	同上
	衛生啓発	水場周辺の衛生改善に係るコ ミュンワークショップ (ギバコミュニティ、ズンドウェオゴ 県)	2017年1月19日	ギバコミュニティ (コミュニティ庁舎会議 室)	-Guibaコミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計54名) (3名/AUE、21AUE中21AUE参加) -DREA/CS(5名)、DGEP(2名)、DGA(3名) -Guibaコミュニティ市長、事務次官およびFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	68	同上
	衛生啓発	AUE衛生担当者対象 衛生啓発 講師育成研修 (イペルセコミュニティ、バゼガ県)	2017年1月24日～1月26日	イペルセコミュニティ (コミュニティ庁舎会議 室)	-Ipélcéコミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計39名) (3名/AUE、13AUE中13AUE参加) -DREA/CS(4名)、DGEP(2名)、DGA(3名)、IpélcéコミュニティFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	50	-PHAST手法研修(水因性疾病の感染経路、感染経路の遮断、衛生に関する住民行 動、現在の衛生状況の同定) -衛生行動を改善するための取り組み -グループワーク(水場周りの衛生環境の現状と解決策、解決策実践への取り組み、衛 生環境改善のための活動計画立案、活動時期の検討) -各AUEの衛生環境現状と衛生改善活動計画について、グループワーク結果をAUEご とに発表
	衛生啓発	AUE衛生担当者対象 衛生啓発 講師育成研修 (ポコミュン、ナウリ県)	2017年1月30日～2月1 日 (第1グループ)	ポコミュン (コミュニティ庁舎会議 室)	-P6コミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計39名) (3名/AUE、13AUE中13AUE参加) -DREA/CS(7名)、DGEP(2名)、P6コミュニティFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	50	同上
	衛生啓発	AUE衛生担当者対象 衛生啓発 講師育成研修 (ポコミュン、ナウリ県)	2017年2月02日～2月4 日 (第2グループ)	ポコミュン (コミュニティ庁舎会議 室)	-P6コミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計36名) (3名/AUE、12AUE中12AUE参加) -DREA/CS(7名)、DGEP(2名)、P6コミュニティFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	47	同上
	衛生啓発	AUE衛生担当者対象 衛生啓発 講師育成研修 (ギバコミュニティ、ズンドウェオゴ 県)	2017年2月06日～2月8 日 (第1グループ)	ギバコミュニティ (コミュニティ庁舎会議 室)	-Guibaコミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計33名) (3名/AUE、11AUE中11AUE参加) -DREA/CS(4名)、DGEP(2名)、DGA(1名)、GuibaコミュニティFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	42	同上
	衛生啓発	AUE衛生担当者対象 衛生啓発 講師育成研修 (ギバコミュニティ、ズンドウェオゴ 県)	2017年2月09日～2月11 日 (第2グループ)	ギバコミュニティ (コミュニティ庁舎会議 室)	-Guibaコミュニティ村落AUE代表および衛生担当者(計27名) (3名/AUE、9AUE中9AUE参加) -DREA/CS(5名)、DGEP(2名)、DGA(1名)、GuibaコミュニティFP -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	36	同上
	修理工	ポンプ修理工研修 (ズンドウェオゴ県)	2016年5月5日～7日	マンガ市 (DREA会議室)	-ポンプ修理工(29名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	29	1日目 -REFORMEに関する基礎情報 2日目 -修理工契約手続き 3日目 -修理工組合の設立

添付資料8 セミナー・ワークショップ開催記録

2017年2月19日現在

No.	分類	コース名	期間	開催地 (場所)	参加者属性	参加者数 (プロジェクトメン バー除)	研修内容
	修理工	ポンプ修理工研修 (ナウリ県)	2016年5月9日～11日	ボ市 (市役所会議室)	-ポンプ修理工(29名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	29	1日目 -REFORMEに関する基礎情報 2日目 -修理工契約手続き 3日目 -修理工組合の設立
	修理工	ポンプ修理工研修 (バゼガ県)	2016年5月12日～14日	コンビシリ市 (SONU TAABA組 合会議室)	-ポンプ修理工(31名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	31	1日目 -REFORMEに関する基礎情報 2日目 -修理工契約手続き 3日目 -修理工組合の設立
成果3							
	REFORME	中央ブラトー州 コミュニティ関係者対象REFORME ワークショップ	2016年6月15日～7月26 日	18コミュニティ (各コミュニティ庁舎会 議室)	-コミュニティ代表3名(SG、フォーカルポイント、会計担当) -郡長(PDS)1名 -各AUE代表2名(AUE事務局メンバー) -コミュニティ在住ポンプ修理工 -MEA州局代表1名 -州局の県在住フォーカルポイント(中央ブラトー州のみ) -経済・財務省市場・融資監督州局および県局(DRCMEF/DPCMEF) -DGEP/MEA -プロジェクトチーム	1098	1日目 -ワークショップの目的および実施手法の説明 -REFORMEに基づく給水施設維持管理システムの復習(背景、目的、原則、関係者とその役割、REFORME実施に係る手順や活動など) -各コミュニティにおける給水施設維持管理活動の現状についての協議 -コミュニティ・村落におけるREFORME実施における成果、課題、問題点に関する協議 2日目 -給水施設維持管理における問題点に対する課題の検討 -給水施設維持管理の仕組み -コミュニティの実情に適合した水サービスへの支払い方法・金額 -REFORMEの実施に関するアクションプランの作成 -ワークショップ結果の取りまとめ
	REFORME	中央ブラトー州 州関係者対象REFORMEワーク ショップ	2016年12月5日～6日	ジニャレ市 (Privilege Autoé cole会議室)	-州知事、州事務次官、州議会議長、県知事 -コミュニティ市長、コミュニティ事務次官、郡長 -AEPS維持管理業者(SAWES、ACMG)、ポンプ修理工組合代表 -NGO・プロジェクト代表(LIMFASO、ブルキナフアン赤十字、Eau Vive) -ローカルコンサルタント会社(本プロジェクトにかかるベースライン調査とコミュニティワークショップ開催の現地再委託先:IGIP Afrique社) -州・県関連行政機関(経済財務省州・県局、州・県教育局、保健州局・保健管 区事務所、農業水利省州・県局、環境省州局、女性・ジェンダー推進州局、ナ カンベ川流域公社) -DGEP、DREA/PCL、DGA -メディア(RADIO BASSY FM) -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	112	-REFORMEの背景(地方分権化、コミュニティによる事業主管(MOC)、従前の維持管理 システムの問題点とREFORMEの必要性) -REFORMEの目的・原則、維持管理システム、維持管理に係る資金の流れ、関連アク ターの責務・役割 -全国及び州のREFORME実施状況の報告 -コミュニティワークショップ(2016年6月～7月実施)の結果共有 -各コミュニティでの適切な給水施設維持管理体制の確立のための課題・教訓、対策の検 討
	修理工	ポンプ修理工研修 (ウブリテンガ県)	2016年7月13日～14日	ジニャレ市 (DREA会議室)	-ポンプ修理工(38名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	38	-REFORMEに基づくPMH維持管理システム(復習、ブレインストーミング) -関係者、特にポンプ修理工の責務と役割 -コミュニティ・ポンプ修理業者間の給水施設保守整備契約の内容 -コミュニティとの契約手続き(応札書類の作成方法、費用の算出方法) -給水施設保守巡回の内容(施設診断、施設利用状況の確認、水質確認、保守巡回報 告書の作成、支払い手続きなど) -現場サイト演習
	修理工	ポンプ修理工研修 (クルウェオゴ県)	2016年7月15日～16日	ブッセ市 (DPEA会議室)	-ポンプ修理工(25名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	25	同上
	修理工	ポンプ修理工研修 (ガンズルグ県)	2016年7月16日～19日	ゾルゴ市 (ゾルゴ市役所会議 室)	-ポンプ修理工(30名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	30	同上

添付資料8 セミナー・ワークショップ開催記録

2017年2月19日現在

No.	分類	コース名	期間	開催地(場所)	参加者属性	参加者数(プロジェクトメンバー除)	研修内容
	修理工	ポンプ修理工研修(クルウェオゴ県)	2016年11月15日～18日	ブッセ市(クルウェオゴ県庁会議室)	-ポンプ修理工(23名) -DGEP(1名) -DREA/PCL(2名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	26	-REFORMEに基づくPMH維持管理システム(復習、ブレインストーミング) -関係者、特にポンプ修理工の責務と役割 -コミュニケーション・ポンプ修理業者間の給水施設保守整備契約の内容 -コミュニケーションとの契約手続き(応札書類の作成方法、費用の算出方法) -給水施設保守巡回の内容(施設診断、施設利用状況の確認、水質確認、保守巡回報告書の作成、支払い手続きなど) -現場サイト演習
	修理工	ポンプ修理工研修(ガンズルグ県)	2016年11月21日～24日	ゾルゴー市(ガンズルグ県庁会議室)	-ポンプ修理工(19名) -DGEP(1名) -DREA/PCL(2名) -プロジェクトチーム(技術要員、専門家)	22	同上
	修理工	ポンプ修理工研修(ウブリテンガ県)	2016年12月7日～10日	ジニヤレ市(ANAO会議室)	-ポンプ修理工(21名) -DGEP(1名) -DREA/PCL(2名) -プロジェクトチーム(技術要員)	24	同上
成果5							
	REFORME	DGEP・中央プラトー・南部中央州局C/P対象REFORME研修	2016年11月28日～12月1日	クドゥグゥ市(Chicホテル会議室)	-DGEP(13名)、DGA(2名)、DGRE(2名) -DREA/PCL(10名)、DREA/CS(7名) -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	35	-地方分権化政策とコミュニケーションによる事業主管(MOC) -給水・衛生セクターに関するコミュニケーションへの権限移譲 -給水施設維持管理手法の変遷、REFORMEの必要性 -REFORMEの目的・原則、維持管理システム、維持管理に係る資金の流れ、関連アクターの責務・役割 -REFORME実施ツールの説明 ポンプ修理工の認可 PMH維持管理ツール(維持管理委託協定、保守整備契約など) AEPS維持管理ツール(維持管理者との契約など) -グループワーク(各州の維持管理に関する問題、解決策の提案) -州REFORMEワークショップの準備
全体							
	全体	国別研修(Appendix 6-3参照)	2016年7月8日～24日(17日間、往復渡航込)	北海道 関東	-水・衛生省(MEA)事務次官(2週目より合流) -飲料水総局(DGEP)総局長 -DGEP職員(プロジェクト主要C/P2名)	4	-小規模水道の管理(北海道庁環境生活部環境局、講義) -定山溪ダム、藻岩浄水場(北海道開発局豊平川統合ダム管理事務所、札幌市水道局、視察) -サニテーション(北海道大学大学院工学研究院 船水教授、講義) -小規模水道存続の課題(北海道大学工学部社会環境工学科 余湖教授、講義) -東川町各戸給水(地下水)視察(東川町役場、視察) -日本の水道の発展経緯(公益財団法人北海道環境財団 小林理事長) -日本における水道施設維持管理業務の民間委託(水道運営管理協会) -東京水道歴史館(視察) -神奈川県相模原市の簡易水道施設および水道組合の視察(相模原市道路局津久井土木事務所藤野班) -アフリカ他国の給水施設維持管理事情(EHC、日本テクノ) -研修成果発表(JICA地球環境部)
	全体	プロジェクト内容説明、ワークショップ(1年次)協議・最終化ワークショップ	2015年11月13日	ワガドゥグ市(DGRE会議室)	-水資源総局(DGRE)のC/P(9名) -衛生・汚水・廃棄物総局(DGAEUE)のC/P(2名) -南部中央州局(DRARHASA/CSD)のC/P(州局長、州局水課職員、県局長、県局水課職員)(9名) -中央プラトー州局(DRARHASA/PCL)のC/P(州局長、州局水課職員、県局長、県局水課職員)(9名) -JICAブルキナファソ事務所(2名) -プロジェクトチーム(2名)	29	-PROGEA2活動概要の紹介、意見交換(DGRE) -ワークショップ(1年次)の説明と修正(DGRE) -プロジェクト実施スケジュールとC/Pの稼働について(PROGEA2) -日本の協力スキームとそのモダリティについて(JICAブルキナファソ事務所)
	全体	PROGEA2年間活動予算計画策定ワークショップ	2016年12月21日～23日	クドゥグ市(DREA会議室)	-飲料水総局(DGEP)2名 -南部中央州局(DREA/CS)2名、中央プラトー州局(DREA/PCL)1名 -プロジェクトコーディネーター -プロジェクトチーム	6	-PROGEA2活動をフォローするブルキナファソ側の2017年活動計画の策定 -カウンターパート予算計画の策定



添付資料9 評価グリッド：ブルキナファソ国村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ2

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目 (指標)			
投入の実績	投入の実績	*ブルキナファソ側	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<p>・MEA-DGEP、DGA、南部中央州・中央プラトール州DREAから、延べ63名がプロジェクトに配置されている。</p> <p>・2016-2018年に総額で150百万FCFAのローカルコスト拠出を予定している。2016年予算(45百万FCFA)は全額拠出済みであり、2017年予算については、75百万FCFA)が計上されている。</p> <p>・MEA-DGEP内にプロジェクト事務所を提供している。光熱費はMEA-DGEPが負担している。</p>	
		C/Pは予定通り配置されたか。			
		プロジェクトに必要なコストは予定通り投入されたか。			
		建物、施設、機材、資材は予定通り提供されたか。			
		*日本側	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り		<p>・5名の専門家を派遣している。2017年2月末までの派遣実績は28.79MM。</p> <p>・2016年に4名を派遣した。</p> <p>・コンピューター、フィッシングツール等を供与した。予定していた機材供与は、中間レビュー時点で全て完了し、総額17,373,750FCFA(3,292,031円相当：各月のJICA統制レートによる)。</p> <p>・2017年1月末までに合計31,878千円を拠出した。</p>
		専門家は予定通り派遣されたか。			
		C/Pの本邦研修は予定通り実施されたか。			
		施設・機材は予定通り供与されたか。			
	ローカルコストは予定通り支出されたか。				
	活動	活動の実績	プロジェクトの活動は予定通り実施されたか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	
成果1は発現しているか。 成果1:現在の全国におけるREFORME適用状況及びドナー・NGOのREFORME適用方法に係る教訓が整理・把握される。第1フェーズで作成されたマニュアルが全国普及用に改訂される。	成果2は発現しているか。 成果2:全国普及用マニュアルにより南部中央州にREFORMEが導入される。	・REFORME適用に係る成果・教訓が整理・把握される。	関係者からの成果・教訓の情報、ワークショップ報告書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・ドナーやNGO関係者からのREFORME適用化に関する成果や教訓について情報収集を実施中。また、プロジェクトで実施のワークショップ等を通じて、成果・教訓を収集している。	
		・全国普及用REFORME適用化マニュアル・普及用ツール改訂版が作成される。	改訂された全国普及用REFORME適用化マニュアル、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・プロジェクト開始時より、C/Pと専門家で作業を開始している。REFORME適用化の進捗共有・全国普及用マニュアル検討のため、2016年1月に全国13州局とのワークショップ、2016年3月に全国関係者を集めたワークショップを開催した。これらを通じ、全国普及用REFORME適用化マニュアル・ツール改訂のための課題や提言を含んだワークショップのレポートがまとめられており、REFORME実施に係る全ての関係者の間で共有している。	
		・南部中央州で選定されたパイロットコミュニティの全ての村落においてAUEが設立される。	活動モニタリングシート、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・南部中央州においては、2015年12月までに、州内全19コミュニティにおいて、他ドナー・NGOの支援により、AUEが設立されていることが確認された。プロジェクトでは、当初は、南部中央州におけるAUEに関する活動はパイロットコミュニティを選定して実施する予定だったが、他ドナー・NGOの支援により全19コミュニティでAUEが設立されたため、AUEを支援する活動は、全19コミュニティで実施することとした。ただし、衛生活動については、パイロットコミュニティで行うこととしている。	
		・南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・AUE間で給水施設維持管理協定が締結され、給水施設維持管理活動が実施される。	コミュニティ・AUE間の給水施設維持管理協定書、AUE活動報告書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・南部中央州においては、州内の全19コミュニティにおいて、他ドナー・NGOの支援により、AUEが設立され、AUEが負担金の徴収・管理、住民に対する啓発活動、日常の給水施設維持管理活動等を実施している。コミュニティとの間で、給水施設維持管理協定を締結したAUEは、2016年7月時点で、南部中央州19コミュニティで認証されているAUE442のうち276である。 2016年6月から7月にかけて、南部中央州のコミュニティ関係者(コミュニティ、AUE、ポンプ修理工)を対象とした給水施設維持管理活動促進のためのワークショップを16コミュニティ対象に計17回開催した(Kombissiriコミュニティは村落数が多いため2回に分けて開催した)。	
		・南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・ポンプ修理業者間で給水施設保守整備契約が締結され、ポンプ修理業者による保守巡回および修理活動が実施される。	コミュニティ・ポンプ修理業者間の給水施設保守整備契約書、保守巡回実施報告書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・2015年12月～2016年3月にベースライン調査を実施し、現状の調査と課題の整理を行った。 南部中央州のポンプ修理工を 対象としたワークショップを3回開催し、AUE、ポンプ修理業者による給水施設維持管理に係る現状を分析している。南部中央州では、中間レビュー時点では、ポンプ修理業者の契約が締結しているコミュニティは全19コミュニティ中4コミュニティである。保守巡回は定期的に行われていない。	

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目(指標)			
1. プロジェクトの実績	成果の達成度	<p>・REFORME適用化ワークショップに参加した南部中央州のコミュニケーション関係者の8割以上がREFORME適用化理解度テストに合格する。</p>	<p>・REFORME理解度実施テスト結果、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・南部中央州で3月初旬に南部中央州でコミュニケーション関係者のREFORMEに関する理解度評価を実施した。評価は研修で導入されたモジュールの理解度をはかるものであった。その結果、合格基準(60%以上)に達した研修受講者は、バゼガ県で78.7%、ズンドウェオゴ県では70.2%となっている。ナウリ県は次回の研修で実施する。プロジェクトでは、引続き能力強化を図り、プロジェクト終了までに80%以上の関係者がREFORMEに対して理解をより深めることを目指す。</p>	
		<p>成果3は発現しているか。 成果3：中央プラトー州にて既存のリソースを活用したREFORMEのモニタリング体制・支援体制が構築される。</p>	<p>・中央プラトー州におけるREFORME適用化のモニタリング・支援に関する課題が整理される。</p>	<p>プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・プロジェクトでは、フェーズ1でREFORME適用化の支援を行い、プロジェクト終了後の状況を確認しつつ、REFORME実施状況のモニタリング・支援体制を構築しようとしている。フェーズ1の終了時には、技術支援ゾーン(ZAT)/技術支援ユニット(UAT)の長の協力により、ブルキナファソ関係機関でモニタリングを行う予定であったが、省庁改編により農業省と衛生省が分かれ、ZAT/UATの長の協力を得ることができなくなったため、REFORME適用化のモニタリングのしくみを構築することは重要である。中間レビュー時点までに、コミュニケーション・州対象のワークショップやポンプ修理工を対象としたワークショップを開催し、REFORME適用化のモニタリング・支援に関する課題を抽出した。プロジェクトでは、これら課題に対するアクションの特定を検討しており、より詳細な分析を行う予定である。</p> <p>・ポンプ修理業者の活動に関しては、まだ課題が多いことが判明している。中央プラトー州では、修理工組合が正式に発足している。コミュニケーションと修理業者との間の契約が締結されたのは20コミュニケーション中16コミュニケーションで、まだ締結されていないコミュニケーションがある。中間レビューで訪問したコミュニケーションでは、定期的な保守巡回が行われていなかった。また、行政手続きが複雑であることにより支出に時間がかかり、保守巡回の費用が修理工に支払われるまでに、2年くらいを要することがある。</p>
		<p>・中央プラトー州における既存のリソースを活用したREFORMEモニタリング・支援体制のメニュー案が抽出される。</p>	<p>REFORMEモニタリング・支援体制案、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・中間レビュー時点では、REFORMEモニタリング・支援体制の課題を抽出している段階である。課題の整理をとりまとめ、REFORMEモニタリング・支援体制のメニュー案を作成する予定である。</p>	
		<p>南部中央州及び中央プラトー州におけるREFORME適用化に関する成果・教訓が整理される。</p>	<p>ワークショップ報告書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・南部中央州におけるREFORMEの導入(成果2)と中央プラトー州におけるモニタリング(成果3)を通じ、適用化の課題を抽出した。引き続きさらに詳細な分析を行う予定である。</p>	
		<p>成果4は発現しているか。 成果4：南部中央州における試行的導入及び中央プラトー州におけるモニタリングを通じ、全国普及用マニュアル・ツールが最終化され、REFORME適用に係る手法が公式文書に統合される。</p>	<p>・全国普及用REFORME適用化マニュアルが改訂・最終化される。</p>	<p>最終化された全国普及用REFORME適用化マニュアル、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・南部中央州におけるREFORMEの試験的導入(成果2)と中央プラトー州におけるモニタリング(成果3)を通じ、マニュアル・ツールの改訂すべき点を抽出のうえ、REFORME適用化マニュアル改訂について検討している。</p> <p>・あわせて他ドナー機関やNGOとの意見交換を通じ、REFORMEの課題を抽出し、全国普及用REFORME適用化マニュアルの方向性を検討している。</p>
		<p>・最終化されたマニュアルが給水セクター関係者に配布される。</p>	<p>プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。</p>	
		<p>・PROGEA手法を取り入れたREFORME適用化マニュアルが給水国家計画の中の公式文書として統合される。</p>	<p>ブルキナファソ給水国家計画に関する公式文書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。</p>	
		<p>・REFORME適用化に関する関係者の役割が整理される。</p>	<p>プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・C/P機関やドナー期間との協議やREFORMEワークショップを通じ、REFORME適用化に関する関係者の役割について整理を進めている。</p>	
		<p>成果5は発現しているか。 成果5：REFORME適用化の実施体制が改善される。</p>	<p>・REFORME適用化を適切に普及する上で必要な規定のドラフトが策定される。</p>	<p>策定されたREFORME適用化に関する規定のドラフト、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・プロジェクトでは、REFORME適用化に関してブルキナファソ側が進めている規定と関連する文書の策定に参画している。これらの文書とは、給水施設利用に係る水サービス料金と官民連携(PPP)の戦略・規定(簡易給水施設((AEPS))運営委託契約書ひな形)、コミュニケーション予算の執行手続き(予算の適用費目設定含む)、給水・衛生サービスの規定・基準、ポンプ修理業者の改訂版認可制度(従前の州局認可から州知事認可)、コミュニケーション行政への事業実施支援(AMOC)のロードマップ(REFORME実施のためのコミュニケーションへの専任技術者の採用・配置)等である。これら規定は既にほぼ全てについて最終化されているが、最終的な公式化、法令としての採択と発布がなされておらず、実効に至っていないため、その進捗プロセスを支援している。</p>
		<p>・REFORME適用化に関するトレーニングを受講した中央・州局の職員全員がREFORME理解度テストに合格する。</p>	<p>研修報告書、REFORME理解度テスト結果、給水国家プログラム年間レビュー報告書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り</p>	<p>・2016年11月28日～12月1日に実施したREFORME研修の最後に実施した理解度評価では、34名中31名が60%以上の得点を獲得した。恒常的にプロジェクトで活動している人は理解度が高かった。全体として、実務的な内容を問う設問の得点が低い。引続き研修・ワークショップ、スタディ・ツアーで、さらに能力強化を図っていく予定である。</p>	

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目(指標)			
			・トレーニングを受けた中央・州局職員がコミュニティ関係者やポンプ修理業者等に対する能力強化活動を開始する。	研修報告書、モニタリングシート、給水国家プログラム年間レビュー報告書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORME適用化文書の再検討を含む給水施設維持管理システムの改良、給水施設維持管理にかかるとする人材育成・能力強化、モニタリング体制の検討等を実施している。水衛生州局職員らは、コミュニティ職員、AUEらに対するワークショップで、コミュニティ・AUEで実施する給水施設の維持管理等の活動に関するアクションプランの作成支援等をして
		成果6は発現しているか。 成果6: REFORME全国普及に向けた計画が策定される。	・REFORMEの全国普及に向けた行動計画が策定される。	REFORME全国普及に関する行動計画文書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・本指標に関する活動は、成果1～成果5を踏まえ、プロジェクト期間の後半で実施する。 ・行動計画を策定するため、REFORME適用化にかかる支援を行う可能性がある他ドナーの支援状況に関する情報収集を行っている。
			・REFORMEの全国普及・定着に必要な予算計画が策定される。	各州の給水衛生セクター年間計画書、報告書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORME適用化に関する州のアクションプランの最終化がされてから予算計画を策定する。
		その他の成果	その他指標で表されない成果はあったか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・インタビューでは、ワークショップ等により、コミュニティ職員やAUE役員会メンバーのREFORMEの理解が進んだことが報告されている。修理工は、プロジェクトのワークショップで、修理技術や維持管理について能力が向上したとコメントしている。
プロジェクト目標の達成度	プロジェクト目標は達成される見込みか。 プロジェクト目標: PROGEA第1フェーズで構築した手法を適用したREFORMEの全国展開のための基盤が整備される。	・全国普及用REFORME適用化マニュアルが国家水委員会(CNP/PN-AEP)により承認される。	公式承認されたREFORME適用化マニュアル、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・各成果の活動に若干の遅れが見られるが、プロジェクト終了までには全国普及用REFORME適用化マニュアルを完成しようとしている。REFORME適用化に係るマニュアル各成果の活動に若干の遅れが見られるが、プロジェクト終了までには全国普及用REFORME適用化マニュアルを完成しようとしている。REFORME適用化に係るマニュアルは、関係機関で採択された後、適用となる。 ただし、REFORME枠組み文書を再検討のプロセスが開始されており、その方向性に即したマニュアルとする必要があるため、プロジェクトでは、REFORME再検討の動きを注視しつつ作業を進めている。	
		・REFORME適用化の全国展開に関する予算計画を含めた行動計画が策定される。	REFORME適用化の全国展開行動計画、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・全国普及用REFORME適用化マニュアルドラフトの完成後、それに基づいた行動計画を策定する。プロジェクト終了までに完成する見込み。	
上位目標の達成見込み	上位目標は達成される見込みか。 上位目標: 給水施設の維持管理が全国で改善される。	2021年までにREFORME適用化に基づく給水施設維持管理体制を構築したコミュニティ数が現在の47.36%から70.0%に達する。	給水国家計画年間レビュー報告書、コミュニティ・AUE・ポンプ修理業者間の給水施設維持管理協定・契約の実施状況、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・給水施設維持管理状況については、MEAで所定の項目のデータを収集している。MEAによれば、2016年12月31日付の最新のデータでは53.0%である(Bilan Annuel PN-AEPA 2016、2017年2月暫定版より算出)。 (※中間レビュー調査帰国後の2017年3月に最終版が発表され、そこから算出すると、53%から56.8%に数値が若干上がる結果となった。)	
全体的進捗	実施プロセスとプロセスに影響を与えた要因	プロジェクトは予定通り実施されたか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・2015年9月の政変やそれに続く組織改編、2016年1月のテロ等により当初予定より若干遅れている。	
		関係機関の、政策・組織等の変化に応じた対応がとられているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・政変、テロ等は不可抗力であったが、進捗の遅れを取り戻すべく、活動を進めている。 ・プロジェクトで支援するREFORMEの今後の方向性について、C/P機関関係者やドナー機関等から情報を収集している。	
		プロジェクトの実施を促進した要因は何か。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・専門家とC/Pのコミュニケーションがよい。DGEPの職員がプロジェクト専属のナショナルコーディネーターとして配置されていることは、プロジェクトの円滑な進捗に貢献している。	
		プロジェクト実施にあたっての阻害要因は何か。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・政変、組織改編、テロなどがあつたこと。政変により、コミュニティでは、暫定政権となった。その後、2016年5月にコミュニティの新体制が発足したが、暫定政権からの引継が十分に行われていないことがあつた。	
		問題に対してプロジェクトでどのような対策を講じたか。		・市長不在の間は状況に応じてワークショップを実施した。 ・会議やワークショップを通じて、関係者の共通の理解を図っている。	

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目(指標)			
2. 実施プロセス	プロジェクト運営体制	プロジェクト運営体制は適切に機能しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DGEPでは毎週月曜日に幹部クラス職員による定例会議が開かれており、プロジェクト専門家(総括)・DGEPナショナルコーディネーターもメンバーである。プロジェクト活動で不在なケース以外、可能な限り出席し、活動進捗の共有を行っている。</li> <li>・PN-AEPの枠組みで6か月に1回、各州および全国中央レベルでの進捗を共有・モニタリングする枠組み(Comité Régional ou Comité National de Pilotage du PN-AEPA)がある。州については参加していないが(日程的にこれまであわなかったため)、全国会議には出席している</li> <li>・中央・州・コミュニティの実施体制を確立しようとしている。プロジェクトでは、コミュニティ職員の能力強化を図り、主としてコミュニティ担当者が核となってAUEやポンプ修理工を支援していく体制をとっている。</li> </ul>	
			意思決定や合意形成、役割分担のしきみは適切であったか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MEAのコーディネーターが中心となり、ブルキナファソ側の調整を行い、専門家と協議をして、関係者の合意のもと、プロジェクトを実施している。</li> </ul>
			JCCは適切に機能しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JCC設立に係る省令の発布手続きが遅れたが、これまでに2016年8月と2016年12月の2回のJCCが開催された。</li> <li>・プロジェクトの実施に係る意見交換を行い、適切な助言・指導が行われている。</li> </ul>
		モニタリング	プロジェクト関係者はプロジェクト全体の進捗を適切にモニタリングしているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JCCで全体の進捗を確認するほか、モニタリングシートを活用してモニタリングしている。</li> <li>・ブルキナファソ政府のプロジェクト(カテゴリーA)として、MEA-DGESSへの定期進捗報告や年間計画書・報告書も提出されている。</li> </ul>
			PDMは必要に応じ関係者の中で参照されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングシート作成時には参照している。</li> </ul>
			PDMを改訂する必要があるか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の表現・字句の修正が必要(パイロットコミュニティ、数・割合など)</li> </ul>
	プロジェクト関係者の関係	コミュニケーション	C/P機関関係者のコミュニケーションは良好か。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ねよい。コミュニケーションが円滑でない場合があるが、連絡を密に行い対応している。</li> </ul>
			コミュニティ関係者(コミュニティ職員、普及員、ポンプ修理工、コミュニティ住民等)とのコミュニケーションは良好か。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ねよい。コミュニティに対しては、MEAのコーディネーターはじめ、MEAとDREAのC/Pが中心になって対応している。AUEに対しては、専門家は直接介入せず、コミュニティを通じて活動を行っている。</li> </ul>
			他援助機関(他ドナー機関、NGO)とのコミュニケーションは良好か	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドナー会合等に積極的に参画している。情報交換は活発に行われている。</li> </ul>
			日本の他の案件との協力(協力隊等)との連携がとられているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊員は治安などの理由から帰国し、PROGEA2開始時にはすでにいなかった。フェーズ1の時は、プロジェクトで開発したツールを使ってもらった。</li> <li>・衛生活動については、無償資金協力(「第二次中央プラトー及び南部中央地方飲料水供給計画」)のソフトコンポーネントのアプローチと整合性のある活動をしている。</li> </ul>
			活動に必要な情報(政策関連を含む)が的確に収集・共有されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策と国家戦略を含む情報は、MEA-DGEPを通じ逐次入手できている。JICAとも共有している。</li> </ul>
			日本人専門家はC/Pに対する確に技術移転を行っているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家とC/Pが共に行動している。C/Pがワークショップで講師・ファシリテーターを務めることで、C/Pの能力強化を図っている。</li> </ul>
	プロジェクトに対する認識	C/P・関係者のオーナーシップ	C/Pのプロジェクトに対するコミットメントは高いか。また、活動に十分参加しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルキナファソ政府のプロジェクト(カテゴリーA)として認識されている。</li> <li>・ワークショップ等を通じ、コミュニティ関係者が活動を実施していく意欲を確認できた。</li> </ul>
			コミュニティ関係者(コミュニティ職員、普及員、ポンプ修理工、コミュニティ住民等)は活動に十分参加しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ職員は、ワークショップ等を通じREFORME参画の意欲を高めている。</li> <li>・AUE、ポンプ修理工は、プロジェクトで開催するワークショップ等に積極的に参加している。</li> <li>・AUEでは、6名いる役員会のメンバーのうち衛生担当の少なくとも1名は女性にする規定があり、女性の参加を奨励している。衛生担当以外の役職につき女性もおり、女性もAUEに積極的に参加している。</li> <li>・フォーカスポイントは、概ね高いモチベーションを持ち活動に取組んでいる。情報収集のほか、給水施設の維持管理や衛生につき、住民の指導を行うこともある。ただし、情報収集のための燃料費が支給されるほか若干の謝金が払われ所定の期間のみ業務を行っており、活動には限界もある。</li> </ul>

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目(指標)			
	プロジェクトの認知度	プロジェクト関係者及びコミュニティ関係者はプロジェクトに対しどのような認識を持っているか。また、十分理解しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・MEA及びDREAの関係者は、プロジェクトを通じREFORMEを推進していくことの重要性を認識している。 ・コミュニティのAUE、修理工らは、割り当てられた役割を遂行しようと努力しているが、REFORMEの枠組みでの活動についてさらに理解を深めていく必要がある。また、予算不足や手続き上の問題から、十分な活動ができていないことがある。	
		他援助機関はプロジェクトに対しどのような認識を持っているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・援助機関の間でPROGEAIIIは、広く認知されている。	
3. 妥当性	プロジェクトの存在意義	プロジェクトはターゲットグループ(直接受益者・最終受益者)のニーズに合致しているか。	政策文書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORMEは2000年から施行されているが、コミュニティでは、AUEのしくみや修理の体制が十分機能しておらず、REFORME適用化が求められている。	
		プロジェクトは当該地域・社会のニーズに合致しているか。	政策文書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・村落部の飲料水へのアクセスは、2016年12月31日のデータで65.3%であり(PN-AEPA 2016)、PN-AEPAの目標値の76%を下回っている。このため、REFORME適用化を進め、飲料水へのアクセスを向上することが求められている。REFORME枠組み文書は2000年に制定されているが、コミュニティでは、施設の維持管理やサービスのモニタリングのシステムが十分機能しておらず、REFORME適用化の一層の努力が求められている。	
		プロジェクト開始以降、プロジェクトを取巻く環境(政策、経済、社会)の変化はあったか。	政策文書、プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・援助機関の間では、REFORMEのあり方に関する議論がされつつある。	
	ターゲットグループ選択の適切性	ターゲットグループは適切に選択されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・ブルキナファソ国では、援助機関による地理的重点地域の大まかな分担ができており、日本は、中央ブラトーと南部中央の担当となっている。	
		ターゲットグループはプロジェクトから便益を受けているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORMEに関与するコミュニティのステークホルダーがターゲットグループとなっており、プロジェクトによりターゲットグループの能力強化が図られている。	
		パイロット・コミュニティは適切に選定されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・衛生活動については、南部中央州でパイロット・コミュニティを設定した。衛生活動のパイロットコミュニティは、ドナーの有無、雨季のアクセス、REFORMEの進捗状況等のクライテリアを設定し、C/Pとの合意の下、各県から1コミュニティが選定された。	
		改修予定の井戸は適切に選定されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・ベースライン調査と修理工からの情報に基づき、州のC/Pも井戸を訪問して選定された。	
	優先度	ブルキナファソの開発計画との整合性	プロジェクトはブルキナファソの開発計画と整合性があるか。	政策文書、質問票、関係者への聞き取り	・ブルキナファソ国の水分野の国家計画であるPN-AEP(2016-2030)(DANIDAの支援により水衛生省が策定)の事業目標(Objectifs operationnels)で、飲料水へのアクセスの100%達成を目指している。この目標達成のためには、特に村落地域でのAUEによる給水施設の持続的管理が挙げられており、施設の管理(REFORME)は、PN-AEP(2016-2030)の中で重視されている。 ・REFORMEに関しては、これまでの実施の経験により、さまざまな課題が指摘されており、水衛生省ではREFORME枠組み文書の再検討を計画しており、関係者の間でも、REFORME再検討に関する議論がされている。 ・PN-AEP(2016-2030)では、複数の村をまとめて給水する施設と各戸給水の推進に重点が置かれている(2015年の9%から2030年に80%を目指す)。しかし、村落部では人力ポンプ井戸は今後も使われていく。水衛生省の関係者とのインタビューによれば、人力ポンプ井戸については、引き続きAUEによる維持管理を行うということである。
		日本の協力政策との整合性	プロジェクトは日本の対ブルキナファソ協力政策と整合性があるか。	ODA関連政策文書	・日本の対ブルキナファソ援助方針では、農業開発、教育の質の向上、域内経済統合の促進の3点が重点分野となっており、留意事項として社会の安定への支援が挙げられている。水と衛生に関する協力は、水の安定的供給を通じて農業開発に資するとともに、人々の健康状態の向上につながる社会の安定に通じるものである。
			プロジェクトの計画プロセスは適切であったか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・前のフェーズの教訓を踏まえ計画された。 ・前フェーズ終了後、今フェーズが始まるまでに時間を設けたことで、今フェーズで取り組む課題が明確になり、より適切なプロジェクトを計画することができた。
			プロジェクトはプロジェクト目標を達成するために適切にデザインされているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・南部中央州と中央ブラトー州での活動を踏まえ、全国でのREFORME適用化のための政策関連文書を策定するデザインになっている。

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目(指標)			
支援の妥当性	プロジェクトデザインの妥当性	プロジェクトは水利利用者にとってメリットがあり、インセンティブの働く仕組みを提供できているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・給水施設の維持管理は利用者にとっても重要なテーマであり、利用者の間でも維持管理の向上に対する意欲は高い。ただし、AUEの活動は利用者の自主性に委ねられており、インタビューでは、役員会のメンバーのなり手がいないという声が聞かれるなど、実際の活動に対する住民のモチベーションを向上させるのが課題である。巡回保守の支払いがなされないため、巡回保守が行われない、そのためAUEからコミュニケーションへの賦課金が支払われなくなる、という例も報告されている。	
		他の関連案件(無償資金協力、協力隊等)との相乗効果が検討されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・南部中央州と中央プラト州では、無償資金協力による井戸建設(2013-2016)を実施しており、この地域の水と衛生の向上に総合的に取組もうとした。	
		日本はこの分野において比較優位があるか。あった場合は、具体的にどんな点においてか。また、それが活かされているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・フェーズ1でコミュニケーションにおけるAUEの強化を図った経験は、今フェーズでの南部中央州の活動やREFORME関連文書の策定に役立っている。	
4. 有効性	プロジェクト目標の達成度	プロジェクト目標達成の度合い	プロジェクト報告書、関係者への聞き取り	・プロジェクトでは、プロジェクト目標の指標であるREFORME適用化マニュアルの承認とREFORME適用化の行動計画の策定を、プロジェクト期間終了までに完了することを目指している。全国普及用REFORME適用化マニュアルの策定はプロジェクト終了までに完了する予定であり、これが完成すれば、予算計画を含めた行動計画が策定できる。プロジェクトでは、全国普及用REFORME適用化マニュアルの策定が完了し、水衛生省で承認を得るまでをプロジェクト期間中の活動と予定しており、承認後、ブルキナファソ側で国家計画に基づき発布することが必要である。 ・水衛生省では、REFORMEの枠組み文書自体の再検討を行う予定である。REFORME枠組み文書の改訂がされる場合は、それに即したREFORME適用化マニュアルとREFORME適用化の行動計画の策定を行う必要があり、改訂のスケジュールによっては、プロジェクト目標達成に影響が出ることも考えられる。	
		プロジェクト目標達成の促進要因	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORME適用化は、ブルキナファソの水・衛生分野の重要課題であり、政府やドナーが一致して取組んでいること。	
		プロジェクト目標達成の阻害要因	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORMEの方策の有効性について課題が報告されており、全国普及用REFORME適用化マニュアルの方向性が確定しない。REFORMEの枠組み文書の再検討については、プロジェクトもREFORMEの再検討作業に関与することになる見込みであり、プロジェクトで再検討作業に積極的に関与し十分状況を把握したうえで、関係者間で協議し全国普及用REFORME適用化マニュアルの方向性の合意をとることが必要である。	
	成果とプロジェクト目標の関係	成果とプロジェクト目標のロジック	プロジェクト目標達成にあたり、成果は適切かつ十分に構成されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・必要なコンポーネントが構成されている。 ・PDMの記載として、成果6とプロジェクト目標の指標の表現には重複している部分があるが、成果6に対する活動がプロジェクト目標達成に必要であることから、成果6とプロジェクト目標は論理的につながっていると判断される。
		成果からプロジェクト目標にいたる外部条件	外部条件の影響はあるか。 外部条件: ・技術を習得した職員が勤務を継続する。 ・給水担当省の体制が大きく変更されない。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・「給水担当省の体制が大きく変更されない」については、省庁改編後、DGEPのこれまでの幹部職員の多くが州局長に異動し、若手中心になり、若干の混乱があった。プロジェクトでは、プロジェクトに関する理解を醸成しつつ活動を進めた。 ・「技術を習得した職員が勤務を継続する」については、何人かの人事異動があったが、大きな影響はない。 ・REFORME枠組み文書の見直し作業の進捗によっては、プロジェクトで予定している全国普及用REFORME適用化マニュアル策定の作業スケジュールやその内容が影響を受ける。
			プロジェクト目標達成にあたり他に外部条件があるか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORMEの内容について見直しが行われる場合は、プロジェクトで策定しようとしている全国普及用REFORME適用化マニュアルもそれを踏まえる必要がある。
	成果の達成度	成果の達成度	成果は達成される見込みか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・活動が遅れているものの、中間レビュー時点で想定していた成果は概ね発現している。
成果達成の促進要因		成果達成にあたっての促進要因は何か。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・ワークショップが、参加者の関与を促進しつつ活発に行われている。	
成果達成の阻害要因		成果達成にあたっての阻害要因は何か。どのような対策が講じられたか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORMEに対するコミュニケーションの理解がまだ十分ではない。 ・地方分権化を規定するAMOCの進捗が遅れており、コミュニケーションに人員や財源が十分に配分されていないことにより、プロジェクトで想定していたコミュニケーションレベルの活動が一部困難になっている。例えば、トレーニングを受けた中央・州の人材がコミュニケーションを研修することになっていたが、コミュニケーションに対象となる人員が配置されていない、コミュニケーションからAUEに対する適切な支援が行えていない、など。	

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果		
	大項目	小項目(指標)				
5. 効率性	投入から成果の関係	活動の妥当性	成果の産出に必要な活動が計画されていたか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な活動が計画されている。</li> <li>南部中央州のパイロットコミュニティにおける衛生活動、中央ブラトー州におけるポンプ修理工に対する活動は、パイロットコミュニティの住民やポンプ修理工に資するのみならず、全国普及用REFORME適用化マニュアル策定に必要なグッドプラクティスや教訓を抽出するためにも有用である。</li> </ul>	
		投入の妥当性	活動の実施に必要な投入が計画されていたか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な投入が計画されている。</li> </ul>	
		活動から成果に至る外部条件	成果達成にあたり外部条件があるか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト目標達成の外部条件である「技術を習得した職員が勤務を継続する」は、成果達成の外部条件でもあると考えられる。</li> </ul>	
	投入の妥当性	投入のタイミング、質、規模	日本人専門家派遣の数、派遣の時期・期間、専門分野は適切であったか。		プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地事情に通じ、専門性の高い専門家が配置されている。</li> </ul>
			供与機材の仕様、選定方法、数量、納期は適切であったか。			<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な機材が選定された。</li> <li>免税手続きに時間を要したが大きな支障にはならなかった。</li> </ul>
			C/P研修の人数、実施時期、期間、内容、参加者の選考手続きは適切であったか。			<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な機材が選定された。</li> <li>免税手続きに時間を要したが大きな支障にはならなかった。</li> </ul>
			日本側ローカルコスト支援の規模、支出のタイミングは適切であったか。			<ul style="list-style-type: none"> <li>予定通りローカルコストを拠出した。</li> </ul>
			適切な能力を持つC/Pが十分に配置されているか。		プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>MEA中央と州局に十分な数のC/Pが配置されている。</li> <li>DGEPのプロジェクト専属ナショナルコーディネーターが正式に任命されたのは、2016年9月と遅れたが、このナショナルコーディネーターは、2015年9月からC/Pとしてプロジェクトに関わっており、大きな支障はなかった。</li> </ul>
			C/Pにより提供された施設、機材の規模、仕様、提供のタイミングは適切であったか。			<ul style="list-style-type: none"> <li>MEA/DGEP内にプロジェクト事務所が提供されている。光熱費はMEAが負担している。</li> </ul>
			プロジェクト活動のタイミングは適切であったか。			<ul style="list-style-type: none"> <li>政変により遅れているが、必要な活動を順次実施している。</li> </ul>
ブルキナファソ側のローカルコスト負担は適切に行われたか。				<ul style="list-style-type: none"> <li>C/P予算を確保している。予算化されても、手続きに時間がかかりタイムリーに拠出されないことがある。</li> </ul>		
投入は適切に活用されているか。				<ul style="list-style-type: none"> <li>全て活用されている。</li> </ul>		
投入に見合った成果が産出されているか。				<ul style="list-style-type: none"> <li>中間レビュー時点では予定されていた成果が全てある程度発現している。</li> </ul>		
上位目標達成の見込み	上位目標達成の見込み	上位目標は達成される見込みか。		プロジェクト報告書、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルキナファソ側による活動が継続されれば可能。</li> <li>上位目標の達成度をはかるには、この指標だけでは不十分であるため、プロジェクトでモニタリング状況を見ながら、さらに検討することが必要。</li> </ul>	
		上位目標達成のための促進要因は何か。		プロジェクト報告書、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトで策定したREFORME適用化マニュアルの内容をブルキナファソ政府が実施していくこと。援助機関もマニュアルに準拠した活動を行うこと。</li> </ul>	
		上位目標達成のための阻害要因は何か。		プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルキナファソ側の人員・予算の不足。</li> <li>コミュニティレベルの活動の実施をコミュニティ役所とDREAでモニタリングする仕組みが確立されていないこと。</li> </ul>	
		上位目標の達成により相手国の給水・衛生環境へのインパクトは見込めるか。		プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>給水施設の維持管理がなされ、水場周辺の衛生環境が改善されれば、住民が安全な水にアクセスできる。</li> </ul>	

評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目(指標)			
6. インパクト	プロジェクト目標と上位目標の関係	ロジックの適切性	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロジックとしては妥当。ただし、プロジェクトで策定する全国普及用REFORME適用化マニュアルをブルキナファソ側が実施していくことが必要。</li> <li>指標の数値目標については、状況を見つづ検討することが望ましい。</li> </ul>	
		プロジェクト目標から上位目標に至る外部条件	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間レビュー時点では、明確に判断できない。</li> <li>給水施設維持管理に関する政策は、大筋は変更しない見込みであるが、プロジェクトで策定する全国普及用REFORME適用化マニュアルとの整合性は継続的に注視していく必要がある。</li> <li>他ドナー・NGOによるREFORME適用化マニュアルの活用については、MEAで推進していくことが重要。</li> <li>REFORME適用化全国展開の行動計画の予算化は、MEAで行うことであるが、予算確保はMEAと財務省との協議によるので、不透明な要素もある。</li> <li>他に上位目標に影響を与える要因として、REFORME実施のための諸方策(AMOCロードマップ、水料金等)の整備・実施が適切に行われることが必要。</li> </ul>	
	波及効果	予期せぬ正のインパクト	プロジェクトによりもたらされた正のインパクトはあるか。(政策、法律、環境、システム、技術、社会、文化、人権、ジェンダー、ターゲットグループ等の観点から)	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間レビュー時点では明確には報告されていないが、給水施設の維持管理がなされ、水場周辺の衛生環境が改善されれば、住民が安全な水にアクセスできる。これにより、健康な生活、水因性疾患の減少につながる。</li> <li>AUEが強化されれば、コミュニティによる農村開発活動等の他の関連する活動にも好影響が出ることも期待される。例えば、AUEと農村開発組織の両方のメンバーになっている住民がいる。</li> <li>水と衛生に係る事業実施を通じコミュニケーションの能力が強化されれば、地方分権化が促進されることも考えられる</li> </ul>
		相乗効果	日本の他の協力(無償資金協力、協力隊等)との連携による相乗効果があったか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>無償のソフトコンで取組んだ井戸周辺の衛生環境改善活動のノウハウを活用し効率的に活動を行った。その効果は今後の進捗とそのモニタリングによる。</li> </ul>
			他ドナーとの協調においてどのような相乗効果があったか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドナー間で情報交換をしており、ドナーで協調して政策的な協議ができれば、REFORMEの効果的な実施促進につながるかと期待される。</li> </ul>
		予期せぬ負のインパクト	プロジェクトによりもたらされた負のインパクトはあるか。(政策、法律、環境、システム、技術、社会、文化、人権、ジェンダー、ターゲットグループ等の観点から)  負のインパクトがあった場合、どのような対策が講じられたか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に報告されていない。</li> </ul> N/A
政策・制度面	政策・制度面の持続性	水資源総局における水と衛生に関する政策(REFORMEを含む)は継続するか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>PN-AEPは2030年までの政策なので、水と衛生に関する政策は当面変わらない。</li> <li>MEAでは、REFORME枠組み文書を再検討する予定であり、その結果を踏まえたREFORME適用化マニュアルや行動計画の策定を行うことが、政策・制度面の持続性に不可欠になると考えられる。このため、REFORME再検討の今後の動きを注視し、再検討プロセスに参画しつつ、REFORME適用化マニュアルや行動計画の策定を進めていく必要がある。</li> <li>PN-AEP(2016-2030)で、水量の多い井戸を活用して各戸給水の割合を増やして人力ポンプの数は増やさない政策が挙げられており、DANIDA、AFD等の援助機関もその政策に即した支援を実施しようとしていることから、AUEに対する政策の動向にも注視する必要がある。</li> </ul>	
		プロジェクトで策定を支援したREFORME適用化マニュアルや行動計画が制度として持続していく見込みか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトで策定する予定のREFORME適用化マニュアルや行動計画は、ブルキナファソ側もツールとして認識している。</li> </ul>	
組織面	組織面の持続性	C/P各機関の実施・調整能力は向上しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップでC/P各機関の能力向上を目指している。インタビューでは、REFORMEに関する関係者の認識や実施能力が向上したというコメントもあるが、組織改編があったこともあり、まだ向上が必要。</li> </ul>	
		コミュニティの行政組織や水利用者組合の組織能力は向上しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトのワークショップ等を通じ、組織能力が向上しつつある。しかしながら、コミュニティは、2016年5月に新体制が発足したばかりであり、水と衛生の担当者が着任していない。</li> <li>AUEもコミュニティとの給水施設維持管理協定の締結が完了していないところがあり、組織体制の強化が必要である。</li> </ul>	
		C/P各機関において、プロジェクトの活動を全国に普及・強化していくための体制や技術移転のしくみが構築されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>DGEP一州コミュニティのラインでREFORME支援・能力強化を行えるよう、C/PのTOT研修等を行っている。専門家によれば、C/Pの一部は研修講師として活動する能力を習得している。実施体制の構築、関係者の能力とも、さらに強化が必要である。</li> </ul>	



評価基準	評価設問		必要な情報/情報源	評価結果	
	大項目	小項目(指標)			
7. 持続性		C/P各機関において、プロジェクト終了後もプロジェクトの活動をモニタリングするしくみが構築されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・前フェーズで、中央プラトー州における活動を通じてモニタリング体制の構築を図ったが、前フェーズ終了後に機能しなくなった。理由としては、省庁再編により農業省と水衛生省が分かれ、ZAT/UATをモニタリングの現場で活用できなくなったこと、本フェーズ開始後政策があり、コミュニティが解体され新体制発足までに時間がかかったこと、さらに、ZAT/URT-県-州-中央という報告のシステムも使えなくなったことなどがある。 ・MEAでは、6か月ごとに事業進捗状況等をモニタリングするしくみはあるが、インフラ中心で、REFORMEの実施に関する具体的なモニタリングのしくみはまだない。	
		C/P各機関において大幅な組織改編の可能性はあるか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・これまでの組織改編は一段落したと見られる。	
	財政面	財政面の持続性	C/P各機関にはプロジェクト終了後もプロジェクトの活動や便益を継続していくための予算が配分される見込みか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・MEA、DREAは、事業を実施していくための予算がある程度配分されている。
			C/P各機関はプロジェクトの活動や便益を継続していくための予算を確保する方策を考慮しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・予算の承認は財務省との協議によるため、不透明である。
			コミュニティ、AUEではプロジェクトの活動や便益を継続していくための財源があるか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・給水施設維持管理の推進をしてくommunityの予算は限られている。AMOCの実施が遅れており、十分な予算が配分されていない。 ・また、予算が配分されていても、手続き上の問題からタイムリーに支出されないことが多いのが問題。例えば、修理工の巡回保守のためのコミュニティからの支払いが手続き上の問題により大幅に遅れている。 ・AUEでは、負担金の徴収を行っており、インタビューしたAUEでは、井戸の修理に必要な支払いはできていた。ただし、負担金を支払わない住民も一部にいる。
			ドナー機関からのセクター財政支援、コモン・バスケット支援は継続していく見込みか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・EU等による財政支援は2020まで継続の予定。その後は未定。
	技術面	技術面の持続性	C/P機関や関係機関で人材の配置は安定しているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・組織改編の際、人事異動があった。定期的な人事異動はある。 ・人員が変わった際に、引継を行うしくみが確立されていない。
			プロジェクトで移転した知識・技術は活用されているか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・ワークショップの参加者は習得した知識・技術を活用しようと努力している。
			各C/P機関はプロジェクトで支援した活動を継続する見込みか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・MEA、州局は、REFORME推進の活動を継続する見込み。コミュニティの職員を研修できるよう、さらに能力強化を図ることが必要。
			各コミュニティ、AUEはプロジェクトで支援した活動を継続する見込みか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・コミュニティ、AUEは、プロジェクトが支援している間は活動を継続する見込み。プロジェクトが終了した時に、継続できるかは、不透明。AUEの活動継続には、コミュニティによる技術的支援やモニタリングが必要。それを行うためのコミュニティ役所の人材の強化や予算の確保が必要。
			施設・機材は継続的に維持、活用されるか。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・供与機材は適切に維持され活用されている。 ・訪問したAUEでは、井戸の維持管理を適切に行っていた。AUEの管理する村に存在する井戸のうちいくつかは、AUEが修理工を呼び何度か修理を試みたものの問題解決に至らず、結果、放置されているケースも見られた。
	持続性に係る要因	持続性に係る促進要因・阻害要因	プロジェクトの便益の持続性を促進する要因は何か。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・REFORMEが政策として重視されていること。 ・持続性にはMEA-州-コミュニティの各レベルで、オーナーシップが必要。 ・AUEで料金の徴収・管理を適切に行い住民に対する説明責任を果たすこと。
			プロジェクトの便益の持続性を阻害する要因は何か。	プロジェクト報告書、質問票、関係者への聞き取り	・C/P機関に必要な人員・予算が配分されないこと。 ・コミュニティ、AUEの認識不足。 ・REFORMEに関連する諸手続きが複雑であること。例えば修理工の巡回保守の支払いなど。

**COMPTE RENDU DES DISCUSSIONS**  
**ENTRE**  
**LA MISSION JAPONAISE DE LA REVUE À MI-PAROURS**  
**ET**  
**LE MINISTÈRE DE L'EAU ET DE L'ASSAINISSEMENT**  
**DU GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO**  
**SUR**  
**LA REVUE À MI-PAROURS DU**  
**PROJET DE RENFORCEMENT DE LA GESTION DES INFRASTRUCTURES**  
**HYDRAULIQUES D'APPROVISIONNEMENT EN EAU POTABLE**  
**ET DE PROMOTION DE L'HYGIÈNE ET DE L'ASSAINISSEMENT**  
**EN MILIEU RURAL, PHASE II (PROGEA II)**

Fait à Ouagadougou, le 15 mars 2017



M. Takemichi KOBAYASHI  
Chef de mission  
Représentant Résident  
Agence Japonaise de Coopération  
International (JICA) au Burkina Faso



M. Alassoun SORI  
Secrétaire Général  
Ministère de l'Eau et de l'Assainissement  
Burkina Faso

Le gouvernement du Burkina Faso et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après dénommée « la JICA ») ont conjointement organisé une mission de revue à mi-parcours (ci-après dénommée « la Mission ») du projet de coopération technique intitulé « le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural, Phase II (ci-après dénommé « le Projet »). Cette mission a été conjointement conduite par la partie burkinabè représentée par M. Alassoun SORI et la partie japonaise représentée par M. Takemichi KOBAYASHI.

La Mission a évalué la mise en œuvre des activités du Projet et rédigé le Rapport d'évaluation conjointe (ci-après dénommé « le Rapport ») joint en annexe. Le Rapport a été présenté et adopté au Comité de pilotage du 15 mars 2017.

Les représentants des deux parties se sont mis d'accord pour présenter le Rapport à leurs autorités respectives concernées afin que celles-ci puissent prendre des mesures nécessaires à une exécution conséquente et fructueuse du Projet.



Annexe : Rapport d'évaluation conjointe de la revue à mi-parcours

**Rapport d'évaluation conjointe  
de  
la Revue à mi-parcours  
du  
Projet de Renforcement de la Gestion des Infrastructures Hydrauliques  
d'Approvisionnement en Eau Potable et de Promotion de l'Hygiène et de  
l'Assainissement en Milieu Rural Phase II (PROGEA II)**

à Ouagadougou, le 15 mars 2017

Mission d'évaluation conjointe

## Table des matières

<b>1. Introduction</b>	6
1-1 Objectif de la revue à mi-parcours	6
1-2 Membre de l'équipe conjointe de la revue à mi-parcours	6
1-3 Calendrier de la revue à mi-parcours	7
<b>2. Aperçu du Projet</b>	7
2-1 Contexte du Projet	7
2-2 Résumé du Projet	8
<b>3. Méthodologie de la revue à mi-parcours et de l'évaluation</b>	9
3-1 Méthode de mise en oeuvre de la revue	9
3-2 Cadre de l'évaluation	10
<b>4. Confirmation du niveau de réalisation</b>	10
4-1 Niveau de réalisation des intrants	10
4-2 Niveau de réalisation des activités	11
4-3 Niveau de réalisation des résultats	12
4-4 Probabilité de la réalisation du but du Projet	18
4-5 Probabilité de la réalisation de l'objectif global du Projet	18
4-6 Processus de mise en oeuvre du Projet	18
<b>5. Résultat d'évaluation</b>	21
5-1 Résultat d'évaluation par les 5 critères	21
5-1-1 Pertinence	21
5-1-2 Efficacité	24
5-1-3 Efficience	25
5-1-4 Impact	26
5-1-5 Durabilité	28
5-2 Conclusion	31
<b>6. Recommandations</b>	31

**Documents attachés :**

- Annexe 1 : Calendrier de l'étude
- Annexe 2 : Liste des personnes rencontrées
- Annexe 3 : Matrice de la conception du projet (PDM)
- Annexe 4 : Plan d'opérations (PO)
- Annexe 5 : Grille d'évaluation
- Annexe 6 : Aperçu des intrants
  - 6-1 Liste des homologues
  - 6-2 Liste des experts japonais envoyés du Japon
  - 6-3 Liste des participants à la formation au Japon
  - 6-4 Liste des équipement fournis ou apporté du Japon
  - 6-5 Frais locaux
  - 6-6 Résultat d'organisation des séminaires/ateliers
- Annexe 7 : Proposition de révision du PDM

### Sigles et Abréviations

AEP	Approvisionnement en Eau Potable
AEPA	Approvisionnement en Eau Potable et Assainissement
AEPS	Adduction d'Eau Potable Simplifiée
AFD	Agence Française de Développement
AMOC	Appui à la Maîtrise d'Ouvrage Communal
AUE	Association des Usagers de l'Eau
CAD	Comité d'Aide au Développement
CNP/PN-AEP	Comité National de Pilotage du PN-AEP
C/P	Counterpart
CSD	Centre-Sud
CVD	Conseils Villageois de Développement
DANIDA	Danish International Development Agency
DGA	Direction Générale de l'Assainissement
DGEP	Direction Générale de l'Eau Potable
DGSS	Direction Générale des Études et des Statistiques Sectorielles
DREA	Direction Régionale de l'Eau et de l'Assainissement
FCFA	Francs CFA
GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit
HM	Homme/Mois
JICA	Japan International Cooperation Agency (Agence Japonaise de Coopération Internationale)
MEA	Ministère de l'Eau et de l'Assainissement
M/M	Minutes of Meetings (Compte-rendu des discussions)
MOC	Maîtrise d'ouvrage communale
PCL	Plateau Central
PDM	Project Design Matrix (Matrice de Conception du Projet)
PMH	Pompe à Motricité Humaine
PN-AEP	Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable
PN-AEPA	Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable et d'Assainissement à l'horizon 2015
PO	Plan d'Opérations
PROGEA/PCL	Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement
PROGEA II	Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural
PTF	Partenaires Techniques et Financiers

w

7.

R/D	Record of Discussion (Procès-verbal des discussions)
Réforme	Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable en milieu rural et semi urbain
UAT	Unité d'Animation Technique
UE	Union Européenne
ZAT	Zone d'Appui d'Animation Technique



## 1. Introduction

### 1-1 Objectifs de la revue à mi-parcours

L'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) met en œuvre en collaboration avec le gouvernement du Burkina Faso le projet de renforcement de la gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural, phase 2 (ci-après dénommé « le PROGEA II » ou « le Projet ») à partir de septembre 2015 jusqu'à septembre 2018. A cet effet, la JICA et le gouvernement burkinabè a effectué une revue à mi-parcours un an et demi après le démarrage du projet.

Les objectifs de cette revue sont comme suit :

- (1) Confirmer la réalisation concernant les intrants, les activités, les processus de mise en œuvre en se basant sur la Matrice de Conception du Projet (PDM) et le Plan d'Opérations (PO) ;
- (2) Evaluer le niveau de réalisation des résultats, du but du projet et de l'objectif global du projet ;
- (3) Analyser et évaluer l'effet général du projet par les 5 critères d'évaluation (la pertinence, l'efficacité, l'efficience, l'impact et la durabilité) ;
- (4) Faire des recommandations au projet et tirer des leçons en faveur de projets similaires en se fondant sur le résultat d'évaluation.

### 1-2 Membres de l'équipe conjointe de la revue à mi-parcours

L'équipe conjointe de la revue à mi-parcours (ci-après dénommé « l'Équipe ») se constitue comme suit :

#### (1) Membres de la partie burkinabè

NOM et Prénom	Fonction	Rôle au sein de l'équipe
M. KABORE Abel	Hydrologue, Direction de la Programmation et du Suivi-évaluation (DPSE/DGEP)	Membre
M. NACOULMA Alain	Juriste, Direction de la Coordination des Projets et Programmes (DCPP/DGESS)	idem

#### (2) Membres de la mission JICA

NOM et Prénom	Fonction	Rôle au sein de l'équipe
M. KOBAYASHI Takemichi	Représentant Résident	Chef de mission

	JICA au Burkina Faso	
Mme SHOJI Izumi	Ajointe au chef de service 2 <sup>nd</sup> e équipe de ressources en eau, Groupe de ressource en eau, Division de l'Environnement Global, JICA	Chargée de gestion du projet
M. MURAKAMI Toshio	Consultant interne Division de l'Environnement Global,	Conseiller technique
Mme TANAKA Erika	Chercheuse senior Global Link Management	Consultante en charge de l'évaluation et de l'analyse
Mme HIRAMATSU Naoko	Translation Centre Pioneer	Interprète

### 1-3 Calendrier de la revue à mi-parcours

La présente revue a été menée entre le lundi 28 février 2017 et le jeudi 16 mars 2017. Les détails sont mentionnés en Annexe 1. Quant à la liste des personnes rencontrées, il faut se référer à l'Annexe 2.

## 2. Aperçu du Projet

### 2-1 Contexte du Projet

La plus grande partie du Burkina Faso appartenant à la zone aride, assurer une eau potable est un des principaux enjeux. Pour assurer la pérennité du service de l'eau potable à travers la gestion durable des ouvrages hydrauliques d'AEP, le gouvernement du Burkina Faso a adopté la Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable en milieu rural et semi urbain (ci-après dénommée « la Réforme ») en 2000. Il fait de grands efforts en collaboration avec les partenaires techniques et financiers et les organisations non gouvernementales pour diffuser la Réforme à l'échelle nationale. Dans ces circonstances, il a bénéficié de l'appui technique de la JICA à travers la mise en œuvre de la 1<sup>ère</sup> phase du Projet de renforcement de la gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement dans le Plateau Central (ci-après dénommé « le PROGEA/PCL ») entre juin 2009 et mai 2013 pour contribuer à la mise en œuvre et la diffusion de la Réforme dans la région du Plateau Central.

Dans le cadre de la mise en œuvre du PROGEA/PCL, des Associations des Usagers de l'Eau (AUE) ont été créées dans 563 sur 565 villages du Plateau Central. Afin d'aider ces AUE à réaliser les activités pour la gestion et l'entretien des infrastructures hydrauliques

d'AEP, les capacités des communes et des maintenanciers ont été renforcées. Ainsi, le PROGEA/PCL a essayé d'appliquer la Réforme dans toute la région du Plateau Central. Par ailleurs, après l'élaboration du Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable et d'Assainissement à l'horizon 2015 (PN-AEPA 2006 - 2015), la promotion de la diffusion de la Réforme pour sa mise en application est essayé à l'échelle nationale. Toutefois, au regard des disparités observées entre les différentes régions concernant la mise en œuvre de la Réforme, des efforts considérables devraient être consentis pour l'ancrage du système de gestion durable des ouvrages hydrauliques d'AEP.

Dans cette optique, le gouvernement du Burkina Faso a formulé une requête pour la mise en œuvre de la 2<sup>ème</sup> phase du projet dans les régions du Plateau Central et du Centre-Sud (PROGEA II) en se basant sur l'approche utilisée lors de la 1<sup>ère</sup> phase du projet (PROGEA/PCL). En réponse à cette demande, la JICA a mené une étude du plan détaillé en janvier 2015. À l'issue de cette étude, les deux parties se sont mises d'accord pour mettre en oeuvre le PROGEA II pendant trois ans entre septembre 2015 et septembre 2018.

## 2-2 Résumé du Projet

### (1) Conception du Projet

Le conception du Projet est mis en ordre dans le PDM. Ce projet est mis en œuvre en se basant sur la première version (1.0) du PDM validée lors de la signature du Procès-verbal des discussions lorsque l'Étude du Plan Détaillé avait été menée. Cette revue à mi-parcours est donc effectuée suivant ladite version du PDM. Concernant le PDM et le PO, il faut se référer respectivement aux Annexes-3 et 4.

Les grandes lignes du PDM est comme suit :

Objectif global	Contribuer à l'amélioration de la gestion des points d'eau à l'échelle nationale.
But du projet	Etablir une base pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale qui utilise la méthode mise en place dans la Phase 1 du PROGEA.
Résultats	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. La situation de la diffusion de la Réforme à travers le pays et les leçons tirées des PTF et ONG dans l'application de la Réforme sont identifiées et analysées pour que les outils élaborés dans la Phase I soient révisés pour la diffusion à l'échelle nationale.</li> <li>2. La Réforme est introduite dans la région du Centre-Sud à l'aide des outils élaborés pour la diffusion à l'échelle nationale.</li> </ol>

	<p>3. Des systèmes de suivi et d'appui à la Réforme utilisant des ressources existantes sont mis en place dans la région du Plateau Central.</p> <p>4. Les manuels et outils pour la diffusion de la Réforme sont finalisés à travers l'introduction expérimentale dans la région du Centre-Sud et le suivi dans la région du Plateau Central et la méthode pour la mise en œuvre de la Réforme est intégrée dans le document officiel.</p> <p>5. La structure de la mise en œuvre de la Réforme est améliorée.</p> <p>6. La planification de diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est réalisée.</p>
--	---

(2) Durée du Projet

septembre 2015 - septembre 2018 (3 ans)

(3) Organe d'exécution du Projet

Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (DGEP/MEA)

Directions Régionales du Centre-Sud et du Plateau Cental (DREA/CSD, DREA/PCL)

(4) Zones d'intervention du Projet

Ouagadougou, Régions du Centre-Sud et du Plateau Central

**3. Méthodologie de la revue à mi-parcours et de l'évaluation**

3-1 Méthode de mise en œuvre de la revue

L'évaluation du présent Projet est effectuée par l'équipe conjointe composée de cinq membres de la partie japonaise et de deux membres de la partie burkinabè. Cette équipe a eu une série d'entretiens et de concertations auprès : des organes d'exécution du Projet à Ouagadougou et dans les régions du Centre-Sud et du Plateau Central ; des communes où le projet intervient ; des partenaires techniques et financiers (PTF). L'évaluation est mise en œuvre par le processus suivant en conformité avec le PDM et le PO:

- (1) Confirmation du niveau de réalisation du Projet en se fondant sur les indicateurs du PDM ;
- (2) Vérification des processus de mise en œuvre du Projet ;

(3) Évaluation sur la base des cinq critères définis par le Comité d'Aide au Développement (CAD)

3-2 Cadre de l'évaluation

Le cadre de l'évaluation reposant sur ledit processus est synthétisé dans la grille d'évaluation (Annexe 5). Les définitions des cinq critères du CAD sont les suivantes :

Pertinence	La pertinence est évaluée par les éléments suivants : la pertinence de l'Objectif global et le But du projet ; la cohérence du projet par rapport à la politique du gouvernement du Burkina Faso, à la politique d'aide au développement du gouvernement du Japon et aux besoins des bénéficiaires ; la pertinence de la conception du projet, entre autres.
Efficacité	L'efficacité est évaluée par le niveau de réalisation du but du projet et par la logique entre le but du projet et les résultats.
Efficienc	L'efficience est évaluée en se focalisant sur la relation entre les résultats et les intrants basée sur la durée du projet, la qualité et la quantité des intrants, entre autres
Impact	L'impact est évalué en se fondant sur les effets directs, indirects, positifs, négatifs, prévu et/ou inattendus qui sont engendrés par le projet.
Durabilité	La durabilité est évaluée par le degré de maintien de la réalisation du projet après son achèvement sous les aspects politique, institutionnel, organisationnel, financier et technique.

**4. Confirmation du niveau de réalisation**

4-1 Niveau de réalisation des intrants

(1) Intrants de la partie burkinabè

1) Affectation des homologues

Un nombre important d'homologues affectés à la DGEP/MEA, à la DREA/PCL et à la DREA/CSD contribuent à la mise œuvre du PROGEA II. Les détails sont inscrits en Annexe 6-1.

2) Locaux

La partie burkinabè offre un bureau au projet au sein de la DGEP/MEA. Les frais d'électricité et d'eau sont pris en charge par ladite direction générale.

3) Frais de fonctionnement

Le montant total de 185 millions de FCFA est consacré aux frais de fonctionnement au titre de la contrepartie nationale. Dans l'exercice 2016, le total (45 millions de FCFA) a été consacré. Quant au budget de 2017, le montant de 74 millions de FCFA est inscrit. Pour les détails, il faut se référer à l'Annexe 6-5.

(2) Intrants de la partie japonaise

1) Envoi des experts

5 experts ont été envoyés. La durée totale d'envoi est de 9,2HM depuis le démarrage du Projet jusqu'à la fin février 2017. Pour les Détails, il faut se référer à l'Annexe 6-2.

2) Formation au Japon

En 2016, 4 homologues ont été envoyés au Japon. Les détails sont inscrits en Annexe 6-3.

3) Fourniture des équipements

Le Projet a fournis des ordinateurs, des outils de repêchage, etc. La fourniture prévue s'est achevée avant la revue à mi-parcours. Le montant total est de 17.373.750 FCFA (équivalent à 3.292.031 yens, calculé par le taux de change réglementé de la JICA). Pour les Détails, il faut se référer à l'Annexe 6-4

4) Frais de fonctionnement

Le montant total de 31.878.000 yens a été consacré. Les détails sont mentionnés en Annexe 6-5.

4-2 Niveau de réalisation des activités

L'état de mise en œuvre des activités par rapport à chaque résultat est mentionné dans le tableau ci-dessous. Concernant la réalisation des séminaires et ateliers, il faut se référer à l'Annexe 6-6.

Activités relatives au résultat 1	L'identification de la situation de la diffusion de la Réforme et l'examen du manuel à diffuser à l'échelle nationale sont en cours. La révision du manuel élaboré en phase précédente et faisant l'objet des activités 1 à 3 sera effectuée dans la 2ème moitié de la durée du projet.
Activités relatives au résultat 2	Toutes les activités relatives au résultat 2 ont été menées et seront poursuivies.
Activités relatives au	Toutes les activités relatives au résultat 3 ont été menées et

résultat 3	seront poursuivies.
Activités relatives au résultat 4	Au travers des activités relatives aux résultats 2 et 3, l'examen du manuel à diffuser à l'échelle nationale est en cours. A la suite de quoi, ledit manuel sera finalisé dans la 2ème moitié de la durée du projet.
Activités relatives au résultat 5	Toutes les activités relatives au résultat 5 ont été menées et seront poursuivies.
Activités relatives au résultat 6	Les activités relatives au résultat 6 seront menées dans la 2ème partie de la durée du projet en se fondant sur la réalisation des résultats 1 à 5.

#### 4-3 Niveau de réalisation des résultats

Le niveau de réalisation de chaque résultat se présente comme suit :

**Résultat 1 : La situation de la diffusion de la Réforme à travers le pays et les leçons tirées des PTF et ONG dans l'application de la Réforme sont identifiées et analysées pour que les outils élaborés dans la Phase I soient révisés pour la diffusion à l'échelle nationale.**

**Indicateur 1-1 : Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme sont identifiés et analysés.**

La collecte d'informations concernant les résultats et leçons auprès d'autres PTF, ONG est en cours. Ces informations sont aussi collectées au travers des ateliers organisés par le projet.

**Indicateur 1-2 : Les manuels et outils révisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont élaborés.**

Depuis le démarrage du PROGEA II, les homologues et les experts ont commencé des activités à cette fin. Afin de partager des informations sur l'avancement de la mise en application de la Réforme et d'examiner le manuel à diffuser à l'échelle nationale, le Projet a tenu un atelier regroupant les 13 directions régionales en janvier 2016 suivi d'un autre ayant regroupé tous les acteurs au niveau national en mars 2016. Les rapports de ces ateliers contenant les défis et les recommandations en vue de la révision des manuels et outils sont disponibles et partagés entre tous les acteurs de la mise en œuvre de la Réforme.

**Résultat 2 : La Réforme est introduite dans la région du Centre-Sud à l'aide des outils élaborés pour la diffusion à l'échelle nationale.**

**Indicateur 2-1 : Les AUE sont créées dans tous les villages des communes pilotes sélectionnées dans la région du Centre-Sud.**

Dans la région du Centre-Sud, les AUE mises en place à l'aide de PTF ou ONG dans toutes les 19 communes ont été identifiées avant décembre 2015. Au début, le Projet envisageait la mise en place des AUE dans les communes pilotes. Cependant, étant donné que les AUE y étaient déjà présentes, le Projet a décidé de mener les activités d'appui dans toutes ces communes. Par contre, à propos des activités de promotion de l'hygiène et de l'assainissement, elles seront menées uniquement dans les communes pilotes.

**Indicateur 2-2 : La convention de la délégation de gestion est signée entre les communes et les AUE dans toutes les communes pilotes de la région du Centre-Sud et les activités de gestion des ouvrages d'AEP sont menées.**

Dans la région du Centre-Sud, les AUE ont été créés au sein de toutes les 19 communes à l'aide des PTF et ONG. Ces AUE mènent des activités, entre autres la collecte et la gestion de cotisations de la part de la population, la sensibilisation de la population, l'entretien des ouvrages d'AEP. Parmi les 442 AUE reconnues dans les 19 communes de la région du Plateau Cental, 276 ont signé la convention de la délégation de la gestion avec la commune avant la fin juillet 2016.

Entre juin et juillet 2016, 17 ateliers portant sur les activités de gestion des ouvrages d'AEP et destinés aux acteurs communaux (communes, AUE, maintenanciers) de la région du Centre-Sud ont été organisés dans 16 communes (dans la commune de Konbissiri, deux séances se sont tenues à cause du nombre important de villages).

**Indicateur 2-3 : Le contrat est signé entre les communes et les maintenanciers dans toutes les communes pilotes de la région du Centre-Sud et la tournée du suivi préventive et le service de réparation des PMH sont réalisés par les maintenanciers.**

L'étude de base a été menée entre décembre 2015 et mars 2016 pour faire un état des lieux et identifier des défis.

Au-delà de cette étude, 3 ateliers provinciaux destinés aux maintenanciers de la région du Centre-Sud ont été tenus et la situation de la gestion des ouvrages d'AEP a été analysée. Dans ladite région, 4 communes sur 19 ont signé le contrat avec les maintenanciers. La tournée de suivi et d'entretien préventif n'est pas effectuée de façon régulière.



**Indicateur 2-4 : Plus de 80% des acteurs communaux qui participent à l'atelier d'information sur l'application de la Réforme sont admis à l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.**

Au début mars 2017, à la faveur des formations des acteurs communaux sur la Réforme dans la région du Centre-Sud, une évaluation de niveau de compréhension des participants a été effectuée. L'évaluation a porté sur leur niveau de compréhension des modules dispensés au cours de ces formations. Le résultat a montré que le pourcentage des participants ayant obtenu au moins 60 points sur 100 a été de : 78,7% dans la province du Bazéga ; 70,2% dans la province du Zoundwéogo. Cette évaluation sera effectuée aussi dans la province de Nahouri au cours des prochaines sessions de formation. Le projet continuera le renforcement des capacités afin que plus de 80% des acteurs aient une meilleure compréhension de la Réforme.

**Résultat 3 : Des systèmes de suivi et d'appui à la Réforme utilisant des ressources existantes sont mis en place dans la région du Plateau Central.**

**Indicateur 3-1 : Les leçons tirées du suivi et d'appui à l'application de la Réforme dans la région du Plateau Central sont identifiées et analysées.**

L'appui pour l'application de la Réforme a été mené dans la phase 1. Dans cette phase, le Projet essaie d'établir des systèmes de suivi et d'appui de la Réforme. À la fin de la phase 1, le suivi était censé être réalisé, en collaboration avec les chefs ZAT/UAT, par les services concernés burkinabè. Cependant, à la suite de la restructuration des ministères, le Ministère de l'agriculture et celui de l'Eau et de l'Assainissement ont été séparés et l'assistance des chefs ZAT/UAT n'a plus été obtenue. Par conséquent, il est important d'établir un nouveau système de suivi. Jusqu'au moment de la revue à mi-parcours, le Projet a déjà identifié des défis relatifs aux suivi et appui pour l'application de la Réforme. Des réflexions pour l'identification des actions pour y faire face sont en cours au niveau du Projet et feront l'objet d'analyses plus approfondies.

Concernant les activités auprès des maintenanciers, il s'est révélé qu'il restait toujours beaucoup de défis. Dans la région du Plateau Central, les associations provinciales des maintenanciers ont été créées. Mais il y a des communes qui n'ont pas encore signé le contrat avec les maintenanciers. Dans les communes visitées par l'Équipe lors de la revue à mi-parcours, la tournée du suivi préventif périodique n'est pas mise en œuvre. Par ailleurs, comme la redevance payée par les AUE est d'abord versée dans le compte de la commune (Trésor Public), il faut attendre longtemps pour le décaissement à cause de la lourdeur

administrative. Il se peut donc que les maintenanciers attendent près de 2 ans pour être payés.

**Indicateur 3-2 : Le draft du menu sur les systèmes du suivi et d'appui à l'application de la Réforme utilisant des ressources existantes est élaboré dans la région du Plateau Central.**

Au moment de la revue à mi-parcours, le Projet extrait des défis relatifs au système du suivi et d'appui à l'application de la Réforme. Le draft du menu sur lesdits systèmes sera élaboré après que des défis soient analysés plus profondément.

**Résultat 4 : Les manuels et outils pour la diffusion de la Réforme sont finalisés à travers l'introduction expérimentale dans la région du Centre-Sud et le suivi dans la région du Plateau Central et la méthode pour la mise en œuvre de la Réforme est intégrée dans le document officiel.**

**Indicateur 4-1 : Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme dans les régions du Centre-Sud et du Plateau Central sont analysés.**

À travers l'introduction de la Réforme dans la Région du Centre-Sud (Résultat 2) et du système du suivi et d'appui à établir dans la Région du Plateau Central (Résultat 3), le Projet fera une analyse plus approfondie des défis pour l'application de la Réforme.

**Indicateur 4-2 : Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont révisés et finalisés.**

À travers l'introduction de la Réforme dans la Région du Centre-Sud (Résultat 2) et du système du suivi et d'appui à établir dans la Région du Plateau Central (Résultat 3), le Projet identifie des points à modifier dans les manuels et outils en vue de leur révision. Parallèlement, le Projet identifie les défis de la Réforme à travers les discussions avec d'autres acteurs (PTF, ONG, communes, bureaux d'étude, etc.). Ainsi, il examine l'orientation des manuels pour la diffusion à l'échelle nationale de la Réforme en tenant compte la révision éventuelle de son document cadre.

**Indicateur 4-3 : Les manuels finalisés sont distribués à tous les acteurs concernés dans le secteur de l'AEP.**

Les activités relatives à cet indicateur seront menées après la finalisation des manuels susmentionnés.

**Indicateur 4-4 : Les manuels qui utilisent la méthode du PROGEA pour l'application de la Réforme sont intégrés dans le document officiel du PN-AEP.**

Les activités relatives à cet indicateur seront menées après la finalisation des manuels susmentionnés.

**Résulta 5 : La structure de la mise en œuvre de la Réforme est améliorée.**

**Indicateur 5-1 : Les rôles des acteurs impliqués dans l'application de la Réforme sont déterminés.**

À travers des discussions avec les organismes homologues ou d'autres PTF et des ateliers sur la Réforme, la détermination des rôles des acteurs impliqués dans son application est en cours.

**Indicateur 5-2 : L'élaboration du projet de textes réglementaires nécessaire à la bonne application de la Réforme commence.**

Le Projet participe à l'élaboration de textes réglementaires et de documents relatifs à la bonne application de la Réforme initié par le gouvernement du Burkina Faso tels que : la politique tarifaire de l'eau et la stratégie PPP (le modèle révisé du contrat de délégation de la gestion des ouvrages d'AEP) ; l'inscription des dépenses et recettes liées à l'eau potable dans la nomenclature des budgets communaux ; les normes, critères et indicateurs en matière de l'AEPA ; la révision du texte instituant l'agrément technique à délivrer aux opérateurs privés et aux artisans locaux (exemple : octroi de l'agrément par le gouverneur en lieu et place de la direction régionale) ; la feuille de route AMOC (recrutement et affectation du personnel pour la mise en œuvre de la Réforme au niveau des communes) . Presque tous ces textes réglementaires et documents sont validés, mais leur adoption et la promulgation/diffusion ne sont pas encore effectives. Par conséquent, ces textes et documents ne sont pas encore en vigueur. Le Projet apporte donc un appui pour l'avancement.

**Indicateur 5-3 : Tout le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau qui suit la formation sur l'application de la Réforme réussit à l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.**

À l'occasion de la formation des homologues sur la Réforme tenue du 28 novembre au 1<sup>er</sup> décembre 2016, une évaluation de niveau de compréhension des participants a été effectuée. 31 personnes sur 34 y ont réussi en atteignant ont obtenu 60 sur 100. Les acteurs menant des

W  
5.

activités en permanence dans le Projet ont eu un bon niveau de compréhension. Dans l'ensemble, les participants ont eu peu de points par rapport aux questions sur l'aspect pratique. Le renforcement des capacités se poursuivra à travers des actions de renforcement des capacités (formations, voyages d'étude, etc.).

**Indicateur 5-4 : Le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau formé se met à mener les activités de renforcement des capacités des acteurs communaux et des maintenanciers.**

Le Projet effectue les éléments suivants : l'amélioration du système de gestion des ouvrages d'AEP (y compris le réexamen des textes réglementaires pour l'application de la Réforme) ; la formation et le renforcement des capacités des acteurs impliqués dans la gestion des ouvrages d'AEP ; l'examen de systèmes de suivi. Le personnel des directions régionales accompagne les acteurs communaux ou ceux des AUE lors des ateliers pour qu'ils puissent élaborer leurs plans d'action sur la gestion des ouvrages d'AEP, etc.

<b>Résultat 6 : La planification de diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est réalisée.</b>
---

**Indicateur 6-1 : Un plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.**

Les activités relatives à cet indicateur seront menées à partir du 2<sup>ème</sup> semestre 2017 en se fondant sur la réalisation des résultats 1 à 5. Pour élaborer ce plan d'action, le Projet collectera des informations sur l'appui relatif à l'application de la Réforme d'autres PTF qui pourraient y intervenir.

**Indicateur 6-2 : Un plan du budget nécessaire à la diffusion et stabilisation de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.**

Ce plan sera élaboré à l'issue de la validation des différents plans d'action régionaux sur la diffusion de la Réforme.

À travers les entretiens avec les organismes concernés, le résultat qui n'est pas mentionné dans le PDM a été obtenu : la compréhension sur la Réforme des acteurs de l'administration communale et les membres du bureau exécutif des AUE a été approfondie. Les maintenanciers affirment avoir bénéficié des actions de renforcement des capacités dans la réparation et la gestion d'ouvrages.

#### 4-4 Probabilité de réalisation du but du Projet

La probabilité de réalisation du but du Projet est comme suit :

**Etablir une base pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale qui utilise la méthode mise en place dans la Phase 1 du PROGEA.**

**Indicateur 1 : Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont validés par le Comité National de Pilotage (CNP/PN-AEP).**

Un léger retard a été constaté dans la mise en œuvre des activités par rapport à chaque résultat. Cependant le Projet essaie de finaliser les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale. Ces manuels devront être adoptés par les instances appropriées avant leur application.

Par ailleurs, le processus de la relecture du document cadre et des outils de la Réforme est lancé. Etant donné que les manuels doivent s'aligner sur les orientations de la Réforme, le Projet tiendra compte de ce processus pour leur relecture.

**Indicateur 2 : Le plan d'action comprenant le plan du budget pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.**

Le plan d'action sera élaboré après la finalisation des manuels pour l'application de la Réforme à l'échelle nationale, ce qui s'achèvera avant la fin du Projet.

#### 4-5 Probabilité de réalisation de l'objectif global

La probabilité de réalisation de l'objectif global est comme suit :

**Contribuer à l'amélioration de la gestion des points d'eau à l'échelle nationale.**

**Indicateur : Le nombre des communes qui ont mis en place le système de gestion et de maintenance des infrastructures hydrauliques d'AEP conforme à la Réforme passe de 47.36 % (taux actuel) à 70.0% avant 2021.**

Le MEA collecte les données fixes sur la gestion et la maintenance des infrastructures hydrauliques d'AEP. Selon les données les plus récentes du 31 décembre 2016, le taux des dites communes est de 53,0% (Bilan Annuel PN-AEPA 2016-2017).

#### 4-6 Processus de mise en œuvre du Projet

##### (1) Avancement général du Projet

Le Projet a connu un léger retard par rapport à sa planification à cause de la crise socio-politique (le coup d'Etat en septembre 2015, la dissolution des conseils municipaux),

l'attentat terroriste en janvier 2016 et la restructuration institutionnelle en 2016. Bien que la crise socio-politique et l'attentat terroriste constituent les cas de force majeure, le Projet met en œuvre des activités tout en essayant de rattraper ce retard. Il collecte aussi des informations sur l'orientation de la Réforme de la part des organismes homologues et des PTF.

Le facteur favorisant l'avancement du Projet est qu'une bonne communication est assurée entre les experts japonais et les homologues burkinabè. Le fait qu'un agent de la DGEP est affecté comme coordonnateur national au sein du Projet contribue à un bon avancement. Par contre, les facteurs entravant l'avancement du Projet sont des événements socio-politique, institutionnel et terroriste. À la suite de cette crise socio-politique, des délégations spéciales ont été mises en place aux communes. Ensuite, les élections municipales ont eu lieu en mai 2016 et les nouveaux conseils municipaux ont été installés à partir du mois de juillet 2016. Cependant, les différentes passations du service n'ont pas toujours été bien effectuées dans certaines communes. Néanmoins, dans la mise en œuvre du Projet, certains ateliers ont été réalisés en l'absence des maires. Après l'installation des conseils municipaux, le Projet tente de rattraper le retard à travers les activités d'information de formation, et de sensibilisation des acteurs au niveau communal sur la Réforme afin de favoriser son appropriation par ces derniers.

## (2) Système administratif du Projet

Après la stabilisation du système institutionnel, le système administratif du Projet fonctionne bien. Le coordonnateur burkinabè au MEA joue un rôle central pour la coordination de la partie burkinabè en collaboration avec les experts japonais. Ainsi, le Projet est mis en œuvre de façon concertée avec les acteurs impliqués.

Bien que la mise en place du Comité de pilotage ait pris du retard, deux sessions (en août 2016 et en décembre 2016) ont eu lieu. Au cours de ces sessions, des recommandations et des suggestions sont faites pour un bon déroulement du Projet.

L'état d'avancement de la mise en œuvre du Projet est examiné lors des sessions du Comité de pilotage. La collecte des données pour la rédaction des rapports bilan est faite à l'aide de la fiche de monitoring du Projet de la JICA. Lors du remplissage de ladite fiche, les experts japonais et les homologues burkinabè se réfèrent au PDM. Ce Projet est considéré comme celui de catégorie A. Le bilan d'exécution périodique et le plan PTBA sont adressés aux différentes structures en charge du suivi des projets.

À la DGEP, la réunion de directions se tient tous les lundis. Le conseiller en chef et le coordonnateur national du Projet participent à ces réunions. Ainsi, les informations sur l'avancement du Projet sont partagées. Par ailleurs, dans le cadre du PN-AEPA, il existe le

Comité Régional ou Comité National de Pilotage du PN-AEPA qui effectue un suivi pour faire partager les informations sur l'avancement du PN-AEPA tous les 6 mois. Le Projet n'a pas encore participé au Comité Régional à cause du calendrier, mais il est présent au Comité National.

Le Projet envisage d'établir les systèmes de mise en œuvre aux niveaux central, régional et communal où il faudrait que les homologues des directions centrales et régionales soient les acteurs centraux pour renforcer les capacités des communes. Les responsables communaux doivent jouer des rôles primordiaux dans l'appui des AUE et des maintenanciers.

### (3) Communication entre les acteurs impliqués

La communication parmi les acteurs impliqués dans le Projet est assez bonne.

En général, la communication entre les experts et les organismes homologues (MEA, DREA) est bonne. En cas de défaillance de la communication, une concertation est engagée avec les parties prenantes pour rétablir cette communication. Les experts japonais collectent des informations entre autres liées à la politique et stratégie nationale auprès de la DGEP/MEA et des autres structures de l'État. Ces informations sont partagées aussi avec la JICA. Les experts et les homologues travaillent de concert. Les premiers renforcent des capacités des derniers, en les faisant jouer le rôle de formateur ou de facilitateur lors des ateliers.

La communication entre le Projet et les acteurs communaux (mairie, AUE) est aussi assez bonne. Par rapport à la communication avec les communes, les homologues à travers les directions régionales qui se chargent de passer les informations (invitation, information diverses, etc.). Quant au suivi des AUE, les experts n'y interviennent pas directement. Le suivi des AUE par le Projet se fait à travers les communes.

La communication avec d'autres PTF est aussi bonne. Le Projet participe activement aux discussions entre les PTF et échange des informations. Il a échangé des informations aussi avec les acteurs du Projet d'approvisionnement en eau potable dans le Plateau Central et le Centre-Sud (Phase 2) dans le cadre de l'aide financière non remboursable du Japon. Concernant le volet assainissement, il a effectué des activités qui sont cohérentes avec les approches de composant soft dudit projet.

### (4) Reconnaissance du Projet

Le Projet est assez bien connu par les différents acteurs.

Le Projet est classé dans la catégorie A comme projet exécuté sous le contrôle direct de l'administration publique. Les acteurs impliqués au MEA aux niveaux central et régional comprennent l'importance de promouvoir la Réforme à travers le Projet.

Au niveau des communes, la compréhension sur leurs rôles dans la mise en œuvre des activités de la Réforme est en train d'être améliorée. Les acteurs municipaux manifestent leur volonté de mettre en œuvre la Réforme en participant aux ateliers. Les AUE et les maintenanciers participent de manière active aux ateliers organisés par le Projet.

Ils essaient de jouer leurs rôles, mais ils éprouvent des difficultés à mener leurs activités à cause du manque des moyens financiers ou de la complexité de procédures, entre autres. Il leur faut davantage approfondir la compréhension sur les activités dans le cadre de la Réforme.

Les points focaux sont relativement motivés pour mener des activités. Au-delà de la collecte des informations sur les ouvrages d'AEP ou d'assainissement, il se peut qu'ils sensibilisent la population à la gestion des ouvrages d'AEP et à l'assainissement. Mais ils n'assurent ce travail qu'au moment où le frais de carburant et un peu de rémunération leur sont payés. Par conséquent leurs activités sont menées dans une certaine limite.

Par ailleurs, il existe un règlement qui stipule que, parmi les 6 membres du bureau de l'AUE, au moins un hygiéniste sur deux doit être une femme, ce qui promeut la participation féminine. Au niveau des AUE visitées lors de la revue à mi-parcours, il a été constaté qu'il y avait au moins une femme dans le bureau exécutif. Il y en avait aussi d'autres jouant le rôle autre que celui d'hygiéniste, ce qui explique que les femmes font partie des membres du bureau de manière active.

Le Projet est largement reconnu aussi parmi les PTF.

## **5. Résultat d'évaluation**

### **5-1 Résultat d'évaluation par les 5 critères**

#### **5-1-1 Pertinence**

La pertinence est élevée dans l'ensemble pour les raisons suivantes :

##### **(1) Cohérence avec les besoins**

Le Projet est conforme aux besoins du secteur de l'eau et de l'assainissement du Burkina Faso.

Le taux d'accès à l'eau potable en milieu rural est de 65,3% au 31 décembre 2016 (Rapport bilan annuel PN-AEPA 2016). Ce taux est en deçà de la cible de PN-AEPA escomptée 76%. Il est donc souhaitable que la Réforme soit appliquée sur toute l'étendue du territoire pour améliorer le taux d'accès à l'eau potable. Le document cadre de la Réforme a été élaborée en 2000, mais le système de gestion et de maintenance des ouvrages ainsi que du monitoring des services ne fonctionnent pas suffisamment bien, ce qui demande davantage d'efforts dans l'application de la Réforme. Le MEA compte relire le document cadre de la Réforme,



ce qui fait l'objet de discussions parmi les différents acteurs. C'est pourquoi le Projet doit tenir compte de cette relecture.

#### (2) Cohérence avec la politique nationale du Burkina Faso

Le Projet est conforme à la politique nationale de l'eau et de l'assainissement du Burkina Faso.

Le PN-AEP (2016-2030), programme national dans le secteur de l'eau (élaboré par le MEA avec l'appui de DANIDA) a pour objectifs opérationnels d'améliorer le taux d'accès à l'eau potable à travers l'accès universel. L'atteinte de cet objectif passe par la gestion durable des ouvrages d'AEP, notamment en milieu rural. Par ailleurs, la gestion des ouvrages (la Réforme) occupe une place de choix dans le le PN-AEP (2016 - 2030). Cela prouve que le MEA accorde l'importance à la promotion de la Réforme.

Dans le PN-AEP (2016-2030), l'accent est mis sur la promotion du système d'AEP multi-villages et la promotion de branchements privés en valorisant des forages à haut débit (de 9% en 2015 à 80% en 2030). Toutefois, en milieu rural, les forage équipés de PMH seront toujours utilisés par la population. Selon les acteurs au MEA, les forages seront toujours gérés par les AUE.

#### (3) Cohérence avec la politique d'aide du Japon

Le Projet est conforme à la politique d'aide du Japon vis-à-vis du Burkina Faso. Dans cette politique, le développement agricole, l'amélioration de la qualité de l'éducation, l'intégration économique de la sous-région constituent les 3 axes principaux. À part cela, l'appui à a stabilisation sociale est cité comme point de préoccupation. La coopération dans le secteur de l'eau et de l'assainissement pourrait contribuer au développement agricole à travers l'approvisionnement stable en eau et l'amélioration de l'état de santé de la population, ce qui conduit le pays à la stabilisation sociale.

#### (4) Pertinence de la cible

La zone d'intervention et le groupe cibles sont sélectionnés de manière plus ou moins appropriée.

Au Burkina Faso, la zone d'intervention géographique des PTF est globalement connue. En ce qui concerne l'AEPA, le Japon s'occupe des régions du Plateau Central et du Centre-Sud. Dans le Projet, les acteurs communaux impliqués dans la Réforme constituent un groupe cible.

Dans la région du Centre-Sud, le Projet avait l'intention de sélectionner 3 communes pour l'introduction de la Réforme lors de sa planification. Cependant, au démarrage du Projet,

cette planification a été revue parce que des AUE avait été déjà mises en place avec l'appui d'autres PTF dans toutes les 19 communes. À la suite de la concertation avec le MEA, les acteurs se sont mis d'accord en mars 2016 sur le fait que toutes les 19 communes soient ciblées. L'accent a alors été mis sur les séminaire et ateliers destinés entre autres aux communes, aux AUE, animés par les homologues du projet. Cela a engendré un avantage ainsi qu'un désavantage. L'avantage est le fait que les homologues ont pu renforcer leurs capacités en tant que formateurs. Par contre, le désavantage est le fait qu'un léger retard a été pris pour mener les activités suivantes : analyser des défis et proposer des solutions.

Concernant les activités relatives à l'assainissement, 3 communes (Ipelcé, Pô et Guiba) ont été retenues en accord avec les homologues, dans la région du Centre-Sud à raison d'une commune par province. Concernant ces dernières, elles ont été sélectionnées sur la base des critères suivants : la présence d'autres PTF ; l'accès pendant la saison pluvieuse ; l'état d'avancement de la Réforme.

Dans le Projet, les activités additionnelles seront retenues telles que la réhabilitation de forages. Les forages cibles ont été sélectionnés après la visite sur le terrain par les homologues de la région en se fondant sur le résultat de l'étude de base et les informations collectées auprès des maintenanciers.

#### (5) Pertinence de la conception du Projet

La conception du Projet est pertinente dans l'ensemble.

Ce Projet a été planifié en se basant sur les expériences et leçons de la phase précédente. Le fait qu'il n'a pas commencé juste après la phase I a permis de clarifier les défis à relever en cette phase et de planifier un projet plus approprié. Les expériences de renforcement des capacités des AUE et des communes au cours de la phase I servent à mener des activités de la présente phase dans les régions du Plateau Central et du Centre-Sud et à élaborer des documents relatifs à la Réforme. La conception est définie pour faire en sorte que le Projet élabore lesdits documents pour sa diffusion à l'échelle nationale.

La gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP est un thème important pour les usagers. Le PDM du Projet a été conçu de telle sorte que ses avantages parviennent aux bénéficiaires. Pour ces derniers, la motivation pour l'amélioration de la gestion et de la maintenance des ouvrages est élevée.

Cependant, les défis sont à relever par rapport au système lui-même de la Réforme dont le Projet appuie la mise en œuvre. Par exemple, l'exercice de la MOC constitue un défi majeur à relever pour la gestion des services de l'eau et le suivi de la mise en œuvre des activités de la Réforme. Lors des entretiens, certains disaient qu'il n'y avait pas de volontaires qui étaient prêts à devenir des membres du bureau AUE. C'est pourquoi il faudrait augmenter la

motivation des membres du bureau exécutif, ce qui est un défi à relever. Par ailleurs, comme les communes n'arrivent pas à payer les frais de tournée aux maintenanciers, ce service ne peut pas être assuré. En conséquence, les AUE ne paient plus la redevance aux communes.

#### 5-1-2 Efficacité

L'efficacité pourrait atteindre un certain niveau pour les raisons suivantes :

##### (1) Niveau de réalisation du but du Projet

Le Projet cherche à obtenir la validation des manuels et l'élaboration d'un plan d'action pour l'application de la Réforme avant son délai. L'élaboration des manuels pour l'application de la Réforme à l'échelle nationale se terminera avant son achèvement. Ensuite, un plan d'action ainsi qu'un plan budgétaire pourront être élaborés. Le Projet prévoit que l'élaboration desdits manuels et leur validation par le MEA seront terminées au cours de sa mise en œuvre. Après la validation, ces manuels devront être diffusés sur le plan national. Cependant, le MEA envisage de relire le document cadre de la Réforme. Au cas où il serait révisé, il faudrait que lesdits manuels et plan d'action soient élaborés conformément à la version révisée de la Réforme. Le calendrier de la révision du document cadre pourrait influencer la réalisation du but du Projet.

Le facteur favorisant la réalisation du but du Projet est le fait que l'application de la Réforme constitue un défi important du secteur de l'eau et de l'assainissement au Burkina Faso et que le gouvernement et les PTF s'y engagent de concert. À propos de la relecture du document cadre de la Réforme, selon les entretiens effectués auprès des agents du MEA, le Projet sera impliqué dans le travail de relecture. En y intervenant de manière active et saisissant bien la situation, le Projet devra mener une série de discussions pour demander l'accord sur l'orientation des manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale.

##### (2) Logique à partir des résultats jusqu'à la réalisation du but du Projet

La logique à partir des résultats jusqu'à la réalisation du but du Projet est à peu près pertinente. Les composants nécessaires à la réalisation du but du Projet sont constitués.

L'influence des suppositions importantes pour la réalisation du but du Projet est plus ou moins apparente. Parmi les suppositions importantes, par rapport à celle qui dit que « La politique relative à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP ne change pas. », un peu de confusion s'est produite à la suite de la réorganisation des ministères : certains anciens cadres de la DGEP ont été affectés en province en tant que directeurs provinciaux et il reste beaucoup de jeunes au niveau central. Dans cette situation, le Projet a avancé les activités en favorisant la compréhension sur son contenu. Quant à une autre supposition importante, « Le personnel formé continue ses activités. », plusieurs personnes ont changé

le poste, mais cela n'a pas engendré un impact important. Un autre élément qui pourrait être une supposition importante, c'est le travail de réexamen du document cadre de la Réforme. L'avancement de ce travail pourrait avoir une influence sur la planification de l'élaboration des manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale ou sur le contenu desdits manuels.

### 5-1-3 Efficience

L'efficience est élevée à un certain niveau pour les raisons suivantes :

#### (1) Niveau de réalisation des résultats

Malgré du retard dans les activités, les résultats qui étaient supposés obtenus lors de la revue à mi-parcours se manifestent à peu près. Le facteur favorable de ce fait est que les ateliers sont tenus de manière active en promouvant l'implication des participants. Cependant, en dépit de l'amélioration, la compréhension sur la Réforme par les acteurs communaux n'est pas encore suffisante. Par ailleurs, le facteur qui pourrait influencer le niveau de réalisation des résultats est que l'AMOC, feuille de route pour l'administration communale dans le secteur de l'eau et de l'assainissement, n'est pas encore adopté au conseil des ministres à cause de la crise politique de 2015. En conséquence, comme les ressources humaines et financières ne sont pas suffisamment mises en place aux communes, le Projet a du mal à mener une partie des activités auprès des communes. Par exemple, les homologues formés des DREA/PCL et DREA/CS auraient dû organiser des ateliers aux communes, mais il n'y a pas de ressources humaines faisant l'objet des participants aux ateliers ou les communes n'arrivent pas à appuyer convenablement les AUE.

#### (2) Logique à partir des intrants et activités jusqu'à la réalisation des résultats

La logique à partir des intrants et activités jusqu'à la réalisation des résultats est pertinente. Pour obtenir les résultats, une quantité suffisante d'activités sont planifiées. Le Projet est conçu pour faire en sorte que les manuels sur l'application de la Réforme soit élaboré en se basant sur les activités à mener dans les régions du Plateau Central et de Centre-Sud. Les activités citées ci-après sont bénéfiques à la population et aux maintenanciers dans les communes cibles : la sensibilisation à l'assainissement aux communes pilotes dans la région de Centre-Sud ; activités auprès des maintenanciers dans la région du Plateau Central. Et elles sont aussi utiles à tirer de bonnes pratiques ou leçons qui sont nécessaires à l'élaboration desdits manuels. Aussi, suffisamment d'intrants sont prévus.

#### (3) Pertinence des intrants et des activités

Les intrants sont réalisés de manière appropriée aussi bien par la partie burkinabè que par la partie japonaise.

#### Partie burkinabè

Un nombre suffisant d'homologues sont affectés aux DGEP/MEA, DREA/PCL et DREA/CS. Le coordonnateur national du Projet a pris du retard pour être nommé officiellement en septembre 2016. Mais comme ce dernier était impliqué dans le Projet depuis septembre 2015, cela n'a pas posé un problème quelconque. Le bureau du Projet est mis en place au sein de la DGEP/MEA et les frais d'électricité est sont pris en charge par le MEA. La partie burkinabè assure un fonds de contrepartie et participe au paiement des frais de fonctionnement. Cependant, il lui arrive à ne pas pouvoir payer à temps à cause des procédures administratives qui ont besoin beaucoup de temps.

#### Partie japonaise

Les experts ayant une bonne expertise et qui connaissent bien les situations sur le terrain sont affectés. Concernant les équipements à fournir, ils ont été sélectionnés de manière appropriée. Les procédures pour le dédouanement ont eu besoin beaucoup de temps mais cela n'est pas devenu un obstacle grave. Pour la formation au Japon, les agents du MEA qui jouent les rôles importants pour la promotion de l'application de la Réforme ont été envoyés. Ils ont obtenu les connaissances sur les expériences japonaise de l'adduction d'eau ou la décentralisation. Ces acquis ont été restitués à d'autres collègues. À part la formation destinée aux homologues du PROGEA 2, un ou deux agent(s) du MEA ou de la DREA participe(nt) à la formation par thème. Ainsi, le renforcement des capacités des organismes homologues sont envisagé. Par ailleurs, les frais de fonctionnement sur place ont été consacrés comme prévu.

Aussi, comme la méthode de sensibilisation pour la promotion de l'hygiène et de l'assainissement autour du point d'eau est appréciée par les acteurs concernés lors de la mise en œuvre du projet dans le cadre de l'aide financière non remboursable, le Projet a pu valoriser ce savoir-faire et mener les activités de manière efficiente.

Malgré le retard accusé à cause de la crise socio-politique, les activités nécessaires sont menées progressivement. Les intrants sont tous mis en valeur, ce qui fait apparaître tous les résultats prévus au moment de la revue à mi-parcours à un certain niveau.

#### 5-1-4 Impact

L'impact pourrait être obtenu si le but du Projet est atteint pendant le délai du Projet et si la partie burkinabè arrive à poursuivre des activités après son achèvement.

### (1) Probabilité de réalisation de l'objectif global

L'objectif global, l'amélioration de la gestion des points d'eau à l'échelle nationale, pourrait être atteint si les activités sont poursuivies par partie burkinabè. Le taux des communes qui ont mis en place le système de gestion et de maintenance des ouvrages d'AEP est de 53,0% selon les données du MEA au 31 décembre 2016 (Bilan Annuel PN-AEPA 2016-2017). Cependant, étant donné que cet indicateur seul n'est pas suffisant pour évaluer le niveau de réalisation de l'objectif global, le Projet devrait continuer à observer l'état du monitoring.

Ce qui favoriserait la réalisation de l'objectif global, c'est que le gouvernement du Burkina Faso met en œuvre l'application de la Réforme de manière efficiente à l'aide des manuels à cette fin qui seront élaborés. Il faudrait aussi que les autres PTF fassent des activités conformes dudit manuel. Un des facteurs entravant serait le manque de ressources humaines et financières de la partie burkinabè. Le fait qu'un système de suivi des activités aux communes par les mairies et DREA n'est pas établi pourrait en faire partie.

### (2) Logique à partir du but du projet jusqu'à la réalisation de l'objectif global

La logique à partir du but du projet jusqu'à la réalisation de l'objectif global est à peu près pertinente. Cependant, il est indispensable que la partie burkinabè promeuve la diffusion de la Réforme à l'aide des manuels susmentionnés. Aussi, la pertinence l'objectif numérique des indicateurs devrait être examiné tout en tenant compte l'évolution de la situation.

En ce qui concerne l'influence des suppositions importantes pour la réalisation de l'objectif global, au moment de la revue à mi-parcours, il est difficile à la juger précisément. Une desdites suppositions, « la politique relative à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP », ne changerait pas en principe, mais comme le réexamen du document cadre de la Réforme est prévu, il faudra faire attention continuellement à la cohérence avec les manuels à élaborer dans le Projet. Quant à « l'utilisation des manuels par les autres PTF et ONG », il est important que le MEA la promeuve. À propos de « la budgétisation du plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale », c'est le MEA qui élabore ce plan, mais comme l'allocation du budget dépendra de la discussion entre le MEA et le MINEFID, il reste des éléments qui ne sont pas tout à fait prévisibles. À part cela, il est aussi important que plusieurs mesures (la feuille de route AMOC, etc.) soient mises en place et en application.

### (3) Répercussions

Bien qu'il est pas clairement rendu compte au moment de la revue à mi-parcours, quelques répercussions pourraient être espérées. Si l'amélioration des conditions hygiéniques autour du point d'eau est assurée grâce à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP, la

population aura un accès à l'eau potable sûre. Ce qui contribuerait à la vie saine et à la diminution de maladies hydriques. Aussi, si les AUE sont renforcés, d'autres activités telles que les activités pour le développement rural pourraient avoir une bonne influence. Par exemple, il existe des villageois qui sont membres du bureau des AUE et en même temps du Conseil Villageois de Développement (CVD). Et aussi, si le renforcement des capacités des communes est assuré au travers de la mise en œuvre activités liées à l'eau et à l'assainissement, la décentralisation pourrait être promue.

Par contre, aucun impact négatif n'est pas rendu compte.

#### 5-1-5 Durabilité

La durabilité est moyenne pour les raisons suivantes :

##### (1) Aspect politique et institutionnel

La durabilité sous l'aspect politique et institutionnel est plus ou moins prévue. Comme le présent PN-AEP est à l'horizon 2030, la politique de l'eau ne changera pas dans l'immédiat. Et les manuels ou le plan d'action que le Projet compte élaborer seront validés officiellement par la partie burkinabè. Par ailleurs, le MEA envisage le réexamen du document cadre de la Réforme. Pour assurer la durabilité, il est indispensable d'élaborer les manuels et le plan d'action conformément au résultat du réexamen. Il est donc nécessaire de faire attention à ce courant en participant aux processus dudit réexamen pour avancer l'élaboration.

##### (2) Aspect organisationnel

La durabilité sous l'aspect organisationnel est moyenne.

Dans le Projet, la formation des formateurs est organisée pour que les capacités des homologues soient renforcées et qu'ils puissent former les acteurs impliqués aux niveaux central - régional - communal. Le MEA et les DREA comptent poursuivre des activités de promotion de la Réforme. Le Projet envisage le renforcement des capacités des homologues au MEA et aux DREA au travers des activités quotidiennes et ateliers. Lors des entretiens menés auprès des organismes homologues, certains ont fait des commentaires sur l'amélioration de la reconnaissance ou les capacités opérationnelles des acteurs relatives à la Réforme. Selon les experts, une partie des homologues ont acquis des capacités pour être formateurs, mais le renforcement des capacités ainsi que l'établissement du système de mise en œuvre sont toujours requis.

Aux communes, un nouveau système a été fondé à peine en mai 2016 et le personnel pour le secteur de l'eau et de l'assainissement n'est pas encore affecté. Beaucoup de communes n'ont pas encore signé la convention de la délégation de gestion avec les AUE. En outre, la

tournée préventive par les maintenanciers n'est pas effectuée. Ainsi, les communes n'arrivent pas encore à jouer son rôle attendu pleinement. Selon les réponses obtenues lors des entretiens, les mairies sont en train de renforcer les capacités organisationnelles au travers des ateliers organisés par le Projet. Cependant, le renforcement de leurs capacités est encore plus nécessaire.

Pour améliorer la durabilité sous l'aspect organisationnel, il est indispensable d'établir un système de monitoring, mais ce système n'est pas encore achevé. En effet, le PROGEA/PCL a cherché à établir un système de monitoring à travers les activités mises en œuvre dans la région de Plateau Central, mais ce système n'est plus fonctionnel après la fin du PROGEA/PCL. Les raisons sont les suivantes : les chefs ZAT/UAT ne peuvent plus être disponibles sur le terrain pour le monitoring depuis la scission du ministère ; après la crise socio-politique qui s'est produite au démarrage du Projet, les conseils communaux ont été dissous et ils ont mis longtemps pour être réorganisés ; le système de monitoring entre les différents niveaux « ZAT/UAT - Direction provinciale - Direction régionale - Direction centrale » n'est plus disponible. Par ailleurs, le MEA effectue le monitoring semestriel des projets et des programmes. Cependant c'est plutôt pour suivre l'état d'avancement de la réalisation physique. Il n'existe pas encore d'autres systèmes plus concrets pour le monitoring de la mise en œuvre de la Réforme.

Après le démarrage du Projet, sous l'influence de la crise socio-politique, une restructuration institutionnelle de grande échelle a été réalisée, mais au moment de la revue à mi-parcours, la situation institutionnelle semble stabilisée.

### (3) Aspect technique

La durabilité sous l'aspect technique est moyenne.

Un grand changement organisationnel n'est pas prévu aux organismes homologues, mais le déplacement du personnel se fait périodiquement. Le système de passation du service n'est pas établi.

Les communes et AUE pourraient continuer les activités pendant le délai du Projet, mais après son achèvement, il n'est pas certain s'ils arrivent pas à se débrouiller par eux-mêmes. Pour que les AUE continuent les activités, l'appui technique et le suivi par les communes sont nécessaires.

Selon les entretiens menés, les participants aux ateliers trouvent qu'ils ont amélioré leurs capacités et ils essaient de valoriser les connaissances et techniques acquises. Il est nécessaire de renforcer davantage les capacités des organismes homologues pour qu'ils parviennent à former les membres aux mairies.



Les équipements fournis sont entretenus et utilisés convenablement dans l'ensemble. Parmi les équipements, les outils de repêchage à être fournis aux associations des maintenanciers sont gardés à la DREA/CS jusqu'à leur fondation. Les processus sont en cours. Les AUE visités lors de la revue à mi-parcours assuraient à peu près convenablement la gestion des forages, mais il y a des cas où certains forages sont abandonnés alors que les AUE ont fait appel aux maintenanciers plusieurs fois.

#### (4) Aspect financier

La durabilité sous l'aspect financier n'est pas très élevée.

Un certain budget est alloué au MEA ainsi qu'aux DREA, mais ce n'est pas suffisant. D'autre part, l'allocation du budget s'effectue à la suite des discussions entre le MEA et le MINEFID, ce qui n'est pas tout à fait prévisible. L'appui budgétaire par DANIDA ou l'Union Européenne se poursuivra jusqu'en 2020, mais ce n'est pas indéterminé après ce délai. Dans le rapport annuel du PN-AEPA (décembre 2016) aussi, il est signalé que le budget pour la mise en œuvre de la Réforme n'est pas suffisant.

Aux communes, le budget pour la promotion de la gestion des ouvrages d'AEP est limité. Avec de retard de mise en œuvre de l'AMOC, un budget suffisant n'est pas alloué. Aussi, le système de recouvrement de la redevance de la part des AUE n'est pas établi. C'est pourquoi le recouvrement susmentionné n'est pas effectué, ce qui aggrave l'état des ressources financières des mairies. En plus, même si un budget est alloué, le problème est que le décaissement ne se fait pas à temps à cause de la complexité des procédures. Par exemple, il se peut que le paiement pour les tournées aux maintenanciers de la part des communes prenne beaucoup de retard.

Aux AUE, la cotisation est collectée et dans la plupart des AUE, la cotisation pour la réparation de pompes est assurée par presque toute la population et utilisée à cette fin.

#### (5) Facteurs liés à la durabilité

Concernant la durabilité, le fait que l'importance est accordée à la Réforme peut être considéré comme facteur favorable. Afin d'augmenter davantage la durabilité, l'appropriation est nécessaire aux niveaux central - régional - communal. Aussi, il est nécessaire que les AUE fassent le recouvrement et la bonne gestion de la cotisation pour que ce soit transparent vis-à-vis de la population. Comme facteur entravant, la mise en place insuffisante des ressources humaines et financières aux organismes homologues, le manque de compréhension des AUE, etc. peuvent être cités. La complexité des procédures relatives à la Réforme pourrait en faire partie.

## 5-2 Conclusion

En dépit du retard pris au démarrage suite à la situation socio-politique et sécuritaire, le Projet met en œuvre tant bien que mal les activités planifiées.

Il est conforme aux besoins et à la politique du Burkina Faso ainsi qu'à la politique du Japon. Ce qui fait que la pertinence du Projet est élevée dans l'ensemble. Cependant, avec la relecture de la Réforme, le Projet doit donc mettre en œuvre les activités tout en prenant en compte les nouvelles orientations de la Réforme.

Si les activités avancent comme il faut, le Projet pourrait atteindre son but.

Les intrants sont réalisés convenablement. Les résultats prévus au moment de la revue à mi-parcours sont plus ou moins atteints, ce qui fait que l'efficacité est élevée dans une certaine mesure.

Après la réalisation du but du Projet, si la partie burkinabè continue les activités, l'impact pourrait être perçu. Mais il faut faire attention aux suppositions importantes comme : la relecture du document cadre de la Réforme ; la budgétisation pour l'application de la Réforme ; l'avancement de la mise en œuvre de la feuille de route AMOC, etc.

Quant à la durabilité, elle est moyenne car les défis relatifs aux aspects politique, institutionnel, organisationnel, technique et financier sont à relever. Par rapport à ces défis, il est souhaitable que le Projet participe aux travaux de relecture du document cadre de la Réforme et prenne des mesures en conséquence.

## 6. Recommandations

Concernant les mesures à prendre pour la suite du Projet, l'Équipe a fait les recommandations suivantes :

- (1) Vu le contexte du démarrage du Projet et l'installation tardive des conseils municipaux qui sont des acteurs clés de la Réforme, la partie burkinabè propose une prorogation du Projet pour atteindre le but du Projet. À cet effet, le gouvernement burkinabè devra s'engager à réunir certaines conditions nécessaires à la mise en œuvre de la Réforme notamment la relecture du document cadre et les outils de la Réforme ainsi que la mise en œuvre effective de la feuille de route AMOC. Une fois que ces conditions seront réunies, le Projet devra réviser le Plan d'Opérations.
- (2) En faisant attention à la relecture du document cadre de la Réforme, le Projet doit partager des informations avec le MEA et participer aux discussions. Dans le PN-AEP (2016 - 2030), il est envisagé une augmentation des systèmes d'AEP en utilisant les forages à haut débit avec les branchements privés et une réduction progressive du nombre de PMH. Les PTF tels que DANIDA, l'AFD essaient d'apporter des appuis en suivant cette politique. Il faut prendre en considération cette nouvelle politique pour

planifier la diffusion à l'échelle nationale de la Réforme. À propos des AEPS, étant donné que d'autres PTF y apportent des appuis, le Projet devrait faire attention à ne pas avoir de chevauchements.

- (3) Les communes manquent de ressources humaines et financières, mais selon la feuille de route AMOC, il est prévu qu'elle soit appuyée dans le recrutement d'agents techniques AEPA. Il faut donc que le Projet continue les activités en tenant compte de la mise en œuvre de la feuille de route AMOC.
- (4) Dans le cadre de la mise en œuvre de la Réforme, le Projet planifie ses activités conformément au document cadre. Cependant, à travers cette revue à mi-parcours, il a été constaté que certains aspects du processus de la Réforme n'ont pas été respectés par les acteurs. Cette situation s'explique par le faible fonctionnement du système où les communes doivent assumer leurs responsabilités dans le secteur de l'eau. Après la relecture, si le document cadre n'est pas sujet à une modification importante, il faut respecter les étapes suivantes : 1) les AUE assurent la gestion et l'entretien des ouvrages d'AEP de manière convenable ; 2) Le personnel qui appuie les AUE est affecté aux communes et un système permettant la tournée préventive est établi ; 3) la convention de la délégation de gestion est signée entre les communes et les AUE ; 4) Les AUE paient la redevance aux communes et la tournée préventive est assurée par les communes.
- (5) La phase I du Projet a essayé d'établir un mécanisme de suivi et d'appui à la mise en œuvre de la Réforme en mettant en valeur les chefs ZAT/UAT. Avec la scission du ministère en charge de l'agriculture et de l'eau, il faudra que le Projet revoie ce mécanisme. C'est le MEA qui doit créer un système pour suivre et appuyer les activités des communes, des AUE et des maintenanciers. À travers les activités à mener dans la Région du Plateau Central, il doit créer rapidement ledit système au niveau régional, vérifier son opérationnalité et l'ajuster afin qu'il puisse être applicable au niveau national.
- (6) Il est souhaitable que, lors des ateliers, le Projet incite plus les acteurs (communes, AUE, maintenanciers) à prendre des initiatives dans le cadre de la mise en œuvre de la Réforme.
- (7) Il a été constaté qu'un certain nombre de forages sont abandonnés car ils sont irréparables malgré l'effort des AUE. L'un des facteurs qui pourrait expliquer cette situation est que dans la Réforme, les responsables de la réhabilitation de grande envergure éprouvent des difficultés à jouer pleinement leurs rôles. Dans ce Projet, la réhabilitation est planifiée pour un certain nombre de PMH. Les informations ou expériences suivantes qui pourront être obtenues lors de cette réhabilitation devraient

être pris en compte dans les manuels à élaborer : l'étendue de la responsabilité pour la réhabilitation ; les critères de sélection des forages cibles et l'ordre de priorité.

- (8) En accord avec les activités réelles du Projet, quelques modifications devraient être apportées. Après l'examen du contenu et les procédures pour les modifications par chacune des deux parties, la version révisée du PDM sera validée à la prochaine session du Comité du pilotage. Les points à modifier sont les suivants :

Points à modifier	Contenu
Indicateur du résultat 2	Au lieu de « les communes pilotes » , il faut inscrire « toutes les 19 communes ». Comme les AUE ont été déjà mises en place lors du démarrage du Projet, il n'était plus nécessaire de sélectionner des communes pilotes pour la mise en œuvre de la Réforme. Suivant cette situation, le Projet met en œuvre les activités à mener après la création des AUE dans toutes les 19 communes.
Activité 2-3	Comme le point mentionné ci-dessus, il faut changer « les communes pilotes » en « toutes les 19 communes ».
Indicateur de l'objectif du projet	Il faut changer « le nombre » en « le taux » pour que la description soit plus appropriée.

## Annexe 1 : Calendrier de la revue à mi-parcours

Date		
1	27/02	L Arrivée à Ouagadougou
2	28/02	M 08:30 Réunion au bureau de la JICA 10:00 Réunion avec DGEP/MEA 11:00 Réunion avec avec UE 14:00 Réunion avec les évaluateurs burkinabè 17:30 Réunion avec AFD
3	01/03	M 09:00 Réunion avec DGA/MEA 10:30 Réunion avec DGESS/MEA 13:00 Réunion avec IGIP Afrique 15:00 Réunion avec Expert
4	02/03	J 09:00 Réunion avec IRC 15:30 Réunion avec Water Aid
5	03/03	V Déplacement à la région du Centre-Sud Visite sur le terrain dans la région du Centre-Sud (Réunion avec DREA/CS-Maires, SG, Points Focaux) Réunion avec NGO-OCADES
6	04/03	S Visite sur le terrain dans la région du Centre-Sud (Réunion avec AUE, Maintenanriers) Retour à Ouagadougou
7	05/03	D Analyse des données
8	06/03	L Visite sur le terrain dans la région de Plateau Central (Réunion avec DREA/PC-Maire, SG, Focal Point) Réunion avec NGO-LIMFASO 14:00 Réunion avec GIZ
9	07/03	M Visite sur le terrain dans la région de Plateau Central (Réunion avec AUE, Maintenanriers) Retour à Ouagadougou
10	08/03	M Collecte d'informations et analyse Arrivée à Ouagadougou (Membres de la JICA)
11	09/03	J 08:00 Réunion avec JICA Office 09:00 Réunion avec ANTEA 11:00 Réunion avec DANIDA 13:00 Réunion avec MEA(SG) 15:00 Réunion avec Burkinabe Evaluators
12	10/03	V Site Visit at Centre Sud Region (Réunion avec AUE, Focal Point)
13	11/03	S Site visit at Plateau Central Region (Réunion avec AUE, Focal Point)
14	12/03	D Internal Réunion/Data Analysis
15	13/03	L 09:00 Discussion avec les évaluateurs burkinabè 13:00 Discussion sur le compte rendu des discussions
16	14/03	M 09:00 Discussion sur le compte rendu des discussions
17	15/03	M 09:00 Comité de pilotage, Signature du compte rendu des discussions
18	16/03	J Compte rendu à l'Ambassade du Japon Compte rendu à la JICA au Burkina Faso Départ de Ouagadougou



M. SANOU S. Théodore	Sécretaire Général, Guiba
M. BOUITA T-Bernard	Maire, Gogo
M. ZOUNGRANA H. Joseph	Maire, Nobéré
M. TIEMTORE K. Henri	1 <sup>er</sup> Adjointe Maire, Béré
Mme BOUDA Georgette	2eme Adjointe en Maire

#### Focal Point

M. TAPSOBA Telo	Bindé
M. KAFANDO Hamacho	Gogo
M. ILBOURDO Boureima	Nobéré

#### Plateau Central

##### Commune

M. SAWADOGO Felix	SG, Mairie Boussé
M. KINDA Philippe	1er Adjoint au Maire, Boussé
M. KABORE Yelbi Adama	Régisseur Maire, Boussé
M. OUEDRAOGO Jean-Bruno	Personne Ressource Village Sao, Boussé
M. KOAMA R. Richard	Point Focal, Mairie Boussé
M. ZANGO Boniface	Maire, Laye
M. Paul WEDOGA	SG, Laye
Mme ZANGO Brigit	Comptable, Laye

##### Maintenanciers

M. KOANDA Saychou	Maintenancier/President AKMO/President FAMPCL
M. COMPAORE P. Rasmane	Maintenancier/President de l'Association Maintenanciers Ganzourgou
M. KABORE R Alain	Maintenancier/Vice President de Fédération
M. TAPSOBAa Nokidod Iarassi	Maintenancier de Commune de Tbéghin
M. OURDRUOGO Noufan	Maintenancier/Sécretaire Général de Fédération
M. PACERE No Hamada	Maintenancier/Sécretaire, Akamo

#### Development Partners

##### EU

M. Briac DEFFOBIS	Chef d'équie Secteurs Sociaux-Economie
M. Mathieu BADOLO	Chargé de programmes "Eau & Assainissement", Section Infrastructures

AFD

M. Denis VASSEUR Chargé de mission

GIZ

M. Willi KOHLMUS Conseiller Technique Principal

DANIDA

M. Aboubacar ZOUGOURI Chargé de Programme,  
Secteur Eau et Assainissement

IRC

M. Hilaire Firmin DONGO BADA Responsable des Opérations (Chief Operation Officer)

M. Richard BASSONO Chargé de Recherche-Action (Action-Research Officer)

WaterAid

Dr. Halidou KOANDA Country representative (Representant Pays)

M. Ousmane Yaya BOCOUM In charge of fundraising (Chargé de collecte de fonds)

OCADES

M. G. J. Thierry ZONGO Responsable Suivi-Evaluation

LIMFASO

M. GOORE Fidele

IGIP Afrique

M. WANDAOGO Adama Ingénieur Hydrogéologue

Mme GO Louise Sociologue

ANTEA

M. CONZIBAZY Soukalo Controleur

M. ZERBO Saidou Controleur, Secteur Civil

M. AHYEE Genu Ingenieur d'affaires

M. ZERBO Elie Sociologue



### Annexe 3: Matrice de Conception du Projet

**Titre du Projet:** Le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural Phase II (PROGEA II)

**Version 1.0**

**Datée du 21 janvier, 2015**

**Organe exécutif du Projet:** Direction Générale des Ressources en Eau à travers les Directions Régionales en charge de l'eau du Plateau Central et du Centre-Sud

**Groupes cibles:** Communes et populations des régions du Plateau Central et du Centre-Sud, Maintenançiers, Personnel des Directions Régionales en charge de l'eau

**Période du Projet:** Du mois d'août 2015 au mois de septembre 2018 (3 ans)

**Sites du Projet:** Régions du Plateau Central et du Centre-Sud, Ouagadougou

**Sites pilotes:**

Résumé narratif du Projet	Indicateurs objectivement vérifiables	Moyens de vérification	Supposition importante	Réalisations	Remarques
<b>Objectif global</b> Contribuer à l'amélioration de la gestion des points d'eau à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le nombre des communes qui ont mis en place le système de gestion et de maintenance des infrastructures hydrauliques d'AEP conforme à la Réforme passe de 47.36 % (taux actuel) à 70.0% avant 2021.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapport bilan annuel du PN-AEP</li> <li>Situation de la convention/contrat de gestion &amp; maintenance signés entre les communes, AUE et maintenanciers</li> </ul>			
<b>But du Projet</b> Etablir une base pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale qui utilise la méthode mise en place dans la Phase 1 du PROGEA.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont validés par le Comité National de Pilotage (CNP/PN-AEP).</li> <li>Le plan d'action comprenant le plan du budget pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Manuels pour la diffusion de la Réforme officiellement validés</li> <li>Le plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>La politique relative à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP ne change pas.</li> <li>PTF et ONG utilisent les manuels pour l'application de la Réforme.</li> <li>Le plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est budgetisé.</li> </ul>		
<b>Résultats</b> 1. La situation de la diffusion de la Réforme à travers le pays et les leçons tirées des PTF et ONG dans l'application de la Réforme sont identifiées et analysées pour que les outils élaborés dans la Phase I soient révisés pour la diffusion à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme sont identifiés et analysés.</li> <li>Les manuels et outils révisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont élaborés.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Informations sur les résultats et leçons tirées par les PTF et ONG à travers l'application de la Réforme</li> <li>Rapports sur les ateliers</li> <li>Manuels révisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le personnel formé continue ses activités.</li> <li>Le dispositif de la mise en œuvre du Ministère en charge de l'eau ne change pas.</li> </ul>		
2. La Réforme est introduite dans la région du Centre-Sud à l'aide des outils élaborés pour la diffusion à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les AUE sont créées dans tous les villages des communes pilotes sélectionnées dans la région du Centre-Sud.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapports du Projet</li> <li>Fiches de suivi des activités</li> </ul>			

A10-40

3

4

A10-41

M

W

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• La convention de la délégation de gestion est signée entre les communes et les AUE dans toutes les communes pilotes de la région du Centre-Sud et les activités de gestion des ouvrages d'AEP sont menées.</li> <li>• Le contrat est signé entre les communes et les maintenanciers dans toutes les communes pilotes de la région du Centre-Sud et la tournée du suivi préventive et le service de réparation des PMH sont réalisés par les maintenanciers.</li> <li>• Plus de 80% des acteurs communaux qui participent à l'atelier d'information sur l'application de la Réforme sont admis l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Convention de la délégation de gestion entre les communes et les AUE</li> <li>• Rapports sur le bilan des AUE soumis à la commune</li> <li>• Contrat du suivi entre les communes et les maintenanciers</li> <li>• Rapports sur les tournées de suivi des maintenanciers soumis aux communes</li> <li>• Résultats d'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme</li> </ul>			
3. Des systèmes de suivi et d'appui à la Réforme utilisant des ressources existantes sont mis en place dans la région du Plateau Central.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les leçons tirées du suivi et d'appui à l'application de la Réforme dans la région du Plateau Central sont identifiées et analysées</li> <li>• Le draft du menu sur les systèmes du suivi et d'appui à l'application de la Réforme utilisant des ressources existantes est élaboré dans la région du Plateau Central.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports du Projet</li> <li>• Le draft du menu sur les systèmes du suivi et d'appui à l'application de la Réforme élaboré</li> </ul>			
4. Les manuels et outils pour la diffusion de la Réforme sont finalisés à travers l'introduction expérimentale dans la région du Centre-Sud et le suivi dans la région du Plateau Central et la méthode pour la mise en œuvre de la Réforme est intégrée dans le document officiel.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme dans les régions du Centre-Sud et du Plateau Central sont analysés.</li> <li>• Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont révisés et finalisés.</li> <li>• Les manuels finalisés sont distribués à tous les acteurs concernés dans le secteur de l'AEP.</li> <li>• Les manuels qui utilisent la méthode du PROGEA pour l'application de la Réforme sont intégrés dans le document officiel du PN-AEP.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports sur les ateliers</li> <li>• Manuels finalisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> <li>• Document officiel sur le PN-AEP</li> </ul>			
5. La structure de la mise en œuvre de la Réforme est améliorée.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les rôles des acteurs impliqués dans l'application de la Réforme sont définis.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports du projet</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• L'élaboration du projet de textes réglementaires nécessaire à la bonne application de la Réforme commence.</li> <li>• Tout le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau qui suit la formation sur l'application de la Réforme réussit l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.</li> <li>• Le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau formé se met à mener les activités de renforcement des capacités des acteurs communaux et des maintenanciers.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Projet de Textes réglementaires élaboré relatif à l'application de la Réforme</li> <li>• Rapports de formations</li> <li>• Résultats de l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme</li> <li>• Rapport de revue annuel sur le PN-AEP</li> <li>• Rapports de formations</li> <li>• Fiches de suivi</li> <li>• Rapport de revue annuel sur le PN-AEP</li> </ul>			
6. La planification de diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est réalisée.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Un plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> <li>• Un plan du budget nécessaire à la diffusion et stabilisation de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Plan d'action sur la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> <li>• Plan et Rapport annuels du secteur d'approvisionnement en eau potable de chaque région</li> </ul>			

A10-42

W

J

Activités	Intrants		Conditions préalables
	Partie japonaise	Partie burkinabè	
<p>1-1 Analyser la situation de la diffusion de la Réforme à l'échelon national à travers une étude prenant en compte les résultats obtenus et les leçons tirées des autres PTF et ONG dans l'application de la méthode pour la diffusion de la Réforme.</p> <p>1-2 Organiser des ateliers qui réunissent les acteurs concernés dans la diffusion de la Réforme tels que les PTF et ONG et discuter du projet de manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale.</p> <p>1-3 Réviser les manuels établis dans la Phase 1 (à travers l'activité 1-2) pour la diffusion dans tout le pays.</p>	<p>1) Experts japonais</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Conseiller en chef/Gestion et maintenance des ouvrages d'approvisionnement en eau potable en milieu rural</li> <li>• Entretien des ouvrages d'approvisionnement en eau potable</li> <li>• Renforcement organisationnelle</li> <li>• Coordination</li> <li>• Autres experts selon la nécessité</li> </ul> <p>2) Formation du personnel homologué (au Japon et dans un pays tiers)</p> <p>3) Fourniture d'équipements</p>	<p>1) Mis à disposition des homologues</p> <p>2) Fourniture de documents et d'informations</p> <p>3) Matériels et équipements</p> <p>4) Locaux de bureau/ frais d'électricité</p> <p>5) Frais d'exploitation</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Un nombre approprié du personnel homologué est mis à disposition.</li> <li>• La politique relative à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP ne change pas.</li> </ul>
<p>2-1 Effectuer une étude de base sur l'application de la Réforme dans la région du Centre-Sud.</p> <p>2-2 Sélectionner des communes pilotes de la région du Centre-Sud dans laquelle la Réforme sera introduite après l'activité 2-1.</p> <p>2-3 Introduire véritablement la Réforme qui applique le modèle du PROGEA dans les communes pilotes sélectionnées de la région du Centre-Sud.</p> <p>2-4 Mener les actions de PHA dans les communes pilotes de la région du Centre-Sud.</p> <p>2-5 Étudier de la possibilité à la mise en place des associations des maintenanciers dans la Région du Centre-Sud.</p> <p>2-6 Organiser un atelier d'information sur l'application de la Réforme pour les acteurs de toutes les communes de la région du Centre-Sud.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Véhicules</li> <li>• Equipements informatiques</li> <li>• Autres Equipements nécessaires à l'exécution du Projet</li> </ul> <p>4) Frais d'activités locales</p>		

A10-43

3

5

3-1 Analyser la situation actuelle sur l'application de la Réforme dans la région du Plateau Central après la phase 1 du projet et en Identifier des problèmes et leçons tirées.

3-2 Etudier des systèmes appropriés du suivi et d'appui à l'application efficace de la Réforme utilisant les ressources existantes dans la région du Plateau Central.

3-3 Soutenir de façon ciblée l'application des actions de consolidation de la Réforme dans quelques localités après les activités 3-1 et 3-2.

---

4-1 Réviser la méthode, les manuels et les outils pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sur la base des résultats obtenus et des leçons tirées à travers les activités 2 et 3.

4-2 Organiser des ateliers pour étudier et valider les manuels révisés à travers l'activité 4-1.

4-3 Finaliser les manuels à vulgariser dans tout le pays pour l'application de la Réforme.

4-4 Intégrer les manuels finalisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale dans le document officiel.

---

5-1 Evaluer les rôles et les capacités actuelles des services étatiques d'exécution, des communes et du secteur privé pour contrôler l'introduction, l'application et l'avancement de la Réforme au niveau national.

5-2 Appuyer à l'élaboration des textes réglementaires nécessaires à la diffusion de la Réforme à travers le pays.

5-3 Appuyer à la mise en place de mécanismes de suivi et d'appui à l'application de la Réforme.

A10-44

W

h



<Issues and countermeasures>

5-4 Appuyer au renforcement des capacités du personnel aux niveaux central et régional de faire en sorte qu'ils puissent dispenser des formations destinées aux acteurs communaux.

5-5 Appuyer au renforcement des capacités des acteurs concernés au niveau communal par le personnel des Directions Régionales en charge de l'eau.

5-6 Appuyer au renforcement des capacités des maintenanciers sur les techniques de maintenance et d'entretien des ouvrages d'AEP et les procédures de contrat conforme à la Réforme par les Directions Régionales en charge de l'eau.

5-7 Etudier une méthode pour mettre en place un système d'approvisionnement des pièces détachées dans chaque région.

6-1 Collecter des informations sur les programmes de soutien financier des autres PTF pour appuyer à l'application de la Réforme.

6-2 Appuyer les autres régions dans la planification/budgétisation des activités de la mise en œuvre de la Réforme.

6-3 Elaborer un plan d'action pour diffuser la Réforme à l'échelle nationale.

6-4 Faire un plaidoyer auprès des autres PTF et ONG pour l'appui à l'établissement d'un système de maintenance et de gestion des ouvrages d'AEP sur la base du plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale.

A10-45

3

7

Annexe 4: Plan d'Opération Provisoire

Version 1.0  
Date : 21 Janvier, 2015

**Project Title: Le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural Phase II (PROGEA II)**

Intrants		Année	1 <sup>ère</sup> Année				2 <sup>ème</sup> Année				3 <sup>ème</sup> Année				4 <sup>ème</sup> Année				5 <sup>ème</sup> Année				6 <sup>ème</sup> Année				Remarques	Monitoring	
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV		Issue	Solution
<b>Expert</b>																													
	Conseiller en chef/Gestion et maintenance des ouvrages d'approvisionnement en eau potable en milieu rural	Plan																											
	Actuel																												
	Entretien des ouvrages d'approvisionnement en eau potable	Plan																											
	Actuel																												
	Renforcement organisationnelle	Plan																											
	Actuel																												
	Coordination	Plan																											
	Actuel																												
	Autres experts selon la nécessité	Plan																											
	Actuel																												
<b>Equipement</b>																													
	Véhicules	Plan																											
	Actuel																												
	Equipements informatiques	Plan																											
	Actuel																												
	Autres Equipements nécessaires à l'exécution du Projet	Plan																											
	Actuel																												
<b>Formation au Japon</b>																													
	Formation du personnel homologue	Plan																											
	Actuel																												
<b>Formation dans un pays tiers</b>																													
	Formation du personnel homologue	Plan																											
	Actuel																												
<b>Activités</b>																													
	<b>Sous-Activités</b>																												
<b>Résultat 1 :</b>																													
	1-1 Analyser la situation de la diffusion de la Réforme à l'échelon national à travers une étude prenant en compte les résultats obtenus et les leçons tirées des autres PTF et ONG dans l'application de la méthode pour la diffusion de la Réforme.	Plan																											
	Actuel																												
	1-2 Organiser des ateliers qui réunissent les acteurs concernés dans la diffusion de la Réforme tels que les PTF et ONG et discuter du projet de manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale.	Plan																											
	Actuel																												
	1-3 Réviser les manuels établis dans la Phase 1 (à travers l'activité 1-2) pour la diffusion dans tout le pays.	Plan																											
	Actuel																												

A10-46

3

3







Durée / Phase	Plan																														
	Actuel																														
Plan de Monitoring	Année	1 <sup>ère</sup> Année				2 <sup>ème</sup> Année				3 <sup>ème</sup> Année				4 <sup>ème</sup> Année				5 <sup>ème</sup> Année				6 <sup>ème</sup> Année				Remarques	Issue	Solution			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV						
<b>Monitoring</b>																															
Comité de Pilotage du Projet	Plan	●			●				●				●																		
	Actuel																														
Etablissement du Plan d'Opération détaillé	Plan		▲																												
	Actuel																														
Soumission du Fiche de Monitoring	Plan			▲					▲																						
	Actuel																														
Mission de Monitoring du Japon	Plan																														
	Actuel																														
Monitoring Conjoint	Plan																														
	Actuel																														
Post Monitoring	Plan																														
	Actuel																														
<b>Reports/Documents</b>																															
Rapport de Commencement	Plan	▲																													
	Actuel																														
Rappors sur l'état d'avancement des activités	Plan				▲					▲																					
	Actuel																														
Rapport Final du projet	Plan																														
	Actuel																														
<b>Public Relations</b>																															
Etablissement et Opération de Site Web	Plan				▲																										
	Actuel																														
News Letters	Plan	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			
	Actuel																														

A10-49

3

4

## Annexe 5: Grille d'évaluation : Projet de renforcement de la gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural (Phase II)

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
A10-50	Résultat des intrants	*partie burkinabè Les homologues ont-ils été affectés comme prévu? Les frais nécessaires à la mise en œuvre du projet ont-ils été investis comme prévu? Les bâtiments, installations, équipements et matériaux ont-ils été fournis comme prévu?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	
		*partie japonaise Les experts ont-ils été envoyés comme prévu? La formation au Japon destinée aux homologues a-t-elle été mise en œuvre comme prévu? Les installations et équipements ont-ils été fournis comme prévu? Les frais de fonctionnement sur place ont-ils été investis comme prévu?		
	Activités	Résultat des activités	Les activités du projet ont-elles été menées comme prévu?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
		Le résultat 1 est-il obtenu? Résultat 1: La situation de la diffusion de la Réforme à travers le pays et les leçons tirées des PTF et ONG dans l'application de la Réforme sont identifiées et analysées pour que les outils élaborés dans la Phase I soient révisés pour la diffusion à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme sont identifiés et analysés.</li> <li>• Les manuels et outils révisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont élaborés.</li> </ul>	<p>Informations obtenues de la part des parties prenantes sur les résultats et leçons tirées, Rapports d'atelier, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués</p> <p>Manuels révisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués</p>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les AUE sont créées dans tous les villages des communes pilotes sélectionnées dans la région du Centre-Sud.</li> </ul>	Fiches de suivi des activités, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• La convention de la délégation de gestion est signée entre les communes et les AUE dans toutes les communes pilotes de la région du Centre-Sud et les activités de gestion des ouvrages d'AEP sont menées.</li> </ul>	Convention de la délégation de gestion signée entre les communes et les AUE, Rapports d'activités des AUE, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Le résultat 2 est-il obtenu? Résultat 2: La Réforme est introduite dans la région du Centre-Sud à l'aide des outils élaborés pour la diffusion à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le contrat est signé entre les communes et les maintenanciers dans toutes les communes pilotes de la région du Centre-Sud et la tournée du suivi préventive et le service de réparation des PMH sont réalisés par les maintenanciers.</li> </ul>	Contrat signé entre les communes et les maintenanciers, Rapports de tournées, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• Plus de 80% des acteurs communaux qui participent à l'atelier d'information sur l'application de la Réforme sont admis à l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.</li> </ul>	Résultat de l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme, Rapports du projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
<b>1. Résultats du projet</b>	Niveau d'atteinte des résultats	Le résultat 3 est-il obtenu? Résultat 3: Des systèmes de suivi et d'appui à la Réforme utilisant des ressources existantes sont mis en place dans la région du Plateau Central.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les leçons tirées du suivi et d'appui à l'application de la Réforme dans la région du Plateau Central sont identifiées et analysées.</li> <li>Le draft du menu sur les systèmes du suivi et d'appui à l'application de la Réforme utilisant des ressources existantes est élaboré dans la région du Plateau Central.</li> </ul>	Rapports du projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			<ul style="list-style-type: none"> <li>Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme dans les régions du Centre-Sud et du Plateau Central sont analysés.</li> </ul>	Rapports d'atelier, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Le résultat 4 est-il obtenu? Résultat 4: Les manuels et outils pour la diffusion de la Réforme sont finalisés à travers l'introduction expérimentale dans la région du Centre-Sud et le suivi dans la région du Plateau Central et la méthode pour la mise en œuvre de la Réforme est intégrée dans le document officiel.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont révisés et finalisés.</li> <li>Les manuels finalisés sont distribués à tous les acteurs concernés dans le secteur de l'AEP.</li> </ul>	Manuels finalisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			<ul style="list-style-type: none"> <li>Les manuels qui utilisent la méthode du PROGEA pour l'application de la Réforme sont intégrés dans le document officiel du PN-AEP.</li> </ul>	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			<ul style="list-style-type: none"> <li>Les rôles des acteurs impliqués dans l'application de la Réforme sont déterminés.</li> </ul>	Rapports du projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information
	rubrique	sous rubrique (indicateur)	
	Le résultat 5 est-il obtenu? Résultat 5: La structure de la mise en oeuvre de la Réforme est améliorée.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• L'élaboration du projet de textes réglementaires nécessaire à la bonne application de la Réforme commence.</li> </ul>	Projet de textes réglementaires nécessaire à la bonne application de la Réforme, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Tout le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau qui suit la formation sur l'application de la Réforme réussit à l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.</li> </ul>	Rapports de formation, Résultat de l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme, Rapports de revue annuelle du PN-AEP, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau formé se met à mener les activités de renforcement des capacités des acteurs communaux et des maintenanciers.</li> </ul>	Rapports de formation, Fiches de suivi, Rapports de revue annuelle du PN-AEP, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Le résultat 6 est-il obtenu? Résultat 6: La planification de diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est réalisée.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Un plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> </ul>	Plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Un plan du budget nécessaire à la diffusion et stabilisation de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> </ul>		Plan annuel dans le secteur d'AEP et d'hygiène dans chaque région, Rapports, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	
Autres résultats	Existe-t-il d'autres résultats qui ne sont pas exprimés par les indicateurs susmentionnés?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	

A10-54

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information
	rubrique	sous rubrique (indicateur)	
Niveau d'atteinte du but du projet	Est-il possible que le but du projet soit atteint? But du projet: Etablir une base pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale qui utilise la méthode mise en place dans la Phase 1 du PROGEA.	• Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont validés par le Comité National de Pilotage (CNP/PN-AEP).	Manuels validés pour la diffusion de la Réforme, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		• Le plan d'action comprenant le plan du budget pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.	Plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
Possibilité d'atteinte de l'objectif global du projet	Est-il possible que l'objectif global du projet soit atteint? Objectif global du projet: Contribuer à l'amélioration de la gestion des points d'eau à l'échelle nationale.	• Le taux des communes qui ont mis en place le système de gestion et de maintenance des infrastructures hydrauliques d'AEP conforme à la Réforme passe de 47.36 % (taux actuel) à 70.0% avant 2021.	Rapports de revue annuelle du PN-AEP, Etat de mise en vigueur de la convention et du contrat de délégation de gestion entre les communes, les AUE et les maintenanciers, Rapports du projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs
Avancement global	Processus de la mise en œuvre du projet et facteur(s) qui les a(ont) influencé(s)	Le projet a-t-il mis en œuvre comme prévu?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Les mesures sont-elles prises suivant le changement de la politique ou de l'organisation des organismes concernés?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) favorisant la mise en œuvre du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) entravant la mise en œuvre du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Quelles mesures ont été prises par le projet contre le(s) problème(s) survenu(s)?	

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
2. Processus de mise en œuvre	Système de gestion du projet	système de gestion du projet	Le système de gestion du projet fonctionne-t-il convenablement?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les mécanismes de prise de décision, de création de consensus et de partage de rôles ont-ils été adéquats?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Le comité conjoint de coordination fonctionne-t-il convenablement?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Suivi	Les acteurs impliqués du projet effectuent-ils convenablement le suivi de l'avancement global du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			La matrice de conception du projet (PDM) est-elle confirmée au besoin parmi les acteurs impliqués?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Est-il nécessaire de réviser la matrice de conception du projet (PDM)?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Relation parmi les acteurs impliqués du projet	Communication	La communication parmi les acteurs impliqués aux organismes homologues est-elle bonne?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			La communication est-elle bonne avec les acteurs impliqués des communes (agents administratifs, vulgarisateurs, maintenanciers des pompes, habitants, etc.) ?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			La communication est-elle bonne avec d'autres organismes d'aide (autres PTF, ONG) ?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			La coordination avec d'autres approches de la coopération japonaise (volontaires, etc.) est-elle assurée?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués

A10-55

W

g



critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
A10-56			Les informations nécessaires pour mener les activités (y compris celles relatives à la politique) sont-elles collectées et partagées convenablement?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les experts japonais effectuent-ils convenablement le transfert technique aux homologues burkinabè?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Connaissances sur le projet	Appropriation du projet par les homologues et les autres acteurs impliqués	L'engagement des homologues au projet est-il fort? Participent-ils suffisamment aux activités?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les acteurs impliqués des communes (agents administratifs, vulgarisateurs, maintenanciers des pompes, habitants, etc.) participent-ils suffisamment aux activités?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Niveau de reconnaissance du projet	Quelles connaissances sur le projet ont-ils les acteurs impliqués du projet et des communes? Le comprennent-ils suffisamment?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Quelles connaissances sur le projet ont-ils les autres PTF?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Cohérence avec les groupes cibles et les besoins sociaux		Le projet correspond-il aux besoins des groupes cibles (bénéficiaires directs et finaux)?	Document de politique, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Le projet correspond-il aux besoins des régions ou des sociétés concernées?	Document de politique, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Depuis le lancement du projet, y a-t-il eu des changements du milieu (politique, économique, social) autour du projet?	Document de politique, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	

W

tu

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
3. Pertinence	Raison d'être du projet	Pertinence de la sélection de groupes cibles	Les groupes cibles sont-ils sélectionnés de manière appropriée?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les groupes cibles obtiennent-ils des profits du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les communes pilotes sont-elles sélectionnées de manière appropriée?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les puits à réhabiliter sont-ils sélectionnés de manière appropriée?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Priorité	Cohérence avec le plan de développement du Burkina Faso	Le projet est-il cohérent avec le plan de développement du Burkina Faso?	Document de politique, Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Cohérence avec la politique d'aide du Japon	Le projet est-il cohérent avec la politique d'aide du Japon pour le Burkina Faso?	Document de politique sur l'aide publique au développement
	Pertinence de l'aide	Pertinence du design du projet	Les processus de planification du projet ont-ils été appropriés?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Le projet est-il conçu de manière appropriée pour atteindre le but du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Le projet offre-t-il des avantages aux usagers de l'eau? Offre-t-il un mécanisme qui suscite l'incitation des usagers?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			La synergie avec d'autres approches y relatives (aide financière non remboursable, volontaires, etc.) est-elle examinée?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués

A10-57

M

4.

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
			La coopération japonaise a-t-elle des avantages comparatifs dans ce secteur? Dans le cas positif, dans quel point? Et ces avantages sont-ils valorisés?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
4. Efficacité	Niveau d'atteinte du but du projet	Niveau d'atteinte du but du projet	Est-il possible que le but du projet soit atteint?	Rapports de projet, Interviews aux acteurs impliqués
		Facteur(s) favorisant l'atteinte du but du projet	Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) favorisant l'atteinte du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Facteur(s) entravant l'atteinte du but du projet	Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) entravant l'atteinte du projet? Quelles mesures ont-elles été prises contre eux?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Relation entre les résultats et le but du projet	Logique entre les résultats et le but du projet	Pour atteindre le but du projet, les résultats sont-ils constitués de manière appropriée et suffisante?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Suppositions importantes permettant d'atteindre le but du projet à partir des résultats	Y a-t-il des impacts des suppositions importantes? Suppositions importantes: • Le personnel formé continue ses activités. • Le dispositif de la mise en œuvre du Ministère en charge de l'eau ne change pas.	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Existe-t-il d'autres suppositions importantes pour atteindre le but du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
Niveau d'atteinte des résultats	Niveau d'atteinte des résultats	Est-il possible que les résultats soit atteints?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	
	Facteur(s) favorisant l'atteinte des résultats	Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) favorisant l'atteinte des résultats?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	

A10-58

M

h

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
5. Efficience		Facteur(s) entravant l'atteinte des résultats	Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) entravant l'atteinte des résultats? Quelles mesures ont-elles été prises contre eux?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Relation entre les intrants et les résultats	Pertinence des activités	Les activités nécessaires pour obtenir les résultats ont-elles été planifiées?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Pertinence des intrants	Les intrants nécessaires pour mener les activités ont-ils été planifiés?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Suppositions importantes permettant d'obtenir les résultats à partir des activités	Existe-t-il d'autres suppositions importantes pour atteindre des résultats?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Pertinence des intrants	Timing, qualité et envergure des intrants	Le nombre d'experts, la période et la durée d'envoi, leurs spécialités ont-ils été adéquats?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Le spécification des équipements fournis, la méthode de sélection, la quantité, le délai de livraison ont-ils été appropriés?	
			Le nombre de participants, la période, la durée, le contenu, la procédure de sélection pour la formation des homologues ont-ils été appropriés?	
L'envergure de la prise en charge des frais de fonctionnement sur place par la partie japonaise et le timing de paiement ont-ils été pertinents?				
Les homologues qui ont des compétences appropriées sont-ils suffisamment affectés?				
L'envergure, la spécification, le timing d'offre des installations/équipements fournis par les homologues ont-ils été appropriés?				

A10-59

w

t

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
		<p>Le timing des activités du projet a-t-il été pertinent?</p> <p>La prise en charge des frais de fonctionnement sur place par la partie burkinabè a-t-elle été effectuée convenablement?</p> <p>Les intrants sont-ils valorisés convenablement?</p> <p>Les résultats correspondant aux intrants sont-ils obtenus?</p>		
	Possibilité d'atteinte de l'objectif global du projet	Possibilité d'atteinte de l'objectif global du projet	<p>Est-il possible que l'objectif global du projet soit atteint?</p> <p>Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) favorisant l'atteinte de l'objectif global du projet?</p> <p>Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) entravant l'atteinte de l'objectif global du projet?</p> <p>L'atteinte de l'objectif global du projet entraîne-t-elle des impacts sur l'environnement en matière d'AEP et d'hygiène dans le pays bénéficiaire?</p>	<p>Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués</p> <p>Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués</p> <p>Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués</p> <p>Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués</p>
		Pertinence de la logique	<p>Est-il possible que l'objectif global du projet soit atteint 3 ans après l'accomplissement du but du projet? N'y a-t-il pas la divergence entre le but et l'objectif global du projet?</p>	<p>Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués</p>

A10-60

M

L

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
<b>6. Impact</b>	Relation entre le but et l'objectif global du projet	<p>Suppositions importantes permettant d'atteindre l'objectif global à partir du but du projet</p>	<p>Y a-t-il des impacts des suppositions importantes? Suppositions importantes:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• La politique relative à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP ne change pas.</li> <li>• PTF et ONG utilisent les manuels pour l'application de la Réforme.</li> </ul>	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Répercussions	Impact positif imprévu	Y a-t-il des impacts positifs du projet sur: la politique; la législation; l'environnement; le système; la culture; les droits de l'homme; le genre; les groupes cibles, etc.	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Effet de synergie	Y a-t-il eu l'effet de synergie grâce à la coordination avec d'autres approches de la coopération japonaise (aide financière non remboursable, volontaires, etc.)?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Quel effet de synergie a été constaté au travers de la coopération avec d'autres PTF?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
		Impact négatif imprévu	Y a-t-il des impacts négatifs du projet sur: la politique; la législation; l'environnement; le système; la culture; les droits de l'homme; le genre; les groupes cibles, etc.	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
Quelles mesures ont été prises en cas d'impacts négatifs?				

A10-62

M

- 2

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information	
	rubrique	sous rubrique (indicateur)		
<b>7. Durabilité</b>	Aspects politique et institutionnel	Durabilité sous les aspects politique et institutionnel	La politique relative à l'eau et l'hygiène (y compris la Réforme) à la DGRE se poursuivra-t-elle?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Est-il possible que les manuels de la Réforme et le plan d'action dont le projet a appuyé l'élaboration soient institutionnalisés durablement?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Aspect organisationnel	Durabilité sous l'aspect organisationnel	Les capacités de mise en œuvre et de coordination des organisme homologues s'améliorent-elles?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les capacités organisationnelles des communes et des AUE s'améliorent-elles?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Aux organisme homologues, le système de diffusion et de renforcement des activités du projet et le mécanisme du transfert technique sont-ils établis?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Aux organisme homologues, le système de suivi des activités même après l'achèvement du projet est-il établi?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Aux organisme homologues, la restructuration organisationnelle importante sera-t-elle possible?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Aspect financier	Durabilité sous l'aspect financier	Est-il possible que le budget soit alloué aux organisme homologues pour que les activités et les profits du projet continuent même après son achèvement?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
			Les organismes homologues réfléchissent-ils aux mesures afin d'obtenir le budget pour que les activités et les profits du projet continuent?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués

A10-63

critère d'évaluation	question pour l'évaluation		information nécessaire/ source d'information		
	rubrique	sous rubrique (indicateur)			
			Les communes et les AUE ont-elles des ressources financières pour que les activités et les profits du projet continuent?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	
			Est-il possible que l'appui financier et celui de panier commun par d'autres PTF continuent?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués	
	Aspect technique	Durabilité sous l'aspect technique		L'affectation du personnel est-elle stable aux organismes homologues ou concernés?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
				Les connaissances/techniques transférées dans le projet sont-elles valorisées?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
				Est-il possible que les organismes homologues continuent les activités appuyées par le projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
				Est-il possible que les communes et les AUE continuent les activités appuyées par le projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
				Les installations et équipements seront-ils entretenus et valorisés de manière durable?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
	Facteurs relatifs à la durabilité	Facteurs favorisant ou entravant la durabilité		Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) favorisant la durabilité des profits du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués
				Quel(s) est(sont) le(s) facteur(s) entravant la durabilité des profits du projet?	Rapports de projet, Questionnaire, Interviews aux acteurs impliqués

M

L



Annexe 6-1 : Liste des homologues

**Coordonnateur du Projet**

NOM et Prénom	Fonction	Période d'activité dans le Projet
BAZIE Jean	Coordonnateur du Projet/ Sociologue, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent

**Directeur du Projet**

NOM et Prénom	Fonction	Période d'activité dans le Projet
SOMDA Romaric	Directeur de l'Approvisionnement en Eau Potable (DAEP), Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
SORI Alassoun	Directeur de l'Approvisionnement en Eau Potable (DAEP), Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - avril 2016 (prédécesseur)

**MEA**

NOM et Prénom	Fonction	Période d'activité dans le Projet
SORI Alassoun	Secrétaire Général (SG) du Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent

**DGEP**

NOM et Prénom	Fonction	Période d'activité dans le Projet
YE Dofihouyan	Directeur Général de l'Eau Potable (DGEP), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	avril 2016 - présent
SAVADOGO Amidou	Directeur Général des Ressources en Eau (DGRE), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (prédécesseur)	avril 2016 actuellement, Conseiller au Ministre de l'Eau et de l'Assainissement
SOMDA Maria	Chef de Service, Planification et Promotion du Partenariat Public Privé, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
GOUBGOU Harouna	Agent de Service, Planification et Promotion du Partenariat Public Privé, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	avril 2016 - présent
TRAORE Alassane	Chef de Service, Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
TOE Ruth	Chef de Service, SPAMO, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale des Ressources en Eau, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (prédécesseur)	septembre 2015 - juin 2016 actuellement Directeur Régional du Nord
OUEDRAOGO / TAPSOBA Christine	Chef de Service, Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale des Ressources en Eau, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (prédécesseur)	septembre 2015 - juin 2016 actuellement Directeur Régional de l'Est
SAWADOGO / KANZIE Céline	Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale des Ressources en Eau, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (prédécesseur)	septembre 2015 - juin 2016 actuellement Directrice Régionale des Cascades
BAMOGO Idrissa	Assistant Technique du Directeur, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - juin 2016 actuellement Directeur Régional du Centre-Sud
GANAME Yasseya	Assistant Technique, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
BONKOUNGO Stanislas	Assistant Technique, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
BADOLO/IVO Mariam	Agent de Service, Suivi-Evaluation de Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
SANOU Omer	Service de l'Assistance à la Maîtrise d'Ouvrage Communale, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	avril 2016 - présent
ZOMBRE Adama	Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
COULIBARY Korotoumou	Service de la Planification et de la Promotion du Partenariat Public Privé, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
ROUAMBA Faizatou	Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent

OUEDRAOGO Diane	Agent de Service Suivi-Evaluation, Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	avril 2016 - présent
BORO Toro	Directeur de la Programmation et du Suivi Evaluation (DPSE), Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
TAPSOBA Adama	Agent de Service, Suivi-Evaluation de Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
AKIALA Baguiawan	Chef de Service, Assistance à la Maîtrise d'Ouvrage Communale, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
KONE Seydou	Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
BALIMA Amadou	Service du Développement des Infrastructures, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
KABORE/KARA Aminata	Service de l'Assistance à la Maîtrise d'Ouvrage Communale, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
BAGORO Désiré	Chef de Service, Service Administratif et Financier (SAF), Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	décembre 2016 - présent
BAYALA Julien	Chef de Service, Service Administratif et Financier (SAF), Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (prédécesseur)	septembre 2015 - décembre 2016
SANDWIDI Zida David	Service Administratif et Financier (SAF), Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
KABORE / YAMEOGO Julie	Agent de Service Suivi-Evaluation, Direction de la Programmation et du Suivi Evaluation, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
KOAMA / ZERBO Regine	Cellule de communication, Direction Générale de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent

#### DGA

NOM et Prénom	Fonction	Période d'activité dans le Projet
NONGUIERMA André Patindé	Directeur Général de l'Assainissement (DGA), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	juin 2016 - présent
OUEDRAOGO Josephine	Directrice Générale de l'Assainissement, des Eaux Usées et Excretas (DGAEUE), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (prédécesseur)	septembre 2015 - juin 2016 (prédécesseur) actuellement conseiller du Ministre de l'Eau et de l'Assainissement
PALENFO Fouseini	Directeur de la planification Stratégique et du Suivi Evaluation (DPSSE), Direction Générale de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
N'TSOUKPOE/LOMPO Joanna Marie Delphine	Directrice de la Recherche, de l'Appui-conseil et de la Promotion de l'Assainissement (DRACPA), Direction Générale de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
CISSE Soumayla	Direction Générale de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	juin 2016 - présent
SAWADOGO Gradice	Direction Générale de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
SOURABIE Oussemane	Direction Générale de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	juin 2016 - présent
TRAORE/SIRIMA Dioko Amunata	Direction Générale de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	novembre 2016 - présent
SAWADOGO / OUEDRAOGO	Direction Générale de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	novembre 2016 - présent

#### DREA/CSD

NOM et Prénom	Fonction	Période d'activité dans le Projet
BAMOGO Idrissa	Directeur Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
OUEDRAOGO Clarisse	Directrice Régionale de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement (prédécesseur)	septembre 2015 - juin 2016 actuellement Directrice Régionale du Centre-Nord
OUATTARA Baba	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	mars 2016 - présent

SANE Didier A. K.	Sociologue, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
TRAORE Issa	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
SOME Lucien	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
DJIBO Ibrahima	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2016 - présent
YANOGO W. Jonathan	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2016 - présent
SOU K. Félix	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2016 - présent
ZOUNDI Ousmane	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2016 - présent

#### DREA/PCL

NOM et Prénom	Fonction	Période d'activité dans le Projet
KABORE Zourata	Directrice Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	juin 2016 - présent
OUEDRAOGO Idrissa	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
OUEDRAOGO Souleymane	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - septembre 2016 actuellement étudiant à 2iE
SAWADOGO Mady	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	
KOALA Leticia	Agent dans la province de l'Oubritenga, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	
COMPAORE Issiaka	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
SOMTORE François	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	
SOURABIE Braman	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	mars 2016 - présent
SAVADOGO Lassana	Agent, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	mars 2016 - présent
OUATTARA Moctar	Sociologue, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
LAMIEN Banou	Agent, Point Focal dans la province du Kourwéogo, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent
OUEDRAOGO Alaye	Agent, Point Focal dans la province du Ganzourgou, Direction Régional de l'Eau et de l'Assainissement, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	septembre 2015 - présent

Annexe 6-2 : Résultat d'envoi des experts japonais

	NON et Prénom d'Expert/Charge	Orgnisation	caté-gorie	Nbr de mois	2ème période																									Total H/J	Total H/M sur place
					2016			2017												2018											
					10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
Travail au Burkina Faso	ONO Takeshi (Conseiller en Chef / Gestion et Maintenance de l'AEP en milieu rural)	Earth and Human corporation	2	plan	6			(76 jrs)			(100 jrs)			(45 jrs)		(49 jrs)				(60 jrs)		(105 jrs)				435	14.50				
				réalisé	2	10/30		(1/13)	(2/1)		(5/11)		(7/8)	(8/21)	(9/16)	(11/3)		(1/7)	(3/7)	(4/9)		(10/5 jrs)		(7/22)					76	2.53	
	NISHIYAMA Noriyuki (Chef Adjoint / Renforcement des capacités des personnes concernées dans l'AEP en milieu rural / Promotion de l'Hygiène et de l'Assainissement (PHA))	Earth and Human corporation	3	plan	5		(60 jrs)				(45 jrs)			(75 jrs)						(75 jrs)		(60 jrs)				315	10.50				
				réalisé	1	10/15		12/13			(4/13)	(5/27)		(8/3)		(10/16)		(1/18)		(4/2)	(5/10)		(7/8)						60	2.00	
	TAKAMIZAWA Kiyoko (Infrastructures Hydrauliques d'AEP en milieu rural 1)	Japan Techno	4	plan	4		(24 jrs)			(45 jrs)									(28 jrs)			(23 jrs)				120	4.00				
				réalisé	1	11/7		11/28			(3/1)	(4/14)								(11/1)	(11/28)		(5/9)	(5/31)					22	0.73	
YAMAZAKI Hitomi (Infrastructures Hydrauliques d'AEP en milieu rural 2)	Japan Techno	4	plan	1										(60 jrs)											60	2.00					
			réalisé	0								(6/1)		(7/30)														0	0.00		
FURUNO Jumpei (Promotion de l'Hygiène et de l'Assainissement (PHA)) / Coordinateur Administratif)	Earth and Human corporation	5	plan	5		(45 jrs)		(45 jrs)			(75 jrs)				(60 jrs)				(60 jrs)						285	9.50					
			réalisé	2	10/14		11/28		1/9	(2/21)		(5/1)	(7/14)			(10/21)		(12/19)		(3/15)	(5/13)							69	2.30		
					Sous-total Travail au Burkina Faso																								plan	1215	40.50
					Sous-total Travail au Burkina Faso																								réalisé	227	7.56

Travail au Japon	ONO Takeshi (Conseiller en Chef / Gestion et Maintenance de l'AEP en milieu rural)	Earth and Human corporation	2	plan																									0	0	
				réalisé																											
	NISHIYAMA Noriyuki (Chef Adjoint / Renforcement des capacités des personnes concernées dans l'AEP en milieu rural / Promotion de l'Hygiène et de l'Assainissement (PHA))	Earth and Human corporation	3	plan																										0	0
				réalisé																											
					Sous-total Travail au Japon																								plan	0	0
					Sous-total Travail au Japon																								réalisé	0	0
					Total																								Plan	40.50	
					Total																								réalisé	7.56	

Légende: ■■■■■■ réalisé ■■■■■■ planifié

A10-67

M

7.

### Annexe 6-3 : Liste des participants à la formation au Japon

Nom de la formation : Gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable en milieu rural (Burkina Faso)

Période : 08/07/2016 - 24/07/2016 (y compris le voyage aller-retour)

Lieu : Régions de Hokkaido et de Kango

#### Participants

NOM et Prénom	Service & Fonction
M. SORI Alassoun	Secrétaire Général (SG), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement
M. YE Dofinouyan	Directeur Général de l'Eau Potable (DGEP), Ministère de l'Eau et de l'Assainissement
M. BONKOUNGOU Stanislas	Assistant Technique, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement
M. BAZIE Jean	Coordonnateur du Projet / Sociologue, Direction de l'Approvisionnement en Eau Potable, Direction Général de l'Eau Potable, Ministère de l'Eau et de l'Assainissement

#### contenu essentiel de la formation

<ul style="list-style-type: none"><li>- Gestion des petits réseaux de distribution d'eau (Conférence par le Service de la vie et de l'environnement, Bureau de l'environnement de Hokkaido);</li><li>- Barrage de Jozankei (Visite, Bureau de gestion intégrée des barrages de la rivière de Toyohira, Département de Sapporo pour le développement des infrastructures), Station de traitement des eaux de Moiwa (Visite, Direction de l'AEP, Sapporo);</li><li>- Assainissement (Conférence par Pr FUNAMIZU, Faculté d'ingénierie, Université de Hokkaido);</li><li>- Problèmes posés par les petits réseaux de distribution d'eau (Conférence par Pr YOGO, Faculté d'ingénierie, Université Hokkai Gakuin);</li><li>- Commune de Higashikawa (Visite du système d'AEP par forage, Mairie de Higashikawa);</li><li>- Historique du développement de l'AEP du Japon (Conférence par Pr KOBAYASHI, Président de la Fondation l'Environnement de Hokkaido);</li><li>- Système de délégation de gestion des infrastructures d'AEP par les opérateurs privés au Japon (Conférence par l'Association de la gestion de l'AEP);</li><li>- Musée de l'AEP de Tokyo (Visite);</li><li>- Système de mini-AEP en milieu rural (Visite, gestion régie par la mairie et gestion communautaire par une association des usagers, Sagami-hara, Préfecture de Kanagawa);</li><li>- Systèmes de gestion d'AEP dans les pays africains (EHC, Japan Techno);</li><li>- Présentation des résultats de la formation, échange avec la JICA (siège, Division de l'environnement global).</li></ul>
---

Annexe 6-4 : Liste des équipements fournis ou apportés du Japon

No.	Equipement	Spécification & Marque	Prix unitaire	Qté	Total	Date de livraison	Lieu de mise en place
1	Ordinateur de bureau	HP (TPC-F074-MT)	550,000 FCFA	1	550,000 FCFA	22/10/2015	PROGEA2
			113,300 yens		113,300 yens		
	Ordinateur de bureau	LENOVO (H50-50 MT)	770,000 FCFA	2	1,540,000 FCFA	09/06/2016	DGEP, DREA/CSD
			144,452 yens		288,904 yens		
2	Ordinateur portable	LENOVO (Idea Pad 300)	625,000 FCFA	5	3,125,000 FCFA	09/06/2016	DGEP×2, DREA/CSD×1, DREA/PLC×1, PROGEA2×1
			117,250 yens		586,250 yens		
3	Photocopieuse	CANON (IR2520)	1,400,000 FCFA	1	1,400,000 FCFA	22/10/2015	PROGEA2
			288,400 yens		288,400 yens		
4	Imprimante	HP (LaserJet Pro 200)	300,000 FCFA	1	300,000 FCFA	22/10/2015	DGEP
			61,800 yens		61,800 yens		
	Imprimante	CANON (MF8540Cdn)	395,750 FCFA	1	395,750 FCFA	13/06/2016	PROGEA2
			74,243 yens		74,243 yens		
5	Imprimante couleur à laser	HP (LaserJet Couleur M750 dn)	2,100,000 FCFA	1	2,100,000 FCFA	04/11/2015	PROGEA2
			422,100 yens		422,100 yens		
6	GPS	GARMIN (MAP 64S)	270,000 FCFA	3	810,000 FCFA	18/11/2015	PROGEA2×3
			54,270 yens		162,810 yens		
7	Vidéoprojecteur	EPSON (EB-S18)	350,000 FCFA	1	350,000 FCFA	22/10/2015	PROGEA2
			72,100 yens		72,100 yens		
8	Onduleur / Stabilisateur	MERCURY (Elite 1500 Pro)	200,000 FCFA	4	800,000 FCFA	22/10/2015	PROGEA2×4
			41,200 yens		164,800 yens		
	Onduleur / Stabilisateur	MERCURY (2000VA)	175,000 FCFA	3	525,000 FCFA	19/07/2016	DGEP×2, DREA/CSD×1
			30,153 yens		90,458 yens		
9	Outils de repêchage	palan+câble, pêche tube, pêche cylindre, pêche tringle, trépied de levage+accessoires, filière de tube, coupe tube, étau à tringle, étau sur trépied, étau, clés à tringle pour colonne inox, clés à chaîne	1,826,000 FCFA	3	5,478,000 FCFA	01/08/2016	DREA/CSD×3
			322,289 yens		966,867 yens		
Total					17,373,750 FCFA (=3,292,031 yens, calculé selon le taux réglementé de la JICA)		

N.B. Les éléments ci-dessus ont été approvisionnés au Burkina Faso sauf les GPS (No.6) qui ont été approvisionnés au Japon.

## Annexe 6-5 : Frais locaux

### Partie japonaise

Année	Rubrique	Montant (en yens)
2015	Frais de personnel	71 000
	Dépenses liées aux véhicules	571 000
	Frais de location	6 000
	Achat de consommables	72 000
	Frais de mission	545 000
	Frais de communication/transport	73 000
	Divers	82 000
	Sous-total 2015	1,420 000
2016	Frais de personnel	807 000
	Frais de personnel spécial	1,480 000
	Dépenses liées aux véhicules	4,665 000
	Frais de location	770 000
	Frais d'entretien/maintenance des installations/équipements	2 000
	Achat de consommables	1,064 000
	Frais de mission	11,116 000
	Frais de communication/transport	202 000
	Frais d'élaboration de documents, etc.	1,361 000
	Divers	3,355 000
Sous-total 2016	24,822 000	
2017	Frais de personnel	72 000
	Frais de personnel spécial	11 000
	Dépenses liées aux véhicules	436 000
	Frais de location	51 000
	Frais d'entretien/maintenance des installations/équipements	48 000
	Achat de consommables	20 000
	Frais de mission	3,625 000
	Frais de communication/transport	2 000
	Frais d'élaboration de documents, etc.	227 000
	Divers	1,144 000
Sous-total 2017	5,636 000	
<b>Total</b>		<b>31,878 000</b>

Résultat jusqu'à la fin janvier 2017

### Partie burkinabè

année	montant (en FCFA)
2016	45 000 000
2017	75 000 000
2018	30 000 000
<b>Total</b>	<b>150 000 000</b>

2016 : exécuté

2017 et 2018 : montants prévus

En dehors de ces montants, la partie burkinabè prend en charge les frais d'électricité et d'eau.

No.	Catégorie	Nom de séminaire/atelier	Période	Lieu	Participants	Nbr de participants (sauf les homologues)	Contenu
<b>Résultat 1</b>							
	REFORME	Atelier-Bilan sur la mise en œuvre de la Réforme	12/01/2016 - 15/01/2016	Salle de réunion/ Chic Hotel, Koudougou	- Homologues de la DGRE - 13 Directions régionales en charge de l'eau - Équipe du Projet	20	- Examiner la situation sur l'état d'avancement de la mise en œuvre de la Réforme à l'échelle nationale et élaborer un rapport bilan de la Réforme; - Analyser les défis et difficultés dans la mise en œuvre de la Réforme; - Examiner les solutions et les mesures à prendre vulgariser la Réforme à l'échelle nationale; - Echanger sur la relecture du document cadre de la Réforme et la révision des manuels et outils pour la mise en œuvre de la Réforme
	REFORME	Atelier National de Réflexion sur l'Amélioration du Système de Gestion des Infrastructures Hydrauliques d'Alimentation en Eau Potable en milieu rural et semi-urbain	23/03/2016 - 24/03/2016	Salle de Réunion/ Royal Beach Hotel, Ouagadougou	- Représentant du MEA et des régions - Homologues des DGRE et DGAEUE - Services administratifs concernés (MEFD, MATDSI, MS, MENA, ONEA) - PTF (GiZ, KiW, USAID WA-WASH, UNICEF, SIDA, JICA) - Collectivités Territoriales (8 communes qui disposent du service technique de l'AEP et de l'assainissement, AMBF, Représentants de l'Association Régionale des Municipalités) - ONG (IRC, Réseau Projection, Eau Vive, ACF, SPONG, SOS Sahel, CADES, Plan Burkina) - Secteur privé (Fermiers d'AEP, Bureaux d'étude menant des activités de mise en application de la Réforme) - Équipe du PROGEA II	98	<p>Jour 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Discours d'ouverture (SG du MEA, Représentant résident de la JICA Burkina Faso)</li> <li>- Présentation du Rapport du bilan de la Réforme (rédigé en janvier 2016), discussion (questions &amp; réponses)</li> <li>- Présentation du PROGEA II</li> <li>- Répartition des groupes de travail sur les 3 thèmes suivants: Gestion des PMH, Gestion des AEPS/PEA; Monitoring de la gestion des ouvrages d'AEP. Discussion sur les défis et les solutions.</li> </ul> <p>Jour 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Discussion en groupe (suite)</li> <li>- Travaux en plénière: présentation du résultat de discussion, Questions &amp; Réponses)</li> </ul>
<b>Résultat 2</b>							
	REFORME	Ateliers communaux sur la Réforme, Région du Plateau Central	29/06/2016 - 22/07/2016	16 communes (Salle de réunion, Mairie de chaque commune)	- 3 représentants (Secrétaire Général (SG), Points Focal (PF), Trésorier) des communes - 1 préfet (PDS) - 2 représentants de chaque AUE (membres du bureau) - Mainteneurs résidant aux communes - 1 représentant de la DREA - PF de la DR au niveau des provinces (seulement la région du Plateau Central) - DPCMEF/DRCMEF - DGEP/MEA - Équipe du PROGEA II	962	<p>Jour 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Explication des objectifs et de la méthodologie des travaux de l'atelier</li> <li>- Rappel de la Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques d'AEP (contexte, objectifs, principes, rôles des différents acteurs, déroulement de la mise en œuvre de la Réforme, etc.)</li> <li>- État des lieux dans la mise en œuvre des activités de gestion des ouvrages d'AEP de la commune</li> <li>- Acquis, problèmes et difficultés dans la mise en œuvre de la Réforme dans chaque commune et village</li> </ul> <p>Jour 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Réflexion sur les pistes de solution pour: une meilleure gestion des ouvrages d'AEP; une modalité de paiement du service de l'eau adaptée aux réalités de la commune</li> <li>- Élaboration d'un plan d'action communal pour la mise en œuvre effective de la Réforme</li> <li>- Travaux plénière</li> <li>- Synthèse des travaux de l'atelier</li> </ul>
	REFORME	Atelier régional de formation et d'information sur la Réforme, Région du Centre-Suds	08/12/2016 - 09/12/2016	Salle de Réunion/ Pouloumde Hotel, Manga	- Gouverneur, SG, Président du Conseil Régional, Haut-Commissaire - Maires des communes, SG des communes, Préfets - Opérateur privé des AEPS (SAWES) - Représentants des projets des ONG (OCADES, Eau Vive, MORJA) - Bureau d'étude local (IGIP Afrique), prestataire de l'étude de base et l'organisation des ateliers communaux - Services administratifs régionaux et provinciaux des MEFD, MENA, MS, MAAH, MEECC, MFSNF - Médias (Journal SIDWAYA) - DGEP, DREA/PCL, DGA - JICA Burkina Faso (Mme URABE, Chargée de programmes) - Coordonnateur national - Équipe du PROGEA II	105	- Contexte de la Réforme (décentralisation, Maîtrise d'ouvrage communale (MOC), problèmes du système conventionnel de gestion, nécessité de la Réforme) - Objectifs de la Réforme, principes, système de gestion et de maintenance, flux du fonds pour la gestion, responsabilité et rôles des différents acteurs - Présentation de l'état de mise en œuvre de la Réforme à l'échelle nationale et régionale - Partage des résultats des ateliers communaux (organisés entre juin et juillet 2016) - Défis et leçons pour l'établissement d'un système adéquat de gestion des ouvrages d'AEP aux communes, réflexion sur les contre-mesures



No.	Catégorie	Nom de séminaire/atelier	Période	Lieu	Participants	Nbr de participants (sauf les homologues)	Contenu
	REFORME	Atelier provincial de formation des communes sur la Réforme, (Province du Nahouri, Région du Centre-Sud)	13/02/2017 - 16/02/2017	Salle de réunion/ Mairie, P6	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 5 communes (8 personnes de chaque commune: Maire, SG, 2 adjoints au maire, Président de la Commission de l'Environnement et du Développement Local, Trésorier, PF)</li> <li>- services administratifs concernés (DGEP, DREA/CS, DGA, Haut Commissariat, DRCMEF/DPCMEF, Préfet)</li> <li>- Opérateur privé des AEPS (SAWES)</li> <li>- Partenaires dans le secteur de l'eau intervenant dans les communes cibles (OCADES, Eau Vive, Self Help for Africa, MORJA)</li> <li>- Coordonnateur du PROGEA II</li> <li>- Équipe du PROGEA II</li> </ul>	57	<p>Jour 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Introduction : objectifs de la formation, méthodologie, explication du programme</li> <li>- Contexte sur la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP (décentralisation, transfert des attributions dans le secteur de l'eau et de l'assainissement aux collectivités territoriales (communes), MOC, service public de l'eau</li> <li>- Explication sur les grandes lignes de la Réforme (objectifs, principes, système de gestion et de maintenance, flux du fonds pour la gestion, responsabilité et rôles des différents acteurs, processus de mise en œuvre), questions &amp; réponses avec les participants, concertation</li> </ul> <p>Jour 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Outils pour la mise en œuvre de la Réforme (1) : agrément des maintenanciers</li> <li>- Outils pour la mise en œuvre de la Réforme (2) : agrément des AUE</li> <li>- Outils pour la mise en œuvre de la Réforme (3) : gestion et maintenance des PMH (convention de la délégation de gestion entre les communes et les AUE, contrat de suivi entre les communes et les maintenanciers)</li> </ul> <p>Jour 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Outils pour la mise en œuvre de la Réforme (4) : gestion et maintenance des AEPS (contrat avec les opérateurs privés</li> <li>- Mise en œuvre appropriée de la Réforme à chaque commune (processus de mise en œuvre, suivi aux communes par la DREA, formation aux communaux, formation et suivi aux AUE et maintenanciers par la DREA</li> <li>- Explication et diffusion des guides en matière de l'AEP, de l'hygiène et de l'assainissement destinés aux communes (DGEP/DGA)</li> <li>- Travail en groupe (concertation sur les engagements pour l'application de la Réforme à chaque</li> </ul>
	REFORME	Atelier provincial de formation des communes sur la Réforme, Région du Centre-Sud (Province du Bazéga)	20/02/2017 - 23/02/2017	Salle de réunion/ Mairie, Kombissiri	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 7 communes (8 personnes de la part de chaque commune: Maire, SG, 2 adjoints au Maire, Président de la Commission de l'Environnement et du Développement Local, Trésorier, PF)</li> <li>- Services administratifs concernés (DGPE, DREA/CS, DGA, Haut-Commissariat, DRCMEF/DPCMEF, Préfet)</li> <li>- Opérateur privé des AEPS (SAWES)</li> <li>- Partenaires du secteur de l'eau intervenant dans les communes cibles (OCADES, Eau Vive, Self Help for Africa, MORJA)</li> <li>- Coordonnateur du PROGEA II</li> <li>- Équipe du PROGEA II</li> </ul>	69	idem
	REFORME	Atelier provincial de formation des communes sur la Réforme, Région du Centre-Sud (Province du Zoundweogo)	27/02/2017 - 02/03/2017	Salle de réunion/ ONDES, Manga	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 7 communes (8 personnes de la part de chaque commune: maire, SG, 2 adjoints au maires, Président de la Commission de l'Environnement et du Développement Local, trésorier, PF)</li> <li>- Services administratifs concernés (DGEP, DREA/CS, DGA, Haut-Commissariat, DRCMEF/DPCMEF, Préfet)</li> <li>- Opérateur privé des AEPS (SAWES)</li> <li>- Partenaires du secteur de l'eau intervenant dans les communes cibles (OCADES, Eau Vive, Self Help for Africa, MORJA)</li> <li>- Coordonnateur du PROGEA II</li> <li>- Équipe du PROGEA II</li> </ul>	69	idem
	SHA*	Formation de formateurs pour la promotion de l'hygiène autour des points d'eau	22/11/2016 - 23/11/2016	Salle de réunion/ DREA, Manga	<ul style="list-style-type: none"> <li>- DGEP (2 personnes), DGA (3 personnes), DREA/CS (7 personnes), 3 PF des communes pilotes pour la promotion de l'assainissement</li> <li>- 2 formateurs</li> <li>- Coordonnateur du PROGEA II</li> <li>- Équipe du PROGEA II</li> </ul>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Formation par la méthode PHAST (voie d'infection des maladies hydriques, interruption de la voie d'infection, comportement de la population en matière de l'hygiène et de l'assainissement, identification de l'état actuel)</li> <li>- Engagements pour améliorer le comportement en matière de l'hygiène et de l'assainissement</li> <li>- Travail en groupe (état actuel autour d'un point d'eau et solutions, engagements pour la mise en pratique des solutions, élaboration d'un plan d'action pour améliorer l'environnement hygiénique)</li> </ul>
	SHA*	Atelier communal de réflexion sur l'hygiène autour des points d'eau (Commune d'Ipélcé, Province du Bazéga)	29/12/2016	Salle de réunion/ Mairie de la commune d'Ipélcé	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune d'Ipélcé (33 personnes: 3 personnes/AUE, 12 AUE/13 ont participé, sauf le village de Banghingo)</li> <li>- DREA/CS (6 personnes), DGEP (1 personne), DGA (3 personnes)</li> <li>- SG et PF de la commune d'Ipélcé</li> <li>- Coordonnateur du PROGEA II</li> <li>- Équipe du PROGEA II</li> </ul>	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Faire le constat de l'état hygiénique autour du point d'eau, mode d'utilisation des ouvrages d'AEP, manière de transporter ou de conserver de l'eau (en montrant les images)</li> <li>- Confirmation des rôles des hygiénistes au sein du bureau AUE</li> <li>- Présentation de l'état hygiénique autour du point d'eau et des défis (par chaque AUE)</li> <li>- Étude sur les mesures pour améliorer les conditions hygiéniques, le comportement de la population</li> <li>- Confirmation de la volonté de chaque AUE pour améliorer les conditions hygiéniques, explication sur les activités à mener (formation pour la sensibilisation, réunion, concrétisation des activités)</li> </ul>

No.	Catégorie	Nom de séminaire/atelier	Période	Lieu	Participants	Nbr de participants (sauf les homologues)	Contenu
	SHA	Atelier communal de réflexion sur l'hygiène autour des points d'eau (Commune de Pô, Province du Nahouri)	17/01/2017	Salle de réunion/ Mairie de la commune de Pô	- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune de Pô (71 personnes: 3 personnes/AUE, 25 AUE/25 ont participé.) - DREA/CS (7 personnes), DGEP (2 personnes) - Maire, SG et point focal de la Commune de Pô - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	84	idem
	SHA	Atelier communal de réflexion sur l'hygiène autour des points d'eau (Commune de Guiba, Province du Zoundwéogo)	19/01/2017	Salle de réunion/ Mairie de la commune de Guiba	- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune de Guiba (54 personnes: 3 personnes/AUE, 21 AUE/21 ont participé.) - DREA/CS (5 personnes), DGEP (2 personnes), DGA (3 personnes) - Maire, SG et point focal de la Commune de Guiba - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	68	idem
	SHA	Formation des hygiénistes des AUE sur la promotion de l'hygiène autour des points d'eau (Commune d'Ipélcé, Province du Bazéga)	24/01/2017 - 26/01/2017	Salle de réunion/ Mairie de la commune d'Ipélcé	- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune d'Ipélcé (39 personnes: 3 personnes/AUE, 13 AUE/13 ont participé.) - DREA/CS (4 personnes), DGEP (2 personnes), DGA (3 personnes), PF de la commune d'Ipélcé - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	50	- Formation par la méthode PHAST (voie d'infection des maladies hydriques, interruption de la voie d'infection, comportement de la population en matière de l'hygiène et de l'assainissement, identification de l'état actuel) - Engagements pour améliorer le comportement en matière de l'hygiène et de l'assainissement - Travail en groupe (état actuel autour d'un point d'eau et solutions, engagements pour la mise en pratique des solutions, élaboration d'un plan d'action pour améliorer l'environnement hygiénique, examen de la période de mise en œuvre des activités) - Présentation du résultat du travail en groupe par chaque AUE (état actuel, plan d'action)
	SHA	Formation des hygiénistes des AUE sur la promotion de l'hygiène autour des points d'eau (Commune de Pô, Province du Nahouri)	30/01/2017 - 01/02/2017 (Groupe 1)	Salle de réunion/ Mairie de la commune de Pô	- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune de Pô (39 personnes: 3 personnes/AUE, 13 AUE/13 ont participé.) - DREA/CS (7 personnes), DGEP (2 personnes), PF de la commune de Pô - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	50	idem
	SHA	Formation des hygiénistes des AUE sur la promotion de l'hygiène autour des points d'eau (Commune de Pô, Province du Nahouri)	02/02/2017 - 04/02/2017 (Groupe 2)	Salle de réunion/ Mairie de la commune de Pô	- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune de Pô (36 personnes: 3 personnes/AUE, 12 AUE/12 ont participé.) - DREA/CS (7 personnes), DGEP (2 personnes), PF de la commune de Pô - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	47	idem
	SHA	Formation des hygiénistes des AUE sur la promotion de l'hygiène autour des points d'eau (Commune de Guiba, Province du Zoundwéogo)	06/02/2017 - 08/02/2017 (Groupe 1)	Salle de réunion/ Mairie de la commune de Guiba	- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune de Guiba (33 personnes: 3 personnes/AUE, 11 AUE/11 ont participé.) - DREA/CS (4 personnes), DGEP (2 personnes), DGA (1 personne), PF de la commune de Guiba - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	42	idem
	SHA	Formation des hygiénistes des AUE sur la promotion de l'hygiène autour des points d'eau (Commune de Guiba, Province du Zoundwéogo)	09/02/2017 - 11/02/2017 (Groupe 2)	Salle de réunion/ Mairie de la commune de Guiba	- Présidents et hygiénistes des AUE, Commune de Guiba (27 personnes: 3 personnes/AUE, 9 AUE/9 ont participé.) - DREA/CS (5 personnes), DGEP (2 personnes), DGA (1 personne), PF de la commune de Guiba - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	36	idem
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province du Zoundwéogo)	05/05/2016 - 07/05/2016	Salle de réunion/ DREA, Manga	- 29 maintenancier - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	29	Jour 1 - Informations de base sur la Réforme Jour 2 - Procédure pour passer un contrat avec un maintenancier Jour 3 - Fondation d'une association de maintenanciers

No.	Catégorie	Nom de séminaire/atelier	Période	Lieu	Participants	Nbr de participants (sauf les homologues)	Contenu
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province du Nahouri)	09/05/2016 - 11/05/2016	Salle de réunion/ Mairie de la commune de P6	- 29 maintenanciers - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	29	idem
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province du Bazéga)	12/05/2016 - 14/12/2016	Salle de réunion/ Association SONU TAABA, Konbissiri	- 31 maintenanciers - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	31	idem
Résultat 3							
	REFORME	Ateliers communaux sur la Réforme (Région du Plateau Central)	15/06/2016 - 26/07/2016	Salle de réunion/ Mairie de 18 communes	- 3 représentants (SG, PF, Trésorier) des communes - 1 préfet (PDS) - 2 représentants de chaque AUE (membres du bureau) - Artisans réparateurs résidant aux communes - 1 représentant de la DR/MEA - PF de la DR au niveau des provinces (seulement la région du Plateau Central) - DRCMEF/DPCMEF - DGEP/MEA - Équipe du PROGEA II	1098	Jour 1 - Explication des objectifs et de la méthodologie de l'atelier - Révision du système de gestion et de maintenance basé sur la Réforme (contexte, objectifs, principes, anteus et rôle, processus et activités relatifs à la Réforme, etc.) - Discussion sur l'état de gestion et de maintenance des ouvrages d'AEP aux communes - Discussion sur les résultats, défis, difficultés dans la mise en œuvre de la Réforme aux communs/villages Jour 2 - Étude sur des solutions des problèmes dans la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP - Système de gestion et de maintenance des ouvrages d'AEP - Mode de paiement et tarification des services de l'eau correspondant à la réalité des communes. - Élaboration d'un plan d'action pour la mise en œuvre de la Réforme - Synthèse des travaux de l'atelier
	REFORME	Atelier régional de formation et d'information sur la Réforme, Région du Plateau Central	05/12/2016 - 06/12/2016	Salle de réunion/ Privilège Auto-école, Ziniaré	- Gouverneur, SG, Président du Conseil Régional, Haut-Commissaire - Maires des communes, SG des communes, Préfets - Opérateur privé des AEPS (SAWES, ACMG), Représentants des associations des maintenanciers - Représentants des projets des ONG (LIMFASO, Croix Rouge burkinabé, Eau Vive) - Bureau d'étude local (IGIP Afrique), prestataire de l'étude de base et l'organisation des ateliers communaux - Services administratifs régionaux et provinciaux des MEFD, MENA, MS, MAAH, MEECC, MFSNF, Agence de l'Eau du Nakanbé) - DGEP, DREA/PCL, DGA - Médias (RADIO BASSY FM) - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	112	- Contexte de la Réforme (décentralisation, Maîtrise d'ouvrage communale (MOC), problèmes du système conventionnel de gestion, nécessité de la Réforme) - Objectifs de la Réforme, principes, système de gestion, flux du fonds pour la gestion, responsabilité et rôles des différents acteurs - Présentation de l'état de mise en œuvre de la Réforme à l'échelle nationale et régionale - Partage des résultats des ateliers communaux (organisés entre juin et juillet 2016) - Défis et leçons pour l'établissement d'un système adéquat de gestion des ouvrages d'AEP aux communes, réflexion sur les contre-mesures
	Maintenancier	Formation des artisans réparateurs (Province de l'Ouhritenga)	13/07/2016 - 14/07/2016	Salle de réunion/ DREA, Ziniaré	- 38 maintenanciers - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	38	- Système de gestion et d'entretien des PHM en se fondant sur la Réforme (rappel, brainstorming) - Responsabilité et rôle des acteurs, en particulier les maintenanciers - Contenu du contrat du suivi des ouvrages d'AEP à conclure entre les communes et les maintenanciers - Procédures pour passer un contrat avec les communes (préparation du dossier pour soumissionner, calcul des frais) - Contenu d'une tournée du suivi des ouvrages d'AEP (diagnostic, confirmation de l'état d'utilisation, de la qualité de l'eau, rédaction d'un rapport, procédures de paiement, etc.) - TP sur le terrain
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province du Kourwéogo)	15/07/2016 - 16/07/2016	Salle de réunion/ DPEA, Boussé	- 25 maintenanciers - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	25	idem
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province du Ganzourgou)	16/07/2016 - 19/07/2016	Salle de réunion/ Mairie de Zorgho	- 30 maintenanciers - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	30	idem

A10-74

17/

L

No.	Catégorie	Nom de séminaire/atelier	Période	Lieu	Participants	Nbr de participants (sauf les homologues)	Contenu
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province du Kourwéogo)	15/11/2016 - 18/11/2016	Salle de réunion/ Haut Commissariat de Kourwéogo, Boussé	- 23 maintenanciers - DGEP (1 personne) - DREA/PCL (2 personnes) - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	26	- Système de gestion et d'entretien des PHM en se fondant sur la Réforme (rappel, brainstorming) - Responsabilité et rôle des acteurs, en particulier les maintenanciers - Contenu du contrat du suivi des ouvrages d'AEP à conclure entre les communes et les maintenanciers - Procédures pour passer un contrat avec les communes (préparation du dossier pour soumissionner, calcul des frais) - Contenu d'une tournée du suivi des ouvrages d'AEP (diagnostic, confirmation de l'état d'utilisation, de la qualité de l'eau, rédaction d'un rapport, procédures de paiement, etc.) - TP sur le terrain
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province du Ganzourgou)	21/11/2016 - 24/11/2016	Salle de réunion/ Haut Commissariat de Ganzourgou, Zorgho	- 19 maintenanciers - DGEP (1 personne) - DREA/PCL (2 personnes) - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	22	idem
	Maintenancier	Formation des maintenanciers (Province de l'Ouhritenga)	07/12/2016 - 10/12/2016	Salle de réunion/ ANAO, Ziniaré	- 21 maintenanciers - DGEP (1 personne) - DREA/PCL (2 personnes) - Équipe du PROGEA II (agents techniques, experts)	24	idem
<b>Résultat 5</b>							
	REFORME	Formation des agents de la DGEP, DREA/PCL et DREA/CS sur l'application de la Réforme du Système de Gestion des Infrastructures Hydrauliques d'Approvisionnement en Eau Potable	28/11/2016 - 01/12/2016	Salle de réunion/ Chic Hotel, Koudougou	- DGEP (13 personnes), DGA (2 personnes), DGRE (2 personnes) - DREA/PCL (10 personnes), DREA/CS (7 personnes) - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	35	- Décentralisation et MOC - Délégation des attributions aux communes dans les secteurs de l'eau et de l'assainissement - Évolution de la gestion des ouvrages d'AEP, nécessité de la Réforme - Objectifs de la Réforme, principes, système de gestion et de maintenance, flux du fonds pour la gestion, responsabilité et rôles des différents acteurs - Explication sur les outils pour la mise en œuvre de la Réforme - Agrément des maintenanciers Outils de gestion et de maintenance des PHM (convention de la délégation de gestion, contrat de suivi, etc.) Outils de gestion et de maintenance des AEPS (contrat avec le fermier, etc.) - Travail en groupe (problèmes liés à la gestion et à la maintenance dans chaque région, proposition de solutions) - Préparation des ateliers sur la Réforme dans les régions
<b>Général</b>							
	Général	Formation par pays au Japon (cf. Appendice 6-3)	08/07/2016 - 24/07/2016 (17 jours, y compris le voyage aller-retour)	Régions de Hokkaido et de Kanto	- SG du MEA (à partir de la 2ème semaine) - Directeur Général de l'Eau Potable - Agents de la DGEP (2 homologues principaux du PROGEA II)	4	- Gestion des petits réseaux de distribution d'eau (Conférence par le Service de la vie et de l'environnement, Bureau de l'environnement de Hokkaido); - Barrage de Jozankei (Visite, Bureau de gestion intégrée des barrages de la rivière de Toyohira, Département de Sapporo pour le développement des infrastructures), Station de traitement des eaux de Moiva (Visite, Direction de l'AEP, Sapporo); - Assainissement (Conférence par Pr FUNAMIZU, Faculté d'ingénierie, Université de Hokkaido); - Problèmes posés par les petits réseaux de distribution d'eau (Conférence par Pr YOGO, Faculté d'ingénierie, Université Hokkai Gakuin); - Commune de Higashikawa (Visite du système d'AEP par forage, Mairie de Higashikawa); - Historique du développement de l'AEP du Japon (Conférence par Pr KOBAYASHI, Président de la Fondation l'Environnement de Hokkaido); - Système de délégation de gestion des infrastructures d'AEP par les opérateurs privés au Japon (Conférence par l'Association de la gestion de l'AEP); - Musée de l'AEP de Tokyo (Visite); - Système de mini-AEP en milieu rural (Visite, gestion régie par la mairie et gestion communautaire par une association des usagers, Sagami-hara, Préfecture de Kanagawa); - Systèmes de gestion d'AEP dans les pays africains (EHC, Japan Techno); - Présentation des résultats de la formation, échange avec la JICA (siège, Division de l'environnement global).

No.	Catégorie	Nom de séminaire/atelier	Période	Lieu	Participants	Nbr de participants (sauf les homologues)	Contenu
	Général	Atelier pour l'explication du PROGEA II, la concertation et la finalisation du plan de travail (1ère année)	13/11/2015	Ouagadougou (Salle de réunion, DGRE)	- 9 homologues de la DGRE - 2 homologues de la DGAEUE - 9 homologues de la DRARHASA/CSD (Directeur Régional, agents du service régional de l'eau, directeur provincial, agents du service provincial de l'eau) - 9 homologues de la DRARHASA/PCL (Directeur Régional, agents du service régional de l'eau, directeur provincial, agents du service provincial de l'eau) - JICA Burkina Faso (2 personnes) - Équipe du PROGEA II (2 personnes)	29	- Présentation des activités principales du PROGEA2, échange (DGRE) - Explication et modification du Plan de travail (1ère année) (DGRE) - Calendrier de mise en œuvre du projet et rôles des homologues (PROGEA2) - Approches de la coopération japonaise et ses modalités (JICA au Burkina Faso)
	Général	Atelier de programmation et de planification des activités d'appui à la mise en œuvre du PROGEA 2	21/12/2016 - 23/12/2016	Koudougou (Salle de réunion, DREA)	- DGEP (2 personnes) - DREA/CS (2 personnes), DREA/PCL (1 personne) - Coordonnateur du PROGEA II - Équipe du PROGEA II	6	- Élaboration d'un plan d'action 2017 pour suivre les activités du PROGEA2 par la partie burkinabè - Élaboration d'un plan budgétaire des homologues

\*SHA : Sensibilisation à l'hygiène et à l'assainissement

M

-f-

**Annexe 7: Matrice de Conception du Projet (révisé, draft)**

**Titre du Projet:** Le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement en milieu rural Phase II (PROGEA II)

**Version 2.0****Datée du xxxx , 2017**

**Organe exécutif du Projet:** Direction Générale des Ressources en Eau à travers les Directions Régionales en charge de l'eau du Plateau Central et du Centre-Sud

**Groupes cibles:** Communes et populations des régions du Plateau Central et du Centre-Sud, Maintenançiers, Personnel des Directions Régionales en charge de l'eau

**Période du Projet:** Du mois d'août 2015 au mois de septembre 2018 (3 ans)

**Sites du Projet:** Régions du Plateau Central et du Centre-Sud, Ouagadougou

**Sites pilotes:**

Résumé narratif du Projet	Indicateurs objectivement vérifiables	Moyens de vérification	Supposition importante	Réalisations	Remarques
<b>Objectif global</b> Contribuer à l'amélioration de la gestion des points d'eau à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le taux des communes qui ont mis en place le système de gestion et de maintenance des infrastructures hydrauliques d'AEP conforme à la Réforme passe de 47.36 % (taux actuel) à 70.0% avant 2021.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapport bilan annuel du PN-AEP</li> <li>Situation de la convention/contrat de gestion &amp; maintenance signés entre les communes, AUE et maintenanciers</li> </ul>			
<b>But du Projet</b> Etablir une base pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale qui utilise la méthode mise en place dans la Phase 1 du PROGEA.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont validés par le Comité National de Pilotage (CNP/PN-AEP).</li> <li>Le plan d'action comprenant le plan du budget pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Manuels pour la diffusion de la Réforme officiellement validés</li> <li>Le plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>La politique relative à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP ne change pas.</li> <li>PTF et ONG utilisent les manuels pour l'application de la Réforme.</li> <li>Le plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est budgetisé.</li> </ul>		
<b>Résultats</b> 1. La situation de la diffusion de la Réforme à travers le pays et les leçons tirées des PTF et ONG dans l'application de la Réforme sont identifiées et analysées pour que les outils élaborés dans la Phase I soient révisés pour la diffusion à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme sont identifiés et analysés.</li> <li>Les manuels et outils révisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont élaborés.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Informations sur les résultats et leçons tirées par les PTF et ONG à travers l'application de la Réforme</li> <li>Rapports sur les ateliers</li> <li>Manuels révisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Le personnel formé continue ses activités.</li> <li>Le dispositif de la mise en œuvre du Ministère en charge de l'eau ne change pas.</li> </ul>		
2. La Réforme est introduite dans la région du Centre-Sud à l'aide des outils élaborés pour la diffusion à l'échelle nationale.	<ul style="list-style-type: none"> <li>Les AUE sont créées dans tous les villages des communes pilotes sélectionnées dans la région du Centre-Sud.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rapports du Projet</li> <li>Fiches de suivi des activités</li> </ul>			

A10-77

W

-k-

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• La convention de la délégation de gestion est signée entre les communes et les AUE dans toutes les 19 communes de la région du Centre-Sud et les activités de gestion des ouvrages d'AEP sont menées.</li> <li>• Le contrat est signé entre les communes et les maintenanciers dans toutes les 19 communes de la région du Centre-Sud et la tournée du suivi préventive et le service de réparation des PMH sont réalisés par les maintenanciers.</li> <li>• Plus de 80% des acteurs communaux qui participent à l'atelier d'information sur l'application de la Réforme sont admis l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Convention de la délégation de gestion entre les communes et les AUE</li> <li>• Rapports sur le bilan des AUE soumis à la commune</li> <li>• Contrat du suivi entre les communes et les maintenanciers</li> <li>• Rapports sur les tournées de suivi des maintennciers soumis aux communes</li> <li>• Résultats d'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme</li> </ul>				
A10-78	<p>3. Des systèmes de suivi et d'appui à la Réforme utilisant des ressources existantes sont mis en place dans la région du Plateau Central.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les leçons tirées du suivi et d'appui à l'application de la Réforme dans la région du Plateau Central sont identifiées et analysées</li> <li>• Le draft du menu sur les systèmes du suivi et d'appui à l'application de la Réforme utilisant des ressources existantes est élaboré dans la région du Plateau Central.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports du Projet</li> <li>• Le draft du menu sur les systèmes du suivi et d'appui à l'application de la Réforme élaboré</li> </ul>			
M	<p>4. Les manuels et outils pour la diffusion de la Réforme sont finalisés à travers l'introduction expérimentale dans la région du Centre-Sud et le suivi dans la région du Plateau Central et la méthode pour la mise en œuvre de la Réforme est intégrée dans le document officiel.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les résultats et leçons tirées de l'application de la Réforme dans les régions du Centre-Sud et du Plateau Central sont analysés.</li> <li>• Les manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sont révisés et finalisés.</li> <li>• Les manuels finalisés sont distribués à tous les acteurs concernés dans le secteur de l'AEP.</li> <li>• Les manuels qui utilisent la méthode du PROGEA pour l'application de la Réforme sont intégrés dans le document officiel du PN-AEP.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports sur les ateliers</li> <li>• Manuels finalisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> <li>• Document officiel sur le PN-AEP</li> </ul>			
W	<p>5. La structure de la mise en œuvre de la Réforme est améliorée.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Les rôles des acteurs impliqués dans l'application de la Réforme sont définis.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rapports du projet</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• L'élaboration du projet de textes réglementaires nécessaire à la bonne application de la Réforme commence.</li> <li>• Tout le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau qui suit la formation sur l'application de la Réforme réussit l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme.</li> <li>• Le personnel des directions centrales et régionales en charge de l'eau formé se met à mener les activités de renforcement des capacités des acteurs communaux et des maintenanciers.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Projet de Textes réglementaires élaboré relatif à l'application de la Réforme</li> <li>• Rapports de formations</li> <li>• Résultats de l'examen de la compréhension sur l'application de la Réforme</li> <li>• Rapport de revue annuel sur le PN-AEP</li> <li>• Rapports de formations</li> <li>• Fiches de suivi</li> <li>• Rapport de revue annuel sur le PN-AEP</li> </ul>			
6. La planification de diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est réalisée.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Un plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> <li>• Un plan du budget nécessaire à la diffusion et stabilisation de la Réforme à l'échelle nationale est élaboré.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Plan d'action sur la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale</li> <li>• Plan et Rapport annuels du secteur d'approvisionnement en eau potable de chaque région</li> </ul>			

A10-79

M  
-r



Activités	Intrants		Conditions préalables
	Partie japonaise	Partie burkinabè	
<p>1-1 Analyser la situation de la diffusion de la Réforme à l'échelon national à travers une étude prenant en compte les résultats obtenus et les leçons tirées des autres PTF et ONG dans l'application de la méthode pour la diffusion de la Réforme.</p> <p>1-2 Organiser des ateliers qui réunissent les acteurs concernés dans la diffusion de la Réforme tels que les PTF et ONG et discuter du projet de manuels pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale.</p> <p>1-3 Réviser les manuels établis dans la Phase 1 (à travers l'activité 1-2) pour la diffusion dans tout le pays.</p> <p>2-1 Effectuer une étude de base sur l'application de la Réforme dans la région du Centre-Sud.</p> <p>2-2 Sélectionner des communes pilotes de la région du Centre-Sud dans laquelle la Réforme sera introduite après l'activité 2-1.</p> <p>2-3 Introduire véritablement la Réforme qui applique le modèle du PROGEA dans toutes les 19 communes sélectionnées de la région du Centre-Sud.</p> <p>2-4 Mener les actions de PHA dans les communes pilotes de la région du Centre-Sud.</p> <p>2-5 Etudier de la possibilité à la mise en place des associations des maintenanciers dans la Région du Centre-Sud.</p> <p>2-6 Organiser un atelier d'information sur l'application de la Réforme pour les acteurs de toutes les communes de la région du Centre-Sud.</p>	<p>1) Experts japonais</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Conseiller en chef/Gestion et maintenance des ouvrages</li> <li>• d'approvisionnement en eau potable en milieu rural</li> <li>• Entretien des ouvrages</li> <li>• d'approvisionnement en eau potable</li> <li>• Renforcement organisationnelle</li> <li>• Coordination</li> <li>• Autres experts selon la nécessité</li> </ul> <p>2) Formation du personnel homologue (au Japon et dans un pays tiers)</p> <p>3) Fourniture d'équipements</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Véhicules</li> <li>• Equipements informatiques</li> <li>• Autres Equipements nécessaires à l'exécution du Projet</li> </ul> <p>4) Frais d'activités locales</p>	<p>1) Mis à disposition des homologues</p> <p>2) Fourniture de documents et d'informations</p> <p>3) Matériels et équipements</p> <p>4) Locaux de bureau/ frais d'électricité</p> <p>5) Frais d'exploitation</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Un nombre approprié du personnel homologue est mis à disposition.</li> <li>• La politique relative à la gestion et la maintenance des ouvrages d'AEP ne change pas.</li> </ul>

A10-80

3

.le

A10-81

3-1 Analyser la situation actuelle sur l'application de la Réforme dans la région du Plateau Central après la phase 1 du projet et en Identifier des problèmes et leçons tirées.

3-2 Etudier des systèmes appropriés du suivi et d'appui à l'application efficace de la Réforme utilisant les ressources existantes dans la région du Plateau Central.

3-3 Soutenir de façon ciblée l'application des actions de consolidation de la Réforme dans quelques localités après les activités 3-1 et 3-2.

4-1 Réviser la méthode, les manuels et les outils pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale sur la base des résultats obtenus et des leçons tirées à travers les activités 2 et 3.

4-2 Organiser des ateliers pour étudier et valider les manuels révisés à travers l'activité 4-1.

4-3 Finaliser les manuels à vulgariser dans tout le pays pour l'application de la Réforme.

4-4 Intégrer les manuels finalisés pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale dans le document officiel.

5-1 Evaluer les rôles et les capacités actuelles des services étatiques d'exécution, des communes et du secteur privé pour contrôler l'introduction, l'application et l'avancement de la Réforme au niveau national.

5-2 Appuyer à l'élaboration des textes réglementaires nécessaires à la diffusion de la Réforme à travers le pays.

5-3 Appuyer à la mise en place de mécanismes de suivi et d'appui à l'application de la Réforme.



<Issues and countermeasures>

Handwritten marks at the bottom left of the page, including a wavy line and a small signature-like mark.

5-4 Appuyer au renforcement des capacités du personnel aux niveaux central et régional de faire en sorte qu'ils puissent dispenser des formations destinées aux acteurs communaux.

5-5 Appuyer au renforcement des capacités des acteurs concernés au niveau communal par le personnel des Directions Régionales en charge de l'eau.

5-6 Appuyer au renforcement des capacités des maintenanciers sur les techniques de maintenance et d'entretien des ouvrages d'AEP et les procédures de contrat conforme à la Réforme par les Directions Régionales en charge de l'eau.

5-7 Etudier une méthode pour mettre en place un système d'approvisionnement des pièces détachées dans chaque région.

6-1 Collecter des informations sur les programmes de soutien financier des autres PTF pour appuyer à l'application de la Réforme.

6-2 Appuyer les autres régions dans la planification/budgétisation des activités de la mise en œuvre de la Réforme.

6-3 Elaborer un plan d'action pour diffuser la Réforme à l'échelle nationale.

6-4 Faire un plaidoyer auprès des autres PTF et ONG pour l'appui à l'établissement d'un système de maintenance et de gestion des ouvrages d'AEP sur la base du plan d'action pour la diffusion de la Réforme à l'échelle nationale.

A10-82

合同評価報告書

村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ2 (PROGEA II)  
中間レビュー調査

ワガドゥグ、2017年3月15日

合同評価調査団

## 目次

<b>1. 序論</b>	<b>6</b>
1-1 中間レビューの目的	6
1-2 合同中間レビュー調査団のメンバー	6
1-3 調査スケジュール	6
<b>2. プロジェクトの概要</b>	<b>7</b>
2-1 プロジェクトの背景	7
2-2 プロジェクトの要約	7
<b>3. 中間レビュー・評価の手法</b>	<b>8</b>
3-1 レビューの実施方法	8
3-2 評価のフレームワーク	8
<b>4. 実績の確認</b>	<b>9</b>
4-1 投入実績	9
4-2 活動実績	10
4-3 成果達成状況	10
4-4 プロジェクト目標の達成見込み	14
4-5 上位目標の達成見込み	15
4-6 プロジェクトの実施プロセス	15
<b>5. 評価結果</b>	<b>17</b>
5-1 評価 5 項目による評価結果	17
5-1-1 妥当性	17
5-1-2 有効性	20
5-1-3 効率性	21
5-1-4 インパクト	22
5-1-5 持続性	23
5-2 結論	26
<b>6. 提言</b>	<b>26</b>

**添付資料:**

- Annex 1 : 調査団日程表
- Annex 2 : 面談者リスト
- Annex 3 : プロジェクトデザインマトリックス (PDM)
- Annex 4 : 活動計画表 (PO)
- Annex 5 : 評価グリッド
- Annex 6 : 投入の概要
  - 6-1 カウンターパートリスト
  - 6-2 日本人専門家派遣実績
  - 6-3 国別研修参加者リスト
  - 6-4 供与機材・携行機材リスト
  - 6-5 ローカルコスト
  - 6-6 セミナー・ワークショップ開催記録
- Annex 7 : PDM 改訂案

略語集

略語	原語	和文
AEPS	Adduction d'Eau Potable Simplifiée	簡易給水施設
AFD	Agence Française de Développement	フランス開発庁
AMOC	Appui à la Maîtrise d'Ouvrage Communal	コミューン行政への事業実施支援
AUE	Association des Usagers de l'Eau	水利用者組合
CNP/PN-AEP	Comité National de Pilotage du PN-AEP	PN-AEP 国家管理委員会
C/P	Counterpart	カウンターパート
CS	Centre-Sud	南部中央州
DAC	Development Assistance Committee	(OECD) 開発援助委員会
DANIDA	Danish International Development Agency	デンマーク国際開発庁
DGA	Direction Générale de l'Assainissement	衛生総局
DGEP	Direction Général de l'Eau Potable	飲料水総局
DGESS	Direction Générale des Etudes et des Statistiques Sectorielles	調査・セクター統計総局
DREA	Directions Régionales de l'Eau et de l'Assainissement	水衛生州局
EU	European Union	欧州連合
FCFA	Francs CFA	セーファー・フラン (1€=655.957 FCFA の固定レート)
GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit GmbH	ドイツ国際協力公社
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
MEA	Ministère de l'Eau et de l'Assainissement	水衛生省
MM	Man/Month	人・月
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ (協議議事録)
MOC	Maîtrise d'ouvrage communale en matière d'alimentation en eau potable, hygiène et assainissement de base	給水衛生に関するコミューンによる事業実施
NGO	Non-Governmental Organization	民間非営利団体
PCL	Plateau Central	中央プラトー州
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PN-AEP	Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable	飲料水供給国家計画
PN-AEPA	Programme National d'Approvisionnement en Eau Potable et d'Assainissement	飲料水供給・衛生国家計画
PO	Plan of Operation	活動計画
PPP	Public-Private Partnership	官民連携
PROGEA	Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement	給水施設管理・衛生改善プロジェクト (フェーズ1)
PROGEA II	Le Projet de renforcement de la gestion des infrastructures d'approvisionnement en eau potable et de promotion de l'hygiène et de l'assainissement	村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ2

	en milieu rural	
R/D	Record of Discussions	討議議事録
REFORME	Réforme du système de gestion des infrastructures hydrauliques d'approvisionnement en eau potable en milieu rural et semi urbain	村落・準都市部の飲料水供給施設の管理システム改革
UAT	Unité d'Animation Technique	技術支援ユニット（農業省の区画）
ZAT	Zone d'Appui d'Animation Technique	技術支援ゾーン（農業省の区画）



## 1. 序論

### 1-1 中間レビューの目的

JICA はブルキナファソ政府と共に、2015 年 9 月から 2018 年 9 月の予定で、「地方給水施設管理・衛生改善プロジェクト・フェーズ 2」(以下「PROGEA II」または「プロジェクト」)を実施している。JICA とブルキナファソ政府はプロジェクト開始後約 1 年半を経過した時点で中間レビューを実施した。

中間レビューの目的は、以下の通りである。

- (1) プロジェクトの PDM と PO に基づき、投入、活動、実施プロセスに関する実績を確認する
- (2) 成果、プロジェクト目標、上位目標の達成度の評価を行う
- (3) 評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）による本プロジェクトの全体的な効果の分析と評価を行う
- (4) 評価結果を基にしたプロジェクトに対する提言と類似のプロジェクトのための教訓を導出する

### 1-2 合同中間レビュー調査団のメンバー

合同中間レビュー評価チーム（以下、「チーム」という）は、以下のメンバーで構成されている。

#### (1) ブルキナファソ側メンバー

名前	職務	チームでのポジション
Mr. KABORE Abel	水・衛生省 飲料水総局／計画立案・評価 モニタリング局 水理学専門家	メンバー
Mr. NACOULMA Alain	水・衛生省 調査・セクター統計総局／プロジェクト・プログラム調整局 法律専門家	メンバー

#### (2) JICA 調査団メンバー

名前	職務	チームでのポジション
小林 文通	JICA ブルキナファソ事務所 所長	総括
庄司 いずみ	JICA 地球環境部水資源グループ 水資源第二チーム主任調査役/課長補佐	案件管理
村上 敏雄	JICA 地球環境部 インハウスコンサルタント	技術アドバイザー
田中 恵理香	グローバルリンクマネジメント株式会社 シニア研究員	評価分析
平松 直子	翻訳センターパイオニア	通訳

### 1-3 調査スケジュール

本調査は、2017年2月28日（月）～3月16日（木）の日程で実施された。詳細は Annex 1 を参照されたい。調査期間中の面談者リストは、Annex 2 を参照。

## 2. プロジェクトの概要

### 2-1 プロジェクトの背景

ブルキナファソ国は、国土の多くが乾燥帯に属しているため、水の確保が大きな課題となっている。給水施設の持続的な管理を通し、飲料水サービスの持続性を確保するため、ブルキナファソ政府は2000年に村落部における「水・衛生に係る施設の維持管理システムの改革（以下「REFORME」）を決定し、ブルキナファソ政府、援助機関、NGOが協力して、REFORMEを全国に普及する努力を推進してきた。ブルキナファソは、JICAの技術支援を受けて、2009年6月から2013年5月まで「中央プラトー地方給水施設管理・衛生改善プロジェクトフェーズ1」（以下「PROGEA/PCL」）を実施し、中央プラトー州における同改革の実施と普及に対する貢献を図った。

PROGEA/PCLにより、中央プラトー州の全565村落のうち、563において水利用者組合（AUE）が設置され、AUEによる給水施設維持管理活動を支えるために地方自治体（コミューン）やポンプ修理業者への能力強化も実施されたことで、中央プラトー州全体において、REFORMEの適用が図られた。他方、全国レベルでは、ブルキナファソ給水セクターの国家計画である「2015年に向けた給水と衛生に関する国家計画」（PN-AEPA 2006-2015）の策定以降、REFORME適用化の普及推進の試みがなされているものの、地方間の進捗の差を見ると、持続的な維持管理システムの定着にはさらなる努力が必要である。

こうした背景の下、ブルキナファソ政府は、PROGEA/PCLで採用された手法を活用し、中央プラトー及び南部中央における、プロジェクトの第2フェーズの実施を要請した。これを受け、JICAでは、2015年1月に詳細計画策定調査を実施し、ブルキナファソ側・日本側の合意に基づき、2015年9月から2018年9月の約3年間の予定で、PROGEA II を実施している。

### 2-2 プロジェクトの要約

#### (1) プロジェクトのデザイン

プロジェクトのデザインは、PDMとしてまとめられている。本プロジェクトは、R/D署名時に合意した第1版（Version 1.0）に基づき実施されている。本中間レビューは、PDM Version 1.0に基づいて行う。PDMとPOは、それぞれ Annex 3、Annex 4 を参照されたい。

PDMの概要は、以下の通りである。

上位目標	給水施設の維持管理が全国で改善される。
プロジェクト目標	PROGEA 第1フェーズで構築した手法を適用した REFORME の全国展

	開のための基盤が整備される。
成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の全国における REFORME 適用状況及び他ドナー・NGO の REFORME 適用方法に係る教訓が整理・把握され、第1フェーズで作成されたマニュアルが全国普及用に改訂される。</li> <li>2. 全国普及用マニュアルにより南部中央州に REFORME が導入される。</li> <li>3. 中央プラトー州にて既存のリソースを活用した REFORME のモニタリング体制・支援体制が構築される。</li> <li>4. 南部中央州における試行的導入及び中央プラトー州におけるモニタリングを通じ、全国普及用マニュアル・ツールが最終化され、REFORME 適用に係る手法が公式文書に統合される。</li> <li>5. REFORME 適用化の実施体制が改善される。</li> <li>6. REFORME 全国普及に向けた計画が策定される。</li> </ol>

(2) プロジェクトの期間

2015年9月～2018年9月（3年間）

(3) プロジェクトの実施機関

水・衛生省（MEA）飲料水総局（DGEP）

南部中央・中央プラトー州局（DREA/CS、DREA/PCL）

(4) プロジェクト対象地域

ワガドゥク、南部中央州、中央プラトー州

**3. 中間レビュー・評価の手法**

3-1 レビューの実施方法

プロジェクトの評価は合同評価チームが行う。チームは5人の日本側メンバーと2人のブルキナファソ側メンバーで構成される。チームは、ワガドゥク、南部中央州、中央プラトー州のプロジェクト実施機関、プロジェクトを実施しているコミューン、援助機関での聞き取りや協議を行った。本評価は、PDM や PO に基づき以下の実施手順で行う。

- 1) PDM の指標を基にしたプロジェクトの達成度の確認
- 2) プロジェクトの実施プロセスの検証
- 3) DAC 評価5項目による評価

3-2 評価のフレームワーク

上記の手順を踏まえた評価のフレームワークは、評価グリッド (Annex 5) に整理される。DAC 評価 5 項目の定義は以下の通りである。

妥当性	プロジェクト目標・上位目標の妥当性、ブルキナファソ政府の政策・日本政府の援助方針との整合性、受益者のニーズとの整合性及びプロジェクトデザインの妥当性などを評価する。
有効性	プロジェクト目標の達成度やプロジェクト目標と成果間のロジックによって評価する。
効率性	プロジェクトの期間、投入の質・量などを基にした成果と投入間の関係に焦点を当て、評価する。
インパクト	プロジェクトによって創出された直接または間接、ポジティブまたはネガティブ、予期したまたは予期していなかった影響を基に評価する。
持続性	プロジェクトの終了後にどのようにプロジェクトの達成度が維持されるのかについて、政策・制度、組織、財政、技術の側面から評価する。

#### 4. 実績の確認

##### 4-1 投入実績

##### (1) ブルキナファソ側からの投入

###### 1) C/P の配置

MEA-DGEP、南部中央州・中央プラトー州 DREA から、十分な数のスタッフがプロジェクトに関与している。詳細は Annex 6-1 を参照されたい。

###### 2) 施設・建物

MEA-DGEP 内にプロジェクト事務所を提供している。光熱費は MEA-DGEP が負担している。

###### 3) 運営経費

2016-2018 年に総額で 185 百万 FCFA のローカルコスト拠出をカウンターパート資金として予定している。2016 年予算 (45 百万 FCFA) は全額拠出済みであり、2017 年予算については、74 百万 FCFA が計上されている。詳細は Annex 6-5 を参照。

##### (2) 日本側からの投入

###### 1) 日本人専門家の派遣

5 名の専門家を派遣している。2017 年 2 月末までの派遣実績は延べ 9.2MM。詳細は Annex 6-2 を参照。

## 2) 本邦研修

2016年にC/P4名を派遣した。詳細はAnnex 6-3を参照。

## 3) 機材供与

コンピューター、フィッシングツール等を供与した。予定していた機材供与は、中間レビュー時点で全て完了し、総額17,373,750FCFA（3,292,031円相当：各月のJICA統制レートによる）。詳細はAnnex 6-4を参照。

## 4) 運営経費

合計31,878千円を拠出した。詳細はAnnex 6-5を参照。

## 4-2 活動実績

各成果に関する活動の実施状況は以下の通りである。なお、セミナー・ワークショップの実施状況については、Annex 6-6を参照されたい。

成果1に係る活動	REFORME適用状況の把握と全国普及用マニュアルの検討を進めている。活動1-3の前フェーズで策定した全国普及用のマニュアルの改訂は、プロジェクト期間の後半に行う。
成果2に係る活動	成果2に係る活動は全て実施している。引続き活動を行う。
成果3に係る活動	成果3に係る活動は全て実施している。引続き活動を行う。
成果4に係る活動	成果2、3に係る活動を通じ、全国普及用マニュアル・ツールの検討を進めている。これらを受け、プロジェクト期間の後半で全国普及用マニュアル・ツールの最終化を行う。
成果5に係る活動	成果5に係る活動は全て実施している。引続き活動を行う。
成果6に係る活動	成果6に係る活動は、成果1～5の結果を受け、プロジェクト期間の後半に行う予定である。

## 4-3 成果達状況

各成果の達成度は以下の通りである。

**成果 1: 現在の全国における REFORME 適用状況及び他ドナー・NGO の REFORME 適用方法に係る教訓が整理・把握され、第1フェーズで作成されたマニュアルが全国普及用に改訂される。**

**指標 1-1: REFORME 適用に係る成果・教訓が整理・把握される。**

ドナーやNGO関係者からのREFORM適用化に関する成果や教訓について情報収集を実施している。また、プロジェクトで実施のワークショップ等を通じて、成果・教訓を収集している。

**指標 1-2: 全国普及用 REFORME 適用化マニュアル・普及用ツール改訂版が作成される。**

プロジェクト開始時より、C/P と専門家で作業を進めている。REFORME 適用化の進捗共有・全国普及用マニュアル検討のため、2016 年 1 月に全国 13 州局とのワークショップ、2016 年 3 月に全国関係者を集めたワークショップを開催した。これらを通じ、全国普及用 REFORME 適用化マニュアル・ツール改訂のための課題や提言を含んだワークショップのレポートがまとめられており、REFORME 実施に係る全ての関係者の間で共有している。

**成果 2: 全国普及用マニュアルにより南部中央州に REFORME が導入される。**

**指標 2-1: 南部中央州で選定されたパイロットコミュニティの全ての村落において AUE が設立される。**

南部中央州においては、2015 年 12 月までに、州内全 19 コミュニティにおいて、他ドナー・NGO の支援により、AUE が設立されていることが確認された。プロジェクトでは、当初は、南部中央州における AUE に関する活動はパイロットコミュニティを選定して実施する予定だったが、AUE が既に存在していたため、AUE を支援する活動は、全 19 コミュニティで実施することとした。ただし、衛生活動については、パイロットコミュニティで行うこととしている。

**指標 2-2: 南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・AUE 間で給水施設維持管理協定が締結され、給水施設維持管理活動が実施される。**

南部中央州においては、州内の全 19 コミュニティにおいて、他ドナー・NGO の支援により、AUE が設立され、AUE が負担金の徴収・管理、住民に対する啓発活動、日常の給水施設維持管理活動等を実施している。コミュニティとの間で、給水施設維持管理協定を締結した AUE は、2016 年 7 月時点で、南部中央州 19 コミュニティで認証されている AUE442 のうち 276 である。

2016 年 6 月から 7 月にかけて、南部中央州のコミュニティ関係者（コミュニティ、AUE、ポンプ修理工）を対象とした給水施設維持管理活動促進のためのワークショップを 16 コミュニティ対象に計 17 回開催した（Kombissiri コミュニティは村落数が多いため 2 回に分けて開催した）。

**指標 2-3: 南部中央州のパイロットコミュニティにおいて全てのコミュニティ・ポンプ修理業者間で給水施設保守整備契約が締結され、ポンプ修理業者による保守巡回および修理活動が実施される。**

2015 年 12 月～2016 年 3 月にベースライン調査を実施し、現状の調査と課題の整理を行った。

南部中央州のポンプ修理工を対象としたワークショップを 3 回開催し、AUE、ポンプ修理工による給水施設維持管理に係る現状を分析している。南部中央州では、ポンプ修理工

の契約が締結しているコミューンは全 19 コミューン中 4 コミューンである。保守巡回は定期的に行われていない。

**指標 2-4: REFORME 適用化ワークショップに参加した南部中央州のコミューン関係者の 8 割以上が REFORME 適用化理解度テストに合格する。**

南部中央州で 3 月初旬にコミューン関係者の REFORME に関する理解度評価を実施した。評価は研修で導入されたモジュールの理解度ををはかるものであった。その結果、合格基準（60% 以上）に達した研修受講者は、バゼガ県で 78.7%、ズンドウェオゴ県では 70.2% となっている。ナウリ県は次回の研修で実施する。プロジェクトでは、引続き能力強化を図り、プロジェクト終了までに 80% 以上の関係者が REFORME に対して理解をより深めることを目指す。

**成果 3: 中央プラトー州にて既存のリソースを活用した REFORME のモニタリング体制・支援体制が構築される。**

**指標 3-1: 中央プラトー州における REFORME 適用化のモニタリング・支援に関する課題が整理される。**

プロジェクトでは、フェーズ 1 で REFORME 適用化の支援を行い、プロジェクト終了後の状況を確認しつつ、REFORME 実施状況のモニタリング・支援体制を構築しようとしている。フェーズ 1 の終了時には、ZAT/UAT の長の協力により、ブルキナファソ関係機関でモニタリングを行う予定だったが、省庁改編により農業省と水衛生省が分かれ、ZAT/UAT の長の協力を得ることができなくなったため、REFORME 適用化のモニタリングの新たなしくみを構築することは重要である。中間レビュー時点までに、REFORME 適用化のモニタリング・支援に関する課題を抽出した。プロジェクトでは、これら課題に対するアクションの特定を検討しており、より詳細な分析を行う予定である。

ポンプ修理工の活動に関しては、まだ課題が多いことが判明している。中央プラトー州では、修理工組合が正式に発足している。コミューンと修理工との間の契約が締結されていないコミューンがある。中間レビューで訪問したコミューンでは、定期的な保守巡回が行われていない。また、AUE が払う賦課金は、まずコミューンの口座（国庫）に入るが、それを引き出すには、行政手続きが複雑であるため長く待たねばならない。そのため、修理工は、支払われるまでに 2 年程待たなければならないことがある。

**指標 3-2: 中央プラトー州における既存のリソースを活用した REFORME モニタリング・支援体制のメニュー案が抽出される。**

中間レビュー時点では、モニタリング・支援体制の課題を抽出が完了した。これまでに抽出された課題を詳細に分析した後に、REFORME モニタリング・支援体制のメニュー案を作成する予定である。

**成果 4: 南部中央州における試行的導入及び中央プラトー州におけるモニタリングを通じ、全国普及用マニュアル・ツールが最終化され、REFORME 適用に係る手法が公式文書に統合される。**

**指標 4-1: 南部中央州及び中央プラトー州における REFORME 適用化に関する成果・教訓が整理される。**

南部中央州における REFORME の導入（成果 2）と中央プラトー州において構築すべきモニタリング・支援体制（成果 3）を通じ、REFORME 適用化のための、さらに詳細な課題分析が行われる予定である。

**指標 4-2: 全国普及用 REFORME 適用化マニュアルが改訂・最終化される。**

プロジェクトでは、南部中央州における REFORME の導入（成果 2）と中央プラトー州において構築すべきモニタリング・支援体制（成果 3）を通じ、マニュアル・ツールの改訂のために変更すべき点を検討している。あわせて他のアクター（ドナー機関、NGO、コミュニティ、コンサルタント）との意見交換を通じ、REFORME の課題を抽出し、REFORME 枠組み文書再検討の動きも踏まえつつ、全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの方向性を検討している。

**指標 4-3: 最終化されたマニュアルが給水セクター関係者に配布される。**

本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。

**指標 4-4: PROGEA 手法を取り入れた REFORME 適用化マニュアルが給水国家計画の中の公式文書として統合される。**

本指標に関する活動は、上記マニュアル完成後に実施する予定である。

**成果 5: REFORME 適用化の実施体制が改善される。**

**指標 5-1: REFORME 適用化に関する関係者の役割が整理される。**

C/P 機関やドナー機関との協議や REFORME ワークショップを通じ、REFORME 適用化に関する関係者の役割について整理を進めている。

**指標 5-2: REFORME 適用化を適切に普及する上で必要な規定のドラフトが策定される。**

プロジェクトでは、REFORME 適用化に関してブルキナファソ側が進めている規定と関連する文書の策定に参画している。これらの文書とは、給水施設利用に係る水サービス料金と官民連携（PPP）の戦略・規定（AEPS 運営委託契約書改訂ひな形）、コミュニティ予算における、飲料水に係る適用費目設定、給水・衛生サービスの規定・基準・指標、民間管理業者及び修理工の認可制定文書の改訂（従前の州局認可から州知事認可）、AMOC ロードマ



ップ（REFORME 実施のためのコミューンへの専任技術者の採用・配置）等である。これら規定は既にほぼ全てについて最終化されているが、最終的な公式化、法令としての採択と発布がなされておらず、実効に至っていないため、その進捗プロセスを支援している。

**指標 5-3: REFORME 適用化に関するトレーニングを受講した中央・州局の職員の全員が REFORME 理解度テストに合格する。**

2016年11月28日～12月1日に実施した REFORME 研修の最後に実施した理解度評価では、34名中31名が100点中60点以上の得点を獲得した。恒常的にプロジェクトで活動している人は理解度が高かった。全体として、実務的な内容を問う設問の得点が低い。引続き研修・ワークショップ、スタディ・ツアーで、さらに能力強化を図っていく予定である。

**指標 5-4: トレーニングを受けた中央・州局職員がコミューン関係者やポンプ修理業者等に対する能力強化活動を開始する。**

REFORME 適用化文書の再検討を含む給水施設維持管理システムの改良、給水施設維持管理にかかる人材育成・能力強化、モニタリング体制の検討等を実施している。州局職員らは、コミューン職員、AUE らに対するワークショップで、コミューン・AUE で実施する給水施設の維持管理等の活動に関するアクションプランの作成支援等をしている。

**成果 6: REFORME 全国普及に向けた計画が策定される。**

**指標 6-1: REFORME の全国普及に向けた行動計画が策定される。**

本指標に関する活動は、成果1～成果5の結果を踏まえ、プロジェクト2017年後半から実施する。行動計画を策定するため、REFORME 適用化にかかる支援を行う可能性がある他ドナーの支援状況に関する情報収集を行っている。

**指標 6-2: REFORME の全国普及・定着に必要な予算計画が策定される。**

REFORME 適用化に関する州のアクションプランの最終化がされてから予算計画を策定する。

その他、関係機関でのインタビューから、PDM の指標以外の成果として、ワークショップ等により、コミューン職員や AUE 役員会メンバーの REFORME の理解が進んだことが報告されている。また、修理工は、修理技術や維持管理について能力が向上したとコメントしている。

4-4 プロジェクト目標の達成見込み

プロジェクト目標の達成見込みは以下の通りである。

**プロジェクト目標: PROGEA 第1フェーズで構築した手法を適用した REFORME の全国展開のための基盤が整備される。**

**指標 1:** 全国普及用 REFORME 適用化マニュアルが国家水委員会（CNP/PN-AEP）により承認される。

各成果の活動に若干の遅れが見られるが、プロジェクトでは全国普及用 REFORME 適用化マニュアルを完成しようとしている。REFORME 適用化に係るマニュアルは、関係機関により採択されなければならない、その後適用される。

ただし、REFORME 枠組み文書とツール再検討のプロセスが開始されており、その方向性に即したマニュアルとする必要があるため、プロジェクトでは、REFORME 再検討の動きを考慮していく。

**指標 2:** REFORME 適用化の全国展開に関する予算計画を含めた行動計画が策定される。

全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの完成後、それに基づいた行動計画を策定する。プロジェクト終了までに完成しようとしている。

#### 4-5 上位目標の達成見込み

上位目標達成の見込みは以下の通りである。

**上位目標：給水施設の維持管理が全国で改善される。**

**指標:** 2021年までに REFORME 適用化に基づく給水施設維持管理体制を構築したコミュニティ数が現在の 47.36%から 70.0%に達する。

給水施設維持管理状況については、MEA で所定の項目のデータを収集している。MEA によれば、2016年12月31日付の最新のデータでは上記コミュニティの率は、53.0%である（Bilan Annuel PN-AEPA 2016-2017）。

#### 4-6 プロジェクトの実施プロセス

##### (1) プロジェクト全体の進捗

プロジェクトの進捗は、社会政治的変化（2015年9月のクーデター、コミュニティ議会の解体）、2016年1月のテロ事件、やそれに続く組織改編により当初予定より若干遅れている。社会政治的変化や、テロ等は不可抗力であったが、進捗の遅れを取り戻すべく、活動を進めている。また、プロジェクトで支援する REFORME の今後の方向性について、C/P 機関関係者やドナー機関等から情報を収集している。

プロジェクト進捗の促進要因は、専門家と C/P のコミュニケーションがよいことである。DGEP の職員がプロジェクト専属のナショナルコーディネーターとして配置されていることは、プロジェクトの円滑な進捗に貢献している。プロジェクト進捗の阻害要因は、前述

した社会政治的变化、組織改編、テロなどがあつたことである。社会政治的变化により、コミューンには、臨時行政部が置かれた。その後、2016年5月に選挙があり同年7月に新コミューン議会が発足したが、いくつかのコミューンでは、各種業務の引継ぎが十分に行われていないことがあつた。プロジェクトでは、市長不在の間は状況に応じワークショップを実施していた。コミューン議会発足後は、REFORME 実施体制の強化を推進するため、研修による情報普及やコミューンレベルの関係者がオーナーシップを高めるための啓発活動を行って、遅れを回復しようと努めている。

## (2) プロジェクト運営体制

ブルキナファソ関係機関の組織体制が安定してからは、プロジェクト運営体制は円滑に機能している。MEA のコーディネーターが中心となり、ブルキナファソ側の調整を行い、専門家と協力をして、プロジェクト関係者の合意の下、プロジェクトが実施されている。

JCC 設立が遅れたが、これまでに、2016年8月と2016年12月の2回のJCCが開催された。JCCでは、プロジェクトを円滑に実施するための提言・提案が挙げられた。

プロジェクト全体の進捗のモニタリングについては、JCCで全体の進捗を確認するほか、JICAのプロジェクトモニタリングシートを使い、報告書作成のためのデータ収集が行われている。モニタリングシートにモニタリング結果を記入する時には専門家とC/Pで、PDMを参照している。本プロジェクトは、ブルキナファソ政府のプロジェクト（カテゴリーA）とされており、ブルキナファソ側に対し、MEAでプロジェクトのモニタリングを担当しているいくつかの部署に定期的な進捗報告や年間活動予算計画書が提出されている。

DGEPでは毎週月曜日に省内定例会議が開かれており、プロジェクト専門家（総括）・DGEP ナショナルコーディネーターも毎回定例会議に出席している。それにより、プロジェクトの進捗情報が共有されている。また、PN-AEPAの枠組みで6か月に1回、各州および全国中央レベルでのPN-AEPAの進捗を共有・モニタリングする枠組み（Comité Régional ou Comité National de Pilotage du PN-AEPA）がある。プロジェクトでは、州の会議については、これまで日程的な事情から参加していないが、全国会議に出席している。

プロジェクトでは、中央-州-コミューンの事業実施体制を確立しようとしている。MEAとDREAのC/Pが中心となってコミューンの能力強化を図り、コミューンの担当者が核となってAUEやポンプ修理工を支援していかなければならない。

## (3) 関係者のコミュニケーション

プロジェクト関係者のコミュニケーションはほぼ良好である。

C/P機関であるMEA、DREAと日本人専門家のコミュニケーションは概ね良好である。コミュニケーションが円滑でない場合、コミュニケーションの回復を図るため、関係者間で協議を行っている。専門家は、MEA-DGEPを通じ、政策と国家戦略を含む情報を逐次入

手し、JICA とも共有している。専門家と C/P は、行動を共にし、C/P にワークショップで講師・ファシリテーターを務めさせることで、C/P の能力強化を行っている。

プロジェクトとコミュニケーション関係者（コミュニケーション役所、AUE 等）とのコミュニケーションも概ねよい。コミュニケーションに対しては、州局を通じて、各種情報提供や案内等の対応している。AUE の支援に対しては、専門家は直接介入せず、コミュニケーションを通じて支援活動を行っている。

他援助機関とのコミュニケーションも良好である。プロジェクトではドナー会合等に積極的に参画しており、情報交換が活発に行われている。また、日本の無償資金協力（「第二次中央プラトー及び南部中央地方飲料水供給計画」）の関係者とも情報交換し、衛生活動については、ソフトコンポーネントのアプローチと整合性のある活動を行った。

#### (4) プロジェクトに対する認識

プロジェクトに対する関係者の認識はある程度高いと言える。

プロジェクトは、ブルキナファソ政府の直接管理下で実施するプロジェクト（カテゴリーA）として分類されている。MEA のプロジェクト関係者は、中央・州レベルとも、プロジェクトを通じ REFORME を推進していくことの重要性を理解している。

コミュニケーションにおいても、REFORME に関するコミュニケーションの役割に対する認識は高まりつつある。コミュニケーション役所関係者は、ワークショップ等を通じ REFORME 参画の意欲を高めている。AUE、ポンプ修理工は、プロジェクトの支援で開催するワークショップ等に積極的に参加している。

コミュニケーションの AUE、修理工らは、割り当てられた役割を遂行しようと努力しているが、資金不足や手続き上の問題等から活動実施にあたり困難に遭遇している。また、REFORME の枠組みでの活動についてさらに理解を深めていく必要がある。

フォーカルポイントは、概ね高いモチベーションを持ち活動に取り組んでいる。給水施設や衛生施設に関する情報収集のほか、給水施設の維持管理や衛生につき、住民の指導を行うこともあるが、情報収集のための燃料費が支給されるほか若干の謝金が払われ所定の期間のみ業務を行っており、活動には限界もある。

なお、AUE では、6 名いる役員会のメンバーのうち衛生担当の少なくとも 1 名は女性とする規定があり、女性の参加を奨励している。中間レビュー中に訪問した AUE では全て、女性が少なくとも 1 名は AUE の役員会に入っていた。衛生担当以外の役職につく女性もおり、女性も AUE に積極的に参加している。

援助機関の間で、プロジェクトは広く認知されている。

## 5. 評価結果

### 5-1 評価 5 項目による評価結果

### 5-1-1 妥当性

以下のような理由により、妥当性は概ね高い。

#### (1) ニーズとの整合性

プロジェクトは、ブルキナファソの水と衛生分野のニーズに合致している。

村落部の飲料水へのアクセスは、2016年12月31日のデータで65.3%であり（PN-AEPA 2016）、PN-AEPAの目標値の76%を下回っている。このため、REFORMEを全国に適用し、飲料水へのアクセスを向上することが求められている。REFORME 枠組み文書は2000年に制定されているが、施設の維持管理やサービスのモニタリングのシステムが十分機能しておらず、REFORME 適用化の一層の努力が求められている。水衛生省ではREFORME 枠組み文書の再検討を計画しており、関係者の間でも、REFORME 再検討に関する議論がされている。プロジェクトでは、REFORMEの再検討の状況を常に考慮する必要がある。

#### (2) ブルキナファソ側政策との整合性

プロジェクトは、ブルキナファソ国の水と衛生分野の政策と合致している。

ブルキナファソ国の水分野の国家計画であるPN-AEP（2016-2030）（DANIDAの支援により水衛生省が策定）の事業目標（Objectifs operationnels）で、飲料水へのアクセスの100%達成を目指している。この目標達成のためには、特に村落地域でのAUEによる給水施設の持続的管理が挙げられており、施設の管理（REFORME）は、PN-AEP（2016-2030）の中で重視されている。これは、水衛生省で、REFORMEの推進を重視しているということを示している。

なお、PN-AEPA（2016-2030）では、流量の多い井戸を活用した、複数の村をまとめて給水する施設と各戸給水の推進に重点が置かれている（2015年の9%から2030年に80%を目指す）。しかし、村落部では人力ポンプ井戸は今後も使われていく。水衛生省の関係者とのインタビューによれば、人力ポンプ井戸については、引続きAUEによる維持管理を行うということである。

#### (3) 日本の政策との整合性

プロジェクトは日本の対ブルキナファソ援助政策と合致している。日本の対ブルキナファソ援助方針では、農業開発、教育の質の向上、域内経済統合の促進の3点が重点分野となっており、留意事項として社会の安定への支援が挙げられている。水と衛生に関する協力は、水の安定的供給を通じて農業開発に資するとともに、人々の健康状態の向上につながり社会の安定に通じるものである。

#### (4) ターゲットの適切性

プロジェクトの対象地域やターゲットグループは概ね適切に選定されている。

ブルキナファソ国では、援助機関による地理的重点地域の大きな分担ができていると関係者の間で理解されており、飲料水供給に関しては、日本は、中央プラトー州と南部中央州の担当となっている。プロジェクトでは、REFORME に関与するコミュニティのステークホルダーがターゲットグループとなっている。

南部中央州では、プロジェクト計画時においては同州内で 3 コミュニティを選定し、REFORME 導入を行う予定であった。しかし、プロジェクト開始時に、同州の全 19 コミュニティで既に他アクターの支援により AUE が設立されていることが判明したため、プロジェクトは計画の見直しを行った。その結果、水衛生省と協議の上で、全 19 コミュニティをターゲットとすることが 2016 年 3 月にプロジェクト関係者で合意された。その結果、プロジェクト全体で、南部中央州におけるプロジェクト C/P によるコミュニティ、AUE 等を対象としたセミナー・ワークショップ等の活動の比重が大きくなった。C/P の研修講師としての能力強化機会増のメリットがあった一方で、課題分析結果から解決策を提案するという活動がやや遅れることになった。

衛生活動については、南部中央州で各県から 1 コミュニティ、3 か所のパイロットコミュニティ（イペルセ、ポー、ギバ）を設定した。衛生活動のパイロットコミュニティは、ドナーの有無、雨季のアクセス、REFORME の進捗状況等のクライテリアを設定し、C/P との合意の下、選定された。

プロジェクトでは、追加的活動として、井戸の改修をする予定である。プロジェクトで改修を行う井戸の候補地は、ベースライン調査と修理工からの情報に基づき、州の C/P も井戸を訪問して選定された。

#### (5) プロジェクトデザインの適切性

プロジェクトのデザインは概ね適切である。

プロジェクトは、前のフェーズの経験や教訓を踏まえ計画された。前フェーズ終了後、今フェーズが始まるまでに時間を設けたことで、今フェーズで取り組む課題が明確になり、より適切なプロジェクトを計画することができた。フェーズ 1 でコミュニティにおける AUE とコミュニティの能力強化を図った経験は、今フェーズでの南部中央州の活動や REFORME 関連文書の策定に役立っている。プロジェクトが、全国での REFORME 適用化のための政策関連文書を策定できるようなデザインになっている。給水施設の維持管理は利用者にとっても重要なテーマであり、プロジェクトの PDM は、利用者まで裨益効果が届くようなプロジェクトデザインになっている。利用者の間でも維持管理の向上に対する意欲は高い。

ただし、プロジェクトで支援している REFORME のしくみ自体に課題も指摘されている。例えば、水サービスの管理と REFORME の事業を実施をフォローするための MOC の実施が課題になっている。AUE の活動は利用者の自主性に委ねられており、インタビューでは、役員会のメンバーのなり手がいないという声が聞かれるなど、実際の活動における AUE へのモチベーションを向上させるのが課題である。また、コミュニティから修理工への巡回保

守の支払いがなされないため、修理工による巡回保守が行われない、そのため AUE からコミュニケーションへの賦課金が支払われなくなる、という例も報告されている。

#### 5-1-2 有効性

以下のような理由により、有効性はある程度見込める。

##### (1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクトでは、プロジェクト目標の指標である REFORME 適用化マニュアルの承認と REFORME 適用化の行動計画の策定を、プロジェクト期間終了までに完了することを目指している。全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの策定はプロジェクト終了までに完了する予定であり、これが完成すれば、予算計画を含めた行動計画が策定できる。プロジェクトでは、全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの策定が完了し、水衛生省で承認を得るまでをプロジェクト期間中の活動と予定しており、承認後、ブルキナファソ側で国家計画に基づき発布することが必要である。ただし、水衛生省では、REFORME の枠組み文書自体の再検討を行う予定でいる。REFORME 枠組み文書の改訂がされる場合は、それに即した REFORME 適用化マニュアルと REFORME 適用化の行動計画の策定を行う必要があり、改訂のスケジュールによっては、プロジェクト目標達成に影響が出ることも考えられる。

プロジェクト目標達成の促進要因は、REFORME 適用化がブルキナファソ国の水・衛生分野の重要課題であり、政府やドナーが一致して取り組んでいることである。REFORME の枠組み文書の再検討については、MEA でのインタビューによれば、プロジェクトも REFORME の再検討作業に関与することになる見込みであり、プロジェクトで再検討作業に積極的に関与し十分状況を把握したうえで、関係者間で協議し全国普及用 REFORME 適用化マニュアルの方向性の合意をとることが必要である。

##### (2) プロジェクト目標に至るロジック

成果からプロジェクト目標に至るロジックは、概ね適切である。プロジェクト目標達成に必要なコンポーネントが構成されている。

プロジェクト目標達成のための外部条件の影響が若干見られる。外部条件のうち、「給水施設維持管理に係る政策が大きく変更されない」については、省庁改編後、DGEP のこれまでの幹部職員の多くが州局長に異動し、若手中心になり、若干の混乱があった。プロジェクトでは、プロジェクトに関する理解を醸成しつつ活動を進めた。「技術を習得した職員が勤務を継続する」については、何人かの人事異動があったが、大きな影響はない。その他の外部条件になりうる材料として、REFORME 枠組み文書の見直し作業の進捗によっては、プロジェクトで予定している全国普及用 REFORME 適用化マニュアル策定の作業スケジュールやその内容が影響を受ける。

### 5-1-3 効率性

以下のような理由により、効率性はある程度高い。

#### (1) 成果の達成度

活動が遅れているものの、中間レビュー時点で想定していた成果は概ね発現している。成果発現の促進要因としては、ワークショップが参加者の関与を促進しつつ活発に行われていることが挙げられる。しかしながら、ワークショップ等により改善されているものの、REFORME に対するコミューン等関係者の理解はまだ十分ではない。また、成果達成に影響を与えている要因として、水と衛生分野に関するコミューン行政を促進するロードマップである AMOC が、2015 年の政変により中間レビュー時点で閣議で採択されていないため、コミューンに人員や財源が十分に配分されていないことにより、プロジェクトで想定していたコミューンレベルの活動が一部困難になっていることがある。例えば、トレーニングを受けた中央・州の人材がコミューンを研修することになっていたが、コミューンに対象となる人員が配置されていない、コミューンから AUE に対する適切な支援が行えていない、などである。

#### (2) 成果達成に至るロジック

投入、活動から成果に至るロジックは適切である。成果を達成するために十分な活動が計画されている。南部中央州と中央プラトー州での活動を踏まえ、REFORME 適用化に係るマニュアルを策定していくというプロジェクトデザインになっている。南部中央州のパイロットコミューンにおける衛生活動、中央プラトー州におけるポンプ修理工に対する活動は、パイロットコミューンの住民やポンプ修理工に資するのみならず、全国普及用 REFORME 適用化マニュアル策定に必要なグッドプラクティスや教訓を抽出するためにも有用である。また、活動を行うために十分な投入が計画されている。

#### (3) 投入・活動の適切性

ブルキナファソ側、日本側とも、投入は適切に行われている。

##### ブルキナファソ側

MEA-DGEP と南部中央州と中央プラトー州の DREA に十分な数の C/P が配置されている。DGEP のプロジェクト専属ナショナルコーディネーターが正式に任命されたのは、2016 年 9 月と遅れたが、このナショナルコーディネーターは、2015 年 9 月から C/P としてプロジェクトに関わっており、大きな支障はなかった。MEA/DGEP 内にプロジェクト事務所が提供されており、光熱費は MEA が負担している。ブルキナファソ側は、C/P 予算を確保しており、プロジェクトに必要な経費を拠出している。ただし、予算はあるものの、手続きに時間がかかりタイムリーに拠出されないことがある。



## 日本側

専門家は、現地事情に通じ専門性の高い人材が配置されている。機材供与は、適切な機材が選定された。免税手続きに時間を要したが大きな支障にはならなかった。本邦研修には、REFORME 適用化の推進に重要な役割を果たす MEA の人材が派遣された。研修参加者は、日本の水道事業の経験や地方分権化に関する知識を習得し、業務の中で他の職員にも伝えている。なお、PROGEA2 の C/P 研修のほか、課題別研修にも、MEA と DREA から、毎年 1、2 名を派遣し、C/P 機関の一層の能力強化を図っている。ローカルコストは、予定通り拠出された。

また、無償資金協力による井戸建設のソフコンで取組んだ井戸周辺の衛生環境改善活動の手法が効果的であったと関係者から評価されたため、プロジェクトでも同じノウハウを活用し効率的に活動を行うことができた。

活動は、政変により遅れているが、必要な活動を順次実施している。投入は全て活用されており、中間レビュー時点では予定されていた成果が全てある程度発現している。

### 5-1-4 インパクト

プロジェクト目標がプロジェクト期間中に達成され、プロジェクト終了後にブルキナファソ側で活動を継続すれば、インパクトは見込める。

#### (1) 上位目標達成の見込み

上位目標である全国における給水施設維持管理の改善は、ブルキナファソ側による活動が継続されれば達成が可能と見込まれる。給水施設維持管理体制を構築したコミュニティの割合は、MEA の 2016 年 12 月 31 日付のデータで 53.0%である（Bilan Annuel PN-AEPA 2016-2017）。ただし、上位目標の達成度をはかるには、この指標だけでは不十分であるため、プロジェクトでモニタリング状況を見ながら、さらに検討することが必要である。

上位目標達成のために貢献要因となるのは、プロジェクトで策定した REFORME 適用化マニュアルを活用してブルキナファソ政府が REFORME の適用を効果的に実施していくことである。他援助機関もマニュアルに準拠した活動を行うことが必要である。阻害要因となるのは、ブルキナファソ側の人員・予算の不足である。また、コミュニティレベルの活動の実施をコミュニティ役所と DREA でモニタリングする仕組みが確立されていないことは上位目標達成の阻害要因となりうる。

#### (2) 上位目標達成に至るロジック

プロジェクト目標から上位目標に至るロジックは概ね妥当と言える。ただし、プロジェクトで策定する全国普及用 REFORME 適用化マニュアルを活用してブルキナファソ側が

REFORME 推進を全国で実施していくことが不可欠である。また、指標の数値目標については、現状の推移を見つつ妥当性をさらに検討することが望ましい。

上位目標達成のための外部条件の影響については、中間レビュー時点では、明確に判断できない。外部条件のひとつである「給水施設維持管理に関する政策」は、大筋は変更ない見込みであるが、REFORME 枠組み文書の再検討が行われる予定であることから、プロジェクトで策定する全国普及用 REFORME 適用化マニュアルとの整合性は継続的に注視していく必要がある。「他ドナー・NGO による REFORME 適用化マニュアルの活用」については、MEA で推進していくことが重要である。「REFORME 適用化全国展開の行動計画の予算化」については、予算策定自体は MEA で行うことであるが、実際の予算の配分は MEA と財務省との協議によるので、不透明な要素がある。ほかに上位目標に影響を与える要因として、REFORME 実施のための諸方策（AMOC ロードマップ等）の整備・実施が適切に行われることが必要である。

### (3) 波及効果

波及効果については、中間レビュー時点では明確には報告されていないが、いくつか発現が期待できる。給水施設の維持管理がなされ、水場周辺の衛生環境が改善されれば、住民が安全な水にアクセスできる。これにより、健康な生活、水因性疾患の減少につながる。また、AUE が強化されれば、コミュニティによる農村開発活動等の他の関連する活動にも好影響が出るのが期待される。例えば、AUE と農村開発組織の両方のメンバーになっている住民がいる。さらに、水と衛生に係る事業実施を通じコミュニンの能力が強化されれば、地方分権化が促進されることも考えられる。

負のインパクトは特に報告されていない。

### 5-1-5 持続性

以下のような理由により、持続性は中程度である。

#### (1) 政策・制度面

政策・制度面での持続性はある程度見込める。

現行の PN-AEP は 2030 年までの政策なので、水と衛生に関する政策は当面変わらない。プロジェクトで策定する予定の REFORME 適用化マニュアルや行動計画は、ブルキナファソ側も公式に承認する予定である。MEA では、REFORME 枠組み文書を再検討する予定であり、その結果を踏まえた REFORME 適用化マニュアルや行動計画の策定を行うことが、政策・制度面の持続性に不可欠になると考えられる。このため、REFORME 再検討の今後の動きを注視し、再検討プロセスに参画しつつ、REFORME 適用化マニュアルや行動計画の策定を進めていく必要がある。

## (2) 組織面

組織面での持続性は中程度である。

プロジェクトでは、DGEP一州一コミュニティのラインで REFORME の実施支援・関係者の能力強化を行えるよう、C/P の TOT 研修等を行っている。MEA、州局は、REFORME 推進の活動を継続する見込みである。プロジェクトでは、日々の活動やワークショップを通じ MEA と DGEA の C/P 各機関の能力向上を目指している。C/P 機関でのインタビューでは、REFORME に関する関係者の認識や実施能力が向上したというコメントがあった。専門家によれば、C/P の一部は研修講師として活動する能力を習得しているが、実施体制の構築、関係者の能力とも、さらに強化が必要である。

コミュニティは、2016 年 5 月に新体制が発足したばかりであり、水と衛生の担当者が着任していない。AUE との給水施設維持管理協定の締結が完了していないところが多く、修理工による巡回保守も行えていないなど、期待された役割をまだ十分に果たしていない。インタビューによれば、コミュニティ役所は、プロジェクトのワークショップ等を通じ、組織能力が向上しつつあるということであるが、REFORME 実施に係る組織体制の一層の強化が必要である。

組織面での持続性を高めるには、事業のモニタリング体制を確立することが不可欠であるが、まだ確立されていない。前フェーズで、中央プラトー州における活動を通じてモニタリング体制の構築を図ったが、前フェーズ終了後に機能しなくなった。理由としては、省庁再編により農業省と水衛生省が分かれ、ZAT/UAT をモニタリングの現場で活用できなくなったこと、本フェーズ開始後政変があり、コミュニティ議会が解体され新体制発足までに時間がかかったこと、さらに、ZAT/URT-県一州一中央という報告のシステムも使えなくなったことなどがある。MEA では、6 か月ごとに事業進捗状況等をモニタリングするしくみはあるが、このモニタリングの対象はインフラ中心で、REFORME の実施に関する具体的なモニタリングのしくみはまだない。

プロジェクト開始後、政変の影響もあり、大幅な組織改編があったが、中間レビュー時点では、これまでで組織改編は一段落したと見られる。

## (3) 技術面

技術面での持続性は中程度である。

C/P 機関では、大幅な組織改編は起こらない見通しであるが、定期的な人事異動はある。人員が変わった際に、引継を行うしくみが確立されていない。

コミュニティ、AUE は、プロジェクトが支援している間は活動を継続できると考えられるが、プロジェクトが終了した時に、自分たちで継続できるかは、不透明である。AUE の活動継続には、コミュニティによる技術的支援やモニタリングが必要である。

インタビューによれば、ワークショップの参加者は、能力が向上したと感じており、習得した知識・技術を活用しようと努力している。コミュニケーションの職員を研修できるよう、さらに C/P 機関の能力強化を図ることが必要である。

供与機材は概ね適切に維持され活用されている。供与機材のうち、南部中央州のポンプ修理工組合に供与する予定のフィッシングツールについては、同州におけるポンプ修理工組合がまだ設立プロセスの途中であるため、設立手続きが完了するまで、南部中央州局で保管している。訪問した AUE では、井戸の維持管理を概ね適切に行っていた。AUE の管理する村に存在する井戸のうちいくつかは、AUE が修理工を呼び何度か修理を試みたものの問題解決に至らず、結果、放置されているケースも見られた。

#### (4) 財政面

財政面での持続性は、現状ではあまり高くない。

MEA、州は、事業を実施していくための予算がある程度配分されている。しかしながら、あまり潤沢とはいえず、また予算の承認は財務省との協議によるため、不透明な面もある。DANIDA、EU 等による財政支援は 2020 年まで継続の予定であるが、その後は未定である。

PN-AEPA の年次報告書（2016 年 12 月作成）においても、REFORME 実施のための予算配分が不十分であると指摘されている。

コミュニケーションでは、給水施設維持管理の推進をしていくための予算は限られている。AMOC の実施が遅れており、十分な予算が配分されていない。また、コミュニケーションが徴収すべき AUE からの賦課金を徴収する体制が構築されておらず、その賦課金が徴収されていないため、財源がさらに逼迫している。さらに、予算が配分されていても、手続き上の問題からタイムリーに支出されないことが多いのが問題である。例えば、修理工の巡回保守のためのコミュニケーションからの支払いが手続き上の問題により大幅に遅れているケースもある。

AUE では、負担金の徴収を行っており、インタビューした大半の AUE では、井戸の修理に必要な負担金の徴収はほぼ全ての住民から徴収できており、井戸の修理に活用されていた。

#### (5) 持続性に係る要因

持続性については、REFORME が政策として重視されていることは促進要因として挙げられる。さらに持続性を高めていくには MEA-州-コミュニケーションの各レベルで、オーナーシップが必要である。また、AUE で料金の徴収・管理を適切に行い住民に対する説明責任を果たすことも必要である。持続性を阻害する要因としては、C/P 機関及びコミュニケーションに必要な人員・予算が配分されないことやコミュニケーション、AUE の認識不足が挙げられる。また、REFORME に関連する諸手続きが複雑であることも阻害要因となりうる。

## 5-2. 結論

プロジェクトは、開始直後に、社会政治的变化や治安の悪化があり、進捗が予定よりやや遅れているものの、当初計画していた活動を順次進めている。

ブルキナファソ国のニーズと政策、日本側の政策と合致しており、妥当性は概ね高い。ただし、REFORME の再検討が進められており、その方向性とプロジェクトが整合性あるよう配慮しつつプロジェクト活動を実施する必要がある。

活動が順調に進めばプロジェクト目標は達成できる見込みである。

投入は適切に実施されており、成果も中間レビュー時点で想定していたものはある程度発現していることから、効率性はある程度高い。

プロジェクト目標が達成され、プロジェクト終了後にブルキナファソ側で活動を継続すれば、インパクトは見込める。ただし、REFORME 枠組み文書の再検討の動向、REFORME 適用化実施の予算化、AMOC ロードマップの実施の進捗状況等の外部条件に留意する必要がある。

持続性は、政策・制度面、組織面、技術面、財政面で課題があり中程度である。

いくつか課題が見られるため、今後の活動で取組んでいくことが望まれる。REFORME の動向を注視し、再検討作業に参画しつつそれに対する対策をとることが望ましい。

## 6. 提言

評価チームは、プロジェクトの残り期間での対応に関し、以下の通り提言を挙げる。

- (1) プロジェクト開始直後の状況と、REFORME のキーアクターであるコミュン議会の設置に時間がかかったことから、プロジェクト目標を達成するため、ブルキナファソ側は、プロジェクトの延長を提案した。そのために、ブルキナファソ政府は、REFORME 実施に必要な条件、特に REFORME 枠組み文書とツールの再検討と AMOC ロードマップの実効的な実施にコミットしなければならない。これらの条件が整った後、プロジェクトは PO の見直しを行うこととする。
- (2) プロジェクトは、REFORME 枠組み文書再検討の動向を注視しつつ、REFORME 再検討に関する情報を MEA とプロジェクトの間で共有し、再検討の議論に参画することが不可欠である。PN-AEP (2016-2030) において、新しい戦略として、水量の多い井戸を使いつつレベル 2 の管路給水の割合を増やして人力ポンプの数を徐々に減らす政策となっており、DANIDA、AFD 等の援助機関もその政策に即した支援を実施しようとしている。プロジェクトでは、こうした政策にも配慮して、REFORME の全国展開を計画することが必要である。REFORME のなかで、AEPS による給水については他ドナーの支援が先行しているため、本プロジェクトでは重複を避けるよう留意する。

- (3) コミューンでは、人員や予算が不足しているが、AMOC ロードマップでは、水と衛生の担当者を配置することが計画されている。プロジェクトでは、AMOC 実施の進捗を注視しつつ活動を進めていくことが必要である。
- (4) REFORME 実施に関しては、プロジェクトで REFORME 枠組み文書に則った活動を計画している。今次中間レビューを通じ、関係者の間では、規定通りに実施されていないケースが見られた。これは、コミュニティが水セクターに関する責任を果たす体制が十分に機能していないことが大きな要因と考えられる。REFORME 再検討の後、現状の REFORME 枠組み文書に大きな変更が行われない場合は、①AUE が給水施設の維持管理を適切に行う、②コミュニティに AUE を支援する人材が配置され巡回指導が可能な体制を整える、③コミュニティと AUE の維持管理契約を締結する、④AUE がコミュニティに賦課金を納め、コミュニティにより AUE に対する巡回保守が担保される、というステップを順に実現していくことが必要である。
- (5) 前フェーズで構築しようとしていた ZAT/UAT を活用した REFORME 実施のモニタリング・支援のしくみは、組織改編により、水と農業担当の省庁が分かれたため、プロジェクトで、モニタリング・支援のしくみを構築することが必要である。MEA がコミュニティと AUE、修理工の業務をモニタリング・支援するしくみを構築することが肝要である。中央プラトー州の活動を通じて REFORME 実施のモニタリング・支援体制を早急に構築し、そのしくみが機能するかを検証し、調整したうえで、全国レベルで適用できる REFORME モニタリング・支援のしくみを可能な限り早く構築する。
- (6) プロジェクトでは、REFORME の各アクター（コミュニティ、AUE、修理工）が REFORME 実施によりイニシアティブを持つよう、ワークショップを通じ、一層取組んでいく。
- (7) AUE の努力では修理が不可能なため放置されている井戸が散見される。これは、REFORME 枠組み文書で規定されている大規模修復の必要な井戸のリハビリの責任者が、その役割を十分に果たすのが困難になっているためと考えられる。本プロジェクトの中で給水施設（人力ポンプ井戸）のリハビリを実施することが計画されている。その過程で得られた人力ポンプ井戸の大規模修復に関する責任区分の規定の情報や、対象井戸選定のクライテリア・優先付け等の経験を、プロジェクトで策定する REFORME 適用化マニュアルの中に取り入れることが望まれる。
- (8) プロジェクトでの実際の活動に合わせ、若干の PDM の改訂を行う。改訂版 PDM は、ブルキナファソ側・日本側で必要な検討・手続きを経たうえ、中間レビュー終了後の最初の JCC で合意することとする。主な改訂点は以下の通り。

修正箇所	修正内容
成果 2 の指標	「パイロットコミュニティ」を「全 19 コミューン」とする。全てのコミュニティでプロジェクト開始時に AUE が設立されていたことから、REFORME 実施のためのパイロットコミュニティを選定する必要がなくなった。その状況を受けて、

	プロジェクトでは、全 19 コミューンで AUE 設立後の REFORME 実施の活動を行っているため。
活動 2-3	上記に伴い、「パイロットコミュニティ」を「全 19 コミューン」とする。
上位目標の指標	「数」を「割合」に修正。表現をより適切なものとするため。

以上

Project Design Matrix

**Project Title:** The Project for enhancement of water supply infrastructure management and hygiene and sanitation in rural areas Phase II  
**Implementing Agency:** General Directorate of Water Resources, Regional Directorates in charge of water supply in Central Plateau and Central South

Version 2.0  
 Dated xxxx, 2017

**Target Group:** Communes, AUE, Pump Repairers in Regions of Central Plateau and Central South, Staff in-charge of Water Supply of Regional Directorates

**Period of Project:** August 2015 to September 2018(3 years)

**Project Site:** Regions of Central Plateau and Central South, Ouagadougou **Model Site:**

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption	Achievement	Remarks
<b>Overall Goal</b> To contribute to the improvement of management and maintenance of the water supply facilities at nation-wide level	<ul style="list-style-type: none"> <li>The rate of Communes that established the management and maintenance system for potable water supply infrastructures according to the REFORME will rise from a current 47.36% to 70% before the year of 2021.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Annual review report of the PN-AEP</li> <li>Situation of agreement / contract for management and maintenance signed between Communes, AUEs and Manual Pump Repairers</li> </ul>			
<b>Project Purpose</b> To establish the basis for dissemination of REFORME at nation-wide level by using the method of PROGEA I	<ul style="list-style-type: none"> <li>The manuals for dissemination of the REFORME at nation-wide are validated by the National Steering Committee (CNP/PN-AEP).</li> <li>Action Plan including budgetary allocation plan for disseminating the REFORME at nation-wide is formulated.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Officially validated manuals for dissemination of the REFORME</li> <li>Action plan for dissemination of the REFORME at nation-wide</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>National Policies on management and maintenance of water supply facilities don't change.</li> <li>Other donors and NGOs make use of the manuals for implementation of the REFORME.</li> <li>Budget for the Action Plan implementing the REFORME at nation-wide is allocated.</li> </ul>		
<b>Outputs</b> 1. Manuals prepared through the PROGEA I will be modified after reviewing the current situation of dissemination of the REFORME at nation-wide, as well as the lessons learned of implementation of the REFORME by the other donors and NGOs.	<ul style="list-style-type: none"> <li>The results obtained and lessons learned through implementing the REFORME are identified and analyzed.</li> <li>Manuals and tools for disseminating the REFORME at nation-wide are modified.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Information on the results and lessons learned from the donors and NGOs concerning about application of the REFORME</li> <li>Reports on workshop</li> <li>Modified manuals for the dissemination for implementation of the REFORME at nation-wide</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Staff who acquired technical know-how continue to work.</li> <li>Implementation structure in-charge of water supply is not drastically changed.</li> </ul>		



添付資料10-2. ミニッツ（和文） 添付のPDM案（英文）

<p>2. The REFORME is introduced into the Region of Central South by means of the modified manuals for nation-wide dissemination.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AUEs are established in all villages of selected pilot communes in the region of Central South.</li> <li>• Agreement on management and maintenance for water supply facilities is signed between all 19 communes and AUEs in the region of Central South.</li> <li>• The Contract on regular monitoring and maintenance for water supply facilities is signed between all 19 communes and pump Repairers in the region of Central South, and repair and maintenance services are provided by pump Repairers.</li> <li>• More than 80% of communes' concerned actors who participated in the introduction workshop are admitted to the comprehensive examination on the application of the REFORME.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Project reports</li> <li>• Activity Monitoring Sheet</li> <li>• Agreement document on management and maintenance between communes and AUEs.</li> <li>• Activity reports of AUEs to be submitted to the Communes</li> <li>• Contract document on regular monitoring and maintenance between communes and pump Repairers.</li> <li>• Activity reports of pump Repairers to be submitted to the Communes</li> <li>• Results of examination on the application of the REFORME</li> </ul>		
<p>3. Monitoring and supporting systems for implementing the REFORME using existing resources are established in the region of Central Plateau.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The lessons learned on REFORME application to the region of Central Plateau are identified and analyzed.</li> <li>• The draft of the menu on the systems of the monitoring and support to the application of the REFORME using existing resources is formulated in the region of Central Plateau.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Project reports</li> <li>• Draft monitoring and supporting system for the REFORME</li> <li>• Activity Monitoring Sheet</li> <li>• Report on the balance of the covenant / contract signed between the Communes, AUEs and pump Repairers</li> </ul>		
<p>4. The manuals and tools for nation-wide dissemination of the REFORME are finalized, through experimental introduction into the region of Central South and monitoring in the region of Central Plateau, and the methodology for implementation of the REFORME is integrated into the official documents.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The results obtained and lessons learned through the implementation of the REFORME in the regions of Central South and Central Plateau are analyzed.</li> <li>• The manuals for disseminating the REFORME at nation-wide are modified and finalized.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Reports on workshop</li> <li>• Finalized manual for nation-wide dissemination of the REFORME application</li> </ul>		

添付資料10-2. ミニッツ（和文） 添付のPDM案（英文）

A10-113

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The finalized manuals are distributed to all relevant stakeholders in the water supply sector.</li> <li>• The manuals using the PROGEA method for the application of the REFORME are integrated into the official document of the PN-AEP.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Official Document on Water Supply National Program</li> </ul>		
5. Implementation structure for application of the REFORME is improved.	<ul style="list-style-type: none"> <li>• The roles of the stakeholders of the REFORME are determined.</li> <li>• Formulation of draft on regulatory provisions for dissemination of the REFORME is started.</li> <li>• All central and regional governmental staff participated in the training are admitted to the comprehensive examination on application of the REFORME.</li> <li>• Central and regional governmental staff participated in the training start to conduct the activities for enhancing capacity of Commune staff, and pump Repairers and so on.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Project reports</li> <li>• Draft regulatory provisions related to application of the REFORME</li> <li>• Reports on training</li> <li>• Results of examination on application of the Reform</li> <li>• Annual report reviewing PN-AEPA</li> <li>• Reports on training</li> <li>• Monitoring sheet</li> <li>• Annual report reviewing PN-AEPA</li> </ul>		
6. Planning on nation-wide dissemination of the REFORME is realized	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Action Plan for disseminating the REFORME at nation-wide is formulated.</li> <li>• Budgetary plan necessary for the dissemination and stabilization of the REFORME at nation-wide is formulated.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document on action plan for the dissemination of adapting REFORME at nation-wide</li> <li>• Plan and annual report on water sector of every region</li> </ul>		

添付資料10-2. ミニッツ（和文） 添付のPDM案（英文）


A10-114

Activities	Inputs		Pre-Conditions
	The Japanese Side	The Burkina Faso Side	
<p>1-1 Analyze the present situation on the REFORME application at nation-wide through the study on the lessons learned from the implementation of the REFORME by the other donors and NGOs.</p> <p>1-2 Hold workshops inviting the relevant stakeholders in the implementation of the REFORME such as donors and NGOs and discuss on the draft manuals for dissemination of the REFORME at nation-wide.</p> <p>1-3 Through the activity 1-2, modify the manuals prepared in PROGEA I for disseminating nation-wide.</p>	<p>1) Japanese Experts</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Chief advisor / Operation &amp; Maintenance of rural water supply</li> <li>• Rural water supply facilities</li> <li>• Capacity development for the people related with rural water supply</li> <li>• Administrative Coordinator</li> <li>• Other experts if necessary</li> </ul> <p>2) Training of counterpart personnel in Japan and/or in the third countries</p> <p>3) Machinery and Equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Vehicles</li> <li>• Information materials</li> <li>• Other materials necessary for the implementation of the Project</li> </ul>	<p>1) Assignment of Counterpart Personnel</p> <p>2) Provision of necessary data and information related to the Project</p> <p>3) Maintenance of facilities and equipment and consumer goods</p> <p>4) Suitable office space with necessary equipment, water and electricity costs of the project offices</p> <p>5) Running expenses necessary for the implementation of the Project</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• A suitable number of Counterpart Personnel are assigned to the Project.</li> <li>• National Policies on management and maintenance of water supply facilities don't change.</li> </ul>
<p>2-1 Conduct baseline survey on implementation of the REFORME in Region of Central South.</p> <p>2-2 Through the activity 2-1, select pilot communes where the REFORME will be introduced in the region of Central South.</p> <p>2-3 Introduce fully REFORME using PROGEA method in all 19 communes in the region of Central South.</p> <p>2-4 Implement actions for Hygiene and Sanitation Promotion (PHA) in the pilot communes in the region of Central South.</p> <p>2-5 Study the possibility to set up associations for Manual Pump Repairers in the region of Central South.</p> <p>2-6 Organize workshop on the application of the REFORME for the stakeholders of all communes in the region of Central Plateau.</p>			

添付資料10-2. ミニッツ（和文） 添付のPDM案（英文）

A10-115

<p>3-1 Analyze the current situation on the application of the REFORME in the region of Central Plateau after the PROGEA I and Identify problems and lessons learned.</p> <p>3-2 Study appropriate monitoring and support systems in order to implement the REFORME properly with existing resources in the region of Central Plateau.</p> <p>3-3 Support actions in a targeted way for consolidation of the REFORME in selected several communities based on the results of activities 3-1 and 3-2.</p>
<p>4-1 Review the method, manuals and tools for the dissemination of the REFORME at nation-wide on the basis of the results obtained and lessons learned through the activities 2 and 3.</p> <p>4-2 Hold workshops in order to study the contents of the manuals formulated through the activity 4-1 for further approval.</p> <p>4-3 Finalize the manuals on the REFORME application for nation-wide dissemination.</p> <p>4-4 Integrate the finalized manuals for nation-wide dissemination into the official document.</p>
<p>5-1 Review implementation structure and capacity of government services, communes and private sector in order to manage introduction, implementation and progress of the REFORME.</p> <p>5-2 Support formulation of regulatory provisions in order to disseminate the REFORME at nation-wide.</p>


<p><b>&lt;Issues and countermeasures&gt;</b></p>
Empty space for content

添付資料10-2. ミニッツ（和文） 添付のPDM案（英文）

A10-116

<p>5-3 Support setting up mechanisms of monitoring and support related to the application of the REFORME.</p> <p>5-4 Enhance the capacities of central and regional government officers who are in the position to train communal level stakeholders.</p> <p>5-5 Support the capacity enhancement of communal level stakeholders by officers of regional directorates in charge of water.</p> <p>5-6 Support the capacity enhancement of Manual Pump Repairmen on the maintenances techniques of water supply facilities and the procedures of contract in conformity with the REFORME by the Regional Directions in charge of water.</p> <p>5-7 Study a method to establish a supply system of spare parts of manual pumps in each region.</p>			
<p>6-1 Collect necessary information on financial support program by the other donors for further assistance of implementation of the REFORM.</p> <p>6-2 Assist planning and budgeting necessary for implementation of the REFORME to the other Regions.</p> <p>6-3 Support the formulation of action plan for dissemination of the REFORME at nation-wide.</p> <p>6-4 Prepare recommendations to the other donors and NGOs to support the establishment of management and maintenance systems for water supply facilities based on the action plan for dissemination of the REFORME at nation-wide.</p>			